

“Zoom-Zoom” …

それは英語で「ブー、ブー」という車の走行音をあらわす、子供言葉です。

誰でも、子供の頃は、動くことに対するあこがれがありました。

車のエンジン音が響くと、ドキドキする感じ。

カラダがビュンビュン流れる時の、快感。

めまいがするよううれしさ。

きっと、みんな知っていたはずです。

でも、大人になると、ちょっと忘れていたりする。

それを、マツダは忘れません。

それが、私たちの“Zoom-Zoom”の意味。

小さい時に知っていた、

ウズウズするような走る喜びを忘れていない皆様のために、

素晴らしいクルマを作り続けます、という

私たちの新しいブランド・パーソナリティのコア・エッセンスです。

このたびは、RX-8をお買い上げいただき、ありがとうございます。 ございます。

本書は、安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、お車の正しい取り扱いや簡単なお手入れ方法について説明しています。ご使用前に必ずお読みください。

「必読！安全ドライブのために」のところは特に重要ですので、よく読んでおいてください。

安全にお車を使用していただくために守っていただきたいことを、下記の表示で区分して記載しています。これらは重要ですので、必ず読んでお守りください。

 警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負う可能性のあるもの
 注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負ったり車両の損傷につながる可能性のあるもの

本書内で使用している下記の表示は次の内容を示しています。

 知識	知っておいていただきたいこと 知っておくと便利なこと
	イラストで表現している内容の禁止を意味しています。

お車に表示されている下記のマークは次の内容を示しています。必ず本書の説明を読んでご使用ください。

	詳しい説明を本書に記載しています。
---	-------------------

- グレードや仕様により異なる装備については☆をつけています。
- マツダ販売店で取り付けられた装備品は、付属の取扱説明書をご覧ください。
- お車の保証および点検、整備要領については、別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 本書は別冊のメンテナンスノートとともに、いつもお車に保管してください。
- ナビゲーションシステム装備車は別冊の取扱書をあわせてご覧ください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">● お車をゆずられるときは、次のオーナーのために、本書をお車につけておいてください。● お車の仕様変更などにより、本書の内容の一部が車両と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。 |
|--|

目次

イラスト目次 4 ページ

詳細目次 8 ページ

1 必読！安全ドライブのために 13 ページ

安全のために知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことをま
とめております。よく読んでお守りください。

2 安全装備 41 ページ

シートベルト、SRSエアバッグシステムなど安全装備の操作と取り扱い

3 操作と取り扱い 79 ページ

各部の開閉や調節、運転装置の取り扱いなどお車の基本操作と取り扱い

4 快適カーライフのために 163 ページ

ドライブをより快適にする装備の操作と取り扱い

5 万ーのときは 205 ページ

車が故障したとき、事故にあったときの処置

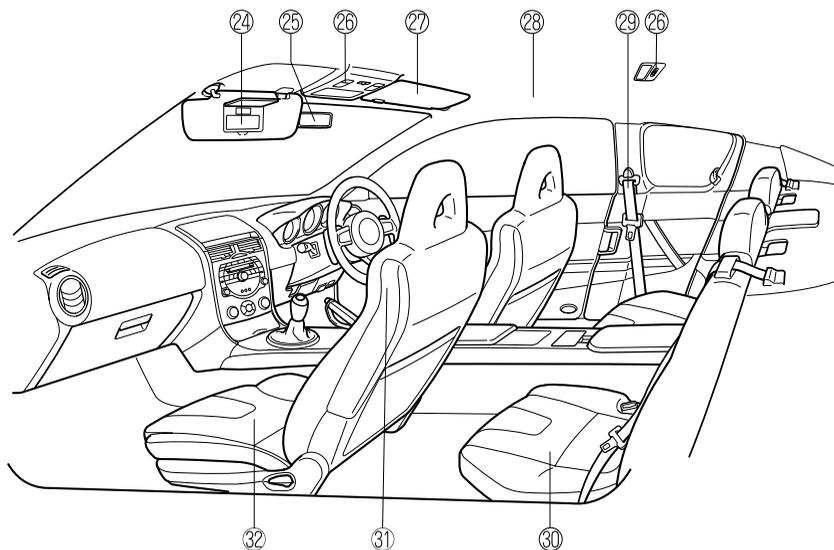
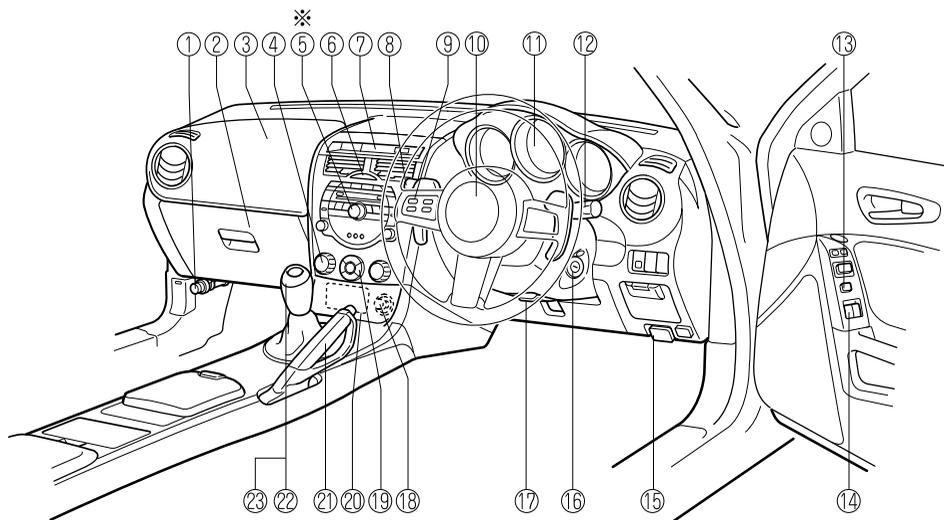
6 車との上手なつきあいかた 249 ページ

手入れの方法、真冬の取り扱いなど

サービスデータ 278 ページ

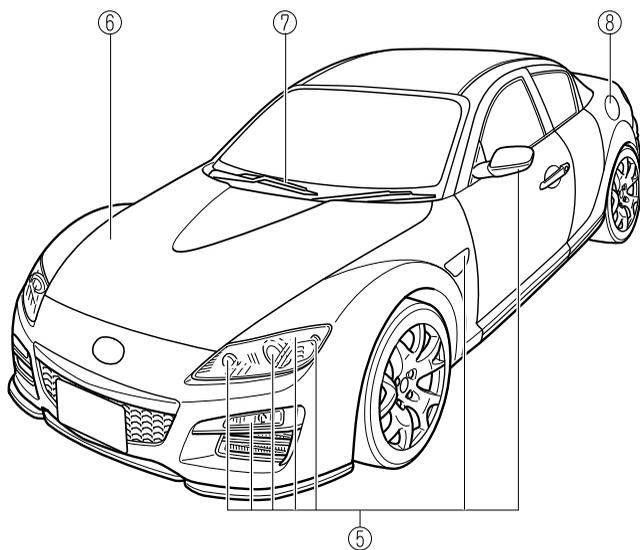
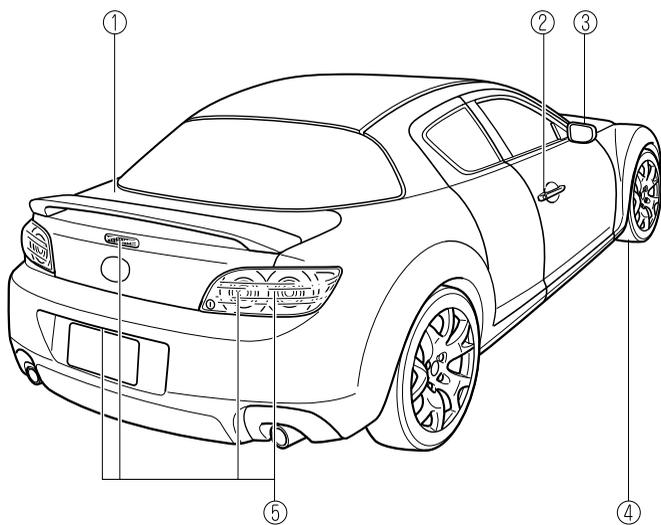
さくいん 288 ページ

イラスト目次



グレード等により取り付け位置および装備が異なります。
※ナビゲーションシステム装備車は別冊の取扱書をご覧ください。

① 発炎筒	208ページ
② グローブボックス	202ページ
③ 助手席エアバッグ	67ページ
④ エアコン	164ページ
⑤ オーディオ	170ページ
⑥ 非常点滅灯スイッチ	146ページ
⑦ インフォメーションセンターディスプレイ	195ページ
⑧ ワイパー/ウォッシャースイッチ	142ページ
⑨ オーディオリモートコントロールスイッチ	187ページ
⑩ 運転席エアバッグ	67ページ
⑪ メーター	120ページ
⑫ ランプスイッチ	138ページ
⑬ パワーウインドーロックスイッチ	107ページ
⑭ パワーウインドースイッチ	104ページ
⑮ ボンネットオープナー	111ページ
⑯ エンジンスイッチ	147ページ
⑰ ハンドル調節レバー	116ページ
⑱ シガーライター	197ページ
⑲ リヤウインドーデフォッガースイッチ	145ページ
⑳ 灰皿	198ページ
㉑ パーキングブレーキ	151ページ
㉒ チェンジレバー (マニュアル車)	152ページ
㉓ セレクトレバー (オートマチック車)	153ページ
㉔ バニティミラー	192ページ
㉕ ルームミラー	118ページ
㉖ ルームランプ	193ページ
㉗ サンバイザー	192ページ
㉘ カーテンエアバッグ	67ページ
㉙ シートベルト	53ページ
㉚ リヤシート	50ページ
㉛ サイドエアバッグ	67ページ
㉜ フロントシート	44ページ



グレード等により取り付け位置および装備が異なります。

① トランク	102ページ
② ドア	98ページ
③ ドアミラー	116ページ
④ タイヤ	287ページ
⑤ 電球 (バルブ)	286ページ
⑥ ボンネット	111ページ
⑦ フロントワイパー	142ページ
⑧ 燃料補給口	108ページ

詳細目次

1 必読！安全ドライブのために

お出かけ前に 14

お子さまを乗せるとき 20

運転するとき 23

オートマチック車を運転するとき 27

駐停車するとき 29

こんなことにも注意 31

2 安全装備

シート 42

正しい運転姿勢 42

フロントシート 44

リヤシート 50

シートベルト 53

正しい着用のしかた 53

シートベルト位置 57

3点式シートベルト 58

SRSエアバッグシステム 62

SRSエアバッグシステムについて ... 62

ABS 73

ABSについて 73

トラクションコントロールシステム (TCS) 75

TCSについて 75

ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) 76

DSCについて 76

3 操作と取り扱い

アドバンストキー 80

アドバンストキーについて	80
アドバンストキーレスの機能を使 っての操作	85
アドバンストキーレスの機能を使 わない操作	91
アドバンストキー一時停止機能	93
警報	93
設定変更 (カスタマイズ機能)	96
こんなときは	97

各部の開閉 98

ドア	98
パワードアロック	101
トランク	102
パワーウインドー	104
リヤサイドウインドー	108
燃料補給口	108
ボンネット	111

盗難防止システム 113

イモビライザーシステム	113
-------------------	-----

各部の調節 116

ハンドル	116
ドアミラー	116
ルームミラー	118

メーター、警告灯、表示灯の 見方 120

メーター	120
警告灯、表示灯	126
警報音	137

スイッチの使いかた 138

ランプスイッチ	138
方向指示器	141
フォグランプスイッチ	141
ワイパー/ウォッシャースイッチ	142
リヤウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ	145
ホーン	145
非常点滅灯スイッチ	146

運転装置の使いかた 147

エンジンスイッチ	147
エンジンの始動	148
エンジンの停止	150
ブレーキ	151
マニュアルトランスミッション	152
オートマチックトランス ミッション	153
オートマチック車を運転すると き	159

4 快適カーライフ のために

空調 164

エアコンを上手に使用していただ くために	164
吹き出し口	165
フルオートエアコン	167

オーディオ 170

アンテナ	170
オーディオを上手に使用していただ くために	170
オーディオ	173
オーディオリモートコントロール スイッチ	187
ポータブルオーディオ機器を使用 していただくために	190

室内装備 192

サンバイザー	192
室内照明	192
インフォメーションセンターディスプレイ スプレイ	195
シガーライター	197
灰皿	198
カップホルダー	199
収納	200
電源ソケット	203

5 万一のときは

故障したとき 206

路上で故障したとき	206
踏切内で動けなくなったとき	207

緊急用具の取り扱い 208

発炎筒	208
工具、ジャッキ	209
ジャッキの取り扱い	211
スペアタイヤ	214
タイヤ交換	215

パンクしたとき 218

タイヤパンク応急修理キット	218
---------------------	-----

オーバーヒートしたとき 224

オーバーヒートについて	224
-------------------	-----

バッテリーがあがったとき 226

バッテリーあがりについて	226
--------------------	-----

ヒューズ切れ、電球切れのとき 229

ランプ類、電気装置が作動しない とき	229
ヒューズの受け持つ装置	240

けん引について 245

けん引してもらうとき	245
故障車をけん引するとき	247

万一事故が起きたとき 248

6 車との上手なつきあいかた

点検、整備 250

点検整備について	250
定期点検	251
日常点検	251

車の手入れ 260

外装の手入れ	260
内装の手入れ	264
その他の手入れ	266

積雪、寒冷時の取り扱い 268

冬にそなえて	268
運転する前に	269
走行するときは	270
駐車するときは	271
タイヤチェーンの取り付け	271
寒冷地用ワイパーブレードについて	272

こんなときは 273

夏期の取り扱い 273
雨の日の運転 273

環境保護のために 274

経済的な運転 274
廃棄物を処理するときは 277

MEMO

1 必読！安全ドライブのために

安全のために知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことをまとめております。よく読んでお守りください。

お出かけ前に	14
お子さまを乗せるとき	20
運転するとき	23
オートマチック車を運転するとき	27
駐停車するとき	29
こんなことにも注意	31

点検は必ず実施する



安全で快適な運転をするために、日常点検整備および定期点検整備を実施することが法律で義務づけられています。

点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

いつもと違う点に気づいたら、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

日常点検としてバッテリー液の量を定期的に点検する

バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 (爆発) につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。

→37ページ「バッテリーの取り扱いに気を付ける」

点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートを参照してください。

日常点検としてエンジンオイルの量を定期的に点検する

エンジンオイルの量を定期的に点検してください。RENESISロータリーエンジンは、コンパクトで高出力のエンジンですが、構造上少量のエンジンオイルをエンジン内で消費しています。

お客様のお車には油量警告灯が装備されていますが、エンジンオイルレベルゲージによるエンジンオイル量の定期的な点検をお勧めします。エンジンオイルの量は、エンジンオイルレベルゲージの上限と下限の間にある量が適しています。

エンジンオイルの点検、補充については255ページ「エンジンオイルの点検、補充」を参照してください。

日常点検としてタイヤを定期的に点検する

タイヤの点検は法律で義務付けられていません。

タイヤは以下の点検をしてください。

- タイヤの空気圧
- タイヤのき裂・損傷
- タイヤの溝の深さ、異常摩耗

点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

タイヤの空気圧は必ず指定空気圧に調整する



タイヤの空気圧が不足したままで走行しないでください。タイヤの空気圧が不足していると車両の安定性を損なうばかりでなく、タイヤが偏摩耗したりします。また、タイヤの空気圧が不足したままで高速走行すると、タイヤがバースト(破裂)するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。適正空気圧は、運転席側のリヤドアに貼付されているラベルで確認してください。

タイヤの側面などにき裂や損傷のあるタイヤを装着しない

- 異常があるタイヤを装着しないでください。
 - 異常があるタイヤを装着すると、走行中にハンドルがとられたり、異常な振動を感じることがあります。また、パンクやバースト(破裂)などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。走行中、異常な振動を感じた場合はマツダ販売店で点検を受け、正常なタイヤと交換してください。
- 異常のあるタイヤを装着していると、車の性能(燃費・走行安定性・制動距離など)が十分に発揮できないばかりでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、部品に悪影響をあたえるなど、故障の原因になるおそれがあります。
- 道路の路肩などにタイヤの側面を接触させたり、凹凸やわだちの乗り越しは避けてください。タイヤの損傷、き裂などをまねくおそれがあります。

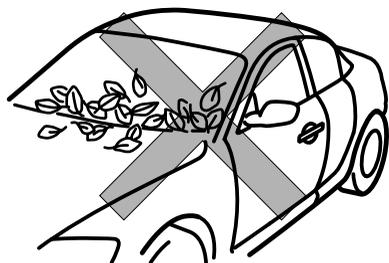
摩耗限度をこえたタイヤは装着しない

タイヤの溝の深さが少ないタイヤや摩耗限界表示(ウェアインジケーター)が現れているタイヤを使用しないでください。そのまま使用すると、制動距離が長くなったり、雨の日にハイドロプレーニング現象※により、ハンドル操作ができなくなったり、タイヤがバースト(破裂)するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。摩耗限界表示が現れたらすみやかに正常なタイヤと交換してください。

→257ページ「タイヤの点検」

※ぬれた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になり、ハンドルやブレーキが効かなくなる現象。

外気取り入れ口をふさがない



フロントガラス前部の外気取り入れ口が、雪や落ち葉などでふさがっているときは取り除いてください。外気が導入できないため、車内の換気が十分できなくなるおそれがあります。

指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しない

- 指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しないでください。
→278ページ「燃料」
有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、軽油、アルコール系燃料を補給すると次のような悪影響をおよぼします。
 - エンジンや燃料系部品が損傷したり、最悪の場合車両火災につながるおそれがあります。
 - エンジンの始動性が悪くなるおそれがあります。
 - ノッキングが発生したり、エンジンの出力が低下するおそれがあります。
- バイオ燃料混合ガソリンをお使いになることもできます。
→108ページ「燃料補給口」
- 無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合、無鉛レギュラーガソリンをお使いになることもできますが、エンジンの性能を十分発揮できないことがあります。また、エンジン始動時やアクセルペダルを踏み込んだときに、異音聞こえることがあります。

燃料補給時の注意

- 必ずエンジンを止めてください。火災につながるおそれがあります。
- 燃料を補給するときは、必ず次の点を守ってください。身体に静電気を帯びたまま作業をすると、放電による火花で燃料に引火、爆発し重大な傷害につながるおそれがあります。
 - ・ 燃料補給作業は必ず一人で行ない、補給口に他の人を近づけないでください。
 - ・ 静電気を除去するため、フューエルキャップを開ける前には、車体または給油機などの金属部分に触れてください。
 - ・ 静電気の放電を防ぐため、フューエルキャップの開閉は必ずツマミ部分を持って行ってください。
 - ・ 再帯電を防ぐため、燃料を補給する人は給油中に車内のシートに座らないでください。
- 補給口にはタバコなどの火気を近づけないでください。火災につながるおそれがあります。
- 給油ノズルは確実に給油口へ差し込んでください。給油ノズルが確実に差し込まれていないと、オートストップの作動が遅れ、燃料が吹きこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルのオートストップ作動後は、追加給油しないでください。オートストップ作動後に追加給油すると、燃料があふれ出るおそれがあります。
- フューエルキャップを開けるときは、ゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まってから取りはずしてください。急に開けると、燃料が噴き出すことがあるため火災につながったり、目や皮膚に付着すると傷害につながるおそれがあります。

- フューエルキャップは、確実に閉めてください。キャップが確実に閉まっていないと、走行中に燃料がもれ、火災につながるおそれがあります。
- 純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。燃料装置や排出ガス発散抑止装置などの故障につながるおそれがあります。
- ドアや窓を必ず閉めて燃料を補給してください。火災になった場合、室内に燃え広がるおそれがあります。
- 気化した燃料を吸い込まないように注意してください。人体に有害な成分を含んでいる燃料があります。特にアレルギー体質の方は、注意してください。

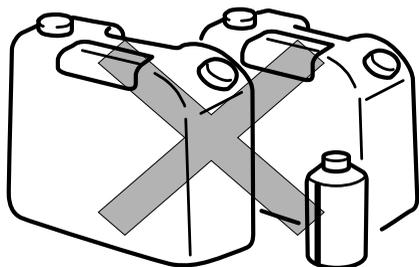
荷物を積むときは固定する



荷物を積むときは、そのまま置いたり積み重ねたりせず、確実に固定してください。走行中に荷物が移動したりくずれたりしてけがや思わぬ事故につながるおそれがあります。また、シート背もたれの高さを越えないようにしてください。後方、側面の視界が悪くなるため危険です。

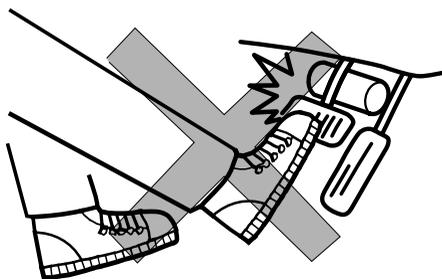
お出かけ前に

可燃物、危険物は積まない



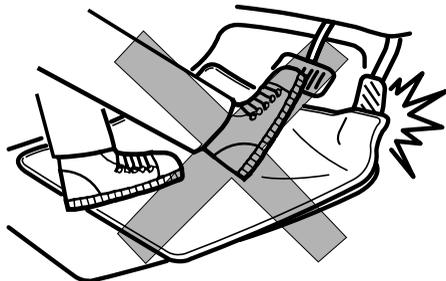
燃料のはいった容器やスプレー缶は積まないでください。爆発、火災につながるおそれがあり危険です。

運転席足元には物を置かない



運転席足元にあき缶などの物を置かないでください。ブレーキペダルやアクセルペダルに物がはさまったりすると、ブレーキやアクセルペダルが正しく操作できなくなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロアマットは車に合ったものを使用する



車に合ったものを、フロアカーペットの上をしっかり固定して使用してください。フロアマットを敷くときは次の点を守ってください。フロアマットがすべったり、ブレーキペダルやアクセルペダルにフロアマットが引っかかるなど、ペダル操作のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

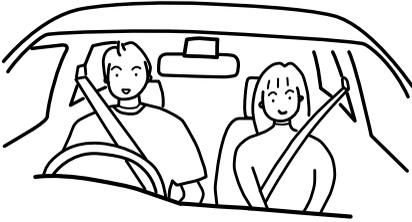
- 大きすぎるフロアマットは使用しない
- フロアマットは重ねて使用しない

正しい運転姿勢に調節する

走行前には、シート、ハンドルの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節してください。

→42ページ「正しい運転姿勢」

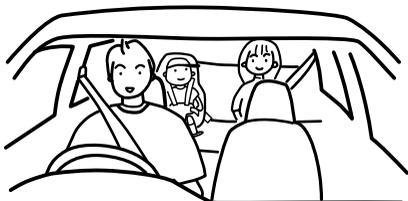
シートベルトは全員着用する



走行する前に運転者はもちろん同乗者にも必ずシートベルトを正しく着用させてください。シートベルトを着用していないと、急ブレーキ時や衝突時などに身体が拘束されないため車内の物に打ちつけられたり、車外に放りだされ、重大な傷害につながるおそれがあります。

→53ページ「正しい着用のしかた」

お子さまはリヤシートに乗せる



お子さまはリヤシートに乗せるほうが安全です。助手席に乗せるとお子さまの動作が気になったり、お子さまが運転装置などにさわったり、運転のさまたげになることがあります。

お子さまにもシートベルトを着用させる

- お子さまはできるだけリヤシートに座らせ、必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを抱いたり、ひざの上に乗せたりすると、急ブレーキ時や衝突時に十分に支えることができず、お子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートベルトが首や顔などにあたって、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートをお使いください。ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートを使用しないと、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

- お子さまがエアバッグの前に立っていたり、正しい姿勢で座っていなかったりすると、エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、お子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートは次の表を目安に選択してください。
詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

マツダ純正品の場合

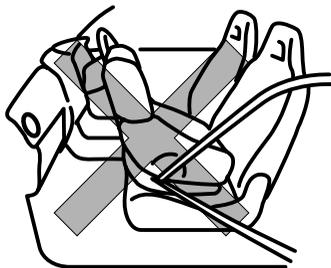
チャイルドシート固定ロアアンカレッジで固定するタイプ

種類	体重	身長	参考年齢
チャイルドシート	9～18kg位まで	約70cm～100cm位まで	8か月～4才位まで

上記タイプ以外

種類	体重	身長	参考年齢
ベビーシート	13kg位まで	約80cm位まで	～18か月位まで
チャイルドシート	9～18kg位まで	約70cm～100cm位まで	8か月～4才位まで
ジュニアシート	15～36kg位まで	約95cm～150cm位まで	3才～12才位まで

チャイルドシートは正しく取り付ける



- 助手席には絶対にベビーシートやチャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。エアバッグが膨らむと、ベビーシートやチャイルドシートの背面に強い衝撃が加わり、お子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。やむをえず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、必ず前向きに取り付け、シートを最後まで移動させてください。助手席側のサンバイザーに、同内容の警告ラベルが表示されています。合わせてご覧ください。

- ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートを取り付けたときは、確実に取り付けられていることを確認してください。取り付けかたは、それぞれの商品に付属している取扱説明書に従って取り付けてください。またチャイルドシート固定ロアアンカレッジで固定するタイプのチャイルドシートをお持ちのお客様は50ページの「ISOFIX対応チャイルドシート固定ロアアンカレッジ」もあわせてお読みください。
- ISOはInternational Standard Organization (国際標準化機構)の略です。

ドア、窓ガラスの開閉は大人が操作する



お子さまにはドア、窓ガラスの開閉をさせないでください。手、足、首などをはさんだりして重大な傷害につながるおそれがあります。

- パワーウィンドーロックスイッチはロックの位置にしてください。
→104ページ「パワーウィンドー」
- ドアを閉めたあとは必ず施錠してください。

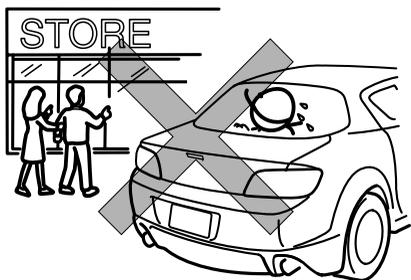
お子さまを乗せるとき

窓から手や顔を出させない



走行中はお子さまが窓から手や顔を出さないよう注意してください。車外の物に当たったり、急ブレーキを踏んだとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

車から離れるときはお子さまも一緒に連れていく



車から離れるときはお子さまだけを車内に残さないでください。

- お子さまのいたずらにより、装置の作動、車の発進、火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 炎天下の車内はたいへん高温になり、お子さまが脱水症状を起こすおそれがあります。症状がひどくなると脳に障害が残ったり、最悪の場合死に至るなどお子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

ならし運転をする

お車を安全に長くご使用いただくために、最初の1,000kmまでは次のことに注意して運転をしてください。

- 空ぶかしをしない。
- エンジン回転数を7,000rpm以上にしない。
- 急発進、急加速をしない。

走行中はエンジンを止めない

走行中にエンジンを止めると、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

坂道ではエンジンブレーキを使う

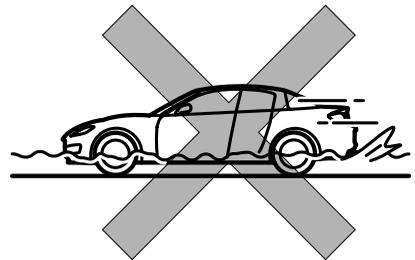
ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、効きが悪くなる場合があります。下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用してください。また、ぬれた路面や積雪路、凍結路では急激なエンジンブレーキの使用(シフトダウン)は避けてください。スリップするおそれがあります。エンジンブレーキとは、走行中アクセルペダルから足を離れたときにかかるブレーキ力で低速ギヤほどよく効きます。

すべりやすい路面では慎重に運転する



ぬれた路面や凍結路、積雪路などのすべりやすい路面では、急加速や急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキを避け、スピードをひかえめにして運転してください。ぬれた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態(ハイドロプレーニング現象)になるおそれがあります。

冠水した道路を走行しない

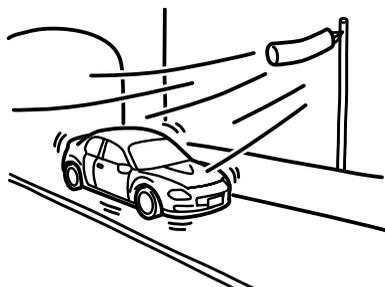


冠水した道路を走行しないでください。冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、電気部品や電子部品のショート、水を吸い込んでのエンジン破損など、車両に悪影響をおよぼします。万一、水中に浸ってしまったときは、必ずマツダ販売店へご相談ください。

水たまり走行後や洗車後は ブレーキの効きを確認する

水たまりを走行したあとや洗車後は、ブレーキパッドがぬれているため、ブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方のブレーキだけが効いて、ハンドルをとられるおそれがあり危険です。ブレーキの効が悪いときは、低速で走りながら、効きが回復するまでブレーキペダルを軽く数回踏んでブレーキを乾かしてください。

横風が強いときは慎重に 運転する



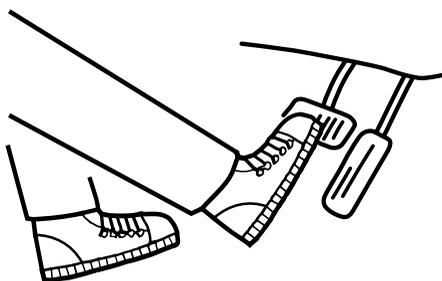
横風が強く、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に落としてください。トンネルの出口、橋の上、山を削った切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。走行安定性を失い、思わぬ事故につながるおそれがあります。

クラッチペダルやブレーキペダルに足をのせたまま走行しない

クラッチペダルやブレーキペダルに足をのせたまま走行したり、必要以上に半クラッチ操作を行わないでください。

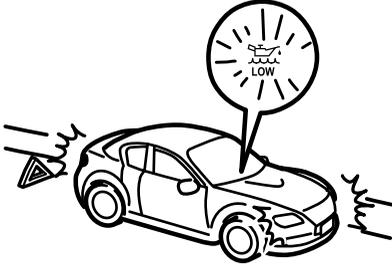
- クラッチやブレーキの部品が早く摩耗します。
- ブレーキが過熱し、効きが悪くなるおそれがあります。

ブレーキ操作は右足で



- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。慣れない左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど、適切な操作ができないおそれがあります。
- アクセルペダルの操作でブレーキペダルに靴が接触することがないように、運転に適した靴で運転してください。

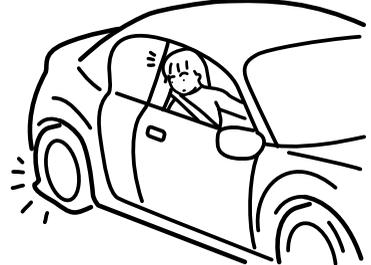
警告灯が点灯/ 点滅したら車を止める



走行中に警告灯が点灯/点滅したときは、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置を行なってください。警告灯の点灯/点滅を無視して運転を続けるとエンジンなどを損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

→126ページ「警告灯、表示灯」

パンクやバースト(破裂) してもあわてない



走行中タイヤがパンクやバースト(破裂)したときは、ハンドルをしっかり持ち、徐々にブレーキをかけスピードを落としてください。

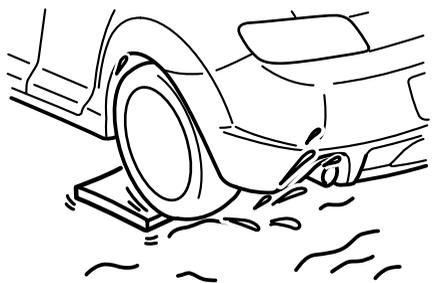
急ブレーキをかけるとハンドルをとられるおそれがあります。

次のようなときはパンクやバースト(破裂)が考えられます。

- ハンドルがとられるとき。
- 異常な振動があるとき。
- 車両が異常に傾いたとき。

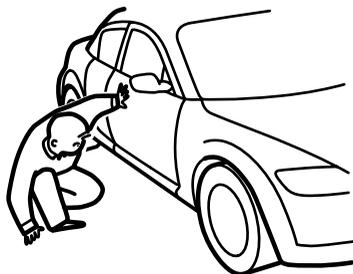
スタックした状態から脱出するときは注意する

ぬかるみ、砂地、深雪路などで駆動輪が空転したり、埋まり込んで動けなくなることをスタックといいます。



- 周囲の安全を十分に確認してください。脱出直後に車両が突然動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤ前後の土や雪を取り除くが、タイヤの下に木や石をあてがい、マニュアル車はチェンジレバーを1またはRに、オートマチック車はセレクトレバーをDまたはRに置いて、アクセルペダルを軽く踏みます。チェンジレバー/セレクトレバー操作中はアクセルペダルを踏まないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。また、車両の周辺に人がいないことを確認してください。あてがった木や石が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。
- タイヤを高速で回転させないでください。タイヤがバースト（破裂）したり、異常過熱するため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセルを過度に空ぶかししたり、タイヤを空転させないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。

床下に衝撃を受けたら下まわりを点検する



安全な場所に停車して、車の下にブレーキ液や燃料の漏れがないか、また各部に損傷がないか確認してください。

異常があったときは、マツダ販売店に連絡してください。

そのまま走行すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

異常を感じたときはマツダ販売店で点検を受ける

次のようなときは、車が故障しているおそれがあります。そのまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

マツダ販売店で点検を受けてください。

- 普段と違う音や臭い、振動がするとき。
- ハンドル操作に異常を感じる時。
- ブレーキ液が不足しているとき。
- 車の下に油のあとが残っているとき。

オートマチック車の特性

153ページの「オートマチックトランスミッション」もあわせてお読みください。オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り替えを自動化した車で、その分操作の負担が軽くなります。運転は楽になりますが、安易に運転することは禁物です。オートマチック車の特性を理解し、正しい操作をする習慣をつけてください。

クリープ現象

エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがP、N以外にはっていると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。この現象をクリープ現象といいます。

- 停車中は車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなりクリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかりと踏んでおいてください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリープ現象を利用すると、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節できます。

キックダウン

走行中、セレクトレバーがDのときアクセルペダルをいっばいに踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり、急加速させることができます。この操作をキックダウンといいます。

- 追い越しや高速道路での合流など、加速が必要なときに行ないます。
- すべりやすい路面やカーブを走行するときは、急激なアクセル操作はしないでください。

エンジンをかける前に

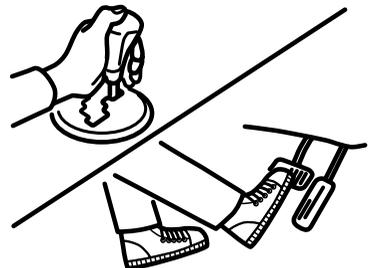
正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。

ペダルの踏み間違いのないように、ペダルの位置を確認しておいてください。

エンジンをかけるときは

安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPにいれ、ブレーキを効かせた状態でエンジンをかけてください。

発進するときは



- アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。車が急発進し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなり、クリープ現象が強くなります。
- マニュアル車では発進時の速度をクラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車ではアクセル操作のみで行ないますので、アクセル操作は慎重に行なってください。

オートマチック車を運転するとき

走行するときは

- 走行中はセレクトレバーをNにいれないでください。トランスミッションの故障につながります。また、エンジンブレーキが全く効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用(シフトダウン)は避けてください。タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

停車するときは

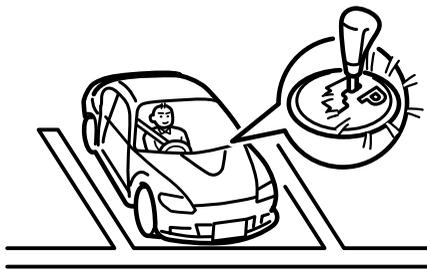
- 停車中、むやみにアクセルペダルを踏まないでください。セレクトレバーがP、N以外にはいつているとき、誤ってアクセルペダルを踏むと急発進するため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 停車後、再発進するときはセレクトレバーの位置に思い違いがないよう確認してください。意に反して車が動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でセレクトレバーを前進位置にいれ、アクセルをふかしながら停車しないでください。トランスミッションが過熱し、故障につながるおそれがあります。

後退するときは

- 後退時は身体を後ろにひねった姿勢になります。ブレーキペダルを確実に踏めるよう注意してください。
- 少し後退したときなどはセレクトレバーをRにいれたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーをNにもどし、発進時にはセレクトレバーの位置を確認してください。

駐車するときは

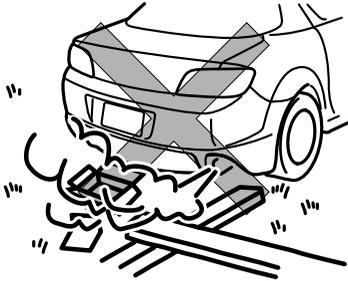
- 駐車するときは、セレクトレバーをPにいれ、パーキングブレーキをかけてください。パーキングブレーキをかけただけや、セレクトレバーをPにいれただけで駐車していると、車が勝手に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジンがかけたまま駐車しないでください。万一セレクトレバーがP以外にはいつている場合、クリープ現象で車が勝手に動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- セレクトレバーをPにいれるときは、車を完全に止めてから行なってください。車が完全に止まる前にセレクトレバーをPにいれると、トランスミッションに無理な力がかかり故障につながるおそれがあります。



そのほかに気をつけること

坂道などで、セレクトレバーを前進位置に入れたまま後退したり、後退位置に入れたまま前進することは行わないで下さい。エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

燃えやすい物のそばに車を止めない



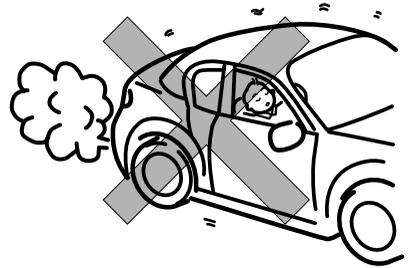
車を止める時には、次の点を守ってください。

- 走行したあとは排気管が高温になっているため、枯れ草など、燃えやすいものがそばにあると火災につながるおそれがあります。
- 壁やベニヤ板などが後方にある場合は、間隔を十分とってから停車してください。排気ガスにより変色、変形したり、そのまま放置しておくとも火災につながるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けると、パワーステアリング装置を損傷するおそれがあります。

仮眠するときはエンジンを止める



エンジンをかけたままで仮眠しないでください。無意識にチェンジレバー/セレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込み車が発進したり、エンジンや排気管の異常過熱による火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

また、排気管が損傷していたり、換気の悪い場所では、知らない間に排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

→36ページ「一酸化炭素中毒に気をつける」

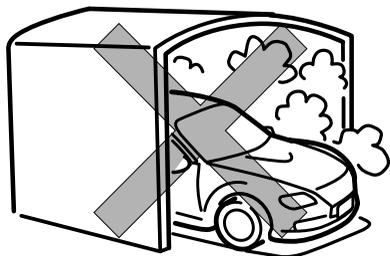
空調は外気導入にする

エンジンをかけたまま長時間停車するときは、空調を外気導入にしてください。空調を内気循環にすると、車内の圧力が下がり排気ガスが入り易くなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

→36ページ「一酸化炭素中毒に気をつける」

→164ページ「空調」

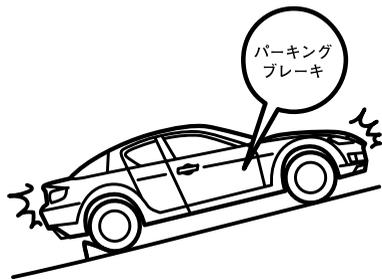
換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない



換気の悪い場所ではエンジンをかけたままにしないでください。ガレージの中や積雪した場所、その他周囲が囲まれた換気の悪い場所では、排気ガスが行き場を失い車内へはいりやすくなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

→36ページ「一酸化炭素中毒に気をつける」

坂道駐車はパーキングブレーキをしっかりとける



坂道での駐車は、パーキングブレーキをしっかりとかけ、マニュアル車はチェンジレバーを1またはRに、オートマチック車はセレクトレバーをPにいれてください。

急な坂道ではさらに輪止めをしてください。輪止めをしないと車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車の移動はエンジンをかける

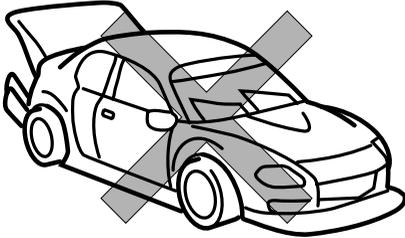
車を少し移動させるときでも、必ずエンジンをかけてください。下り坂などで傾斜を利用して移動させると、ハンドルがロックされたり、ブレーキの効きが悪いため思わぬ事故につながるおそれがあります。

車から離れるときは必ずパーキングブレーキをかけ、施錠する



車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

違法改造はしない



車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自分でエンジン調整や配線などをしないでください。故障や、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、国土交通省に届け出た部品以外を装着すると違法改造になることがあります。部品の装着をするときは、マツダ販売店にご相談ください。

タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する

- ホイール、ホイールナットは純正品以外を装着しないでください。純正品以外のものを装着すると車の性能が十分に発揮できないばかりでなく、走行中にナットがゆるみホイールがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、駆動系部品に悪影響をおよぼしたり、違法改造になることがあります。
- タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。また、駆動系部品に悪影響をあたえないために、次の点を守ってください。
 - ・ 前後輪とも指定された同一サイズ、同一種類のものを使用してください。特にスノータイヤなどの冬用タイヤを装着するときは注意してください。
 - ・ タイヤサイズは、運転席側のリヤドアに貼付されているラベルで確認してください。
くわしくはマツダ販売店にご相談ください。
 - ・ 摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。
- タイヤはゴム製品のため、長期間使用すると徐々に劣化していきます。安全な走行状態を確保するために、使用開始後5～7年を目安にマツダ販売店で点検を受けてください。

タイヤバルブキャップは 純正品を使用する

タイヤバルブキャップは純正品以外を使用しないでください。純正品以外を使用するとバルブの損傷により、適正空気圧にならないおそれがあります。そのまま走行すると空気圧が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ディスチャージヘッドラン プバルブを交換するときは マツダ販売店に相談する

ディスチャージヘッドランプのバルブ・コネクタ・電源回路・光軸（ヘッドランプの照らす方向）調整部分を分解したり、取りはずしたりしないでください。

ディスチャージヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。ディスチャージヘッドランプの交換・修理をするときは、必ずマツダ販売店へご相談ください。

部品の取り付け、交換は マツダ販売店に相談する

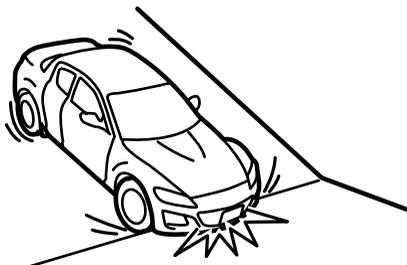
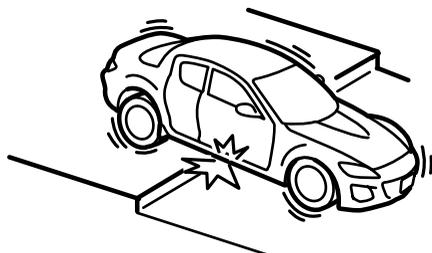
電話、無線、オーディオなど電気部品や電子部品を取り付けるときは、マツダ販売店にご相談ください。

不適當な部品を取り付けたり、取り付け方法を誤ると、ブレーキ（ABS）、エアバッグの誤作動、エンジン不調、車両火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

路面などと車両との干渉に注意する

次のようなとき、バンパーやマフラーなど車体の下部を損傷するおそれがありますので、十分注意してください。

- 車止めのある場所への駐車
- 路肩に沿っての駐車
- 路肩など段差のある場所への乗り降り
- 駐車場など急な坂道への出入り
- 凸凹やわだちのある道路の走行



SRSエアバッグシステム の注意

62ページの「SRSエアバッグシステム」をよくお読みください。

お車に乗る前に

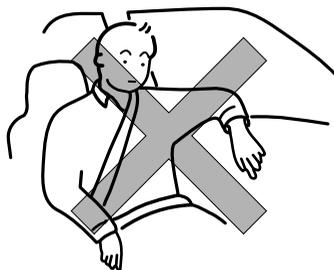
SRSエアバッグシステムはシートベルトの働きに加えて乗員を保護する装置であり、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。

用品の交換、取り付けなどについて

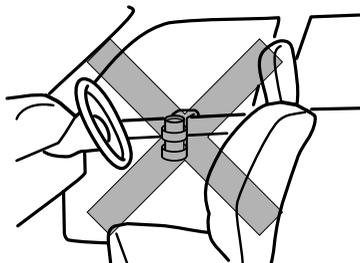
- ハンドルを交換しないでください。また、パッド部にステッカーなどを貼り付けたりしないでください。万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
- インstrumentパネル上部にステッカーを貼り付けたり、芳香剤、アクセサリ用品、手荷物などの物を置いたりしないでください。また、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり、エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

サイドエアバッグについて

- フロントシート背もたれの外側部分に手、足、顔を近づけた姿勢で座らないでください。フロントシートに座ったときは、フロントドアにもたれかかったり、窓から腕を出したりしないでください。また、リヤシートに座ったときはフロントシートの背もたれを抱えないでください。サイドエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

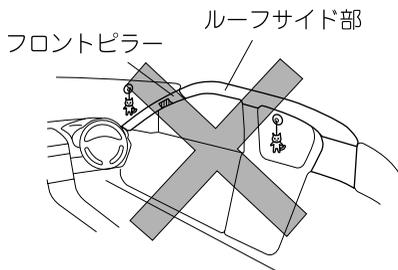


- フロントシートにシートカバーを使用しないでください。シートカバーを使用するとサイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
- フロントドアやフロントシート付近にカップホルダーなどのアクセサリ用品を取り付けしないでください。サイドエアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



カーテンエアバッグについて

- ドアにもたれかかったり、フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部などに近づかないようにして座ってください。カーテンエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
- フロント窓ガラス、リヤ窓ガラス、フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部、アシストグリップなどカーテンエアバッグ展開部周辺にアクセサリー、ハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



メンテナンスについて

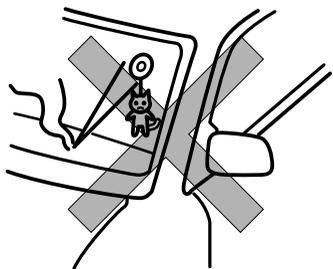
次のような作業が必要なときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。これらの作業を行なうとエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

- SRSエアバッグの取りはずし、取り付け、分解、修理
- ハンドルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- インstrumentパネルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- フロントシートの交換、取りはずし、取り付け、分解、修理
- 車両前部または側部の修理
- フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部の修理
- オーディオなど用品の取りはずし、取り付け

ナンバープレートは正しい位置に取り付ける

ナンバープレートを勝手に取りはずしたり、位置を変えないでください。ナンバープレートは正しい位置に確実に取り付けることが義務付けられています。

アクセサリーを取り付けない



窓ガラスやその周辺にアクセサリーを取り付けると、運転のさまたげになったり、吸盤がレンズの働きをして、火災が起こるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

一酸化炭素中毒に気をつける

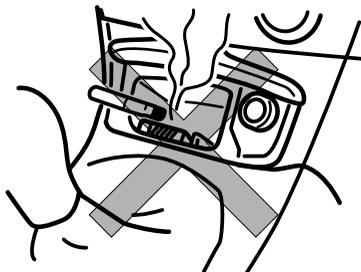
自動車から出る排気ガスには、一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素は、無色/無臭の有毒な気体です。体内に入ると、一酸化炭素中毒を起こします。

一酸化炭素中毒の初期症状は、目まい/吐き気/頭痛などの体調不良ですが、症状が進むと意識不明になって動けなくなります。また、症状によっては死亡に至ることがあります。

万一、排気管などに腐食や損傷があったり、排気音に異常を感じたときは、マツダ販売店で点検を受けてください。また、車内で排気ガスの臭いがしたときは、すべての窓を全開にするか、空調を外気導入にして新鮮な外気を取り入れてください。

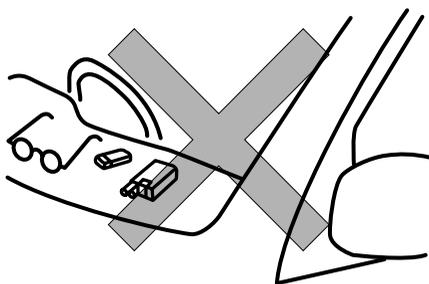
そのまま走行すると、排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

タバコの吸いがらは火を消す



タバコ、マッチなどは完全に火を消してから灰皿に入れ、使用後は確実に閉めてください。開けたまま放置すると火災につながるおそれがあります。

ライターやメガネを車内に放置しない



炎天下に駐車するときは、車内にメガネやライターを放置しないでください。車内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

エンジンルーム内のファンやベルトに気をつける

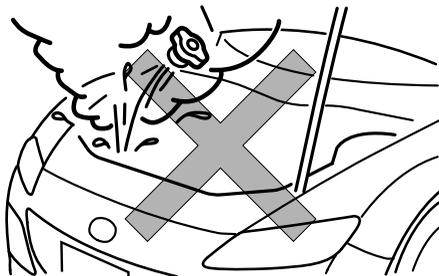


- エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れないようにしてください。特に、エンジンルームが高温のときは、エンジンが止まってもファンが回転することがあるため、手や指などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 冷却水の温度が高いときは、エンジン保護のため、エンジンを止めても電動ファンが約10分間作動することがあります。

エンジンルーム内に物を置き忘れない

エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

ラジエーターが熱いときはキャップをはずさない



エンジンが十分に冷えるまではリザーバータンクのキャップを開けないでください。エンジンが熱いときにキャップをはずすと、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

バッテリーの取り扱いに気をつける

正しく安全にバッテリーを取り扱うために、バッテリー使用前または点検前には必ず次の注意事項をお読みください。

- バッテリーを取り扱うときは必ず保護メガネを着用してください。バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目に入ると失明など重大な傷害につながるおそれがあります。また、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

こんなことにも注意

- バッテリーを取り扱うときはバッテリー液をこぼさないでください。
バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。
- バッテリーの近くでお子さまを遊ばせないでください。
バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。
- バッテリーを取り扱うときは、絶対に火気を近づけないでください。
バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。火気の発生を防ぐため、+ 端子や- 端子に工具などの金属部分が触れないようにしてください。また、ブースターケーブルの接続、取りはずしときは、+ 端子がボディーや- 端子に触れないように十分注意してください。
- 換気の悪い場所では、バッテリーの充電を行わないでください。
バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。

運転中は携帯電話を使用しない



運転しながらハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

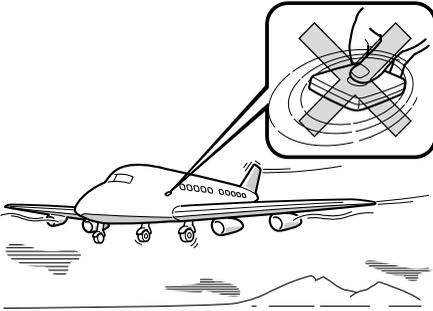
発進時には安全を十分確認する

発進時は周囲の状況に十分注意してください。

- 信号待ちなどで停車したときや、駐車後に発進するときは、周囲の安全を十分確認してから発進してください。
- 後退するときに十分な視界を得られないときは、車から降りて後方の安全を確認してください。

航空機内ではアドバンス トキー/ リモートコントローラー を操作しない

航空機内ではアドバンストキー/リモートコントローラーを操作しないでください。アドバンストキー/リモートコントローラーを航空機内へ持ち込むことは可能ですが、操作すると航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。また、かばんやポケットなどで保管する場合は、アドバンストキー/リモートコントローラーのスイッチが容易に押されないように注意して下さい。



MEMO

2 安全装備

シート	42
正しい運転姿勢	42
フロントシート	44
リヤシート	50

シートベルト	53
正しい着用のしかた	53
シートベルト位置	57
3点式シートベルト	58

SRSエアバッグシステム	62
SRSエアバッグシステムについて	62

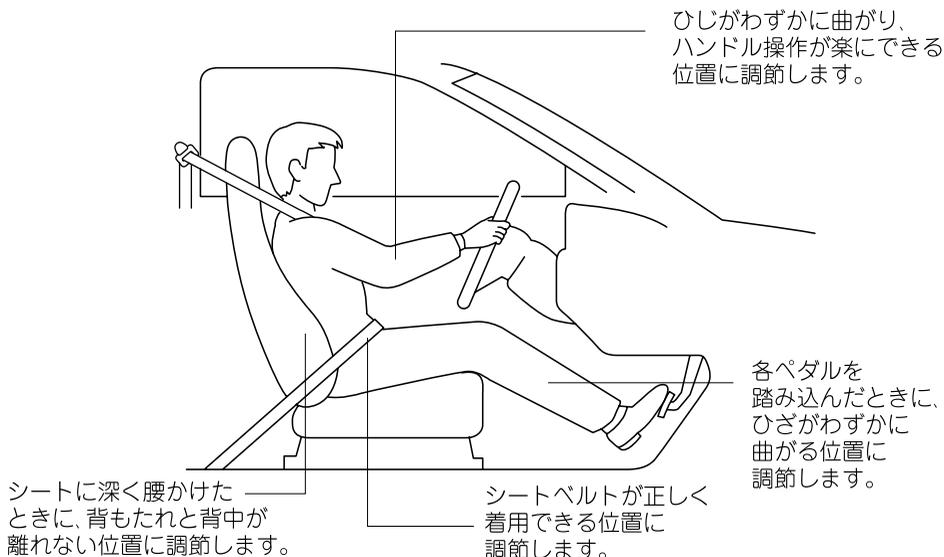
ABS	73
ABSについて	73

トラクションコントロールシステム (TCS)	75
TCSについて	75

ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC)	76
DSCについて	76

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節してください。



警告

■ シート各部の調節は、必ず走行前に行なってください。

走行中に行なうと、運転姿勢が不安定になったり、前方不注意になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 背もたれと背中の中にクッションなどを入れないでください。

正しい運転姿勢が取れないばかりか、衝突時にシートベルトなど拘束装置の効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ 背もたれは必要以上に倒さないでください。

急ブレーキ時や衝突時に、体がシートベルトの下に滑り込み、シートベルトの効果が十分発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ シートの下に物を置かないでください。

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

シートを調整する際は、調整する人やまわりの人が手や足などをはさまれないように注意してください。

フロントシート

警告

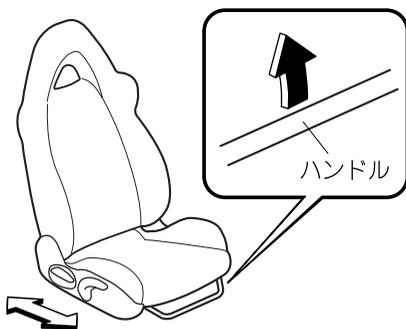
■手動式シートを操作した後は確実にロックされていることを確認してください。

走行中シートが不意に動くとき運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

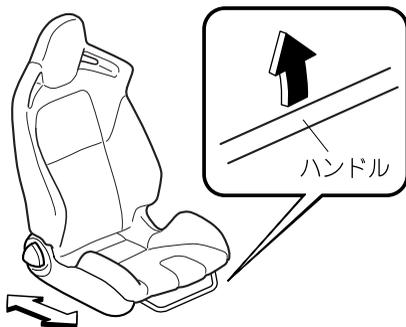
前後調節 (スライディング)

手動式

標準シート

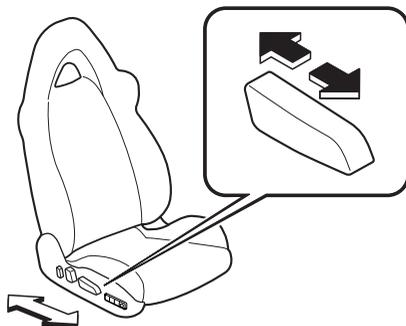


RECARO社製バケットシート



調節後はシートを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

電動式 (運転席のみ)



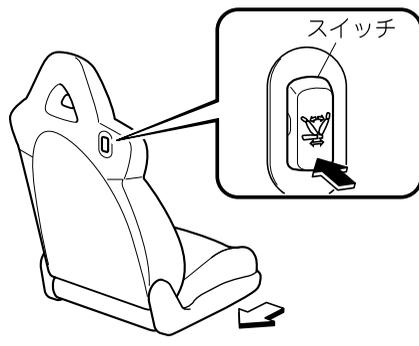
知識

(運転席のみ)

背もたれのスイッチを押しつづけることでシートを後方にスライドすることが出来ます。

また、背もたれも後方に倒れます。

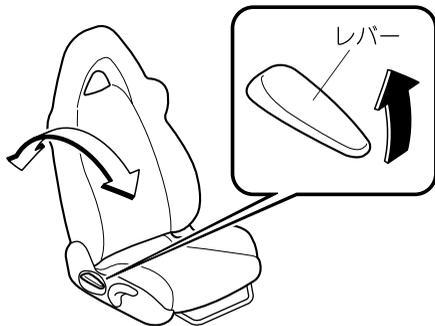
→48ページ「背もたれを前に倒すとき」



角度調節 (リクライニング)

手動式

標準シート



調節後は背もたれを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

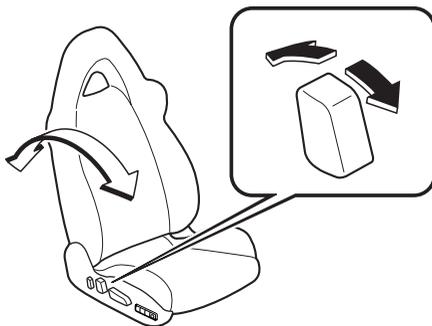
⚠ 注意

後ろに倒した背もたれをもとにもどすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。背もたれを押さえずに操作すると、背もたれが急にもどり、けがをするおそれがあります。

RECARO社製バケットシート

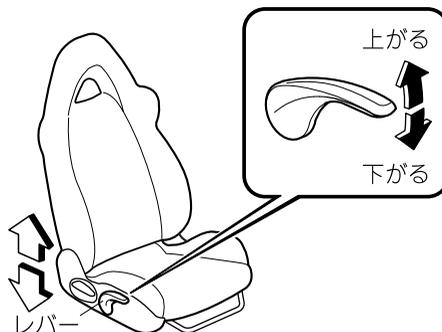


電動式 (運転席のみ)

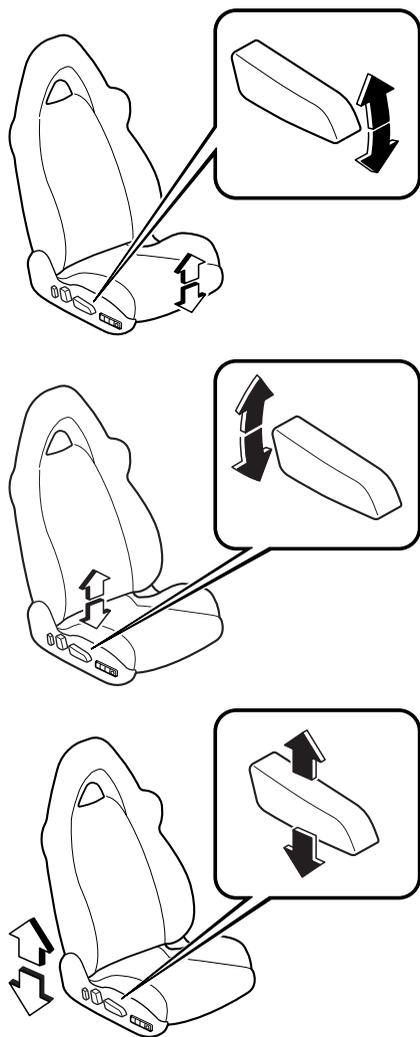


高さ調節 (運転席のみ)

手動式 (標準シートのみ)



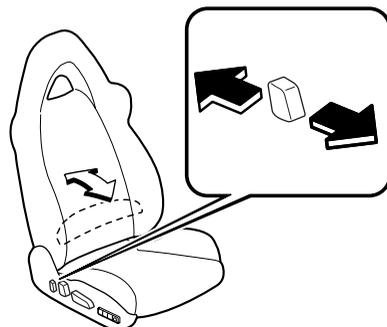
電動式



張り出し調節 (ランバーサポート)☆

電動式

スイッチを押している間、背もたれ腰部の張り出し量が調節できます。



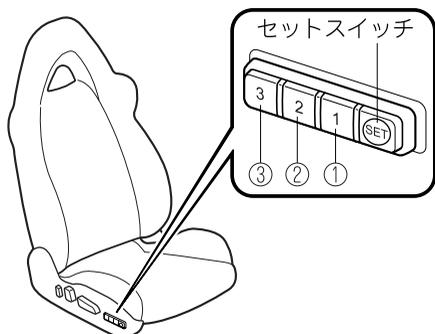
シートメモリー機能 (運転席のみ)☆

電動式シート

運転席のシート位置を記憶させ、シート位置を変えても記憶させた位置にセットすることができます。

⚠ 注意

シートメモリー機能を操作しているときは、シートの下やその周辺に手や指などを近づけないでください。シートメモリー機能を操作しているときは自動的にシートが動くため、手や指などをはさんでけがをすることがあります。



シート位置を次の操作で記憶させることができます。

- ①～③のスイッチとセットスイッチの操作

また、次の操作で記憶させた位置にセットできます。

- メモリスイッチ①～③の操作

スイッチによる操作

記憶させるとき

車両が停止しているとき、シート位置を記憶させることができます。

- 1 シートを好みの位置に調節します。
→44ページ「前後調節」
→45ページ「角度調節」
→45ページ「高さ調節」
- 2 セットスイッチを押したまま、①～③のうち記憶させたいスイッチを“ピッ”と音がするまで押し続けます。

知識

車両整備などでバッテリーとの接続が絶たれたときは記憶が消去されます。もう一度記憶させてください。

記憶した位置にセットするとき

車両が停止している時、①～③のうち呼び出したいシート位置が記憶されているスイッチを押し続けます。

記憶したシート位置になると停止します。このとき“ピーツ”と音が鳴ります。

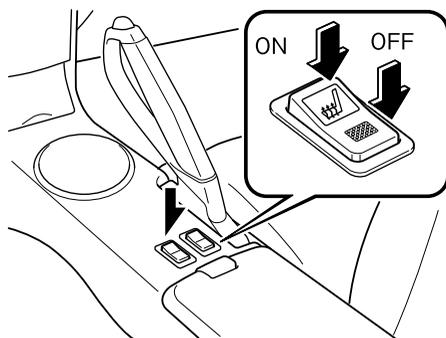
知識

次のような場合、セットは中止されます。

- ランバーサポート以外のシート調節スイッチを操作したとき
- セットスイッチを押したとき
- ①～③のスイッチ操作を中断したとき
- 車両が走行状態になったとき

シートヒーター☆

シートを温めることができます。



エンジンスイッチがONの位置のとき、使用できます。

スイッチのON側を押すと作動します。作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。作動を停止したいときは、スイッチのOFF側を押します。

注意

- 次のような方がご使用になる場合は、熱すぎたり、低温やけどを起こしたりするおそれがありますので、十分注意をしてください。
 - ・ 乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由な方
 - ・ 皮膚の弱い方
 - ・ 疲労の激しい方
 - ・ 深酒やねむけをさそう薬（睡眠薬、かぜ薬など）を使用された方
- 毛布や座布団など保温性のよいものをかけた状態で使用しないでください。シートが異常加熱し、低温やけどをするおそれがあります。
- 仮眠するときは使用しないでください。シートが異常加熱し、低温やけどをするおそれがあります。
- 突起のある重量物をシートの上に置いたり、針金やピン等でシートクッションをつきささないでください。シートが異常加熱し、低温やけどをするおそれがあります。
- シートの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。ヒーターやシートの表面を損傷するおそれがあります。

知識

- エンジン回転中に使用してください。また、連続して長時間使用しないでください。
- シート温度はサーモスタットで自動的に制御されています。温度の調整はできません。

背もたれを前に倒すとき☆

警告

走行中・停車中を問わずフロントシートに人が乗っているときには、背もたれを前に倒さないでください。
人が乗っているときに背もたれを前に倒すと、背もたれが急に倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

レバーを踏まないように注意してください。レバーが破損するおそれがあります。

この車両のドアはフリースタイルドアになっています。

→99ページ「フリースタイルドア」

そのためフロントドアが閉まっているときは、リヤドアを開けることができないため、以下の手順で背もたれを前に倒して、リヤドアを開け車両から降ります。

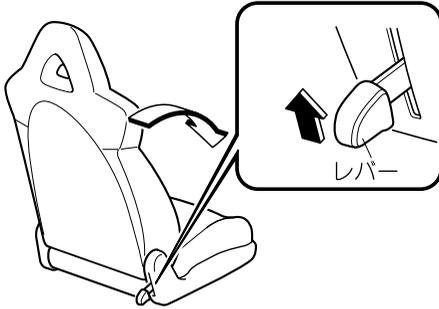
手動式

注意

シートの操作は、手で支えながら確実に行ってください。シートが倒れたときに手や指などをはさむとけがをするおそれがあります。

前に倒すとき (標準シート)

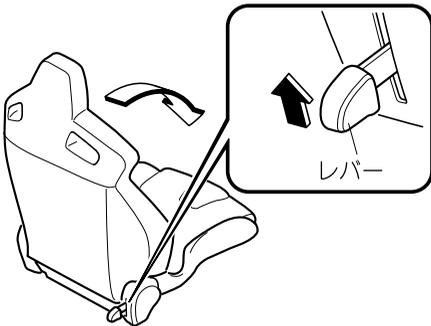
レバーを上方向に引き上げ、背もたれを前に倒します。



(RECARO社製バケットシート)

助手席のみ

レバーを上方向に引き上げ、背もたれを前に倒します。



もとにもどすとき

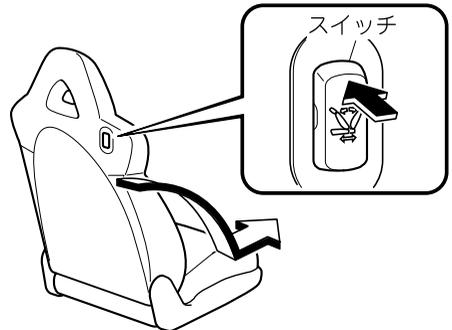
もとにもどすときは、背もたれを後ろに押しつけて固定します。

もとにもどした後はシートを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

電動式 (運転席のみ)

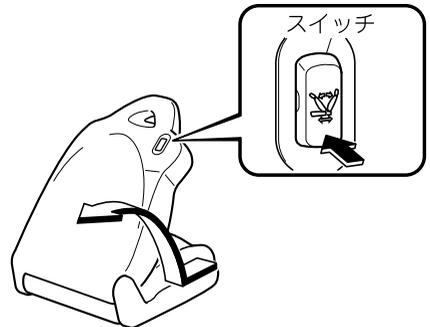
前に倒すとき

車両が停止しているときに、スイッチ上側を押し続けると、シートが前方にスライドしながら背もたれが前に倒れます。



もとにもどすとき

車両が停止しているときに、スイッチ下側を押し続けると、シートが後方にスライドしながら背もたれが後ろに倒れます。

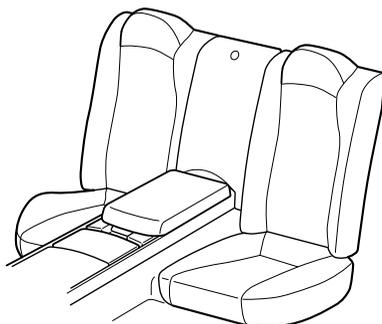


シートがもとの位置にもどると停止します。このとき“ピーツ”と音が鳴ります。

知識

- シートがもとの位置にもどったあと、再度スイッチを押し続けると、シートは後方に移動します。
- 次のような場合、セットは中止されません。
 - ・ ランバーサポート以外のシート調節スイッチを操作したとき
 - ・ セットスイッチを押したとき
 - ・ ①～③のスイッチを操作したとき
 - ・ 車両が走行状態になったとき
- 車両整備などでバッテリーとの接続が断られたときはもとの位置の記憶が消去されます。ランバーサポート以外のシート調節スイッチを操作してシート位置を記憶させてください。

リヤシート



ISOFIX対応チャイルドシート 固定ロアアンカレッジ

リヤシートには、シートベルトを使わずにチャイルドシートを固定するためのロアアンカレッジが装備されています。

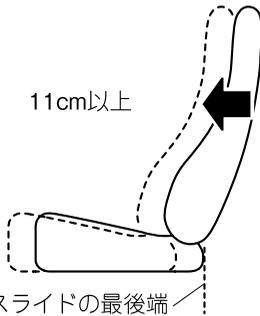
この固定ロアアンカレッジには、道路運送車両の保安基準に適合したチャイルドシート(チャイルドシート固定ロアアンカレッジ対応の純正チャイルドシート)のみを取り付けることができます。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

知識

- ISOはInternational Standard Organization (国際標準化機構)の略です。
- チャイルドシート固定ロアアンカレッジ対応の純正チャイルドシートはチャイルドシート固定ロアアンカレッジで固定し、この車のシートベルトでは固定しないでください。

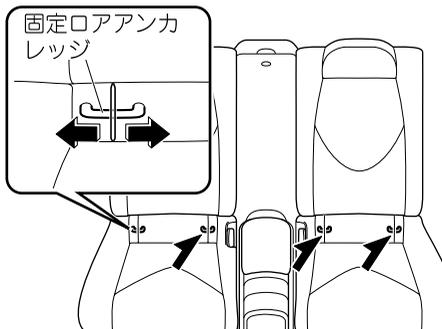
チャイルドシートを固定するとき

- 1 フロントシートをいちばん後ろにスライドさせた後、11cm (シートスライド可能範囲の中央付近) 以上前にスライドさせます。
→44ページ「前後調節 (スライディング)」



フロントシートが確実に固定されていることを確認してください。

- 2 シートクッションのすき間を少し広げて、固定ロアアンカレッジの位置を確認します。



- 3 チャイルドシートを固定ロアアンカレッジに取り付けます。

知識

チャイルドシートを取り付けるときおよび取りはずすときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

- 4 トップテザーアンカレッジを使って固定します。
→52ページ「トップテザーアンカレッジ」
- 5 チャイルドシートを前後左右にゆさぶり、確実に取り付けられていることを確認します。

警告

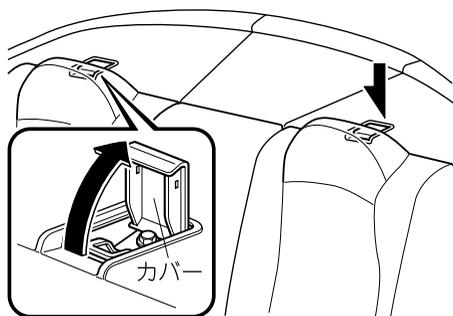
- チャイルドシートを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないと急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。
- チャイルドシートを取り付けるときは固定ロアアンカレッジ周辺に異物がないこと、シートベルトなどをはさみこんでいないことなどを確認してください。異物やシートベルトなどをはさみこむとチャイルドシートが固定されず、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

トップテザーアンカレッジ

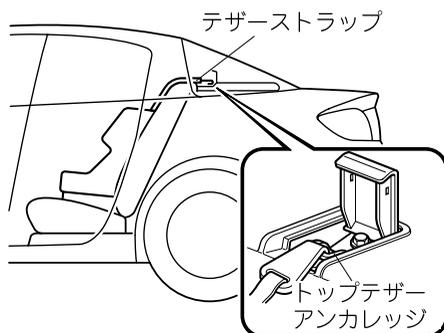
リヤパッケージトリムには、テザーストラップが付いたチャイルドシートを固定するためのトップテザーアンカレッジが装備されています。

トップテザーアンカレッジを使うとき

- 1 チャイルドシート固定ロアアンカレッジでチャイルドシートを固定します。
→50ページ「ISOFIX対応チャイルドシート固定ロアアンカレッジ」
- 2 リヤパッケージトリムにあるテザーアンカレッジポイントのカバーを開きトップテザーアンカレッジの位置を確認します。



- 3 チャイルドシートのテザーストラップをトップテザーアンカレッジにかけます。



- 4 テザーストラップがたるまないように調節します。

知識

テザーストラップを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

- 5 チャイルドシートを前後左右にゆさぶり、確実に取り付けられていることを確認します。

警告

トップテザーアンカレッジは、チャイルドシートを固定するため以外のことには使用しないでください。チャイルドシートの固定以外のことを使用すると、アンカレッジ部が曲がったり、損傷したりして、テザーストラップが正しくかけられなくなりチャイルドシートが固定されません。急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

正しい着用のしかた

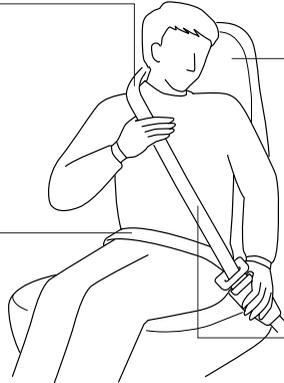
車を運転する前に必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。

ベルトが首、あご、顔などにあたらず、肩に十分かかるようにします。

上体を起こし、シートに深く腰かけます。

ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に密着させます。

ベルトにねじれがないか確認します。



警告

着用について

■ シートベルトは全員が着用してください。

着用しないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ シートベルトは成人サイズの方の乗員による着用を目的としています。

お子さまを乗せる際は、必ずお子さま専用シートを使用してください。

■ 1つのシートベルトを同時に2人以上で使用しないでください。

2人以上で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ シートベルトの改造や交換をしないでください。また、シートベルトをドアではさんだり、クリップなどでシートベルトにたるみをつけないでください。

万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ ベルトがねじれた状態で使用しないでください。

ねじれがあると、万一の場合衝撃力が分散できず局部的に強い力を受けるため、重大な傷害につながるおそれがあります。

! 警告

■ 3点式シートベルトを腕の下に通して着用しないでください。

ベルトが肩に十分かかっていないと急ブレーキ時や衝突時に、身体が前方に投げ出され、重大な傷害につながるおそれがあります。

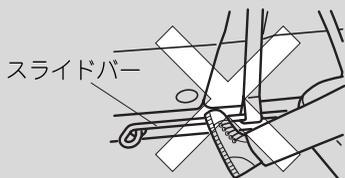
■ 背もたれは必要以上に倒さないでください。

急ブレーキ時や衝突時に、身体がシートベルトの下に滑り込み、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ シートベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させてください。

シートベルトが腰骨からずれていると、急ブレーキ時や衝突時に、腹部に強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

- スライドバーに足をのせたり、傘などの物を置いたりして、シートベルトのスライドをさまたげないでください。フロントシートベルトはリヤドアにビルトインされています。また、リヤドアの開閉により、ベルト下部がスライドバーに沿って前後にスライドするため、シートベルトのスライドがさまたげられると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



■ 妊娠中の女性や疾患のあるかたもシートベルトを着用してください。

ただし、急ブレーキ時や衝突時、局部的に強い力を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。腰ベルトは腹部を避けて腰骨のできるだけ低い位置に密着させてください。また、肩ベルトは肩に十分かかるようにし、腹部を避けて胸部に密着させてください。



■ シートベルトのバックルの中に異物を入れないでください。

異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらず、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



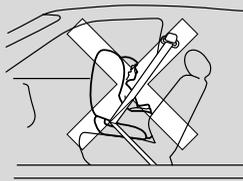
警告

お子さまを乗せるときは

- お子さまはできるだけリヤシートに座らせ、必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを抱いたり、ひざの上に乗せたりすると、急ブレーキ時や衝突時に十分に支えることができず、お子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。



- シートベルトが首や顔などに当たったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートをお使いください。ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートを使用しないと、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 助手席には絶対にベビーシートやチャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。エアバッグが膨らむと、ベビーシートやチャイルドシートの背面に強い衝撃が加わり、お子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。やむをえず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで移動させてください。助手席側のサンバイザーに、同内容の警告ラベルが表示されています。合わせてご覧ください。



メンテナンスについて

- シートベルトにほつれ、すりきずなどの異常があるときは、マツダ販売店で交換してください。

そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

- シートベルトの汚れを取るときは、中性洗剤を使用してください。有機溶剤を使用したり、染色、漂白するとベルトの強度が低下し、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



警告

■ シートベルトを掃除するときは、絶対に分解しないでください。

分解すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

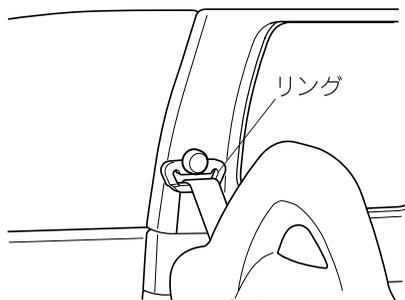
■ 事故などにあったときは、衝撃でシートベルト本来の機能が損なわれているおそれがありますので、必ずマツダ販売店で交換してください。

そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



注意

シートベルトやリングが汚れると、ベルトの巻き取りが悪くなるので汚れを取ってください。



チャイルドシート選択の目安

ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートは次の表を目安に選択してください。

詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

マツダ純正品の場合

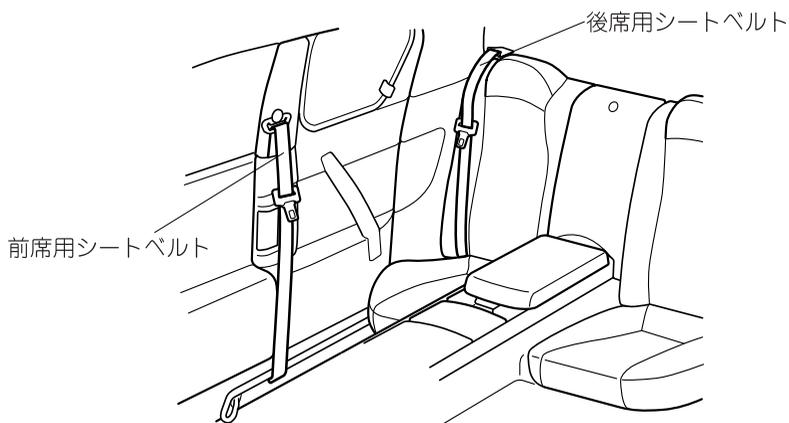
チャイルドシート固定ロアアンカレッジで固定するタイプ

種類	体重	身長	参考年齢
チャイルドシート	9～18kg位まで	約70cm～100cm位まで	8か月～4才位まで

上記タイプ以外

種類	体重	身長	参考年齢
ベビーシート	13kg位まで	約80cm位まで	～18か月位まで
チャイルドシート	9～18kg位まで	約70cm～100cm位まで	8か月～4才位まで
ジュニアシート	15～36kg位まで	約95cm～150cm位まで	3才～12才位まで

シートベルト位置



警告

リヤドアにビルトインされている前席用シートベルトをリヤシートで使用しないでください。無理やり使用するとリヤシートベルトのバックルが破損する恐れがあります。また、急ブレーキや衝突時にシートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながる恐れがあります。

3点式シートベルト

フロントシートベルトはリヤドアにビルトインされています。また、リヤドアの開閉により、ベルト下部がスライドバーに沿って前後にスライドするため、リヤシートへの乗り降りがしやすくなります。

シートベルト警告灯

エンジンスイッチがONの位置のとき、運転席シートベルトを着用していないと点灯します。

また、車速が約20km/h以上になるとしばらくの間点滅します。



処置方法

シートベルトを着用してください。
→53ページ「正しい着用のしかた」

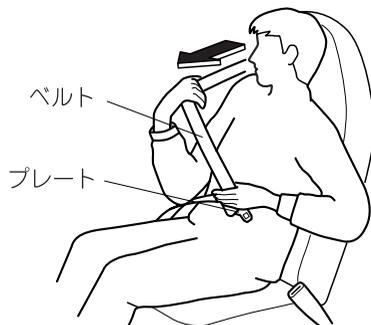
シートベルト着用忘れチャイム

運転席シートベルトを着用していないまま、車速が約20km/h以上になるとしばらくの間チャイムが鳴ります。(鳴り始めると、車速を落としても鳴り続けます。)

運転席シートベルトを着用すると鳴り止みます。

着用するとき

- 1 プレートを持って、ベルトをゆっくり引き出します。



- 2 ベルトを素早く引き出し、ロックされることを確認してください。

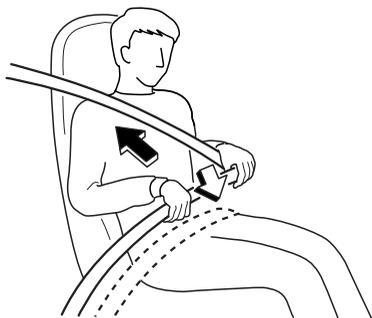
知識

ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを巻き取らせてからゆっくり引き出してください。それでも引き出せないときは、一度ベルトを強く引っ張ってからベルトをゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

- 3 ベルトにねじれがないかを確認してから、プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。

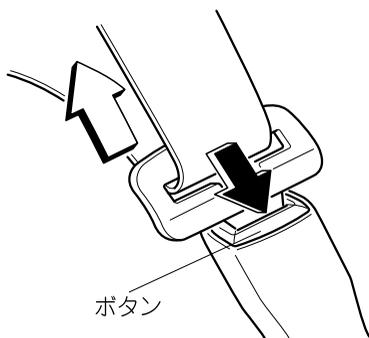


- 4 ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ、たるみが無いようにベルトを引いて身体に密着させます。



はずすとき

はずすときはバックルのボタンを押します。ベルトにねじれがないかを確認しながら、ゆっくりと巻き取らせます。



ボタン

ELR (緊急時固定機構) 付 シートベルト

3点式シートベルトにはELR (緊急時固定機構) が装備されています。シートベルトは身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

プリテンショナー付シートベルト

フロントシートベルトには、プリテンショナー機構が装備されています。車両前方から強い衝撃を受けると、シートベルトを引き込み、シートベルトの効果をより高める装置です。

警告

- シートベルトは正しく着用してください。

正しく着用していないと、プリテンショナー機構の効果が十分に発揮できないため、万一の場合重大な傷害につながるおそれがあります。

- プリテンショナー機構の部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってプリテンショナー機構の回路診断をしないでください。

正常に作動しなくなったり誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

- プリテンショナー機構が装備された車を廃車される場合は、必ずマツダ販売店にご相談ください。

プリテンショナー機構が不意に作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

- プリテンショナー機構は、車両前方から強い衝撃を受けたとき作動しますが、衝撃が弱いと作動しません。
- プリテンショナー機構の作動により、白煙が見えることがあります。火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。プリテンショナー機構作動時の残留物(ガス)が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。
- プリテンショナー機構は一度作動すると、2回目以降の衝突では作動しません。
- プリテンショナー付シートベルトは、一度作動すると再使用できません。事故などにあつたときは、必ずマツダ販売店で点検を受け、作動済みのときは交換してください。

エアバッグ警告灯/ プリテンショナー警告灯

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。次のようなときはシステムの異常が考えられます。

- エンジンスイッチをONの位置にしても点灯しないとき。
- 点滅し続けるとき。
- 点灯し続けるとき。



処置方法

マツダ販売店で点検を受けてください。

警告

- エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯が点灯または点滅したまま走行しないでください。衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。

ロードリミッター付シートベルト

ロードリミッターは、車両前方から強い衝撃を受けたときなど、シートベルトに一定以上の荷重がかからないように作動する装置です。



警告

■ シートベルトは正しく着用してください。

正しく着用していないと、ロードリミッターの効果が十分に発揮できないため、万一の場合重大な傷害につながるおそれがあります。



知識

ロードリミッター付シートベルトは、一度作動すると再使用できません。事故などにあったときは、必ずマツダ販売店で点検を受け、作動済みのときは交換してください。

SRSエアバッグシステムについて

SRSとはSupplemental Restraint System (サブルメンタルレストレイントシステム) の略で、補助乗員保護装置の意味です。

エアバッグは、エンジンスイッチがONの位置のとき車両前方または側方から強い衝撃を受けると瞬間的に膨らみ、運転者および同乗者の頭部や胸部などへの衝撃をやわらげます。

SRSエアバッグシステムはシートベルトの働きに加えて乗員を保護する装置であり、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。



警告

お車に乗る前に

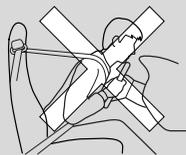
■運転者はもちろん、同乗者も必ずシートベルトを着用してください。

SRSエアバッグシステムはシートベルトと併用することで効果を発揮します。シートベルトを着用していないと、重大な傷害につながるおそれがあります。

シートに座ったときは

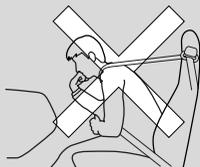
■ハンドル中央部に手を置いたり、顔や身体を近づけたりしないでください。

エアバッグが作動したときに、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



■シートの前端に座ったり、インストルメントパネルにもたれかかったり、手や顔を近づけないでください。

エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



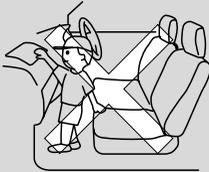
お子さまを乗せるときは

■お子さまはできるだけリヤシートに座らせ必ずシートベルトを着用させてください。

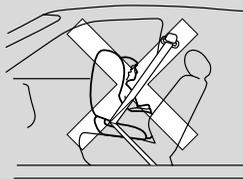
シートベルトが首や顔などに当たったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートをお使いください。

警告

お子さまがエアバッグの前に立っていたり、正しい姿勢で座っていなかったりすると、エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、お子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。

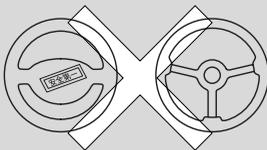


- 助手席には絶対にベビーシートやチャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。エアバッグが膨らむと、ベビーシートやチャイルドシートの背面に強い衝撃が加わり、お子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで移動させてください。助手席側のサンバイザーに、同内容の警告ラベルが表示されています。合わせてご覧ください。



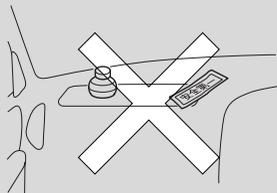
こんなことにも注意

- ハンドルを交換しないでください。また、パッド部にステッカーなどを貼り付けたりしないでください。万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



⚠ 警告

- インストルメントパネル上部にステッカーを貼り付けたり、芳香剤、アクセサリ用品、手荷物などの物を置いたりしないでください。また、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり、エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



■ 車両前部にグリルガードなどを装着しないでください。

SRSエアバッグシステムに影響をおよぼすため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ サスペンションの改造をしないでください。

車高やサスペンションの硬さが変わると、衝撃を正しく検知できないため、エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ SRSエアバッグシステムの部品や配線を修理したり、電気テスターを使って、SRSエアバッグシステムの回路診断をしないでください。

正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

メンテナンスについて

■ 事故後は必ずマツダ販売店で点検を受けてください。

エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故の衝撃でシステム本来の機能を損なっているおそれがあるため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

次のような作業が必要なときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。これらの作業を行なうとエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

- SRSエアバッグの取りはずし、取り付け、分解、修理
- ハンドルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- インストルメントパネルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- フロントシートの交換、取りはずし、取り付け、分解、修理
- 車両前部または側部の修理
- フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部の修理



警告

- オーディオなど用品の取りはずし、取り付け

■車を廃車される場合は、必ずマツダ販売店にご相談ください。
不意にエアバッグが作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

サイドエアバッグについて

- フロントシート背もたれの外側部分に手、足、顔を近づけた姿勢で座らないでください。フロントシートに座ったときは、フロントドアにもたれかかったり、窓から腕を出したりしないでください。また、リヤシートに座ったときはフロントシートの背もたれを抱えないでください。サイドエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



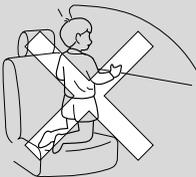
- フロントシートにシートカバーを使用しないでください。シートカバーを使用するとサイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
- フロントドアやフロントシート付近にカップホルダーなどのアクセサリ用品を取り付けしないでください。サイドエアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

■フロントシートの下に荷物などを置かないでください。

フロントシートの下部にあるサイドエアバッグの配線が損傷し、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

カーテンエアバッグについて

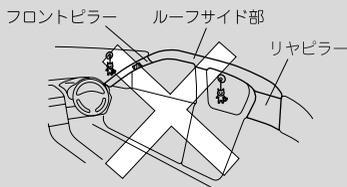
- ドアにもたれかかったり、フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部などに近づかないようにして座ってください。カーテンエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



SRSエアバッグシステム

警告

- フロント窓ガラス、リヤ窓ガラス、フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部、アシストグリップなどカーテンエアバッグ展開部周辺にアクセサリ、ハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



注意

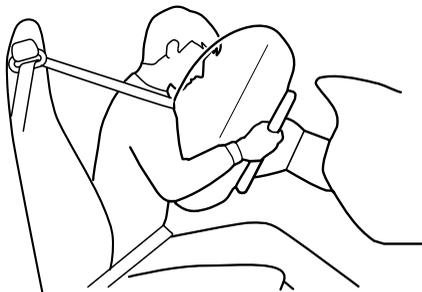
- エアバッグが作動した直後は、しばらくの間エアバッグ取り付け部をさわらないでください。エアバッグが作動すると高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- ドアを閉じるときは窓ガラスが割れるほど強く閉めないでください。サイド/カーテンエアバッグが作動するおそれがあります。

知識

- エアバッグは瞬時に膨らむため、エアバッグとの接触により打撲やすり傷など、けがをするおそれがあります。
- エアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。エアバッグ作動時の残留物(カス)が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。
- エアバッグは一度膨らむと再使用できません。マツダ販売店で交換してください。
- 車をおゆずりになる場合は、必ず次のオーナーにSRSエアバッグシステム装備車であることをお伝えください。
- 助手席エアバッグが膨らむときにフロントガラスが破損することがあります。

運転席エアバッグ

運転席エアバッグはハンドルの中央に格納されています。



助手席エアバッグ

助手席エアバッグはインストルメントパネルに格納されています。

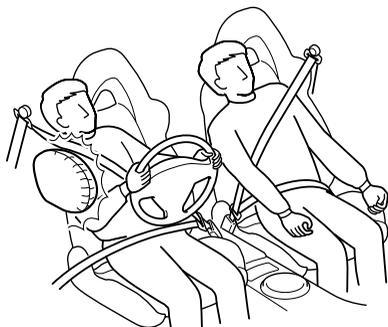
助手席に同乗者がいなくても運転席エアバッグと同時に膨らみます。



サイドエアバッグ☆

サイドエアバッグはフロントシート背もたれの外側部分に格納されています。

乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のサイドエアバッグが膨らみます。



カーテンエアバッグ☆

カーテンエアバッグはフロントピラー、ルーフサイド部に格納されています。

乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のカーテンエアバッグが膨らみます。

ルーフサイド部



フロント
ピラー

作動するとき、しないとき

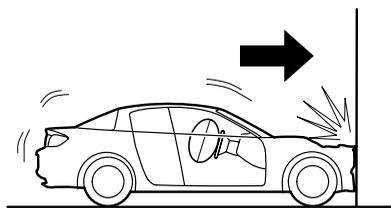
運転席/助手席エアバッグは正面衝突において、サイド/カーテンエアバッグは側面衝突において、強い衝撃を受けたときに作動します。

車体の衝撃吸収ボディー構造により、乗員への衝撃は大きくならない場合があります。したがって、車両の損傷が大きくてもエアバッグが必ずしも作動するとは限りません。

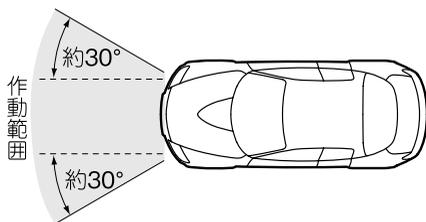
運転席/助手席エアバッグが作動するとき

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

約22km/h以上で固いコンクリートの壁などに正面衝突したときと同じ程度の衝撃を受けたとき

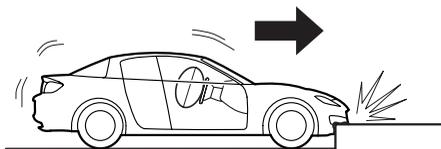


正面衝突など車両の前方左右約30°以内の方向から強い衝撃を受けたとき

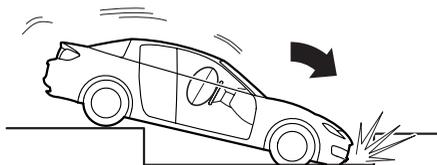


次のようなときには、路面などから車両下部に強い衝撃を受けると作動することがあります。

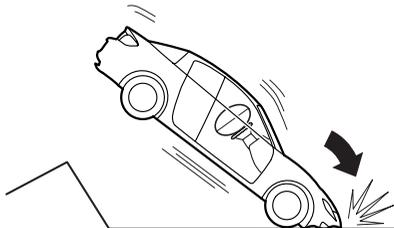
中央分離帯や縁石などに衝突したとき



深い穴や溝に落ちたとき



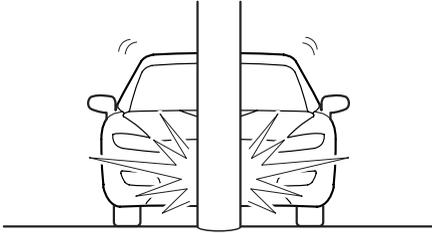
ジャンプなどで地面にぶつかったとき



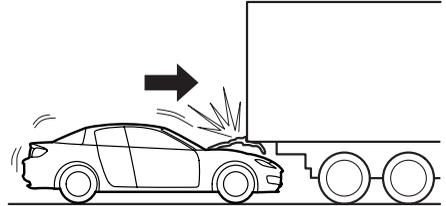
運転席/助手席エアバッグが作動しにくいとき

次のようなときには、衝撃の大きさによって作動しないことがあります。

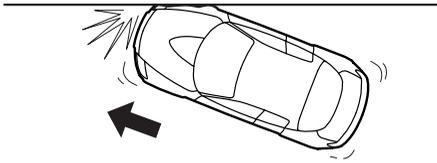
立木や電柱に衝突したとき



トラックの下などに潜り込んだとき



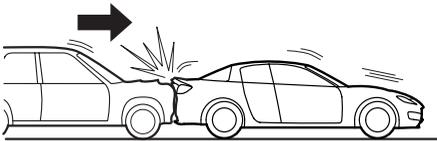
斜め前方に衝突したとき



運転席/助手席エアバッグが作動しないとき

次のようなときには作動しません。

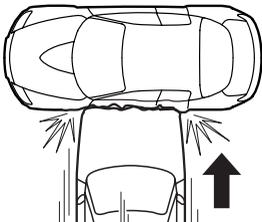
後ろ方向から衝突されたとき



横転や転覆したとき



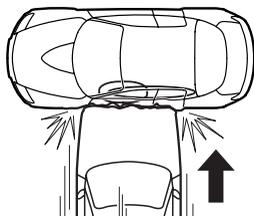
横方向から衝突されたとき



サイド/カーテンエアバッグが作動するとき

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

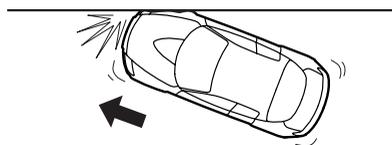
車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)に横方向から衝突されたとき



サイド/カーテンエアバッグが作動しにくいとき

次のようなときには、衝撃の大きさによって作動しないことがあります。

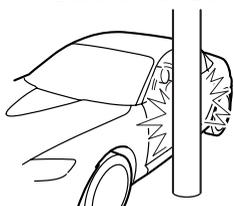
斜め前方に衝突したとき



横転や転覆したとき



車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)から立木や電柱に衝突したとき



2輪車が側面に衝突したとき



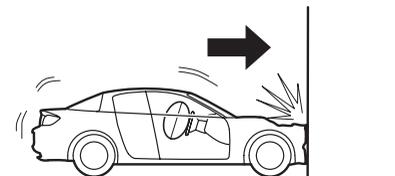
サイド/カーテンエアバッグが作動しないとき

次のようなときには作動しません。

後ろ方向から衝突されたとき



正面衝突したとき



エアバッグ警告灯/ プリテンショナー警告灯

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。

次のようなときはシステムの異常が考えられます。

- エンジンスイッチをONの位置にしても点灯しないとき。
- 点滅し続けるとき。
- 点灯し続けるとき。



処置方法

マツダ販売店で点検を受けてください。

警告

- エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯が点灯または点滅したまま走行しないでください。衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。

EDR(イベントデータレコーダー)

本車両は、SRSエアバッグ制御のためのコンピュータを搭載しています。そのコンピュータは、SRSエアバッグシステムが正常に作動していることを診断するとともに、衝突や衝突に近い状態のとき、以下のデータを記録・蓄積するEDRを装備しています。

記録するデータ

EDRは下記のような情報を記録します。

- 運転者・助手席乗員のシートベルト装着有無
- エアバッグ作動に関する情報(加速度波形等)
- エアバッグシステムの故障診断情報



知識

EDRは会話などの音声や映像は記録しません。

データの開示について

マツダおよびマツダが委託した第三者は、EDRに記録されたデータを、車両衝突安全性能の向上などを目的に取得・利用することがあります。

なお、マツダおよびマツダが委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- お車の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなどの使用者や車が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

ABSについて

ABS(アンチロックブレーキシステム)は、すべりやすい路面での制動時に起こる車輪のロックを防いで車の方向安定性を保ち、操縦性を確保する装置です。

警告

■ ABSを過信せず安全運転に心がけてください。

ABSが作動した状態でも車の方向安定性や操縦性には限界があります。また、次のようなときには、速度をひかえめにし、車間距離を十分にとって運転してください。ABSが装備されていない車に比べて制動距離が長くなることがあるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ジャリ道、新雪道を走行しているとき。
- タイヤチェーンを装着しているとき。
- 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき。
- 凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき。

注意

前後輪とも必ず指定されたサイズや種類のタイヤを装着してください。指定されたサイズや種類以外のタイヤを装着すると、ABSが正常に作動しないことがあります。

知識

- ABSは低速(約10km/h以下)では作動しませんが通常のブレーキ性能は確保されています。
- エンジン始動時や発進直後にモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

ABS装備車の取り扱い

急ブレーキを踏まなくてはならないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけてください。

万一の危険な状況では、次のようにしてください。

- 1] 危険を感じ急制動が必要なときは、ためらわずブレーキペダルをしっかりと踏み込んでください。
- 2] ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルから小刻みな振動を感じる場合があります。これはABSが正常に作動しているときの現象で異常ではありません。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- 3] 障害物を回避するときは、ブレーキペダルを踏みながらハンドルを操作してください。

ABS警告灯

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。システムに異常があるときは点灯し続けます。



処置方法

マツダ販売店で点検を受けてください。



警告

■ ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。

急ブレーキをかけた際、通常より早く後輪がロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



知識

- ABS警告灯が点灯しているときは、ABSが作動しないため、急ブレーキ時やすべりやすい路面での制動時には、車輪がロックすることがあります。
- ABS警告灯が点灯したときは、ABSは作動しませんが通常のブレーキ性能は確保されています。

トラクションコントロールシステム (TCS)

TCSについて★

TCS (トラクションコントロールシステム) は、水にぬれた路面や雪道などのすべりやすい路面での発進や旋回加速時に起こる駆動輪の空転を防ぎ、適切な駆動力と操縦性を確保する装置です。



警告

■ TCSを過信せず安全運転に心がけてください。

TCSが作動した状態でも駆動力の確保や車の操縦性には限界があり、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。



知識

- エンジン回転が高いときにTCSが作動すると、エンジン回転の変動や車体の振動を感じることがありますが、異常ではありません。
- TCSを解除するときは、DSC OFFスイッチを押して解除してください。
→78ページ「DSC OFFスイッチ」

TCS/DSC作動表示灯

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。走行中にTCSまたはDSCが作動すると点滅します。



次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONの位置にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
- 走行中に点灯したとき。

DSCについて★

DSC (ダイナミック・スタビリティ・コントロール) は、すべりやすい路面での走行時や、緊急回避など急激なハンドル操作による車両の横すべりをおさえるため、ABSやTCSなどにより、ブレーキやエンジンの出力を自動的に制御して、車両の安定性を確保する装置です。

73ページの「ABSについて」、75ページの「TCSについて」もあわせてお読みください。



警告

■ DSCを過信せず安全運転に心がけてください。

DSCが作動した状態でも車両の安定性や操縦性には限界があるため、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。特にDSC作動表示灯が点滅しているときは、車両が横すべりしやすい状態になっています。慎重に運転してください。



注意

- 前後輪とも必ず指定されたサイズで、メーカー、銘柄、パターン（溝の模様）が同一のタイヤを装着してください。また、摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。指定以外のサイズや、異なる種類、摩耗差の著しいタイヤを使用すると、DSCが正常に作動しないことがあります。また、タイヤチェーンや応急用スペアタイヤ装着時のように径の異なるタイヤを使用したときは、DSCが正常に作動しないことがあります。
- ハンドルおよびハンドル関連部品の交換/修理は、必ずマツダ販売店にご相談ください。ハンドルには運転操作状態を検出するためのセンサーがあり、ハンドルの中心位置がずれるとDSCが正常に作動しないことがあります。

TCS/DSC作動表示灯

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。走行中にTCSまたはDSCが作動すると点滅します。



次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONの位置にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
- 走行中に点灯したとき。

DSC OFF表示灯

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。

DSC OFFスイッチを押して、TCS/DSCを解除すると点灯します。

DSC OFF

次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONの位置にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
- TCS/DSCを解除していないのに点灯したとき。

知識

バッテリーのターミナルやヒューズの脱着により、バッテリーとの接続が断たれるとDSCが作動しなくなります。(このときDSC OFF表示灯が点滅し、TCS/DSC作動表示灯が点灯します。)

DSCを作動可能な状態にするために、次の操作を行なってください。

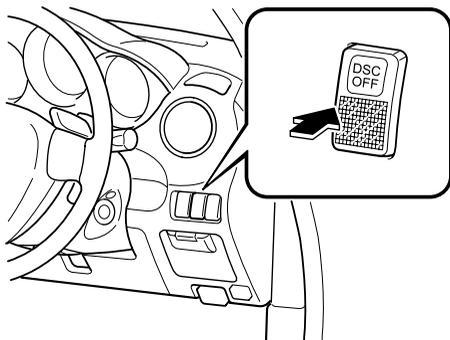
- 1 エンジンスイッチをONの位置にします。
- 2 ハンドルを右いっぱいまでまわし、その後左いっぱいまでまわします。
- 3 DSC OFF表示灯が消灯することを確認します。
- 4 エンジンスイッチをLOCKの位置にし、再度ONの位置にします。
- 5 TCS/DSC作動表示灯が消灯することを確認します。

エンジンスイッチを再度ONの位置にした後でもTCS/DSC作動表示灯およびDSC OFF表示灯が消灯しないときは、マツダ販売店に連絡してください。

DSC OFFスイッチ

スイッチを押すとTCS/DSCが解除され、メーター内のDSC OFF表示灯が点灯します。

もう一度押すとTCS/DSCが作動可能な状態になり、DSC OFF表示灯が消灯します。



📖 知識

- ぬかるみや新雪などからの脱出時にTCSが作動し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出困難なときにTCS/DSCを解除します。
- TCS/DSCを解除した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動するとTCS/DSCは作動可能な状態にもどります。
- TCS/DSCを解除したときも、ブレーキLSD機能は作動します。
- DSC OFFスイッチを長く押し続けると、スイッチの故障検出機能によりTCS/DSCがシステムダウンすることがあります。TCS/DSCがシステムダウンすると、TCS/DSC作動表示灯とDSC OFF表示灯が同時に点灯します。このような場合は、一度エンジンを停止し、エンジンを再始動してください。TCS/DSCが作動可能な状態にもどります。

3 操作と取り扱い

アドバンストキー 80

アドバンストキーについて	80
アドバンストキーレスの機能を使っ ての操作	85
アドバンストキーレスの機能を使わ ない操作	91
アドバンストキー一時停止機能	93
警報	93
設定変更 (カスタマイズ機能)	96
こんなときは	97

各部の開閉 98

ドア	98
パワードアロック	101
トランク	102
パワーウインドー	104
リヤサイドウインドー	108
燃料補給口	108
ボンネット	111

盗難防止システム 113

イモビライザーシステム	113
-------------------	-----

各部の調節 116

ハンドル	116
ドアミラー	116
ルームミラー	118

メーター、警告灯、表示灯の 見方 120

メーター	120
警告灯、表示灯	126
警報音	137

スイッチの使いかた 138

ランプスイッチ	138
方向指示器	141
フォグランプスイッチ	141
ワイパー/ウォッシャースイッチ	142
リヤウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ	145
ホーン	145
非常点滅灯スイッチ	146

運転装置の使いかた 147

エンジンスイッチ	147
エンジンの始動	148
エンジンの停止	150
ブレーキ	151
マニュアルトランスミッション	152
オートマチックトランス ミッション	153
オートマチック車を運転するとき	159

3.操作と取り扱い アドバンストキー

アドバンストキーについて

アドバンストキーを携帯することで、アドバンストキーレス機能(アドバンストキーレスエントリー&スタートシステム)により次の操作をすることができます。

→85ページ「アドバンストキーレスの機能を使っての操作」

- キーを取り出すことなくドアの施錠/解錠、トランクの解錠をする。
- キーを取り出すことなくエンジンを始動する。

アドバンストキーは、アドバンストキーレス機能以外の操作も行うことができます。スイッチまたは補助キーを使用することで、次の操作をすることができます。

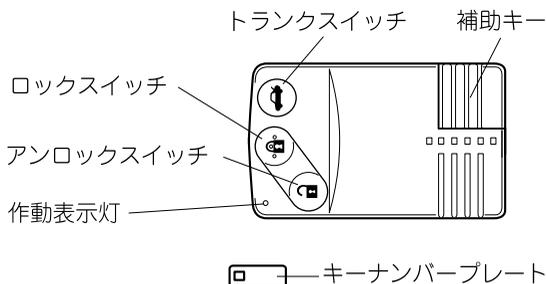
→91ページ「アドバンストキーレスの機能を使わない操作」

- リモートコントロール機能(ロックスイッチ、アンロックスイッチ、トランクスイッチ)でドアの施錠/解錠、トランクの解錠をする。
- 補助キーでドアの施錠/解錠、トランクの解錠またはエンジンの始動をする。

知識

アドバンストキーは必ず運転者が携帯してください。

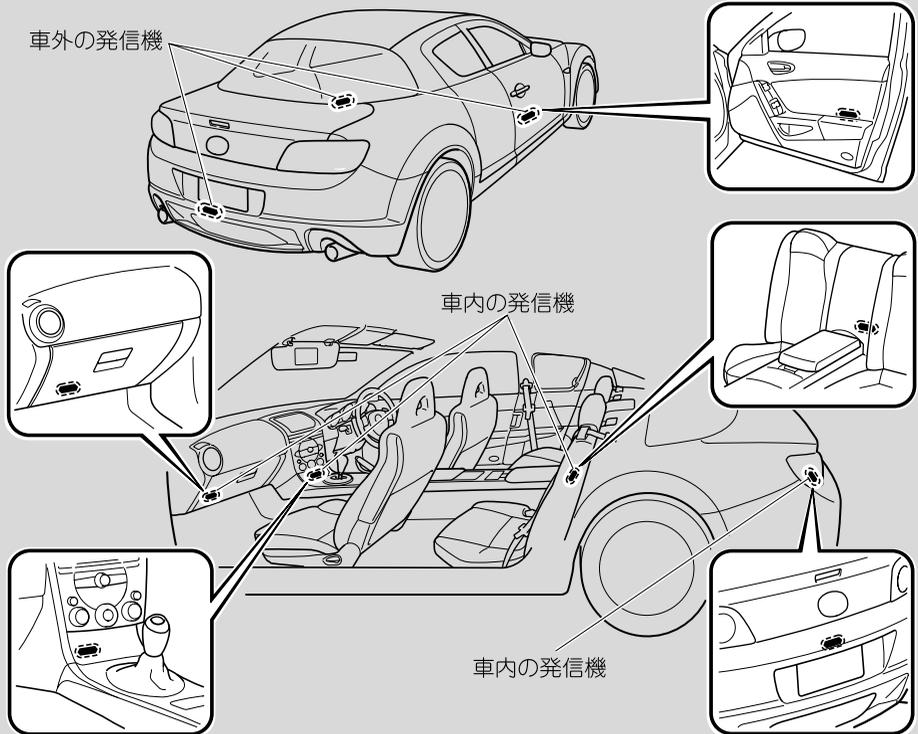
アドバンストキーは2個あります。



警告

■ 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の医療用機器を使用している方は、車内・車外の発信機から約22cm以内に医療用機器が近づかないようにしてください。

電波により、医療用機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。



■ 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用機器を使用している方は、アドバンストキーの電波の影響を医師や医療用電気機器製造業者などに確認してください。

電波が悪影響をおよぼすおそれがあります。

■ アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることもできます。

詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

3.操作と取り扱い アドバンストキー

注意

- アドバンストキーは、微弱な電波を使用しています。次のようなときはアドバンストキーが正常に作動しないことがあります。
 - ・ アドバンストキーを携帯電話などの通信機器と一緒に携帯しているとき
 - ・ アドバンストキーが金属製のものに接したり、おおわれたりしているとき
 - ・ アドバンストキーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
 - ・ 純正品以外の電子機器を取り付けたとき
 - ・ 近くに電波を発する設備があるとき
- アドバンストキーは強い電波を受信すると、それに反応して電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないでください。
- アドバンストキーの故障を防ぐために次のことをお守りください。
 - ・ 強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。
 - ・ 分解しないでください。
 - ・ 重い物を上に置かないでください。
 - ・ インstrumentパネルやボンネットの上など直射日光が当たる場所や高温になる所に放置しないでください。
 - ・ 超音波洗浄器などにかけないでください。
 - ・ 磁気を帯びた製品を近づけないでください。

知識

- 電池の寿命は、約1年程度です。メーターにKEY表示灯(緑)が点滅した場合は、新しい電池と交換してください。
- アドバンストキーは同じ車両で最大6個まで使用することができます。マツダ販売店にご相談ください。
- アドバンストキーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、マツダ販売店にご連絡ください。

キーナンバープレート

お客様以外のかたにキーナンバーを知られないために、キーナンバープレートにキーナンバーを打刻しています。

知識

- キーナンバープレートは車両以外の安全な場所に、大切に保管しておいてください。
- 万一、アドバンストキー（補助キー含む）を紛失したときは、マツダ販売店でキーナンバーをもとにアドバンストキー（補助キー含む）を作ることができます。
- 車両をおゆずりになるときは、次にお使いになるかたのために、すべてのアドバンストキー（補助キー含む）と一緒に、キーナンバープレートを車両につけてお渡しください。

電池の交換

次のようなときは電池残量が少なくなっていることが考えられます。

- エンジンをきったときにメーター内のKEY表示灯（緑）が点滅する
- アドバンストキーの作動表示灯が点灯しない
- どのスイッチを押しても作動しない
- 作動範囲が狭く不安定になる

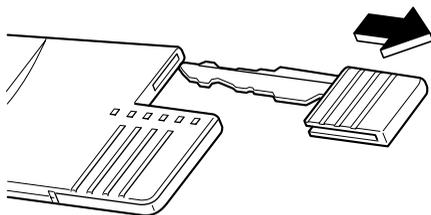
電池交換のとき、アドバンストキーが破損するおそれがあるため、マツダ販売店での交換をおすすめします。お客様自身で電池の交換をする場合は、次の手順で交換してください。

電池の規格: リチウム電池CR2025

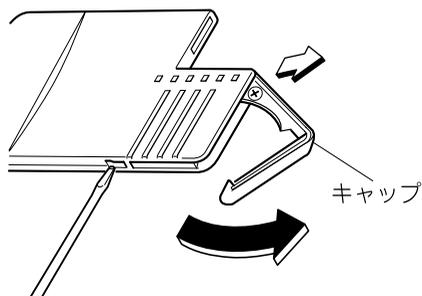
注意

- 電池の+側と-側は必ず正しく取り付けてください。液漏れなどにつながるおそれがあります。
- アドバンストキーの内部にゴミなどを付着させないでください。故障につながるおそれがあります。
- 電池を交換してもアドバンストキーが作動しないときは、マツダ販売店にご相談ください。

1 補助キーを引き出します。



2 マイナスドライバーなどを使って、キャップをまわして取りはずします。

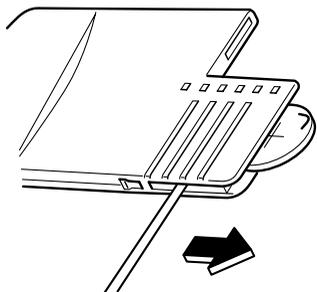


3.操作と取り扱い アドバンストキー

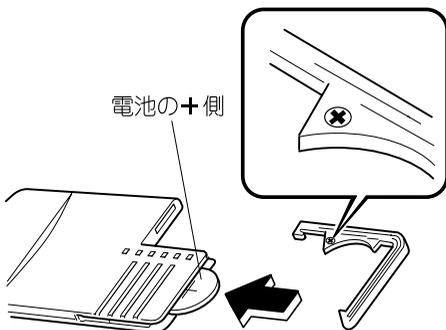
⚠ 注意

キャップをまわしすぎないようにしてください。破損するおそれがあります。

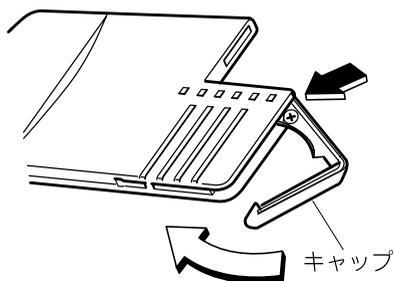
- 3 すき間にマイナスドライバーなどを入れて、電池を取り出します。



- 4 新しい電池の+側を、キャップのプラス表示側にあわせて差し込みます。



- 5 キャップを閉めます。



- 6 補助キーを差し込みます。

アドバンストキーレスの機能を使っ ての操作

作動範囲

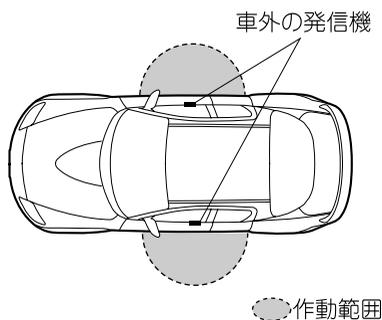
アドバンストキーを携帯し、車内および車外の作動範囲に入り、所定の操作をしたときのみ作動します。

知識

- アドバンストキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。
- 窓ガラスやドアハンドルに近づきすぎた場合などは作動しないことがあります。

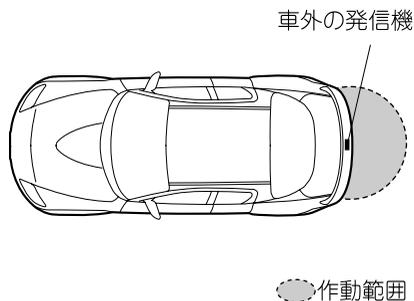
ドアの施錠/解錠

作動範囲は、運転席ドアハンドル、助手席ドアハンドル、トランクの中央部から周囲約80cm以内です。



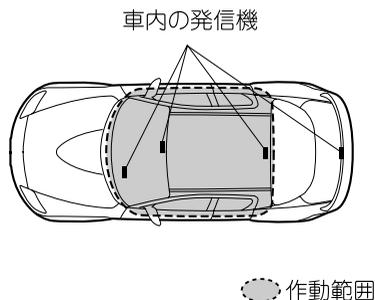
トランクの解錠

作動範囲は、トランクの中央部から周囲約80cm以内です。



エンジンの始動

作動範囲は、車内のほぼ全域です。



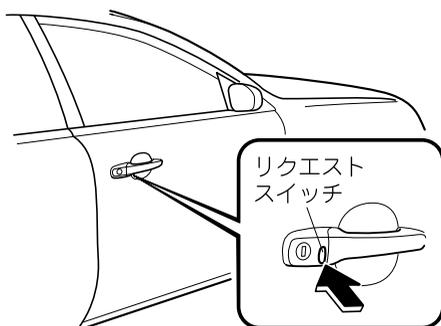
3.操作と取り扱い アドバンストキー

知識

- 荷室は作動範囲外ですが、エンジンの始動が可能になることがあります。
- 次のような場所にアドバンストキーを置くと、エンジンの始動ができない場合があります。
 - ・ インストルメントパネルの周辺
 - ・ グローブボックスや小物入れなど
 - ・ リヤパッケージトリムの上
- 車外でも、ドアや窓ガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になることがあります。エンジンの始動は必ず運転席で行なってください。
- 作動範囲内にアドバンストキーを検知すると、作動表示灯がしばらくの間点滅します。

ドアの施錠/解錠

アドバンストキーを携帯し、ドアのリクエストスイッチを押すと、すべてのドアが施錠/解錠します。



- 施錠したとき
非常点滅灯が1回点滅し、チャイムが1回鳴ります。

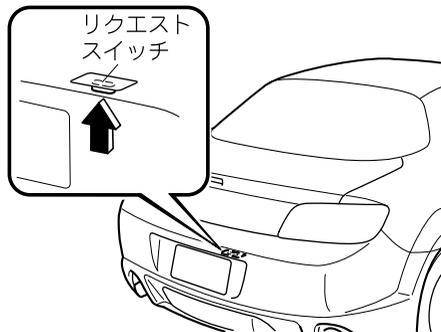
- 解錠したとき
非常点滅灯が2回点滅し、チャイムが2回鳴ります。

知識

- リクエストスイッチで施錠した後は、ドアが確実に施錠されたことを確認してください。
- リクエストスイッチで施錠/解錠すると確認のためチャイムが鳴ります。チャイムは鳴らないようにすることもできます。
→96ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」
- リクエストスイッチを押さずに、自動的に施錠するように設定を変えることができます。
→96ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」
(オートロック機能)
アドバンストキーを携帯してすべてのドアを閉めると、チャイムが1回鳴ります。そのまま作動範囲から出ると約3秒後に自動的に全ドアを施錠します。(作動範囲から出ない場合でも約30秒後に自動的に施錠します。)ただし、車内に別のアドバンストキーがあるときや、ドアが完全に閉まる前に作動範囲を出ると施錠されません。車から離れるときはドアが施錠されたことを必ず確認してください。
- リクエストスイッチを押して解錠した後、約30秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
 - ・ ドアを開ける。
 - ・ 補助キーをエンジンスイッチに差し込む。
 - ・ エンジンスイッチをOFF以外にする。

トランクの開けかた

アドバンストキーを携帯し、トランクのリクエストスイッチを押すと、トランクが開きます。

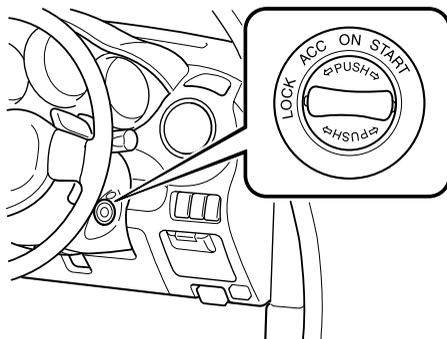


知識

トランク内にアドバンストキーを入れたままトランクリッドを閉めると、トランクは閉まりますが、アドバンストキーの閉じ込みを防止する目的で、リクエストスイッチを押すことにより、トランクを開けることができます。

エンジンの始動

各位置の働き



エンジンスイッチ	働き
LOCK (PUSHしていないとき)	ハンドルがロックされ、車の盗難防止に役立ちます。
LOCK (PUSHしているとき)	メーター内のKEY表示灯(緑)が点灯しているとき、エンジンスイッチをACCの位置までまわすことができます。
ACC	エンジン停止時に、オーディオなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置
START	エンジンを始動する位置

3.操作と取り扱い アドバンストキー

知識

- エンジンスイッチをONの位置にしたとき、燃料タンク付近からフューエルポンプのモーター作動音が聞こえることがあります。異常ではありません。
- エンジンを止めたままで、オーディオなどを長時間使用したり、エンジンスイッチをONまたはACCの位置のまま放置しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ハンドルがロックされているときは、スタートノブをまわしにくいことがあります。ハンドルを左右に動かしながらスタートノブをまわしてください。
- オートマチック車はセレクトレバーの位置がP以外のときは、スタートノブをACCからLOCKの位置にまわすことができません。

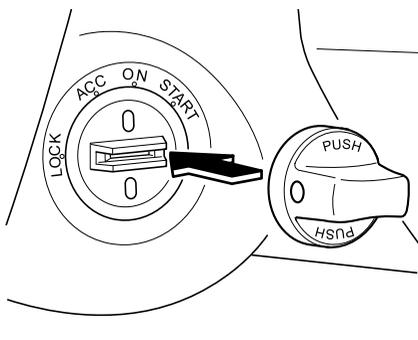
エンジンをかける前に

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- 2 マニュアル車はチェンジレバーがニュートラル位置、オートマチック車はセレクトレバーがPの位置にあることを確認します。
- 3 正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。
- 4 ペダルの踏み間違いのないように、ペダルの位置を確認しておいてください。
→42ページ「正しい運転姿勢」

エンジンをかけるとき

知識

- アドバンストキーは必ず運転者が携帯してください。
- スタートノブがエンジンスイッチから取りはずされているときは取り付けてください。
取り付け後はスタートノブがはずれないことを確認してください。

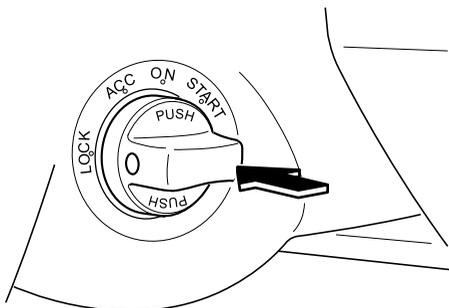


- 1 アドバンストキーを携帯していることを確認します。
- 2 ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 3 マニュアル車は、クラッチペダルをいっばいに踏み込みます。

知識

クラッチペダルをいっばいに踏み込まないとエンジンがかからないようになっていきます。
→148ページ「クラッチスタートシステム」

- 4 スタートノブをゆっくりと奥まで押し込みます。



- 5 メーター内のKEY表示灯 (緑) が点灯するのを確認します。

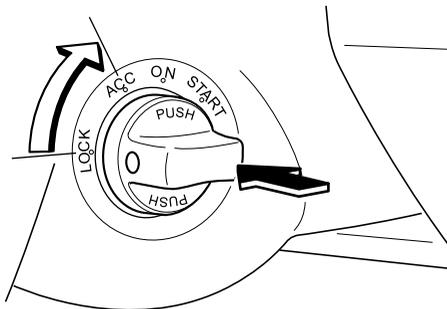


知識

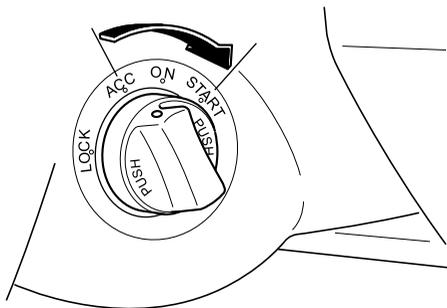
次のようなときはメーター内のKEY警告灯 (赤) が点滅し、エンジンをかけることができません。

- アドバンストキーの電池切れ
- アドバンストキーが作動範囲内でない
- アドバンストキーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき
→85ページ「作動範囲」
- アドバンストキーに類似した他社のキーが作動範囲内にある

- 6 スタートノブを押し込みながら、エンジンスイッチをACCの位置までまわします。



- 7 アクセルペダルを踏まずに、スタートノブをACCの位置からSTARTの位置にまわし、エンジンをかけます。



注意

連続して10秒以上STARTの位置にまわさないでください。スターターの故障やバッテリーあがりの原因になります。エンジンがかからないときは、エンジンスイッチをLOCKの位置にもどし、10秒以上待ってからエンジンをかけなおしてください。

3.操作と取り扱い アドバンストキー

知識

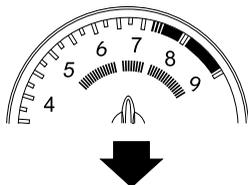
冷間始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。

エンジンをはきるとき

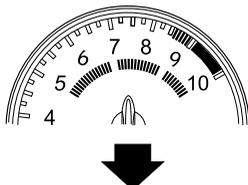
知識

距離の短い走行でエンジンをはきるときは、次回のエンジン始動を良好にするために、タコメーターにある可変レッドゾーンランプが1つ以上消灯した後でエンジンをはきようにしてください。また、水温計の針が動き出す程度までの暖機運転を行うとエンジン始動がより良好となります。

オートマチック車



マニュアル車



- 1 オートマチック車はセレクトレバーをPの位置にします。
- 2 スタートノブをONの位置からACCの位置までまわします。

知識

- エンジンスイッチをACCの位置までもどすとエンジンは停止しますが、バッテリーあがりの原因になりますので、ACCの位置で放置しないでください。
- エンジンをきってエンジンスイッチをACCまたはLOCKの位置にしたとき、アドバンストキーの電池容量が少なくなっていることを感知したら、メーター内のKEY表示灯(緑)が約30秒間点滅します。新しい電池と交換してください。
→83ページ「電池の交換」

- 3 ACCの位置でスタートノブを押し込み、LOCKの位置までまわします。

注意

車から離れるときは、エンジンスイッチがLOCKの位置まで戻っていることを確認してください。

知識

- エンジンスイッチをLOCKの位置までもどすときは、スタートノブをACCの位置で押し込んでまわす必要があります。押し込まずにまわすと、スタートノブはACCの位置で止まるため、そのまま放置するとバッテリーがあがるおそれがあります。車から離れるときは、スタートノブがLOCKの位置にもどっていることを確認してください。
- エンジンスイッチをLOCKの位置まで戻さずに車から離れると、警報やメーター表示でお知らせします。
→93ページ「警報」

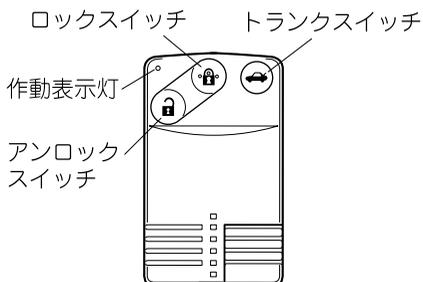
アドバンストキーレスの機能を使わない操作

リモートコントロール機能

リモートコントロール機能を使用すると、車の周囲1m以内ですべてのドアの施錠/解錠、トランクの解錠ができます。スイッチはゆっくりと確実に押してください。

知識

- エンジンスイッチに補助キーを差し込んでいるときは、リモートコントロール機能は作動しません。
- エンジンスイッチがLOCK位置以外のとき、またはスタートノブが押しこまれているときは、リモートコントロール機能は作動しません。
- いずれかのドアが開いているときは、ロックスイッチを押しても施錠しません。
- リモートコントロール機能の作動範囲は、周囲の状況により変わることがあります。車から離れるときは必ず施錠されていることを確認してください。



3.操作と取り扱い

アドバンストキー

ドアの施錠/解錠

ロックスイッチを押すと施錠、アンロックスイッチを押すと解錠されます。

知識

- スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- 施錠したときは、非常点滅灯が1回点滅し、チャイムが1回鳴ります。チャイムは鳴らないようにすることもできます。
→96ページ「設定変更(カスタマイズ機能)」
- 解錠したときは、非常点滅灯が2回点滅し、チャイムが2回鳴ります。チャイムは鳴らないようにすることもできます。
→96ページ「設定変更(カスタマイズ機能)」
- ロックスイッチまたはアンロックスイッチを連続して押すと、非常点滅灯が不規則に点滅することがあります。
- アンロックスイッチを押して解錠した後、約30秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
 - ・ ドアを開ける。
 - ・ 補助キーをエンジンスイッチに差し込む。
 - ・ スタートノブを押し込む。

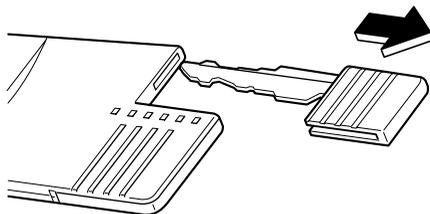
トランクの開けかた

トランクスイッチを約1秒押すと開きます。

補助キー機能

アドバンストキーに内蔵された補助キーを使用します。

補助キーの取りはずしかた



ドアの施錠/解錠

補助キーを操作して、ドアの施錠/解錠ができます。

→98ページ「補助キーによる施錠/解錠」

トランクの開けかた

補助キーを操作して、トランクの解錠ができます。

→103ページ「トランクの開閉」

エンジンの始動

補助キーを操作して、エンジンの始動ができます。

→147ページ「エンジンスイッチ」

アドバンストキー一時停止機能

アドバンストキーが車内またはトランク内にあるとき、車内またはトランク内に置いてあるアドバンストキーの機能(スタートノブでのエンジン始動、リクエストスイッチの操作)が盗難防止のため、一時停止する場合があります。

次のいずれかの操作で復帰させてください。

- 一時停止したアドバンストキーのロックスイッチまたはアンロックスイッチを押す
- 別のアドバンストキーを携帯し、KEY表示灯(緑)が点灯するまでスタートノブを押し込む
- 補助キーを差し込み、エンジンスイッチをONの位置までまわす

警報

システム故障警報

アドバンストキーレス機能になんらかの故障が発生すると、メーター内のKEY警告灯(赤)が点灯し続けます。



注意

KEY警告灯(赤)が点灯し続けるときは、アドバンストキーレス機能による運転を続けないでください。安全な場所に停車し、補助キーによる運転に切り替え、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

→147ページ「エンジンスイッチ」

スタートノブもどし忘れ警報

スタートノブがACCの状態で、運転席ドアを開けると、チャイムが鳴り続け、スタートノブがLOCKの位置にもどっていないことをお知らせします。

3.操作と取り扱い

アドバンストキー

アドバンストキー車外持ち出し警報

次のようなときはチャイムが鳴り、KEY警告灯(赤)が点滅し続け、スタートノブをLOCKの位置にもどさずに、アドバンストキーを車外に持ち出したことを知らせます。KEY警告灯(赤)はアドバンストキーを車内にもどすと消灯します。

- スタートノブをLOCKの位置にもどさずに運転席を開け、アドバンストキーを車外に持ち出したとき(チャイムが3回鳴ります。)
(スタートノブがACCのときは、スタートノブもどし忘れ警報が作動するため、ドアを開けたときからチャイムが鳴り続けます。)
- スタートノブをLOCKの位置にもどさないで、アドバンストキーを車外に持ち出したあと、全てのドアを閉めたとき(チャイムが6回鳴ります。)



知識

アドバンストキーは微弱な電波を使用しているため、金属物と一緒に携帯したり、電波環境の悪い場所に置くと、車外に持ち出されたと認識してしまい、アドバンストキー車外持ち出し警報が作動することがあります。

リクエストスイッチ不作動警報

次のようなとき、アドバンストキーを携帯してドアのリクエストスイッチを押すと、チャイムが6回鳴り、ドアを施錠できないことをお知らせします。

- いずれかのドアが開いているとき
(半ドア状態など)
- スタートノブをロック位置にもどしていないとき
- エンジンスイッチに補助キーを差し込んでいるとき

アドバンストキー電池切れ警報

スタートノブをONの位置からACCまたはLOCKの位置にもどしたとき、KEY表示灯(緑)が約30秒間点滅し、アドバンストキーの電池容量が残り少なくなっていることをお知らせします。アドバンストキーが使用できなくなる前に新しい電池と交換してください。

→83ページ「電池の交換」



知識

電池容量が少なくなっても、KEY表示灯(緑)が点滅しないように設定することができます。

→96ページ「設定変更(カスタマイズ機能)」

エンジン始動不許可警報

次のようなとき、KEY警告灯(赤)が点滅し、スタートノブをLOCKの位置で押し込んでもスタートノブがACCにまわせないことをお知らせします。

- アドバンストキーの電池が切れたとき
- アドバンストキーが作動範囲内にないとき
- アドバンストキーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき
→85ページ「作動範囲」
- アドバンストキーに類似した他社のキーが作動範囲内にあるとき

アドバンストキートランク内 閉じ込み警報

すべてのドアを施錠した状態で、トランク内にアドバンストキーを入れたままトランクを閉めると、チャイムが約10秒間鳴り、アドバンストキーがトランク内にあることをお知らせします。この場合トランクは閉まりますが、リクエストスイッチを押すことによりトランクを開けることができます。トランクから取り出したアドバンストキーは機能しない場合があります。

→93ページ「アドバンストキー一時停止機能」

アドバンストキー車内閉じ込み 警報

アドバンストキーを車内に置いたまま別のアドバンストキーにより施錠すると、チャイムが約10秒間鳴り、アドバンストキーが車内にあることをお知らせします。この場合施錠はできますが、車内のアドバンストキーは機能しない場合があります。

→93ページ「アドバンストキー一時停止機能」

3.操作と取り扱い アドバンストキー

設定変更 (カスタマイズ機能)

以下の機能の設定をマツダ販売店で変更することができます。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

機能	内容	初期設定	変更内容
アドバンストキー電池切れ表示	KEY表示灯 (緑) が点滅し、アドバンストキーの電池残量が少なくなっていることを知らせます。	ON	OFF
施錠/解錠作動確認チャイム	ドアを施錠/解錠すると確認のためチャイムが鳴ります。	ON	OFF
オートロック機能	アドバンストキーを携帯して、すべてのドアを閉めて作動範囲から出ると、約3秒後に自動的にすべてのドアが施錠します。(作動範囲から出ない場合でも、約30秒後に自動的に施錠します。)	OFF	ON

こんなときは

次のようなとき、アドバンストキーの誤操作による車両盗難などを防ぐために、警報およびメーター内の警告灯/表示灯でお知らせします。

→93ページ「警報」

警報	確認すること
ドアを開けたときに、チャイムが「ピーピー、ピーピー、…」と連続で鳴り続けるとき	スタートノブをLOCKの位置にもどし忘れていないか確認してください。
ドアを開けているときに、チャイムが「ピーピー、ピーピー、…」と3回鳴り、メーター内のKEY警告灯(赤)が点滅しているとき	アドバンストキーを車外に持ち出していないか確認してください。
ドアを閉めたときに、チャイムが「ピピッ、ピピッ、…」と6回鳴り、メーター内のKEY警告灯(赤)が点滅しているとき	アドバンストキーを車外に持ち出していないか確認してください。
ドアを施錠しようとしたとき、またはトランクを閉めたときに、チャイムが「ピピッ、ピピッ、…」と約10秒間鳴るとき	アドバンストキーを車内、またはトランクに置き忘れていないか確認してください。
ドアを施錠しようとしたときに、チャイムが「ピピッ、ピピッ、…」と6回鳴るとき	スタートノブをLOCKの位置にもどし忘れていないか確認してください。
	いずれかのドアが開いていないか確認してください。
メーター内のKEY表示灯(緑)が点滅しているとき	アドバンストキーの電池残量が少なくなっています。新しい電池と交換してください。 →83ページ「電池の交換」
メーター内のKEY警告灯(赤)が点灯し続けているとき	アドバンストキーが故障しています。安全な場所に停車して、補助キーによる運転に切り替え、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

3.操作と取り扱い 各部の開閉

ドア

⚠ 注意

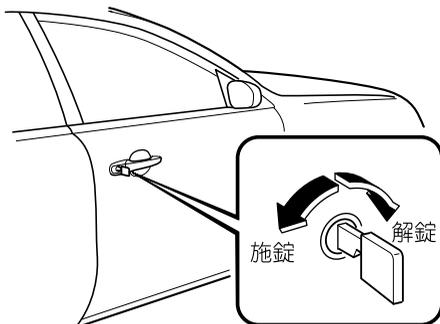
強風時にドアを開閉するときは、注意して開閉してください。ドアが風にあおられると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

車から離れるときは、必ずエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

補助キーによる施錠/解錠

補助キーを差し込み、まわします。



アドバンストキーレス機能による施錠/解錠

アドバンストキーを携帯して操作すると、施錠/解錠できます。

→85ページ「アドバンストキーレスの機能を使っての操作」

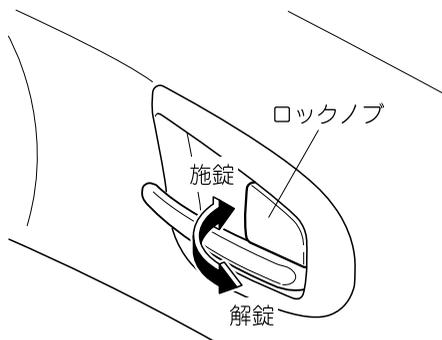
リモートコントロール機能による施錠/解錠

リモートコントロール機能を使用すると、施錠/解錠できます。

→91ページ「リモートコントロール機能」

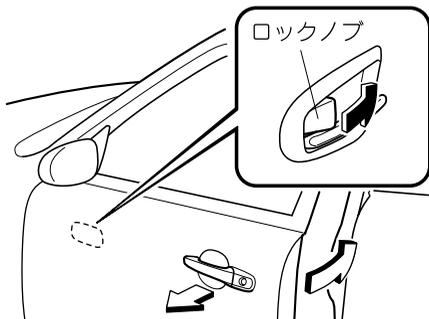
ロックノブによる施錠/解錠

車内のロックノブを押すと施錠し、引くと解錠します。



車外から操作するとき

車内のロックノブを施錠側にし、車外のドアハンドルを引いたままドアを閉めます。



知識

- 運転席ドアはキーの閉じ込みを防止するために、この方法では施錠できません。
- キーの閉じ込みを防止するために、キーを持っていることを確認してから施錠してください。

フリースタイルドア

フリースタイルドアはフロントドアとリヤドアを観音開き式に開閉するドアです。

知識

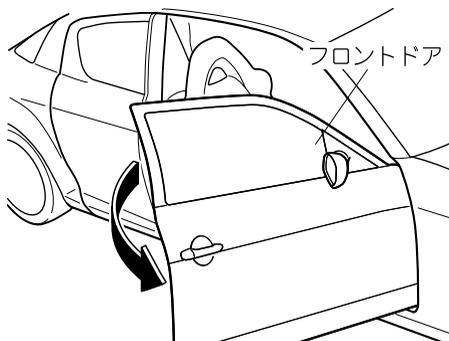
フロントドアが閉まっている状態ではリヤドアを開けることができないため、チャイルドブルーフ機構は装備されていません。

開けるとき

警告

ドアを開けるときは、周囲の安全を確認してください。ドアを急に開けると、後続車や歩行者がぶつかるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 1 フロントドアを開けます。



3.操作と取り扱い 各部の開閉

- ② リヤドアハンドルを引いて、リヤドアを開けます。



⚠ 注意

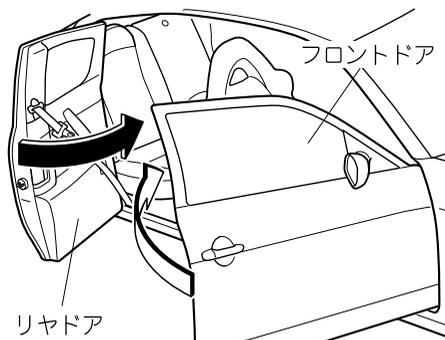
リヤドアを操作しているときは、フロントドアを閉めないでください。リヤドアを操作中にフロントドアを閉めると、リヤドアハンドルが押しもどされて指などにけがをしたり、リヤシートへ乗り降りしている乗員がドアに頭をぶつけてけがをするおそれがあります。

📖 知識

- フロントドアが開まっているときは、リヤドアを開けることはできません。
- リヤドアを開ける前に、フロントシートベルトをはずしていることを確認してください。シートベルトが着用されたままリヤドアを開けると、ベルトがロックして引き出せなくなるため、リヤドアを開けられません。
- いずれかのドアが1時間以上開いたままだとフロントシートベルトがロックします。フロントシートベルトがロックしてリヤドアが開かないときは、一旦すべてのドアを閉めてから再度リヤドアを開けてください。

閉めるとき

- ① リヤドアを閉めてから、フロントドアを閉めます。



⚠ 注意

リヤドアを操作しているときは、フロントドアを閉めないでください。リヤドアハンドル操作中にフロントドアを閉めると、リヤドアハンドルが急に押しもどされて指をけがするおそれがあります。

📖 知識

リヤドアが閉まっていないと、フロントドアを閉めることはできません。

- ② ドアが確実に閉まっていることを確認します。



警告

- ドアを閉めたあとは、確実に閉まっていることを確認してください。半ドアのまま走行すると、走行中に不意にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行する前にすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。リヤドアが半ドアのままではフロントドアが確実に閉まらないため、走行中不意にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

パワードアロック

同時に助手席のドアの施錠/解錠ができません。

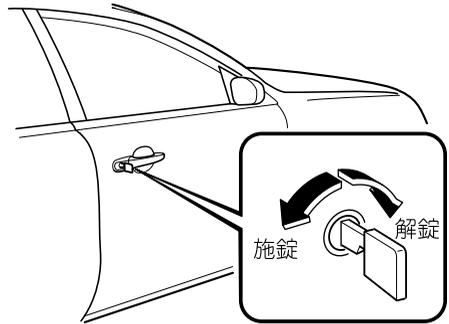


知識

いずれかのドアが開いていると施錠できません。

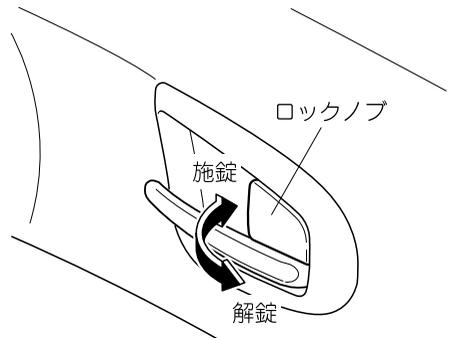
補助キーによる施錠/解錠

運転席ドアに補助キーを差し込み、まわします。



ロックノブによる施錠/解錠

運転席ドアのロックノブを操作します



3.操作と取り扱い 各部の開閉

アドバンストキーレス機能による施錠/解錠

アドバンストキーを携帯して操作すると、施錠/解錠できます。

→85ページ「アドバンストキーレスの機能を使っての操作」

リモートコントロール機能による施錠/解錠

リモートコントロール機能を使用すると、施錠/解錠できます。

→91ページ「リモートコントロール機能」

トランク



警告

- トランクルーム内に人を乗せないでください。

トランクルームに閉じ込められると中から開けられません。また、急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。

- トランクリッドは必ず閉めてから走行してください。

開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



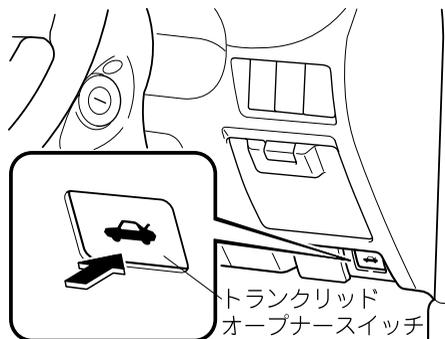
注意

- トランクルームの荷物を出し入れするときは、エンジンを止めてください。排気熱によりやけどをするおそれがあります。
- トランクリッドを開けるときは、トランクリッドを全開にしてください。トランクリッドを途中で止めると、振動や突風などでトランクリッドが閉まり、けがをするおそれがあります。

トランクリッドの開閉

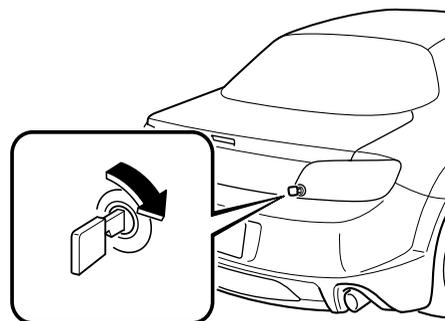
車内から開けるとき

運転席右下にあるトランクリッドオープナースイッチを押します。



車外から開けるとき

キーを差し込み、右側にまわします。



アドバンストキーレス機能による解錠

アドバンストキーを携帯して操作すると、開きます。

→85ページ「アドバンストキーレスの機能を使っての操作」

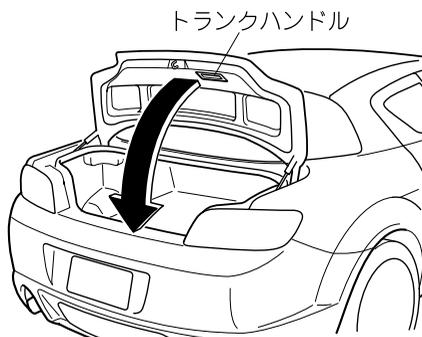
リモートコントロール機能による解錠

リモートコントロール機能を使用すると、開きます。

→91ページ「リモートコントロール機能」

閉めるとき

トランクリッドをゆっくり下げて、押さえつけるように閉めます。ハンドルを使用すると便利です。



警告

トランクリッドを閉めたあとは、トランクリッドをゆさぶって確実にロックされていることを確認してください。走行中にトランクリッドが開くと、荷物などが落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

トランクリッドを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。万一、手などをはさまると、けがをするおそれがあります。

3.操作と取り扱い 各部の開閉

トランクルームランプ

トランクリッドを開けると、トランクルームランプが点灯します。

知識

エンジンを停止しているときに、トランクを長時間開けたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

パワーウィンドー

エンジンスイッチがONの位置のとき、パワーウィンドースイッチを操作すると窓ガラスの開閉ができます。

警告

■ 窓ガラスを閉めるときは、同乗者の手や頭をはさまないように注意してください。

また、特にお子さまには十分気をつけてください。

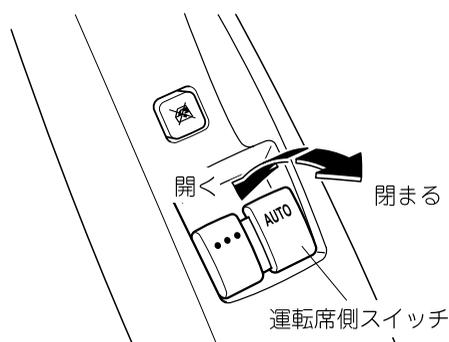
万一、手や頭をはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

■ お子さまにパワーウィンドースイッチの操作をさせないでください。

万一、手や頭をはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

運転席窓ガラスの開閉

スイッチを押している間は開き、引き上げている間は閉まります。



クイックリフレッシュ機能

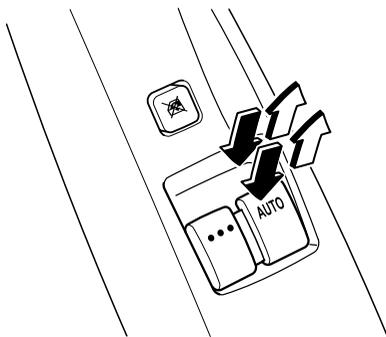
全閉しているとき、スイッチを軽くワンタッチするだけで、窓枠から約3cm開くことができます。車内を換気したいときなどに便利です。

知識

全閉しているとき、スイッチを軽く押ししていると、窓枠から約3cm開いたところで一旦止まります。そのまま押し続けると、再び開き始めます。

クイックリフレッシュ機能の解除

- 1 エンジンスイッチをONの位置にして、5秒以内に次の操作を完了させます。
運転席側スイッチを強く2回押し、強く2回引き上げます。



- 2 エンジンスイッチをLOCKの位置にします。
- 3 エンジンスイッチをLOCKの位置にしてから40秒以内に、エンジンスイッチをONの位置にして、5秒以内に次の操作を完了させます。
運転席側スイッチを強く2回押し、強く2回引き上げます。

知識

- 時間内に操作が完了しなかったり、途中で他の操作をすると解除できません。一度エンジンスイッチをLOCKの位置にして、始めからやり直してください。
- 操作しても解除できないときは、マツダ販売店にご相談ください。

クイックリフレッシュ機能の復帰

クイックリフレッシュ機能が解除されている状態で、もう一度クイックリフレッシュ機能の解除の操作をすると、復帰します。

知識

操作しても復帰できないときは、マツダ販売店にご相談ください。

自動開閉機構

スイッチを強く押すと自動で全開し、強く引き上げると自動で全閉します。途中で止めるときは、スイッチを逆方向に軽く操作します。

知識

車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたときは、自動で全開/全閉できなくなります。次の操作で復帰させてください。

- 1 エンジンスイッチをONの位置にします。
- 2 スイッチを押して窓ガラスを全開にします。
- 3 スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続けます。

3.操作と取り扱い 各部の開閉

はさみ込み防止機構

閉めるときに、窓ガラスと窓枠との間に異物のはさみ込みを感知すると、窓ガラスが閉まるのを停止し、自動的に途中まで開きます。



注意

次の場合には、はさみ込み防止機構が作動しないため、指などをはさまないように注意してください。万一、指などをはさむと、けがをするおそれがあります。

- 窓ガラスが閉まりきる直前
- スイッチを引き続けたままの状態



知識

- はさみ込み防止機構は次のようなときに作動します。
 - ・ エンジンスイッチがONの位置で窓ガラスを自動で閉めているとき。
 - ・ エンジンスイッチをLOCKまたはACCの位置にしてから約40秒の間に窓ガラスを閉めているとき。
- 走行条件や環境により、窓ガラスに異物をはさんだときと同じ衝撃または荷重が加わると、はさみ込み防止機構が作動することがあります。

万一、はさみ込み防止機構が作動し、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを引き続けてください。窓ガラスを閉めることができます。

キーOFF後作動機構

エンジンスイッチをACCまたはLOCKの位置にしたあとでも、約40秒間は開閉することができます。



知識

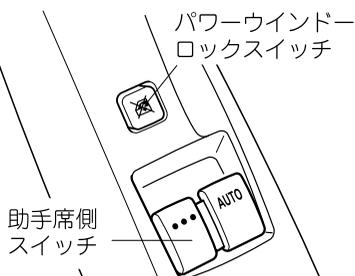
クイックリフレッシュ機能は作動しません。

助手席窓ガラスの開閉

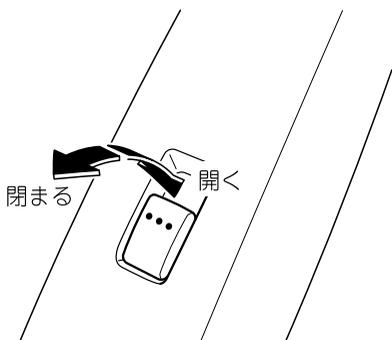
運転席ドアにあるパワーウィンドーロックスイッチをアンロックの位置にしているとき開閉できます。

知識

運転席ドアにある助手席側スイッチからも操作できます。

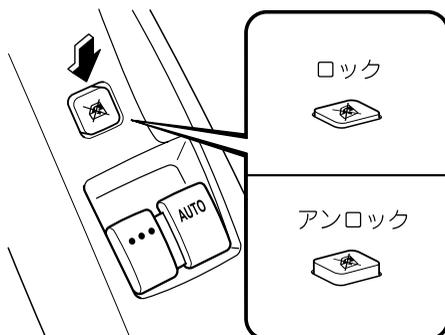


スイッチを押している間は開き、引き上げている間は閉まります。



パワーウィンドーロックスイッチ

- ロックの位置のとき
助手席窓ガラスは開閉できません。
- アンロックの位置のとき
全ての窓ガラスの開閉ができます。



警告

- お子さまが同乗しているときは、パワーウィンドーロックスイッチをロックの位置にしておいてください。

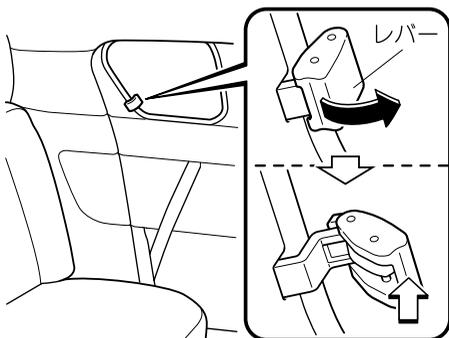
お子さまが誤って操作したとき、手や首などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

3.操作と取り扱い 各部の開閉

リヤサイドウィンドー

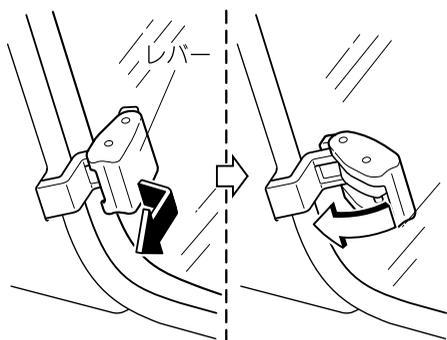
開けるとき

- 1 レバーを手前に引き、窓ガラスを外側に押しながら開けます。
- 2 レバーを押さえてロックします。



閉めるとき

- 1 レバーを手前に引き、窓ガラスを閉めます。
- 2 レバーを押さえてロックします。



燃料補給口

警告

■ 燃料補給時には必ずエンジンを止めてください。
火災につながるおそれがあります。

■ 燃料を補給するときは、必ず次の点を守ってください。
身体に静電気を帯びたまま作業をすると、放電による火花で燃料に引火、爆発し重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- 燃料補給作業は必ず一人で行ない、補給口に他の人を近づけないでください。
- 静電気を除去するため、フューエルキャップを開ける前には、車体または給油機などの金属部分に触れてください。
- 静電気の放電を防ぐため、フューエルキャップの開閉は必ずツマミ部分を持って行なってください。
- 再帯電を防ぐため、燃料を補給する人は給油中に車内のシートに座らないでください。

■ 燃料補給口にはタバコなどの火気を近づけないでください。
火災につながるおそれがあります。

■ 給油ノズルは確実に給油口へ差し込んでください。
給油ノズルが確実に差し込まれていないと、オートストップの作動が遅れ、燃料が吹きこぼれるおそれがあります。

警告

- 給油ノズルのオートストップ作動後は、追加給油しないでください。

オートストップ作動後に追加給油すると、燃料があふれ出るおそれがあります。

- ドアや窓を必ず閉めて燃料を補給してください。

火災になった場合、室内に燃え広がるおそれがあります。

- 気化した燃料を吸い込まないように注意してください。

人体に有害な成分を含んでいる燃料があります。特にアレルギー体質の方は、注意してください。

注意

- 指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しないでください。

→278ページ「燃料」

有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、軽油、アルコール系燃料を補給すると次のような悪影響をおよぼします。

- ・ エンジンや燃料系部品が損傷したり、最悪の場合車両火災につながるおそれがあります。
 - ・ エンジンの始動性が悪くなるおそれがあります。
 - ・ ノッキングが発生したり、エンジンの出力が低下するおそれがあります。
- 燃料補給作業中に、燃料を車にこぼさないようにしてください。燃料が付着すると変色、シミ、塗膜はがれの原因となります。

注意

- 燃料を補給する際には、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

知識

- 無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合、無鉛レギュラーガソリンをお使いになることもできますが、エンジンの性能を十分発揮できないことがあります。また、エンジン始動時やアクセルペダルを踏み込んだときに、異音が聞こえることがあります。
- バイオ燃料混合ガソリンをお使いになることもできます。バイオ燃料混合ガソリンは、日本工業規格 (JIS) や「揮発油等の品質の確保に関する法律」が定めたガソリンの規格に合致しており、製品として使用に問題ないことが確認されています。バイオ燃料混合ガソリンの商品名としては「バイオ・ガソリン」、および「いい！スリー」の2つがあり、いずれの製品も使用できます (商品マーク参照)。



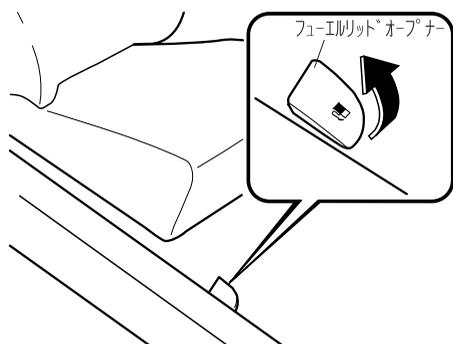
3.操作と取り扱い 各部の開閉

燃料補給口は車の左側後方にあります。
燃料計の指針が“E”に近づいたら、早めに
燃料を補給してください。
使用燃料とタンク容量は次のとおりです。

使用燃料	タンク容量 (参考値)
無鉛プレミアム(無鉛ハイ オク)ガソリン	65L

フューエルリッドの開閉

運転席右下にあるフューエルリッドオープ
ナーを引くと開きます。



閉めるときはフューエルリッドが確実に
ロックするまでフューエルリッドを押しつ
けます。

フューエルキャップの開閉



警告

■ フューエルキャップを開けるときは、ゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まってから取りはずしてください。

急に開けると、燃料が噴き出すことがあるため火災につながったり、目や皮膚に付着すると傷害につながるおそれがあります。

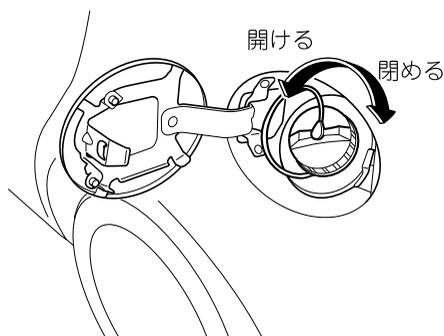
■ フューエルキャップは、確実に閉めてください。

キャップが確実に閉まっていないと、走行中に燃料がもれ、火災につながるおそれがあります。



注意

純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。燃料装置や排出ガス発散抑止装置などの故障につながるおそれがあります。

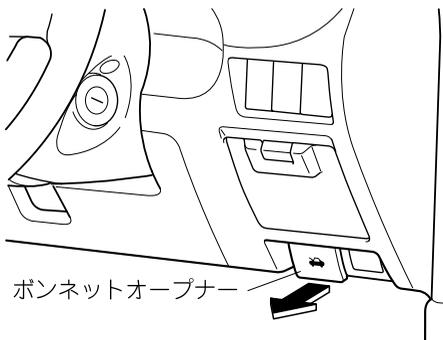


キャップを閉めるときは、カチッ、カチッと2回以上音がするまで締め付けてください。

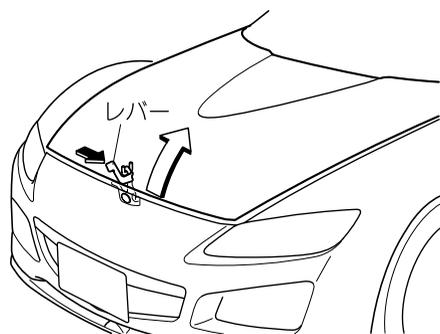
ボンネット

開けるとき

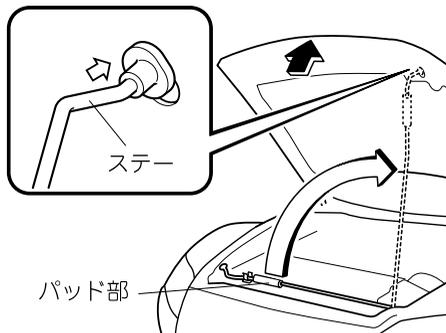
- 1 運転席右下にあるボンネットオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。



- 2 ボンネットのすき間に手を入れ、レバーを押したままボンネットを持ち上げます。

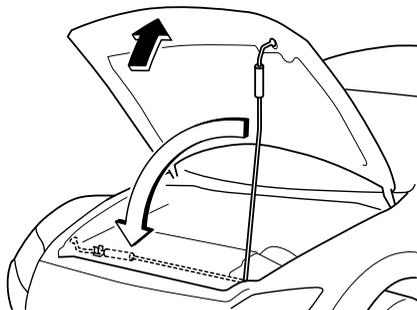


- 3 パッド部を持ってステーを起こし、矢印で示すボンネットのステー穴に差し込んで固定します。



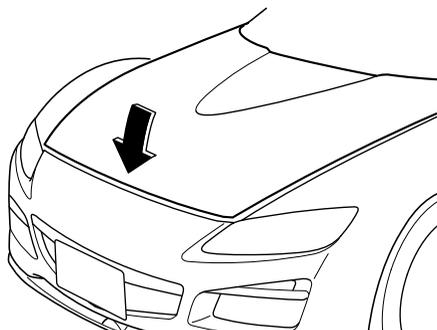
閉めるとき

- 1 エンジンルームに工具などが残されていないことを確認します。
- 2 ボンネットを手でささえ、ステーをはずし、もとの位置に固定します。



3.操作と取り扱い 各部の開閉

- 3] ボンネットをゆっくりおろし、手を離します。ボンネットの先端の中央部をガチッと音がするまで押しつけ、確実に閉めます。



警告

■ ボンネットが確実に閉まっていることを確認してください。

走行中にボンネットが開くと視界がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

- ボンネットを閉めるときは、手などはさまないように注意してください。万一、手などはさむと、けがをするおそれがあります。
- エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

イモビライザーシステム

イモビライザーシステムはアドバンストキーに信号発信機を内蔵し、あらかじめ登録されたアドバンストキー以外ではエンジンを始動できないようにした車両盗難防止装置です。

注意

キーの故障を防ぐために次のことをお守りください。

- 強い衝撃をあてたり、ぬらしたりしないでください。
- 磁気を帯びた製品を近づけないでください。
- インstrumentパネルやボンネットの上など直射日光があたる場所や高温になる所に放置しないでください。

知識

アドバンストキーの電池切れや故障などにより、補助キーでエンジンを始動するとき、次のような状態にしないでください。車両が補助キーからの信号を正確に受信できず、エンジンが始動できない場合があります。

- キーグリップ部に他のキーの金属部や金属製のものが接している
- 補助キーにスペアの補助キーや他の車両の盗難防止システムキー（信号発信機内蔵のもの）が重なっている、または近くにある
- 補助キーの近くに電子部品を含んだ製品やクレジットカードなどの磁気カードがある

システム作動

エンジンスイッチをONからACCまたはLOCKの位置にすると作動します。システムが作動している間はセキュリティ表示灯が点滅します。



システム解除

登録されたアドバンストキーでエンジンスイッチをONの位置にすると、システムが解除され表示灯が約3秒間点灯した後消灯します。

表示灯が消灯せず点灯または点滅し続けるときは、システムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

知識

- アドバンストキーを車内でも感知しにくい場所に置いておくと、エンジンの始動ができず、セキュリティ表示灯が点灯/点滅する可能性があります。
→85ページ「作動範囲」
アドバンストキーを別の場所に置いて、エンジンスイッチをLOCKの位置にもどし、再度エンジンを始動してください。

3.操作と取り扱い

盗難防止システム



知識

- テレビ、ラジオ、トランシーバー、携帯電話などからの電波はイモビライザーシステムの作動に支障をあたえることがあります。登録されたアドバンストキーでもエンジンが始動しないときは、セキュリティ表示灯を確認してください。表示灯が点滅している場合は、エンジンスイッチをACCまたはLOCKの位置にもどし、しばらく待って再度エンジンを始動させてください。3回以上行なってもエンジンが始動しないときはマツダ販売店に連絡してください。
- セキュリティ表示灯が点灯/点滅したままの状態ではエンジンを停止すると、再度エンジンを始動することができません。運転中にセキュリティ表示灯が点灯/点滅した場合は、エンジンを停止せずマツダ販売店で点検を受けてください。
- イモビライザーシステムを修理するときはコードを再登録するためにアドバンストキー（補助キー含む）が必要です。お手持ちのすべてのアドバンストキー（補助キー含む）をマツダ販売店に持参してください。

メンテナンスについて

イモビライザーシステムまたはアドバンストキーに異常が見られる場合はマツダ販売店にご相談ください。



知識

- アドバンストキーを紛失したときのために、スペアのアドバンストキーを保管しておいてください。万一紛失したときはすぐにマツダ販売店にご相談ください。
- アドバンストキーには特有の電子コードが含まれていますので、マツダ販売店以外でアドバンストキーを追加することはできません。
- アドバンストキー（補助キー含む）を紛失した場合、盗難防止のため、イモビライザーシステムに登録されているアドバンストキーのコードをマツダ販売店で消去できます。消去した後に、今後使用するアドバンストキーを再登録する必要がありますので、お手持ちのすべてのアドバンストキー（補助キー含む）をマツダ販売店へ持参してください。登録されていないアドバンストキーではエンジンを始動することができません。

作動保証について

次のような場合はイモビライザーシステムの作動を保証できません。

- イモビライザーシステムを改造した場合。
- イモビライザーシステムに付加部品を取り付けた場合。



注意

車両の故障を防ぐために、システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。

ハンドル

警告

■ 調節は必ず走行前に行なってください。

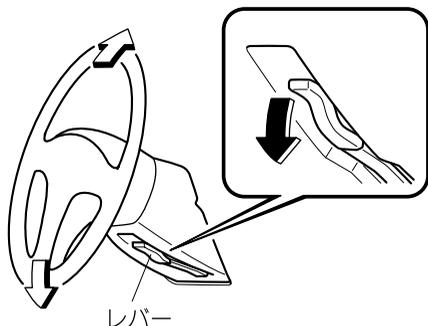
走行中に調節すると、運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 調節後は、ハンドルを上下にゆさぶり、確実にロックされていることを確認してください。

走行中ハンドルが不意に動くと運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

角度調節

ハンドル操作が適切にできる位置に調節することができます。



- 1 レバーを下げて、ハンドルを適切な位置に調節します。
- 2 調節後は、レバーを押し上げてロックします。

ドアミラー

警告

■ 調節は走行前に行なってください。

走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

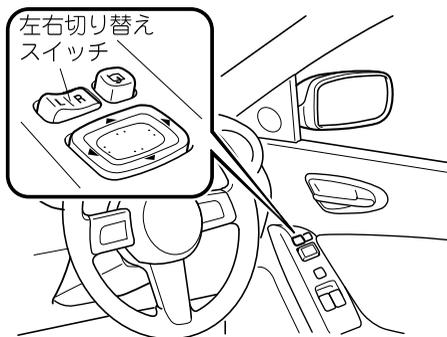
知識

ドアミラーに映る像の距離感覚は、実際より遠くに見えます。車線変更するときは、必ず肩越しに目視して後続車との距離を確認してください。

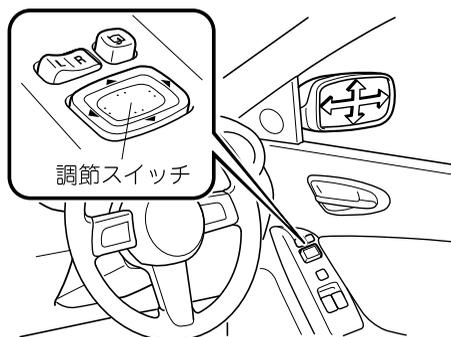
角度調節

エンジンスイッチがACCまたはONの位置のとき調節ができます。

- 1 左右切り替えスイッチの右側（運転席側）または左側（助手席側）を押します。



- 2 調節スイッチを押して、後方が十分確認できるように調節します。



- 3 ミラーの調節後は、左右切り替えスイッチを中立位置にもどします。

格納するとき

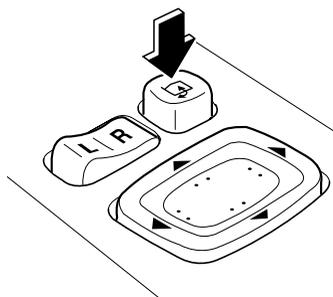
注意

- ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができなくなります。
- 手動で格納することもできますが、もともにもどすときにはスイッチで操作してください。手動でもともにもどすと、ミラーが固定されず後方確認ができなくなります。

エンジンスイッチがACCまたはONの位置のときに格納できます。

格納スイッチを押すと格納されます。

もう一度押すともともどります。

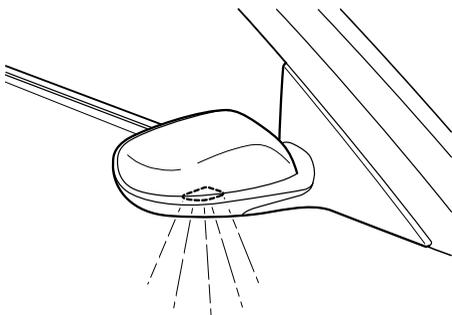


3.操作と取り扱い 各部の調節

グラウンドイルミネーション ランプ

イルミネーテッドエントリーシステムの作
動により点灯/消灯します。

→192ページ「イルミネーテッドエントリー
システム」



ルームミラー



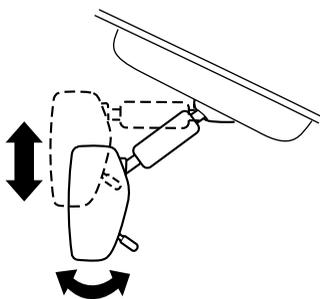
警告

■ 調節は走行前に行なってください。

走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ
事故につながるおそれがあります。

角度/高さ調節

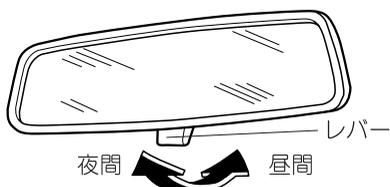
ミラー本体を動かして、後方が十分確認でき
るように調節します。



防眩切り替え

通常は、レバーを前方に押した状態にします。

夜間など、後続車のヘッドランプがまぶしいときは、レバーを手前に引いて調節します。

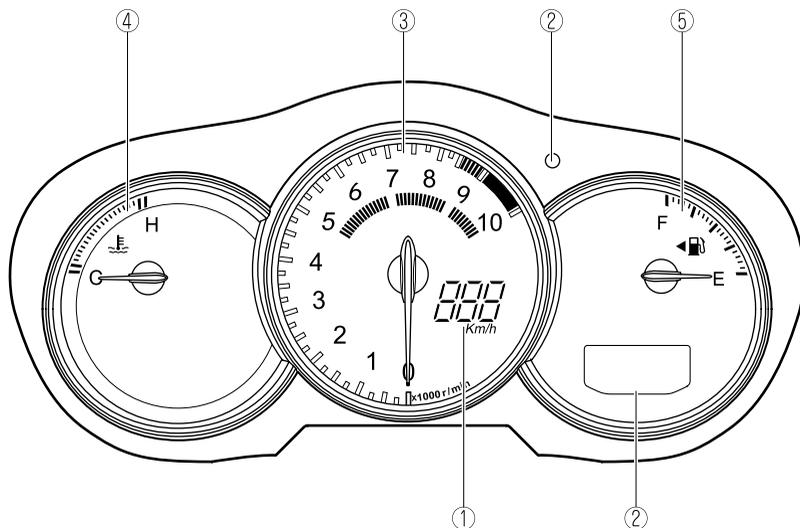


メーター、警告灯、表示灯の見方

メーター

メーターはグレードや仕様により異なります。

エンジンスイッチをONの位置にするとメーター照明が点灯します。

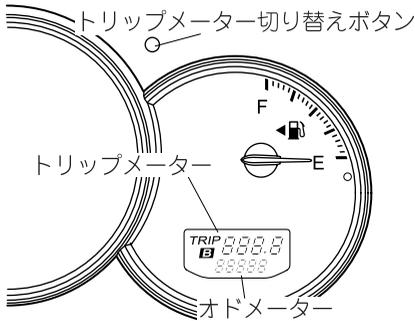


① スピードメーター	121ページ
② オドメーター/トリップメーター	121ページ
③ タコメーター	121ページ
④ 水温計	122ページ
⑤ 燃料計	123ページ

スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

オドメーター/トリップメーター



オドメーター

走行した総距離をkm単位で示します。

トリップメーター

一定区間の走行距離をkm単位で示します。
(右側の数字は100m単位です。)

2種類 (TRIP A、TRIP B) の区間距離を計測することができます。たとえば、TRIP Aモードで給油してからの距離を測りながら、TRIP Bモードで出発してからの距離を測ることができます。

エンジンスイッチがONの位置のとき、トリップメーター切り替えボタンを押すごとに、TRIP A、TRIP Bが切り替わります。

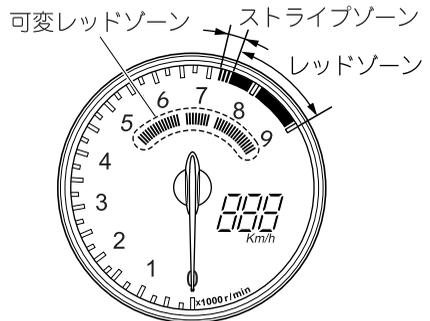
トリップメーターを“0.0”にもどすときは、それぞれのモードのとき、トリップメーター切り替えボタンを1秒以上押します。

知識

- エンジンスイッチがACCまたはLOCKの位置のとき、オドメーター/トリップメーターは表示されませんが、次のようなときは、トリップメーター切り替えボタンが機能します (ボタンを操作するとトリップメーターは切り替え/リセットされます)。
 - エンジンスイッチをONの位置からACCまたはLOCKの位置にした後の約10分間。
 - ドアを閉めた状態から開けた状態にした後の約10分間。
- 次のようなときは、トリップメーターの表示が“0.0”にもどります。
 - 車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき。
 - 走行距離が999.9kmを超えたとき。

タコメーター

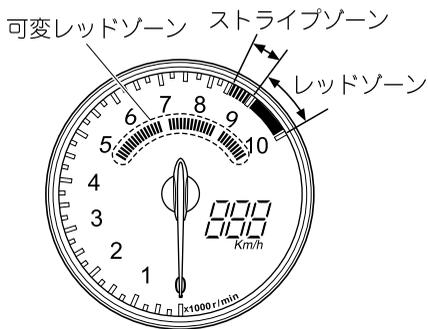
1分間あたりのエンジンの回転数を示します。
オートマチック車



3.操作と取り扱い

メーター、警告灯、表示灯の見方

マニュアル車



⚠ 注意

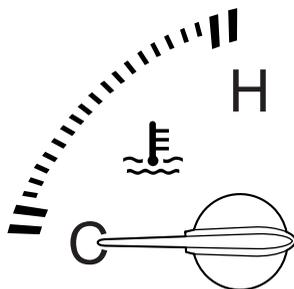
指針がレッドゾーン（許容回転数以上を示す）にはいらないように運転してください。エンジンの故障につながるおそれがあります。

📖 知識

- 指針がストライプゾーンにはいると、ブザーが鳴りエンジンの過回転を知らせます。
- 可変レッドゾーンは、冷却水の温度によって、表示が変化します。冷却水の温度が低いときは、エンジン保護のためレッドゾーンより低いエンジン回転数で燃料の供給を停止し、エンジン回転数が上がらないようにしています。

水温計

エンジンスイッチがONの位置のとき、エンジン冷却水の温度を示します。

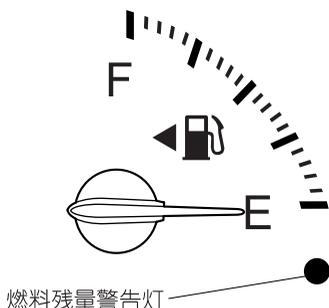


⚠ 注意

指針が“H”付近を示したときはオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。そのまま走行を続けると、エンジンの故障につながるおそれがあります。
→224ページ「オーバーヒートについて」

燃料計

エンジンスイッチがONの位置のとき、燃料の残量を示します。



指針が“E”に近づいたら、早めに燃料を補給してください。

→108ページ「燃料補給口」

知識

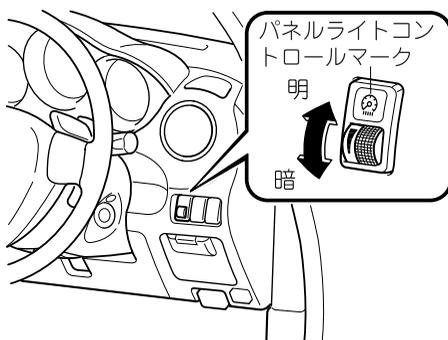
- 燃料補給後は、指針が安定するまでしばらく時間がかかる場合があります。また、坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、指針が振れることがあります。
- 矢印(📍)は燃料補給口が助手席側にあることを示します。
- 燃料タンク内の燃料残量が10L前後になった時に点灯します。点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。
- 走行状況や車両姿勢によっては、タンク内の燃料が移動する為、警告灯の点灯タイミングが変わる場合があります。

パネルライトコントロールスイッチ

メーターおよびインストルメントパネルの明るさを調節できます。

知識

- インストルメントパネルの明るさは、ランプスイッチが●または☉の位置のとき調節できます。
- メーター照明の明るさは、ランプスイッチの位置に関係なく調節できます。



減光解除機能

ランプスイッチを●または☉の位置にすると、メーターおよびインフォメーションセンターディスプレイが減光されます。減光状態でメーターやインフォメーションセンターディスプレイが見えにくいときは、減光を解除してください。

パネルライトコントロールスイッチを上にいっぱいまでまわすと、“カチッ”と音がして減光が解除されます。



知識

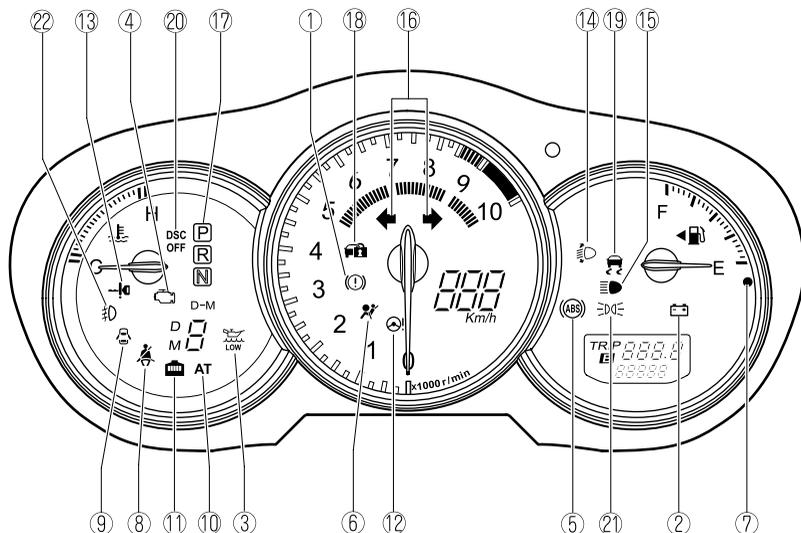
- パネルライトコントロールマーク^④はパネルライトコントロールスイッチを示しています。
- ナビゲーションシステム装備車は、パネルライトコントロールスイッチの操作によりナビゲーションディスプレイが昼画面と夜画面で切り替わります。詳しくは、別冊の「ナビゲーションシステム取扱書」をお読みください。
- パネルライトコントロールスイッチが減光解除位置のときは、ランプスイッチを●または^③の位置にしてもメーターおよびインフォメーションセンサーディスプレイは減光されません。



メーター、警告灯、表示灯の見方

警告灯、表示灯

メーターはグレードや仕様により異なります。



- | | |
|--|--|
| ① ブレーキ警告灯 127ページ | ⑫ 電動パワーステアリング
警告灯 132ページ |
| ② 充電警告灯 128ページ | ⑬ KEY警告灯 (赤)/KEY表示灯 (緑)
(アドバンストキー-装備
車) 132ページ |
| ③ 油量警告灯 128ページ | ⑭ ヘッドランプオートレベリング
警告灯 133ページ |
| ④ エンジン警告灯 129ページ | ⑮ ヘッドランプ上向き
表示灯 133ページ |
| ⑤ ABS警告灯 129ページ | ⑯ 方向指示/
非常点滅表示灯 134ページ |
| ⑥ エアバッグ警告灯/
プリテンショナー
警告灯 130ページ | ⑰ セレクトレバー位置表示灯
(オートマチック車) 134ページ |
| ⑦ 燃料残量警告灯 130ページ | ⑱ セキュリティ表示灯 135ページ |
| ⑧ シートベルト警告灯 131ページ | ⑲ TCS/DSC作動表示灯
(DSC装備車) 135ページ |
| ⑨ 半ドア警告灯 131ページ | |
| ⑩ オートマチックトランスミッション
警告灯
(オートマチック車) 131ページ | |
| ⑪ 冷却水量警告灯 131ページ | |

- ⑩ DSC OFF表示灯
(DSC装備車) 135ページ
- ⑪ 車幅灯表示灯 136ページ
- ⑫ フォグランプ表示灯 136ページ

ブレーキ警告灯



点灯するとき

- エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- パーキングブレーキをかけているときは点灯します。パーキングブレーキを解除すると消灯します。
- 次のようなときは点灯し続けます。ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。
 - ・ ブレーキ液が不足しているとき。
 - ・ ブレーキ装置 (電子制御制動力配分システム) に異常があるとき。
 - ・ ブレーキスイッチに異常があるとき。☆

警告

■ ブレーキ警告灯が点灯したまま走行しないでください。

ブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。また停車するときは、ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあるため、ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。

■ ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。

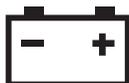
急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

3.操作と取り扱い

メーター、警告灯、表示灯の見方

充電警告灯

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。エンジン回転中、充電装置に異常があると点灯します。



処置方法

ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。



警告

■ 充電警告灯が点灯したまま走行しないでください。

エンジンが不意に停止して思わぬ事故につながるおそれがあります。

油量警告灯

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。エンジン回転中、エンジンオイルの量が少なくなるとしばらくの間点滅した後点灯します。システムに異常がある場合は、点滅し続けます。



知識

エンジンオイルの量が少なくなったときには、点滅の間、ブザーでもお知らせします。

→137ページ「油量警告ブザー」



処置方法

警告灯が点滅から点灯したとき

ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。オイルが不足しているときは、補充してください。

エンジンオイルの点検、補充については255ページ「エンジンオイルの点検、補充」を参照してください。

オイルが不足していないのに点灯するときや、補充しても点灯し続けるときは、マツダ販売店に連絡してください。



注意

油量警告灯が点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



知識

日常点検としてエンジンオイルの量を定期的に点検してください。RENESISロータリーエンジンは、コンパクトで高出力のエンジンですが、構造上少量のエンジンオイルをエンジン内で消費しています。お客様のお車には油量警告灯が装備されていますが、エンジンオイルレベルゲージによるエンジンオイル量の定期的な点検をお勧めします。エンジンオイルの量は、エンジンオイルレベルゲージの上限と下限の間にある量が適しています。

警告灯が点滅し続けるとき

高速走行をせず、マツダ販売店で点検を受けてください。

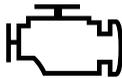


知識

システムの異常により点滅し続けている油量警告灯は、エンジンを停止すると、エンジンを始動したとき、再度点滅するまでに数分かかる場合があります。

エンジン警告灯

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。エンジン制御システムに異常があると点灯し続けます。



処置方法

高速走行をせず、マツダ販売店で点検を受けてください。



知識

- 点検を受けるときは、エンジン警告灯が点灯したときの走行状態をマツダ販売店にご連絡ください。
- エンジンスイッチをONの位置にしたままエンジンを始動しないしていると、エンジン警告灯が点滅することがありますが異常ではありません。エンジンを始動すると消灯します。

ABS警告灯

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。システムに異常があるときは点灯し続けます。



処置方法

マツダ販売店で点検を受けてください。



警告

- ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。

急ブレーキをかけた際、通常より早く後輪がロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



知識

- ABS警告灯が点灯しているときは、ABSが作動しないため、急ブレーキ時やすべりやすい路面での制動時には、車輪がロックすることがあります。
- ABS警告灯が点灯したときは、ABSは作動しませんが通常のブレーキ性能は確保されています。

3.操作と取り扱い

メーター、警告灯、表示灯の見方

エアバッグ警告灯/ プリテンショナー警告灯

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。次のようなときはシステムの異常が考えられます。

- エンジンスイッチをONの位置にしても点灯しないとき。
- 点滅し続けるとき。
- 点灯し続けるとき。



処置方法

マツダ販売店で点検を受けてください。



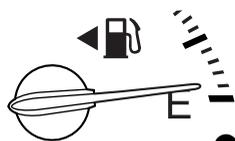
警告

■ エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯が点灯または点滅したまま走行しないでください。

衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。

燃料残量警告灯

エンジンスイッチがONの位置のとき、燃料が少なくなると点灯します。



燃料残量警告灯

知識

- 燃料タンク内の燃料残量が10L前後になった時に点灯します。点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。
- 走行状況や車両姿勢によっては、タンク内の燃料が移動する為、警告灯の点灯タイミングが変わる場合があります。

処置方法

燃料を補給してください。

→108ページ「燃料補給口」

シートベルト警告灯

エンジンスイッチがONの位置のとき、運転席シートベルトを着用していないと点灯します。

また、車速が約20km/h以上になるとしばらくの間点滅します。



処置方法

シートベルトを着用してください。
→53ページ「正しい着用のしかた」

半ドア警告灯

ドア、トランクが確実に閉まっていないと点灯します。



処置方法

ドア、トランクを確実に閉めてください。



警告

■半ドア警告灯が点灯したまま走行しないでください。
走行中にドア、トランクが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチックトランス ミッション警告灯 (オートマチック車)

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
走行中、システムに異常があると点灯します。

AT

処置方法

マツダ販売店で点検を受けてください。

冷却水量警告灯

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
冷却水の量が少なくなると点灯します。



処置方法

ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止め、冷却水の量を点検してください。冷却水が不足しているときは、補充してください。冷却水の点検、補充については別冊のメンテナンスノートに記載しています。
冷却水が不足していないのに点灯するときや、補充しても点灯し続けるときは、マツダ販売店に連絡してください。

メーター、警告灯、表示灯の見方

電動パワーステアリング警告灯

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。
エンジン回転中、電動パワーステアリングに異常があると点灯します。



処置方法

警告灯が点灯したときは、一度エンジンを停止してください。再度エンジンを始動したとき、警告灯が消灯していればパワーステアリングは正常に作動します。

エンジンを始動した後も警告灯が点灯している場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

知識

- 警告灯が点灯したときは、電動パワーステアリングは正常に作動しません。この場合、ステアリング操作は可能ですが、通常に比べて操作が重くなります。
- 停車中または低速走行時にステアリング操作を繰り返すと、システム保護のためステアリング操作が重くなる場合がありますが、異常ではありません。安全な場所に停車してステアリング操作を行わず、しばらくするとともにとります。

KEY警告灯 (赤)/KEY表示灯 (緑) (アドバンストキー装備車)



KEY警告灯 (赤)

点灯するとき

- エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- アドバンストキーレス機能になんらかの故障が発生すると点灯し続けます。



注意

KEY警告灯 (赤) が点灯し続けるときは、アドバンストキーレス機能による運転を続けないでください。安全な場所に停車し、補助キーによる運転に切り替え、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。
→147ページ「エンジンスイッチ」

点滅するとき

- 次のようなとき、警告灯が点滅し、スタートノブをLOCKの位置で押し込んでもスタートノブがACCにまわせないことをお知らせます。
 - アドバンストキーの電池が切れたとき
 - アドバンストキーが作動範囲内でないとき
 - アドバンストキーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき
→85ページ「作動範囲」
 - アドバンストキーに類似した他社のキーが作動範囲内にあるとき

- 次のようなときは警告灯が点滅し続け、スタートノブをLOCKの位置にもどさずに、アドバンストキーを車外に持ち出したことを知らせます。アドバンストキーを車内にもどすと消灯します。
 - ・ スタートノブをLOCKの位置にもどさずに、運転席ドアを開け、アドバンストキーを車外に持ち出したとき
 - ・ スタートノブをLOCKの位置にもどさずに、アドバンストキーを車外に持ち出したあと、すべてのドアを開めたとき

知識

警告灯の点滅と同時にチャイムでもお知らせします。
→93ページ「警報」

KEY表示灯(緑)

点灯するとき

スタートノブをLOCKの位置で押し込んだとき、正規のアドバンストキーが車内にあることを確認できると点灯し、スタートノブをACCにまわすことができることを知らせます。

→87ページ「エンジンの始動」

点滅するとき

アドバンストキーの電池容量が残り少なくなっていると、スタートノブをONの位置からACCまたはLOCKの位置にもどしたときに、30秒間点滅します。アドバンストキーが使用できなくなる前に新しい電池と交換してください。

→83ページ「電池の交換」

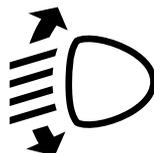
知識

電池容量が少なくなっても、KEY表示灯(緑)が点滅しないように設定することができます。

→96ページ「設定変更(カスタマイズ機能)」

ヘッドランプオートレベリング警告灯

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。



警告灯が点灯し続けるときはヘッドランプオートレベリング機能の異常が考えられます。

マツダ販売店で点検を受けてください。

ヘッドランプ上向き表示灯

ヘッドランプを上向き(ハイビーム)にすると点灯します。

→140ページ「ヘッドランプの切り替え」

→140ページ「パッシング合図」



メーター、警告灯、表示灯の見方

方向指示/非常点滅表示灯

方向指示灯/非常点滅灯を作動させると点滅します。

→141ページ「方向指示器」

→146ページ「非常点滅灯スイッチ」



点滅が異常に速くなったときは、電球切れが考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

セレクトレバー位置表示灯 (オートマチック車)

エンジンスイッチがONの位置のとき、使用中のセレクトレバーのセット位置を示します。



D-M



ギヤ位置表示

オートマチック車は、マニュアルモードまたはダイレクトモードのとき、使用しているギヤ位置を表示します。

→154ページ「マニュアルモード」

→158ページ「ダイレクトモード」

セキュリティ表示灯

エンジンスイッチをONからACCまたはLOCKの位置にすると作動します。システムが作動している間はセキュリティ表示灯が点滅します。

→113ページ「イモビライザーシステム(アドバンストキー装備車)」



登録されたキー/アドバンストキーでエンジンスイッチをONの位置にすると、システムが解除され表示灯が約3秒間点灯した後消灯します。

表示灯が消灯せず点灯または点滅し続けるときは、システムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

TCS/DSC作動表示灯 (DSC装備車)

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。走行中にTCSまたはDSCが作動すると点滅します。



次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONの位置にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
- 走行中に点灯したとき。

DSC OFF表示灯 (DSC装備車)

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。

DSC OFFスイッチを押して、TCS/DSCを解除すると点灯します。

DSC OFF

次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONの位置にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。

3.操作と取り扱い

メーター、警告灯、表示灯の見方

- TCS/DSCを解除していないのに点灯したとき。



知識

バッテリーのターミナルやヒューズの脱着により、バッテリーとの接続が断たれるとDSCが作動しなくなります。(このときDSC OFF表示灯が点滅し、TCS/DSC作動表示灯が点灯します。)

DSCを作動可能な状態にするために、次の操作を行なってください。

- 1 エンジンスイッチをONの位置にします。
- 2 ハンドルを右いっぱいまでまわし、その後左いっぱいまでまわします。
- 3 DSC OFF表示灯が消灯することを確認します。
- 4 エンジンスイッチをLOCKの位置にし、再度ONの位置にします。
- 5 TCS/DSC作動表示灯が消灯することを確認します。

エンジンスイッチを再度ONの位置にした後でもTCS/DSC作動表示灯およびDSC OFF表示灯が消灯しないときは、マツダ販売店に連絡してください。

フォグランプ表示灯☆

フォグランプを点灯させると点灯します。



車幅灯表示灯

車幅灯、尾灯が点灯すると点灯します。



警報音

ブレーキパッド摩耗警報

走行中にブレーキペダルを踏んだとき、警報(キーキーという金属音)を発生し、ブレーキパッドが残り少ないことを運転者に知らせます。

ブレーキパッドが少なくなるとブレーキの効が悪くなり危険です。警報が発生したときは、ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。

キー抜き忘れ防止チャイム

キーまたは補助キーを差し込んだまま、エンジンスイッチをLOCKまたはACCの位置にして運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りキーまたは補助キーの抜き忘れを知らせます。

ランプ消し忘れ防止チャイム

ランプを点灯させたまま、エンジンスイッチからキーまたは補助キーを抜いて(アドバンストキーレス機能使用時は、エンジンスイッチをLOCKの位置にして)、運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りランプの消し忘れを知らせます。

リバースポジションチャイム (オートマチック車)

エンジンスイッチがONの位置のとき、セレクトレバーをRにいれるとチャイムが鳴り、セレクトレバーがRにはいつていることを運転者に知らせます。

車外の人には聞こえないので注意してください。

エンジン過回転警告ブザー

タコメーターの指針がストライプゾーンにはいると、ブザーが鳴りエンジンの過回転を知らせます。

→121ページ「タコメーター」

シートベルト着用忘れチャイム

運転席シートベルトを着用していないまま、車速が約20km/h以上になるとしばらくの間チャイムが鳴ります。(鳴り始めると、車速を落としても鳴り続けます。)

運転席シートベルトを着用すると鳴り止みます。

アドバンストキーレス警報☆

アドバンストキーレス機能を誤って使用した場合や、使用上の注意が必要な場合にチャイムとメーターの表示灯で知らせます。

→93ページ「警報」

油量警告ブザー

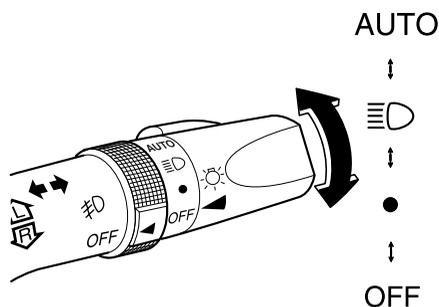
エンジンオイルの量が少なくなると、油量警告灯が点滅している間ブザーがなります。点灯するとブザーが鳴り止みます。システムに異常があり点滅し続けるときは、ブザーが鳴りません。

→128ページ「油量警告灯」

3.操作と取り扱い スイッチの使いかた

ランプスイッチ

ランプの点灯/消灯



手で使うとき

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。

ランプスイッチをまわすと、各ランプが点灯/消灯します。

スイッチ位置	OFF	●	≡▷
ヘッドランプ	消灯	消灯	点灯
車幅灯、尾灯、 番号灯	消灯	点灯	点灯

自動で使うとき (オートライト機能)

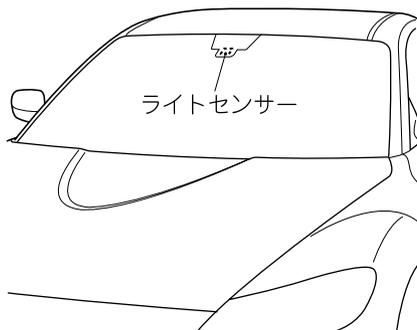
エンジンスイッチがONの位置のとき使用できます。

ランプスイッチをAUTOの位置にすると、周囲の明るさに応じてランプが自動で点灯/消灯します。

周囲の明るさ	明るい	薄暗い	暗い
ヘッドランプ	消灯	消灯	点灯
車幅灯、尾灯、 番号灯	消灯	点灯	点灯

⚠ 注意

- フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてライトセンサーを覆わないでください。センサーが周囲の明るさを正確に感知できなくなります。



- ライトセンサーはオートワイパー機能のレインセンサーの役割も果たしています。ワイパーレバーがAUTOの位置で、エンジンスイッチがONの位置のときはワイパーが自動で作動することがあります。手や指などを挟まないよう気をつけてください。万一手や指を挟むと、けがやワイパーの故障につながるおそれがあります。
→ 142ページ「フロントワイパー/ウォッシャー」

知識

- エンジンを停止しているときに、ランプを点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ヘッドランプ、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありませぬ。ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、マツダ販売店にご相談ください。
- 長いトンネルやトンネル内での渋滞、屋内駐車場など、周囲が暗い状態が数分間続くとライトセンサーが夜間と判断し、周囲が明るくなってもランプがすぐには消灯しない場合があります。この場合はランプスイッチをOFFの位置にすれば消灯します。
- ランプスイッチがAUTOの位置のときに、エンジンスイッチをACCまたはLOCKの位置にすると、ランプは自動で消灯します。
- 車幅灯やヘッドランプを点灯させるタイミングを早くすることができます。マツダ販売店へご相談ください。
- オートライト機能は、ヘッドランプが早めに点灯するようにできます。マツダ販売店へご相談ください。

ディスチャージヘッドランプについて

ディスチャージヘッドランプは、太陽光に近い白い光で広範囲を照らします。ヘッドランプのロービームに装備されています。

警告

■ **ディスチャージヘッドランプの交換・修理をするときは、必ずマツダ販売店へご相談ください。**
ディスチャージヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。

知識

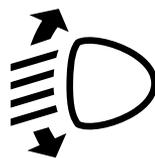
ヘッドランプが点滅するとき、または著しく明るさが低下したときはバルブの寿命が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

ヘッドランプレベリング

ヘッドランプを点灯したとき乗員や荷物の状況に応じてヘッドランプの照らす方向を上下方向へ自動で調節し、一定に保ちます。

ヘッドランプオートレベリング警告灯

エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。



警告灯が点灯し続けるときはヘッドランプオートレベリング機能の異常が考えられます。

マツダ販売店で点検を受けてください。

スイッチの使いかた

ランプ消し忘れ防止チャイム

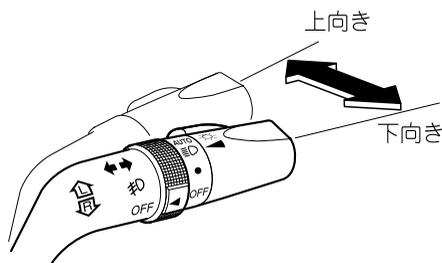
ランプを点灯させたまま、エンジンスイッチからキーまたは補助キーを抜いて(アドバンスキーレス機能使用時は、エンジンスイッチをLOCKの位置にして)、運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りランプの消し忘れを知らせてくれます。

ヘッドランプの切り替え

ヘッドランプが点灯しているとき、レバーを前後に操作すると、ヘッドランプの向きが切り替わります。

前方に押しと上向き(ハイビーム)、手前に引くと下向き(ロービーム)になります。

上向き(ハイビーム)のときは、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。



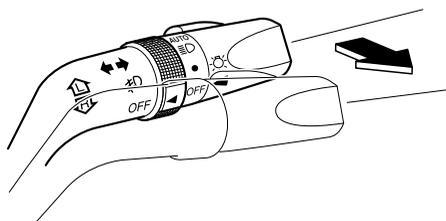
知識

- 遠くを照らしたいときに上向き(ハイビーム)にしてください。
- 対向車がいるときや、市街地走行などで上向きが不適切なときは下向き(ロービーム)にしてください。

パッシング合図

ランプスイッチの位置に関係なく、レバーを引いている間ヘッドランプが上向き(ハイビーム)で点灯します。

同時にメーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。



方向指示器

方向指示器の操作

エンジンスイッチがONの位置のとき使用できます。

- レバーを①の位置まで上または下に操作すると、左または右の方向指示灯が点滅します。レバーはハンドルをもどすと、自動的にもとの位置にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。
- 方向指示灯が点滅しているときは、メーター内の方向指示表示灯も点滅します。

①左折



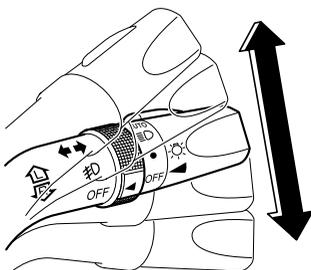
②車線変更



②車線変更



①右折



- 車線変更のときは、レバーを軽く②の位置まで上または下に操作します。レバーを操作している間、左または右の方向指示灯が点滅し、手を離すと消灯します。
- 方向指示灯が点滅しているときは、メーター内の方向指示表示灯も点滅します。

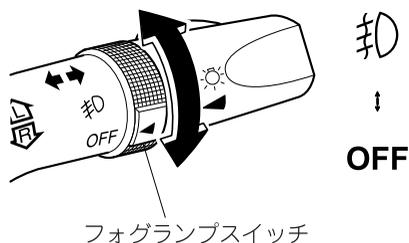


知識

- 点滅が異常に速くなった場合は、電球切れが考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
- 方向指示器を操作するときは、非常点滅灯スイッチをOFFの位置にしてください。非常点滅灯が作動しているときは、方向指示灯は作動しません。

フォグランプスイッチ★

霧などで視界が悪いときに使用します。ランプスイッチが●または☉の位置のとき使用できます。フォグランプスイッチを☉の位置にすると、フォグランプが点灯します。フォグランプが点灯しているときは、メーター内の表示灯が点灯します。



フォグランプスイッチをOFFの位置にする、またはランプスイッチをOFFの位置にすると消灯します。

3.操作と取り扱い スイッチの使いかた

ワイパー/ ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチがONの位置のとき作動します。

警告

■寒冷時にウォッシャー液を噴射するときは、ガラスをあたためてから行なってください。

ウォッシャー液がガラス面で凍結し、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

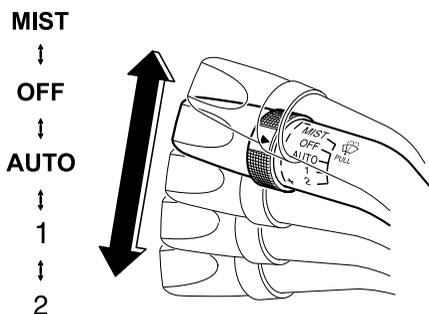
注意

- 凍結時や長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに貼り付いていることがあります。ガラスに貼り付いたまま作動させると、ワイパーゴムの損傷、ワイパーモーターの故障につながるおそれがあります。
- ガラスがかわいているままでワイパーを作動させると、ガラスに傷がついたりワイパーゴムを損傷するおそれがあります。ガラスがかわいているときは、ウォッシャー液を噴射してください。
- ウォッシャー液が十分にでないときは、ウォッシャースイッチを使用しないでください。ウォッシャー液が出ないままで、ウォッシャースイッチを操作し続けると、ポンプの故障につながるおそれがあります。

知識

- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、ノズルに異物がつままっていることがあります。針などでつまりを取ってください。
- 降雪時にワイパーを作動させていると、ガラスに雪が積もってワイパーが停止することがあります。積雪などでワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチをOFFの位置にした後、積もった雪を取り除いてください。

ワイパー/ウォッシャー



レバー位置	作動状態
MIST	レバーを上押ししている間作動
OFF	停止
AUTO	オートワイパー機能
1	低速作動
2	高速作動

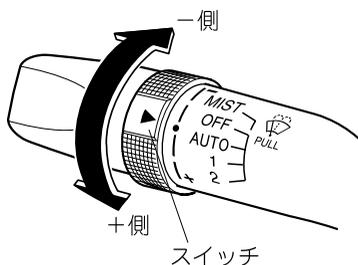
オートワイパー機能

レバーをAUTO位置にしているとき、レインセンサーが雨を感知すると、ワイパーが自動で作動します。

雨量	作動状態
少ない	間欠作動
普通	低速作動
多い	高速作動

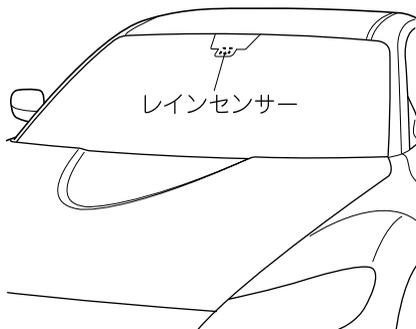
スイッチをまわすと、雨に反応する感度を調節できます。

スイッチ位置	感度
－側	雨に反応しにくい
＋側	雨に反応しやすい



⚠ 注意

- フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてレインセンサーを覆わないでください。センサーが雨量を正確に感知できなくなります。



- エンジンスイッチがONの位置で、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、つぎのような場合はワイパーが自動で作動することがあります。手や指を挟まないよう注意してください。万一手や指を挟むと、けがやワイパーの故障につながるおそれがあります。

- ・ フロントガラスのレインセンサー上部に触れたとき。
- ・ フロントガラスのレインセンサー上部を布などで拭いたとき。
- ・ フロントガラスに衝撃をあたえたとき。
- ・ レインセンサーに車内から衝撃をあたえたとき。

洗車やメンテナンスを行なうときは、ワイパーレバーをOFFの位置にしてください。

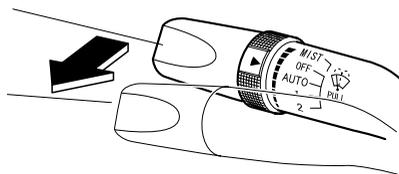
スイッチの使いかた

知識

- 車速が約4km/h以上で走行中(または走行後)にスイッチをOFFからAUTOの位置にすると、ワイパーが1回作動した後、雨量に応じて作動します。
- レインセンサーの温度が -10°C 以下、または 85°C 以上のときはオートワイパーが作動しないことがあります。
- フロントガラスに純正品以外の撥水コーティングを使用すると、レインセンサーが雨量を正確に検知できず、オートワイパーが正常に作動しないことがあります。純正品以外の撥水コーティングは使用しないでください。
- フロントガラスのレインセンサー上部に泥や異物(氷や塩水などを含むもの)が付着しているときや、フロントガラスが凍っているとき、ワイパーが自動で作動することがあります。ワイパーが数回作動してもセンサー上部の泥や異物、氷などを取り除けないときは、オートワイパーは作動を停止します。ワイパーレバーを1または2にしてワイパーを作動させるか、フロントガラスの泥や異物、氷などを取り除いてからオートワイパーを作動させてください。
- レインセンサーは光学センサーを使用しているため、強い光源、電磁波、赤外線等の影響により、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。雨天時以外はワイパーレバーをOFFの位置にして走行することをおすすめします。

ウォッシャーの操作

レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。



リヤウインドーデフォッ ガー(曇り取り)スイッチ

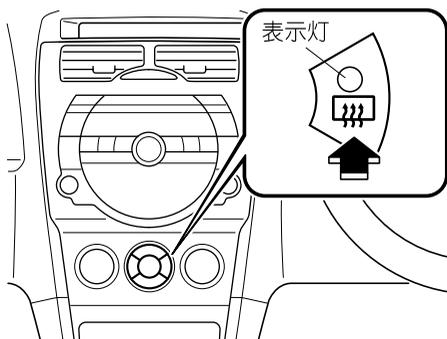
リヤウインドーを熱線であたため、曇りを取ります。

エンジンスイッチがONの位置のとき使用できます。

スイッチを押すと約15分間作動します。

作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。

作動を停止したいときは、もう一度スイッチを押します。



⚠ 注意

リヤウインドーの内側には熱線が取り付けられています。清掃するときは熱線を傷つけないようにしてください。

→262ページ「ガラス、ミラーの手入れ」

📖 知識

エンジン回転中に使用してください。また、連続して長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

ホーン

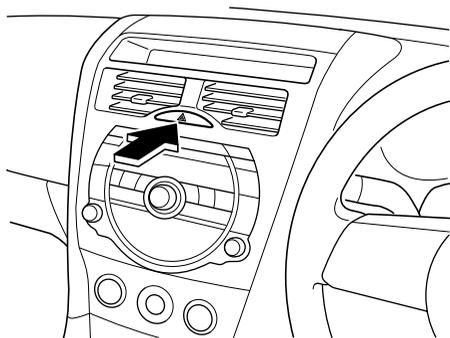
ハンドルのマーク周辺部を押すとホーンが鳴ります。

非常点滅灯スイッチ

故障などでやむをえず路上駐車するときや、非常時に使用します。

スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅します。同時にメーター内にある非常点滅表示灯も点滅します。

もう一度押すと消灯します。



知識

方向指示器を操作するときは、非常点滅灯スイッチをOFFの位置にしてください。

エンジンスイッチ

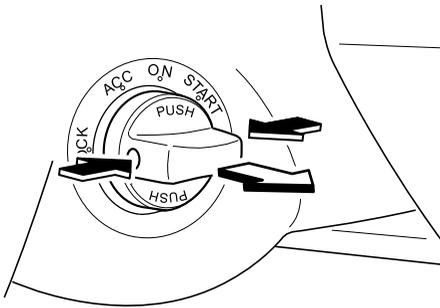
アドバンストキー装備車

知識

アドバンストキーレス機能を使ってエンジンをかけるときは87ページの「エンジンの始動」をお読みください。

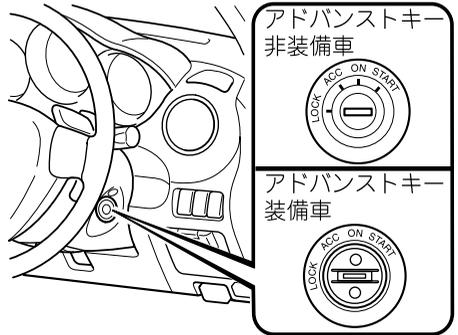
キー（補助キー）を使ってエンジンをかけるときは、次の操作を行なってください。

- 1 補助キーをアドバンストキーから取りはずします。
→92ページ「補助キー機能」
- 2 スタートノブをエンジンスイッチから取りはずします。
スタートノブは左右両側のボタンを押したまま手前に引くと、取りはずすことができます。



- 3 補助キーをエンジンスイッチへ差し込みます。

各位置の働き



エンジンスイッチ	働き
LOCK	キーを抜き差しできる位置 キーを抜くとハンドルがロックされ、車の盗難防止に役立ちます。
ACC	エンジン停止時に、オーディオ、シガーライターなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置
START	エンジンを始動する位置

3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた



知識

- エンジンスイッチをONの位置にしたとき、燃料タンク付近からフューエルポンプのモーター作動音が聞こえることがあります。異常ではありません。
- エンジンを止めたままで、オーディオなどを長時間使用したり、エンジンスイッチをONまたはACCの位置のまま放置しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ハンドルがロックされているときは、キーをまわしにくいことがあります。ハンドルを左右に動かしながらキーをまわしてください。
- オートマチック車はセレクトレバーの位置がP以外のときは、キーをACCからLOCKの位置にまわすことができません。

キー抜き忘れ防止チャイム

キーまたは補助キーを差し込んだまま、エンジンスイッチをLOCKまたはACCの位置にして運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りキーまたは補助キーの抜き忘れを知らせてくれます。

エンジンの始動

エンジンをかける前に

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- 2 マニュアル車はチェンジレバーがニュートラル位置、オートマチック車はセレクトレバーがPの位置にあることを確認します。
- 3 正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。
ペダルの踏み間違いのないように、ペダルの位置を確認しておいてください。
→42ページ「正しい運転姿勢」

クラッチスタートシステム (マニュアル車)

クラッチスタートシステムは、ギヤが入っている状態でクラッチペダルを踏まずにスターターをまわしたとき、車が動き出すのを防止する装置です。

エンジンをかけるとき、クラッチペダルをいっぱい踏み込まないとスターターがまわらないため、エンジンがかかりません。



知識

クラッチスタートシステム装備車は、ギヤを入れたままエンジンスイッチをSTARTの位置にし続けて車を緊急避難させることができません。

→207ページ「エンストで動けなくなったとき」

エンジンをかけるとき

- 1 ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 2 マニュアル車は、クラッチペダルをいっばいに踏み込みます。

知識

クラッチペダルをいっばいに踏み込まないとエンジンがかからないようになってきます。

→148ページ「クラッチスタートシステム」

- 3 アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチをSTARTの位置にまわし、エンジンをかけます。

注意

- 連続して10秒以上STARTの位置にまわさないでください。スターターの故障やバッテリーあがりの原因になります。
- 1回でエンジンがかからないときは、「エンジンがかからないとき」の手順にしたがってエンジンをかけなおしてください。

知識

冷間始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。

エンジンがかからないとき

もし、エンジンが一回でかからなかったときは、次の手順にしたがってエンジンを始動してください。

- 1 アクセルペダルをいっばいに踏み込んだまま、エンジンスイッチをSTARTの位置にまわし、約7～8秒間スターターをまわします。
- 2 エンジンスイッチをACCまたはLOCKの位置にもどし、アクセルペダルから足を離します。
- 3 通常通りエンジンを始動させます。
→149ページ「エンジンをかけるとき」

手順1でエンジンが始動した場合は、エンジン回転が上昇しますので、ただちにエンジンスイッチをONの位置にもどし、アクセルペダルから足を離してください。

知識

アクセルペダルをいっばいに踏み込むことで燃料噴射がカットされます。

手順1～3の操作を行ってもエンジンが始動しない場合は、マツダ販売店に連絡してください。

3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた

エンジンの停止

📖 知識

エンジンルームを早期に冷却するため、エンジンスイッチをONからLOCKの位置にしたとき、エアコンのON/OFFにかかわらず電動ファンが数分間回転することがあります。

- 1 マニュアル車はチェンジレバーをニュートラルの位置、オートマチック車はセレクトレバーをPの位置にします。
- 2 エンジンスイッチをLOCKの位置にします。

⚠️ 注意

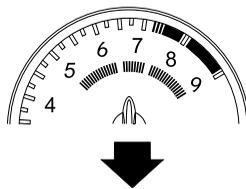
車から離れるときは、エンジンスイッチがLOCKの位置になっていることを確認してください。

📖 知識

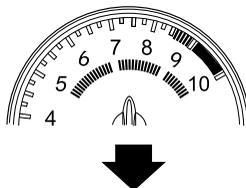
距離の短い走行でエンジンをきるときは、次回のエンジン始動を良好にするために、タコメーターにある可変レッドゾーンランプが1つ以上消灯した後でエンジンをきるようにしてください。また、水温計の針が動き出す程度までの暖機運転を行うとエンジン始動がより良好となります。

📖 知識

オートマチック車



マニュアル車



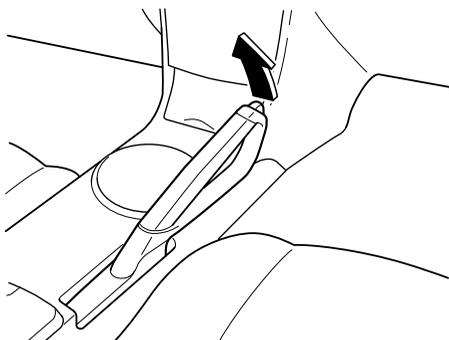
ブレーキ

パーキングブレーキ

警告

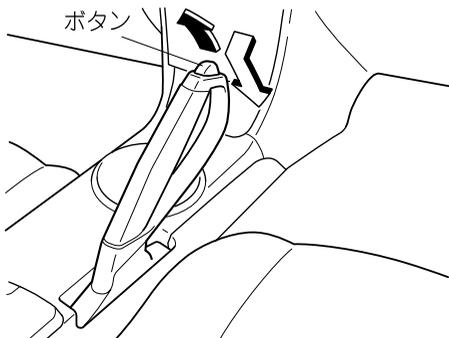
■ パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱するためブレーキの効が悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

かけるとき



解除するとき

レバーを少し引き上げ、先端のボタンを押してもとします。



ブレーキ警告灯



点灯するとき

- エンジンスイッチをONの位置にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- パーキングブレーキをかけているときは点灯します。パーキングブレーキを解除すると消灯します。
- 次のようなときは点灯し続けます。ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。
 - ・ ブレーキ液が不足しているとき。
 - ・ ブレーキ装置 (電子制御制動力配分システム) に異常があるとき。
 - ・ ブレーキスイッチに異常があるとき。☆

警告

■ ブレーキ警告灯が点灯したまま走行しないでください。ブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。また停車するときは、ブレーキの効が悪くなっているおそれがあるため、ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。

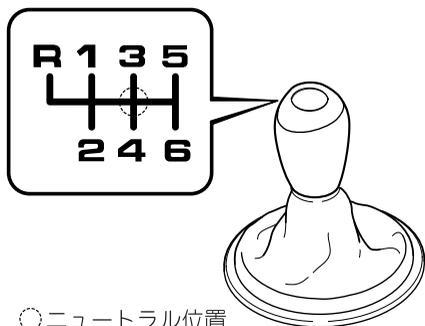
■ ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。

急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた

マニュアルトランス ミッション

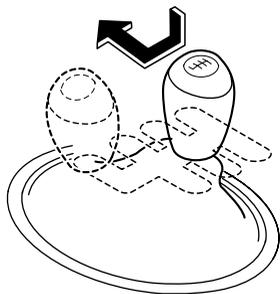
チェンジレバーを操作するときは、クラッチペダルをいっばいに踏み込んでください。



○ニュートラル位置

マニュアルトランスミッションは、シフトの誤操作を防ぐ装置が装備されています。

Rにいれるときは、チェンジレバーを下方向へ押しながらR方向へ操作してください。



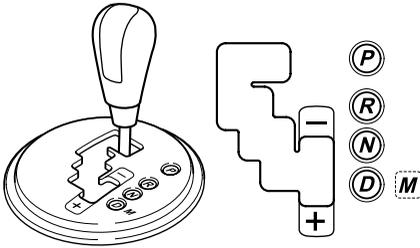
⚠ 注意

- Rにいれるときは、車が完全に止まってから行なってください。トランスミッションの故障につながるおそれがあります。
- 5速から4速に変速するときは、チェンジレバーを横方向に押し過ぎないでください。思いがけず2速に入りトランスミッションの故障につながるおそれがあります。
- Rにいれるとき以外は、誤操作を防ぐためにチェンジレバーを下方向へ押ししないでください。

オートマチックトランス ミッション

159ページの「オートマチック車を運転するとき」もあわせてお読みください。

各位置の働き



P (パーキング)

駐車およびエンジンを始動する位置。
Pでのみエンジンスイッチからキーを抜くことができます。

R (リバース)

車を後退させる位置。
チャイムが鳴り、セレクタレバーがRにはいていることを運転者に知らせます。

N (ニュートラル)

動力が伝わらない位置。
エンジンを始動することはできますが、安全のためPの位置で行なってください。

D (ドライブ)

通常走行する位置。
車速に応じて1速から6速までを自動変速します。
一時的にダイレクトモードにすることができます。
→158ページ「ダイレクトモード」

M (マニュアル)

マニュアル走行する位置。
ギヤ位置を手動で切り替えることができます。
→154ページ「マニュアルモード」

シフトロック装置

シフトロック装置は、発進時の誤操作を防ぐためのものです。

セレクタレバーをPから動かすとき

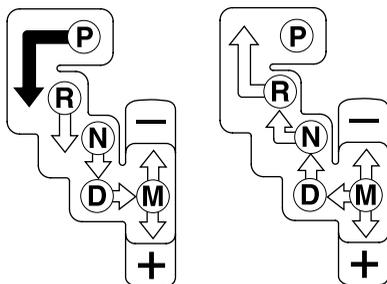
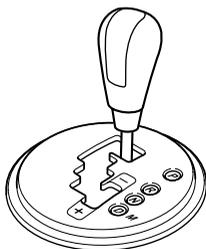
- 1 ブレーキペダルを踏み込んだままにします。
- 2 エンジンを始動させます。
- 3 セレクタレバーを動かします。

知識

- エンジンスイッチがLOCKの位置のときは、セレクタレバーをPから動かすことはできません。
- セレクタレバーがP以外の位置ではキーを抜くことができません。

3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた

セレクトレバーの操作



レバー操作

	ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作します。
	ゲートにそって、そのままセレクトレバーを操作します。

知識

- ➡ の操作は、誤作動防止のため、各ギヤ位置ごとに節度をつけ確実に行ってください。
- セレクトレバーをPから操作するとき、セレクトレバーを助手席側に動かしたままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでから操作してください。

AASモードについて

AAS (アクティブアダプティブシフト) モードとは、快適に運転するため、道路の状況やドライバーの操作に最適なシフトポイントを自動的にコントロールするモードです。セレクトレバーがDのとき、アクセルペダルをいっぱい踏み込んで急加速をしたり、アクセルやブレーキの操作で加速または減速をしばらくの間行なうことでAASモードになる場合があります。

AASモードでコーナーに進入すると、ギヤ位置を維持したまま旋回することができるため、コーナー出口では、進入したときのギヤ位置から加速することができます。AASモードは、最適のギヤ位置を維持するためシフトチェンジが行なわれない場合がありますが異常ではありません。

マニュアルモード

セレクトレバーをDからMにいれるとマニュアルモードになります。マニュアルモードでは、ギヤ位置を手動で切り替えることができます。



セレクトレバーをMからDにいれるとマニュアルモードが解除されます。

知識

- 停車時にマニュアルモードにした場合、ギヤは1速になります。
- Dレンジ5速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギヤは4速になります。
- Dレンジ6速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギヤは5速になります。

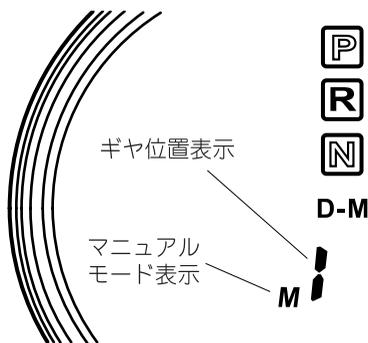
表示灯

マニュアルモード表示

マニュアルモードにすると、メーター内にあるセレクトレバー位置表示灯のMが点灯します。

ギヤ位置表示

ギヤ位置が表示されます。



高速走行中、速度によりシフトダウンできないときは、ギヤ位置表示が2回点滅します。

シフトチェンジ(変速)のしかた

セレクトレバーまたはステアリングシフトスイッチによりシフトチェンジすることができます。

知識

- 左右のステアリングシフトスイッチを同時に操作しても1段しか変速されません。
- ステアリングシフトスイッチのUPスイッチとDOWNスイッチを同時に操作しても変速されません。

シフトアップ (M1→M2→M3→M4→M5→M6)

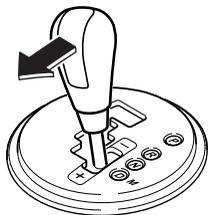
知識

- 低速時はシフトアップできないことがあります。
- マニュアルモードでは自動でシフトアップしません。タコメーターの指針がレッドゾーンにはいらないように運転してください。あやまってレッドゾーンにはいった場合、エンジン保護のため燃料の供給が停止されます。このとき軽い衝撃を感じるがありますが異常ではありません。

3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた

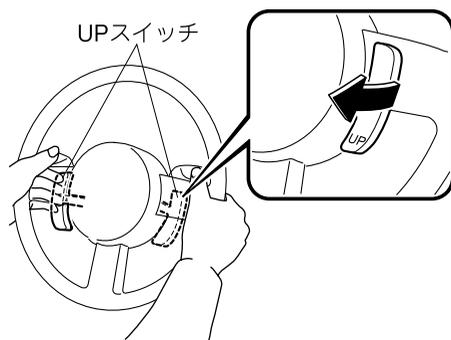
(セレクトレバーでの操作)

セレクトレバーを+側に動かすとシフトアップ(高速ギヤに変速)します。



(ステアリングシフトスイッチでの操作)

ステアリング裏側のUPスイッチを手前に引くとシフトアップ(高速ギヤに変速)します。



シフトダウン
(M6→M5→M4→M3→M2→M1)

警告

■ 高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンブレキの使用(シフトダウン)は避けてください。

タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 高速走行中は、速度によりシフトダウンできないことがあります。
- 減速中は、速度により自動的にシフトダウンします。
- マニュアルモードでは、アクセルペダルをいっぱい踏み込んでもキックダウンしません。
→159ページ「オートマチック車の特性」

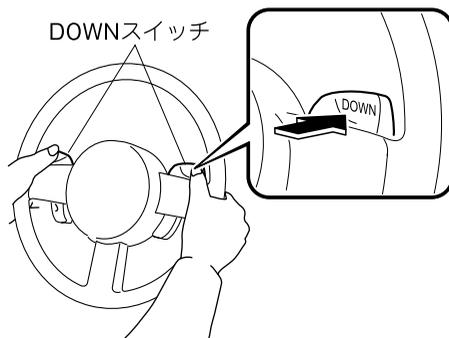
(セレクトレバーでの操作)

セレクトレバーを-側に動かすとシフトダウン(低速ギヤに変速)します。



(ステアリングシフトスイッチでの操作)

ステアリング表側のDOWNスイッチを押すとシフトダウン(低速ギヤに変速)します。



2速固定モード

車両が停止しているとき、セレクトレバーを+側に動かして2速にすると2速固定モードになり、ギヤ位置は2速に固定されます。雪道などすべりやすい路面での発進や走行がしやすくなります。2速固定モードのときに、セレクトレバーを+側または-側に動かして2速以外にすると2速モードは解除されます。

シフトチェンジ(変速)制限速度

マニュアルモードでは、次の速度条件のときセレクトレバーを操作すると変速します。

シフトアップ

低速走行中にシフトアップする場合、各ギヤ位置での制限速度より低いときは変速しません。

ギヤ位置	速度
M1→M2	0~18km/h以上 (アクセルペダルを踏み込む量による)
M2→M3	20~33km/h以上 (アクセルペダルを踏み込む量による)
M3→M4	30~33km/h以上 (アクセルペダルを踏み込む量による)
M4→M5	43km/h以上
M5→M6	65km/h以上

シフトダウン

高速走行中にシフトダウンする場合、各ギヤ位置での制限速度を超えているときは変速しません。このとき、ギヤ位置表示が2回点滅し、変速できないことを運転者に知らせます。

ギヤ位置	速度
M2→M1	30km/h以下
M3→M2	77~90km/h以下 (アクセルペダルを踏み込む量による)
M4→M3	122~135km/h以下 (アクセルペダルを踏み込む量による)
M5→M4	175km/h以下
M6→M5	—

減速時、次の速度条件のときは自動的にシフトダウンします。

ギヤ位置	速度
M2→M1	12km/h以下
M3→M2	16km/h以下
M4→M3	26km/h以下
M5→M4	40km/h以下
M6→M5	60km/h以下



知識

2速発進後低速で走行した場合は、自動的に1速にシフトダウンしないことがあります。

ダイレクトモード

セレクトレバーをDの位置で走行中、ステアリングシフトスイッチを操作すると一時的にギヤ位置を切り替えることができます。

ダイレクトモードのときは、表示灯にDとMが点灯し、使用しているギヤ位置が表示されます。

ダイレクトモードは、次の状態になると解除されます。

- 定速走行になったとき
- タコメーターの指針がレッドゾーンに近づいたとき
- アクセルペダルを大きく踏み込んだとき
- 停車したとき、または、低速走行になったとき



D-M



ダイレクトモード表示

ギヤ位置表示

知識

ダイレクトモードは、速度によりシフトアップ、シフトダウンできないことがあります。また、アクセルペダルの踏み込み量や加速度によってダイレクトモードが解除されますので、長時間任意のギヤで走行したい場合は、マニュアルモードをご使用ください。

オートマチック車を運転するとき

オートマチック車の特性

クリープ現象

エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがP、N以外にはっていると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。この現象をクリープ現象といいます。

- 停車中は車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなりクリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかりと踏んでおいてください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリープ現象を利用すると、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節できます。

キックダウン

走行中、セレクトレバーがDのときアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり、急加速させることができます。

この操作をキックダウンといいます。

- 追い越しや高速道路での合流など、加速が必要なときに行ないます。
- すべりやすい路面やカーブを走行するときは、急激なアクセル操作はしないでください。

発進するとき



警告

- アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。

車が急発進し思わぬ事故につながるおそれがあります。



知識

エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなり、クリープ現象が強くなります。

- 1 プレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作します。
前進…D、M
後退…R
- 2 セレクトレバーの位置を確認します。
- 3 パーキングブレーキを解除します。
- 4 プレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。



知識

- セレクトレバーをRにいとるとチャイムが鳴り、セレクトレバーがRにはいつていることを運転者に知らせます。
- 後退時は身体を後ろにひねった姿勢になります。ブレーキペダルを確実に踏めるよう注意してください。
- 少し後退したときなどはセレクトレバーをRにいたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーをNにもどし、発進時にはセレクトレバーの位置を確認してください。

運転装置の使いかた

急な坂道での発進

パーキングブレーキをかけたまま、アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動く感触を確認しながらパーキングブレーキをもどします。

走行するとき



警告

■ 走行中はセレクトレバーをNに
いれないでください。

トランスミッションの故障につながります。また、エンジンブレーキが全く効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用（シフトダウン）は避けてください。

タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

通常走行

セレクトレバーをDに置いて走行します。アクセルとブレーキの操作で加速/減速します。ギヤは1速から6速の間で、自動的に変速されます。

マニュアルモード走行

停車中または走行中にセレクトレバーをDからMにいと、マニュアルモードにセットされ、マニュアルトランスミッションのような操作ができます。

→154ページ「マニュアルモード」

急加速

セレクトレバーがDのとき、アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速できます。

急な上り坂での走行

坂の勾配に応じ、マニュアルモードで変速してください。エンジン回転の変化が少ないなめらかな走行ができます。

下り坂での走行



警告

■ 下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用してください。

フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが加熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

エンジンブレーキが必要なときは、マニュアルモードにして、低速ギヤにシフトダウンしてください。

マニュアルモードのときは、走行速度にあわせて1段ずつシフトダウンし、エンジンブレーキを併用してください。

停車するとき

- 1 プレーキペダルをしっかりと踏んでおきます。
- 2 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
- 3 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーをNまたはPにいます。



警告

■ 停車中、むやみにアクセルペダルを踏まないでください。

セレクトレバーがP、N以外にはいつているとき、誤ってアクセルペダルを踏むと急発進するため思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 停車後、再発進するときはセレクトレバーの位置に思い違いがないよう確認してください。

意に反して車が動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でセレクトレバーを前進位置にいれ、アクセルをふかしながら停車しないでください。トランスミッションが過熱し、故障につながるおそれがあります。

駐車するとき

- 1 車を完全に止めます。
- 2 セレクトレバーをPにいれます。
- 3 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
- 4 エンジンを止めます。



警告

■ 駐車するときは、セレクトレバーをPにいれ、パーキングブレーキをかけてください。

パーキングブレーキをかけただけや、セレクトレバーをPにいれただけで駐車していると、車が勝手に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ エンジンをかけたまま駐車しないでください。

万一セレクトレバーがP以外にはいつている場合、クリープ現象で車が勝手に動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

セレクトレバーをPにいれるときは、車を完全に止めてから行なってください。車が完全に止まる前にセレクトレバーをPにいれると、トランスミッションに無理な力がかかり故障につながるおそれがあります。

そのほかに気をつけること



警告

■ 坂道などで、セレクトレバーを前進位置に入れたまま後退したり、後退位置に入れたまま前進することは行わないで下さい。

エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

MEMO

4 快適カーライフのために

空調 164

エアコンを上手に使用していただくために	164
吹き出し口	165
フルオートエアコン	167

オーディオ 170

アンテナ	170
オーディオを上手に使用していただくために	170
オーディオ	173
オーディオリモートコントロールスイッチ	187
ポータブルオーディオ機器を使用し ていただくために	190

室内装備 192

サンバイザー	192
室内照明	192
インフォメーションセンターディスプレイ	195
シガーライター	197
灰皿	198
カップホルダー	199
収納	200
電源ソケット	203

エアコンを上手に使用していただくために

使用するとき

エアコンはエンジンをかけた状態で使用してください。

ガラスが曇るときは

湿度の高い日はガラスが曇りやすくなります。このようなとき、エアコンを使用して曇りを取ることができます。エアコンを作動させると吹き出し風が除湿されるため、効果的に曇りを取ることができます。

外気導入と内気循環について

通常は外気導入で使用してください。内気循環は、トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど外気を遮断したいときに一時的に使用してください。

炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

長期間エアコンを使用しないときは

長期間エアコンを使用しないときにも、内部のオイル循環のため、1か月に1回程度エアコンを作動させてください。

暑くなる前のチェック

エアコンの冷媒(エアコンガス)が不足していると冷房性能が低下します。夏になる前に冷媒量の点検を受けておきましょう。

知識

エアコンガスはHFC134a (R134a) を使用しています。補充、交換の際には必ずHFC134aを入れてください。エアコンガスは地球温暖化に悪影響をおよぼすため大気放出はしないでください。点検、補充、交換、廃棄についてはマツダ販売店にご相談ください。

エアフィルターについて

知識

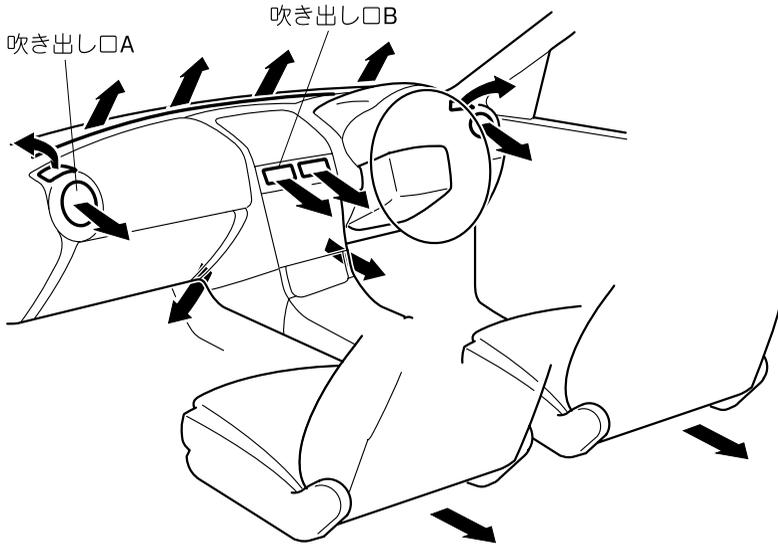
- エアコンの風量が著しく減少したときはエアフィルターの目詰まりが考えられます。エアフィルターを交換してください。
- 大都市・寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区の場合は、エアフィルターの寿命が短くなり、早めの交換が必要になることがあります。

花粉やほこりなどの集じん機能を持ったエアフィルターを装備しています。快適にお使いいただくために定期的に交換してください。

詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

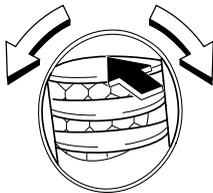
交換の目安…20,000km走行ごとまたは1年ごとどちらか早い方。

吹き出し口

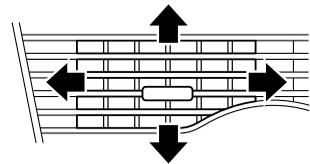


吹き出し口の調節

吹き出し口A



吹き出し口B



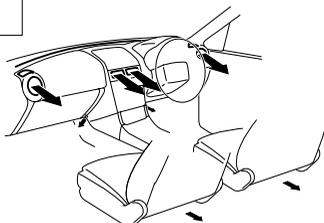
知識

冷房中に吹き出し口から白煙が出ているように見えることがあります。これは湿度の高い空気が急激に冷やされて起こる現象で、異常ではありません。

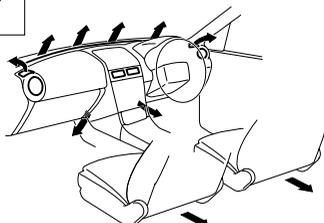
吹き出し口の選択

使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。

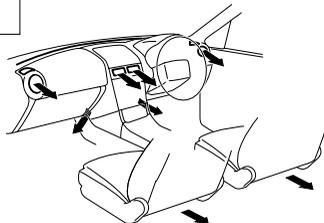
上半身に送風するとき



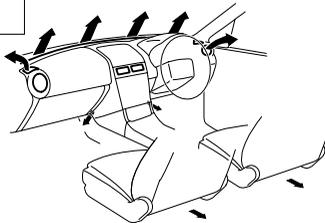
足元への送風とガラスの曇りを取る
とき



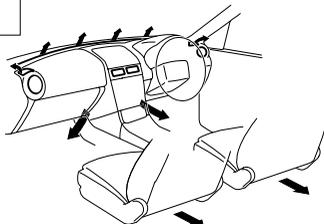
上半身、足元に送風するとき



ガラスの曇りを取る
とき

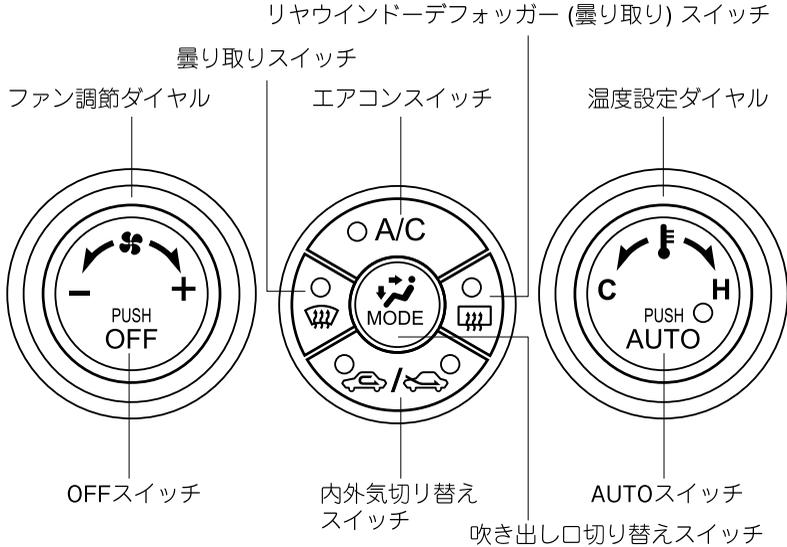


主に足元に送風するとき



フルオートエアコン

エアコンの表示はインフォメーションセンターディスプレイの表示部に表示されます。
→195ページ「インフォメーションセンターディスプレイ」



各スイッチの使いかた

AUTOスイッチ

スイッチを押すと設定温度にあわせて、以下の機能が自動制御されます。

- 吹き出し風の温度調節
- 吹き出し風量調節
- 吹き出し口の切り替え
- 内気循環/外気導入の切り替え
- エアコン (冷房・除湿機能) の作動/停止
- A/CとA/C ECOの切り替え



知識

表示灯について

- 点灯—オート作動時。
- 消灯—オート作動中に吹き出し口切り替えスイッチ、ファン調節ダイヤル、エアコンスイッチ、曇り取りスイッチのいずれかのスイッチを操作したとき。操作した箇所以外は自動で作動しています。

OFFスイッチ

スイッチを押すとファンの作動を停止します。

空調

温度設定ダイヤル

ダイヤルをまわして設定温度を調節します。18.0から32.0の間で0.5ずつ変化します。



知識

18.0に設定すると最大冷房、32.0に設定すると最大暖房に固定されます。

ファン調節ダイヤル

風量を7段階に調節できます。

吹き出し口切り替えスイッチ

使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。

→166ページ「吹き出し口の選択」



知識

- 吹き出し口を  に設定すると、自動的に外気導入に切り替わり、エアコンが作動します。
エアコンの作動を停止したいときは、エアコンスイッチを押してください。
- 吹き出し口を  に設定するには、曇り取りスイッチを押してください。

エアコンスイッチ

AUTOスイッチがONのときまたはファンが作動しているとき、スイッチを押すごとにエアコン（冷房・除湿機能）の作動と停止が切り替わります。

エアコン作動中は表示灯が点灯します。



知識

- ファンが作動していない状態でも、エアコンスイッチを押すとエアコンが作動します。
- A/CとA/C ECOが自動制御によって切り替わります。
A/C ECOはA/Cよりもエアコンの作動頻度は少なくなりますが、経済的な運転になります。
- 外気温が0°C近くまで下がると、システム保護のためエアコンは作動しません。

内外気切り替えスイッチ

内気循環（外気を遮断する）と外気導入（外気を室内に入れる）の切り替えができます。

スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が切り替わります。

- 内気循環 ()
トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど外気を遮断したいときに一時的に使用します。
- 外気導入 ()
外気を取り入れて換気したいときや、ガラスの曇りを取るときに使用します。



知識

長時間、内気循環にするとガラスが曇りやすくなります。通常は外気導入で使用してください。

曇り取りスイッチ

フロントガラス、フロントドアガラスの曇りを取りたいときに使用します。

→169ページ「ガラスの曇りを取るとき」

通常の使いかた

- 1 AUTOスイッチを押します。吹き出し口、内外気切り替え、吹き出し風量が自動的に調整されます。
- 2 温度設定ダイヤルを操作して希望温度にあわせます。

知識

- 最初は温度設定ダイヤルを25.0前後にあわせて使用し、その後お好みで調節してください。
 - 設定温度を極端に低く(高く)しても、希望の温度になるまでの時間はほとんど変わりません。
 - エンジンが冷えているときの暖房開始直後は、冷風の吹き出しを防止するため、風量が少なくなります。
- 3 作動を停止したいときは、OFFスイッチを押します。

ガラスの曇りを取るとき

曇り取りスイッチを押します。
自動的に外気導入に切り替わります。また、エアコンが自動的に作動し、除湿された吹き出し風がフロントガラス、フロントドアガラスに送風されます。吹き出し風量も多くなります。

警告

ガラスの曇りを取るときは、吹き出し風の温度を低くしないでください。ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

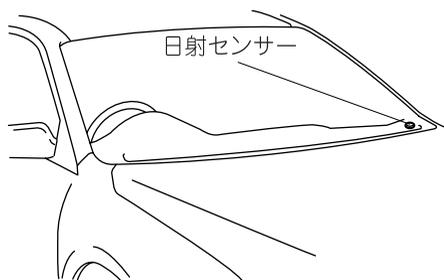
知識

次の操作をすると、より早くガラスの曇りを取ることができます。

- ファン調節ダイヤルを操作して、風量を増す。
- 温度設定ダイヤルを操作して、吹き出し風の温度を上げる。

センサーについて

フルオートエアコンには日射センサーと室内温度センサーが取り付けられています。日射センサーの上に物を置いたり、室内温度センサーをふさいだりしないでください。室内温度が正しく調節されないことがあります。



アンテナ

プリント式

ガラスにプリントされています。



注意

アンテナがプリントされているガラスの内側をふくときは、水やぬるま湯でぬらしたやわらかい布で、アンテナ線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどを使用すると、アンテナをいためるおそれがあります。

→262ページ「ガラス、ミラーの手入れ」

オーディオを上手に使用していただくために

ナビゲーションシステム装備車は別冊の「ナビゲーションシステム取扱書」もあわせてご覧ください。



警告

■ オーディオの操作は、車が止まっているときに行なってください。走行中は、運転操作がさまたげられ思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

安全運転をさまたげないように、運転中は車外の音が聞こえる程度の音量で使用してください。



知識

- エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 車内または車の近くで携帯電話や無線機を使用すると、ノイズ（雑音）が発生することがありますが故障ではありません。

ラジオについて

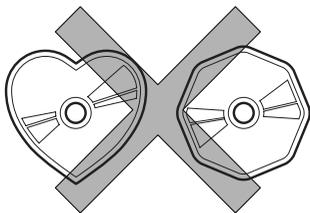
ラジオの受信は、車両の移動に伴いアンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

CDについて

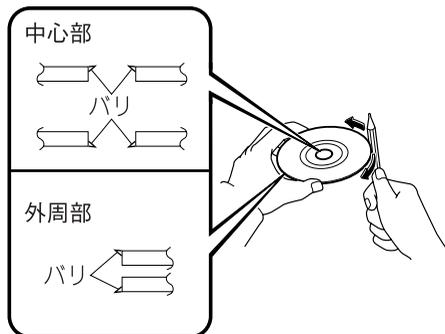
- 下記のマークのついているCD以外は使用できません。



- コピーコントロールCD (著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽CD)の中で、CDの規格に準拠していないものは、再生できない場合があります。
- ハート型や八角形など特殊形状のCDは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。



- 新しいCDは、外周部や中心の穴のまわりがあらくなっている場合があります。そのような場合は、ボールペンや鉛筆などであらい部分(バリ)を取り除いてから使用してください。そのまま使用すると音飛びを起こしたり、CDを挿入できないことがあります。



- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びを起こすことがあります。
- 寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露(水滴)が生じ、正しく作動しなくなることがあります。このようなときは、CDを取り出して室内を換気または除湿してから使用してください。
- CD信号面に直接手で触れると、CDの信号面が汚れ、音飛びなどを起こすことがあります。CDの端と中心の穴をはさんで持ってください。
- CDはケースに入れ、直射日光を避けて保管してください。直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- CDの汚れを取るときは、やわらかい布でCDの中央から外側へ向けて汚れをふき取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤などを使用すると、CDの表面を傷める原因になりますので使用しないでください。

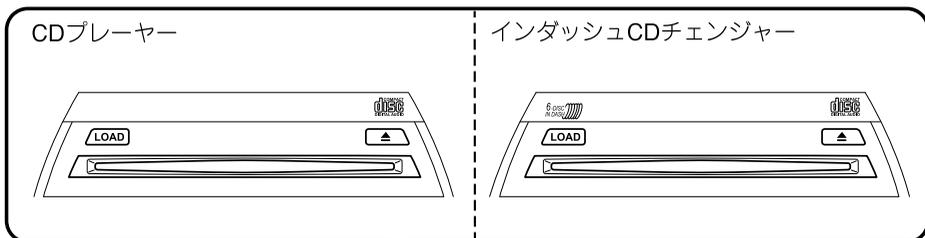
4. 快適カーライフのために オーディオ

- CDに文字を書き込んだり、ラベルやシールを貼り付けたりしないでください。
- 変形したり、ひびのはいったCDは使用しないでください。
- CD差し込み口に指や異物を入れないでください。故障の原因になることがあります。
- CD-R/CD-RWは、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理 (通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理) されていないCD-R/CD-RWは再生できません。
- 700MBを超えるCD-R/CD-RWの再生はできません。
- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWは、ディスクの特性、キズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーション (ライティングソフト) の設定および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください。(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。)
- CD-R/CD-RWに記録されているタイトルなどの文字情報は、音楽データ (CD-DA) 再生時に表示できない場合があります。
- CD-RWは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。
- CD-R/CD-RWの取扱については、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルからのりがはみ出していたり、ラベルをはがしたりしたあとがあるものは、使用しないでください。また、市販のCD-Rラベルを貼付けたディスクも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。

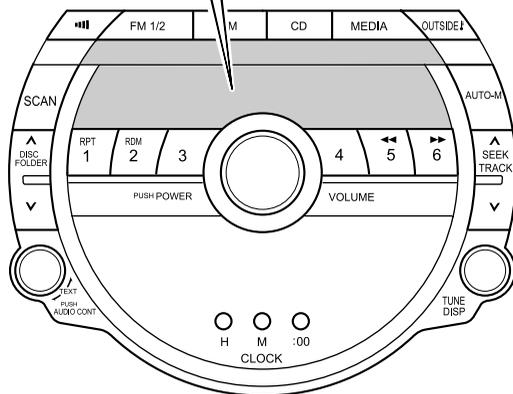
オーディオ★

オーディオは仕様やグレードにより各部位に装着されているプレーヤーが異なります。次ページからの各項目は代表図で説明しています。オーディオの表示はインフォメーションセンターディスプレイの表示部に表示されます。

→195ページ「インフォメーションセンターディスプレイ」



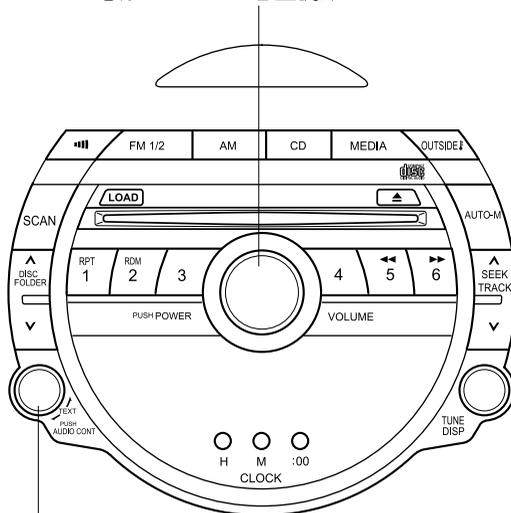
イラストは代表図です。



音量/音質の調節	174ページ
ラジオの使いかた	180ページ
CDプレーヤーの使いかた	182ページ
インダッシュCDチェンジャーの使いかた	184ページ
AUXモード(外部入力)の使いかた	186ページ

音量/音質の調節

電源スイッチ／音量調節ダイヤル



オーディオコントロールダイヤル

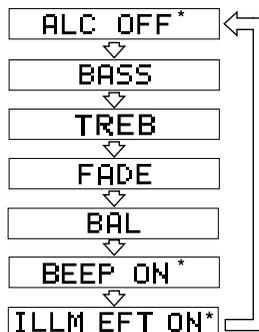
音量調節

音量調節ダイヤルをまわして調節します。
右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと小さくなります。

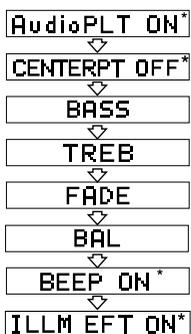
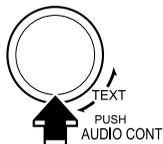
音質調節

- 1 オーディオコントロールダイヤルを軽く押し、調節したいモードを選びます。ダイヤルを押しごとにモードが切り替わります。

標準オーディオ
装備車



Bose® サウンド
システム装備車



*選択しているモードによって表示は異なります。

- 2 オーディオコントロールダイヤルをまわして調節します。

標準オーディオ装備車

モード	ダイヤルをまわす方向	
	左	右
ALC (自動音量調節)	モード選択	
BASS (低音調節)	低音弱	低音強
TREB (高音調節)	高音弱	高音強
FADE (前後音量調節)	後側小	前側小
BAL (左右音量調節)	右側小	左側小
BEEP (操作音設定)	OFF	ON
ILLM EFT (操作照明設定)	OFF	ON

4.快適カーライフのために オーディオ

Bose®サウンドシステム装備車

モード	ダイヤルをまわす方向	
	左	右
AudioPLT (自動音量調節)	OFF	ON
CENTERPT (自動音質調節)	OFF	ON
BASS (低音調節)	低音弱	低音強
TREB (高音調節)	高音弱	高音強
FADE (前後音量調節)	後側小	前側小
BAL (左右音量調節)	右側小	左側小
BEEP (操作音設定)	OFF	ON
ILLM EFT (操作照明設定)	OFF	ON

知識

- 音量/音質調節値は表示部に表示されます。
- オーディオコントロールダイヤルを押してしばらくすると、音質調節前の表示にもどります。ピーと音がするまで押し続けると低音、高音、前後、左右の調節値が中央値(初期値)にもどり“CLEAR”が表示されません。

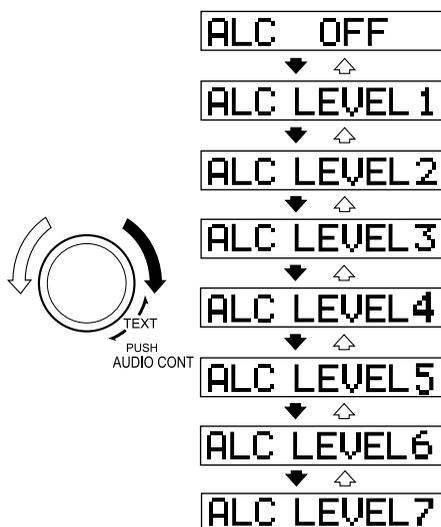
オートマッチックレベルコントロール (標準オーディオ装備車)

オートマッチックレベルコントロール(ALC)は、車速に応じて、自動的にオーディオの音量/音質が変化する機能です。車速が早いほど変化量は大きくなり、車速が遅いほど変化量は小さくなります。

次のモードがあります。状況に応じてお好みのモードを選択してください。

モード	変化量
ALC OFF	なし
ALC LEVEL 1	小
ALC LEVEL 2	▼ ▲
ALC LEVEL 3	▼ ▲
ALC LEVEL 4	中
ALC LEVEL 5	▼ ▲
ALC LEVEL 6	▼ ▲
ALC LEVEL 7	大

オーディオコントロールダイヤルをまわしてALC OFF、ALC LEVEL1～7モードを選択します。



AUDIPIOLOT™ 2 (Bose®サウンドシステム装備車)

AUDIPIOLOT™ 2※は、走行時の車内の騒音音量に応じて、自動的にオーディオの音量/音質が変化する機能です。ONにしておくと、騒音によって聞こえにくくなる音を、最適な状態で聞こえるよう自動的に補正します。

※AUDIPIOLOT™ 2はBoseコーポレーションの登録商標です。

Centerpoint® (Bose®サウンドシステム装備車)

Centerpoint®※は、2ch音声を再生中にステレオ信号をサラウンド再生し、立体感あるサラウンド・サウンドを実現する機能です。ONとOFFを設定することができます。

4.快適カーライフのために オーディオ

※Centerpoint®はBoseコーポレーションの登録商標です。

BEEP (操作音) 設定

オーディオ操作音のONとOFFを設定することができます。

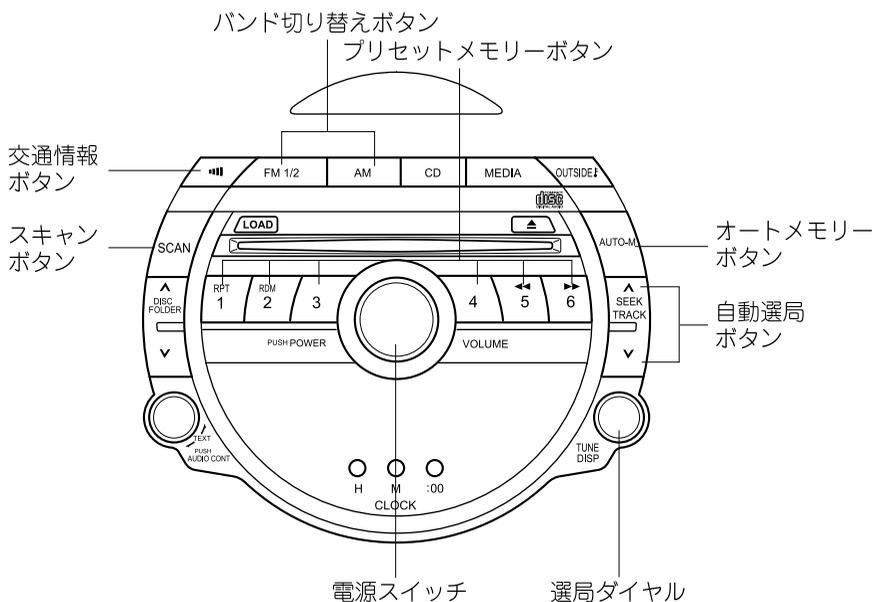
ILLM EFT (操作照明) 設定

オーディオ操作時に光る照明のONとOFFを設定することができます。



4.快適カーライフのために オーディオ

ラジオの使いかた



- 1 エンジンスイッチをACCまたはONの位置にします。
- 2 バンド切り替えボタン (FM1/2、AM) を押し、聞きたいバンドを選択します。
- 3 選局します。
 - 自動選局
自動選局ボタン (SEEK) を押すと、自動選局を始め、放送を受信すると止まります。
 - 手動選局
選局ダイヤルをまわして選局します。
- 4 音量/音質を調節します。
- 5 ラジオを止めるときは、電源スイッチを押します。

知識

- FMステレオ放送を受信中、電波が弱くなると自動的にモノラルに切り替わり、ノイズを減らします。
- 受信する電波が弱いときは、手動選局をしてください。

オートメモリー選局

- 1 オートメモリーボタン (AUTO-M) をピーと音がするまで押すと、選局を始めます。
- 2 電波の強い順に最大6局までの周波数を記憶します。
- 3 オートメモリーボタン (AUTO-M) を軽く押すごとに、順次記憶された周波数に切り替わります。



知識

受信できるものが1局もない場合は“A”が表示されます。

放送局を記憶するとき

プリセットメモリーボタンを使って、選局した周波数を記憶させておくとう便利です。

AM、FM1、FM2それぞれ6局まで記憶できます。

- 1 記憶させたい放送局を選びます。
- 2 プリセットメモリーボタンのいずれか1つをピーと音がするまで押します。
- 3 呼び出すときは、プリセットメモリーボタンを軽く押します。



知識

- 呼び出すときに、ボタンをピーと音がするまで押すと、そのとき受信している周波数が記憶されます。
- 車両整備などでバッテリーとの接続が断られたときは記憶が消去されます。もう一度記憶させてください。

聞きたい局を探すとき

スキャンボタン (**SCAN**) を使って、受信可能な放送局を探すことができます。

- 1 スキャンボタン (**SCAN**) を押すと、周波数の低い方から高い方へ5秒間ずつ受信していきます。
- 2 聞きたい局が受信されたらもう一度スキャンボタン (**SCAN**) を押します。その周波数を受信し続けます。

交通情報の受信

交通情報を放送している地域では、交通情報ボタン (●|||) を押すと交通情報を受信できます。

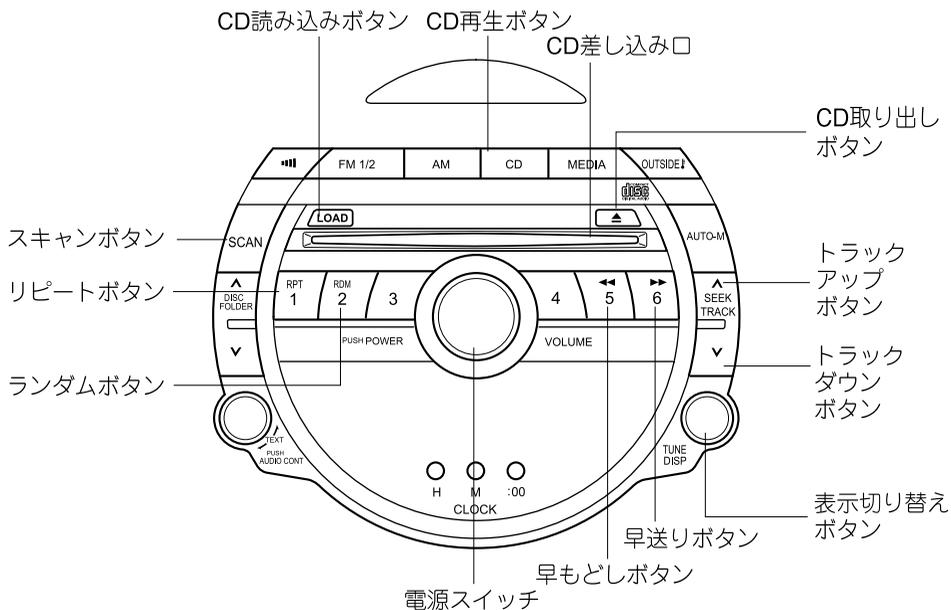
- 1 交通情報ボタン (●|||) を押すと、AM1620kHzまたはAM1629kHzを受信します。
- 2 もう一度押すともとの状態にもどります。
- 3 受信中、ボタンをピーと音がするまで押すごとに、AM1620kHzとAM1629kHzを切り替えることができます。



知識

交通情報ボタン (●|||) で受信中は、プリセットメモリーボタンを押しても放送局は選局されません。

CDプレーヤーの使いかた



CDプレーヤーが装着されている場合、操作することができます。

再生するとき

- 1 エンジンスイッチをACCまたはONの位置にします。
- 2 CDのラベル面を上にして、CD差し込み口に軽く押し込みます。CDが自動的に送り込まれ、再生を始めます。CDがはいっているときは、CD再生ボタン(CD)を押すと再生を始めます。
- 3 音量/音質を調節します。
- 4 再生を止めるときは電源スイッチを押します。(もう一度押すと再生できます。)

知識

- CDがはいっていないときにCD再生ボタン(CD)を押すと“NO DISC”が点滅します。
- ラジオなどを聞いている途中で、CD差し込み口にCDを差し込むと再生されます。
- CD取り出しボタン(▲)を押した後でも、CD読み込みボタン(LOAD)を押すとCDが再度送り込まれ、再生されます。

CDを取り出すとき

- 1 CD取り出しボタン(▲)を押します。
- 2 CDの端を持って取り出します。

早送り/早もどしをするとき

- 1 早送りするときは早送りボタン (▶▶)、早もどしするときは早もどしボタン (◀◀) を押し続けます。
- 2 ボタンから手をはなすと、その位置から再生を始めます。

曲の頭出しをするとき

今聞いている曲の頭にもどりたいときはトラックダウンボタン (▼)、次の曲の頭に進めたいときはトラックアップボタン (▲) を軽く押します。

同じ曲をくり返して聞くと

- 1 再生中にリピートボタン (RPT) を押すと、その曲をくり返して再生します。表示部に“RPT”が表示されます。
- 2 もう一度押すと解除されます。

ランダム選曲をするとき

CD内の曲をランダム(無作為)に選曲し、再生することができます。

- 1 再生中にランダムボタン (RDM) を押すと、ランダムな順序で再生します。表示部に“RDM”が表示されます。
- 2 もう一度押すと解除されます。

聞きたい曲を探すとき

CD内の曲を10秒間ずつ再生し、聞きたい曲を探すことができます。

- 1 再生中にスキャンボタン (SCAN) を押すと、次の曲の頭から順に10秒間ずつ再生されます。
- 2 聞きたい曲が再生されているときにもう一度スキャンボタン (SCAN) を押します。その曲の再生がそのまま続きます。



知識

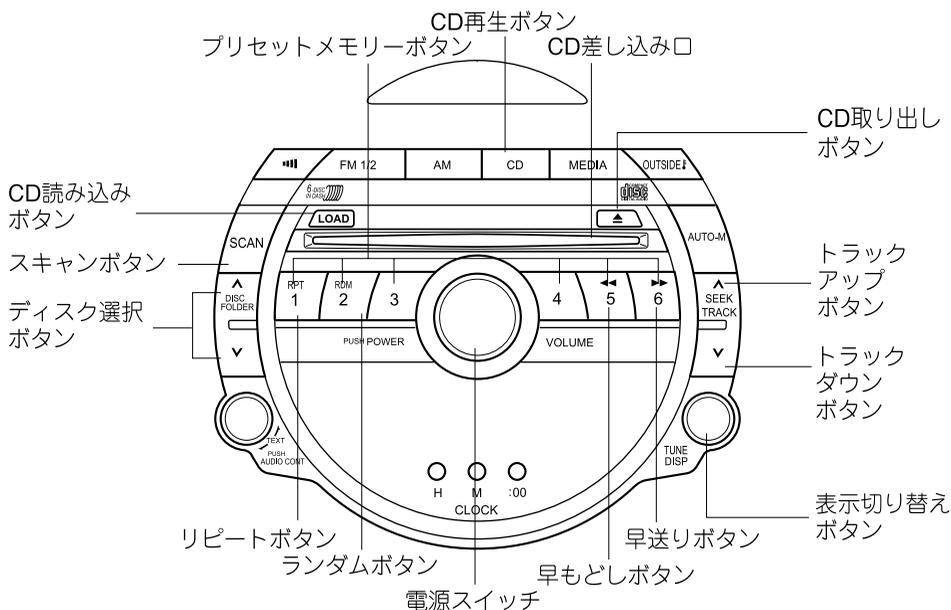
全ての曲の再生が終わると自動的に解除され、通常の再生にもどります。

メッセージが表示されたときは

“CHECK CD” のメッセージが表示されたときはCDに何らかの異常があります。CDにキズや汚れがないか確認して正しく入れ直してください。

再度メッセージが表示されたときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

インダッシュCDチェンジャーの使いかた



インダッシュCDチェンジャーが装着されている場合、操作することができます。

CDのセットのしかた

インダッシュCDチェンジャーにはCDを6枚までセットすることができます。エンジンスイッチがACCまたはONの位置のときにセットできます。

1枚だけセットする

- 1 CD読み込みボタン (LOAD) を軽く押しします。
チェンジャー内の空いているトレーの中で最も小さいトレー番号が点滅し、“WAIT” が表示されます。
- 2 表示部に“IN”が表示されたら、CDのラベル面を上にして、CD差し込み口に軽く押し込みます。CDが自動的に送り込まれ、再生を始めます。

知識

表示部に“WAIT”が表示されている間はCDを挿入することができません。“IN”が表示されるまでお待ちください。また、“WAIT”表示中はピピピピッと音がします。

トレーを指定してセットする

- 1 CD読み込みボタン (LOAD) をピピピピッと音がするまで押しします。
- 2 5秒以内に希望するトレー番号 (1~6) のプリセットメモリーボタンを押します。
- 3 表示部に“IN”が表示されたら、CDのラベル面を上にして、CD差し込み口に軽く押し込みます。CDが自動的に送り込まれ、そのCDの再生を始めます。



知識

指定したトレイにすでにCDがはいっている場合はCDを入れることはできません。

2枚以上続けてセットする

- ① CD読み込みボタン (LOAD) をピッピッピッと音がするまで押します。
- ② “WAIT” 表示中に再度、CD読み込みボタン (LOAD) を軽く押します。



知識

5秒以上操作しない状態が続くと、自動的に挿入可能になります。

- ③ 表示部に“IN”が表示されたら、CDのラベル面を上にして、CD差し込み口に軽く押し込みます。
- ④ 再度、表示部に“IN”が表示されたら、次のCDを挿入します。
セットしたい枚数(チェンジャー内のCDを含めて最大6枚)だけ、この動作をくり返します。
CDの挿入が完了すると、自動的に最初に挿入したCDの再生を始めます。



知識

“IN”が表示されてから15秒経過するか、チェンジャーがいっぱいになるとCDの再生を始めます。

CDが入っているトレイ番号を表示するとき

CDが入っているトレイの番号を知りたいときは、表示切り替えボタン (DISP) を押します。
トレイ番号は5秒間表示されます。

CDの取り出ししかた

1枚だけ取り出す

CD取り出しボタン (▲) を軽く押します。
排出されるトレイ番号と、“DISC OUT” 表示が点滅し、CDが出てきます。

トレーを指定して取り出す

- ① CD取り出しボタン (▲) をピーと音がするまで押します。
- ② 5秒以内に取り出したいCDのトレイ番号(1~6)のプリセットメモリーボタンを押します。
排出されるトレイ番号と、“DISC OUT” 表示が点滅し、CDが出てきます。

チェンジャー内のCDをすべて取り出す

- ① CD取り出しボタン (▲) をピーと音がするまで押します。
- ② 再度、CD取り出しボタン (▲) を軽く押します。ボタンを押さない場合、約5秒後、自動的にCDが出てきます。
排出作動中のトレイ番号が点滅します。
- ③ CDを取り出します。
- ④ 自動的に次のCDが出てきます。
すべてのCDを取り出すまでこの動作がくり返されます。

再生するとき

- ① エンジンスイッチをACCまたはONの位置にします。
- ② CDをセットします。
→184ページ「CDのセットのしかた」
CDがはいっているときは、CD再生ボタン (CD) を押すと再生を始めます。
- ③ 音量/音質を調節します。
- ④ 再生を止めるときは電源スイッチを押します。(もう一度押すと再生できます。)

4.快適カーライフのために オーディオ



知識

CDがはいついていないときにCD再生ボタン (CD) を押すと“NO DISC”が表示されます。

CDを選択するとき

再生中にディスク選択ボタン (A、V) を押すと、ディスクナンバーが切り替わります。

早送り/早もどしをするとき

- 1 早送りするときは早送りボタン (▶▶)、早もどしするときは早もどしボタン (◀◀) を押し続けます。
- 2 ボタンから手をはなすと、その位置から再生を始めます。

曲の頭出しをするとき

今聞いている曲の頭にもどしたいときはトラックダウンボタン (V)、次の曲の頭に進めたいときはトラックアップボタン (A) を軽く押します。

同じ曲をくり返して聞くとき

- 1 再生中にリピートボタン (RPT) を押すと、その曲をくり返して再生します。表示部に“RPT”が表示されます。
- 2 もう一度押すと解除されます。

ランダム選曲をするとき

CD内の曲をランダム (無作為) に選曲し、再生することができます。

- 1 再生中にランダムボタン (RDM) を押すと、ランダムな順序で再生します。表示部に“RDM”が表示されます。
- 2 もう一度押すと解除されます。

聞きたい曲を探するとき

CD内の曲を10秒間ずつ再生し、聞きたい曲を探することができます。

- 1 再生中にスキャンボタン (SCAN) を押すと、次の曲の頭から順に10秒間ずつ再生されます。
- 2 聞きたい曲が再生されているときにもう一度スキャンボタン (SCAN) を押します。その曲の再生がそのまま続きます。



知識

全ての曲の再生が終わると自動的に解除され、通常の再生にもどります。

メッセージが表示されたときは

“CHECK CD”のメッセージが表示されたときはCDに何らかの異常があります。CDにキズや汚れがないか確認して正しく入れ直してください。再度メッセージが表示されたときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

AUXモード (外部入力) の使いかた☆

AUXモード (外部入力) では、市販のポータブルオーディオをAUX端子に接続することで、車両のスピーカーで音声を聞くことができます。

→190ページ「ポータブルオーディオ機器を使用していただくために」



知識

(オーディオおよびナビゲーションシステム非装備車)

AUX端子は、ショッピングオプションのナビゲーションシステムを装着することで機能します。

オーディオリモートコントロールスイッチ

ハンドルの左側にあります。

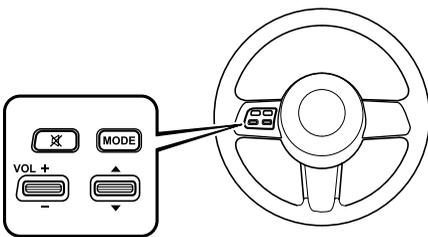
オーディオの電源が入っているときに、手でオーディオの操作をすることができます。

知識

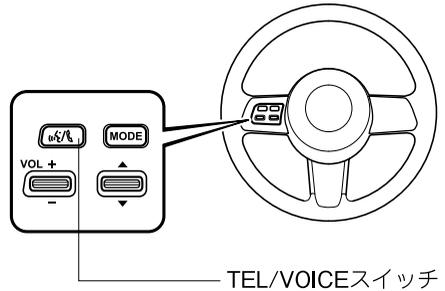
次のようなときはオーディオの電源が切れるため、各スイッチを操作することができません。

- エンジンスイッチをLOCKの位置にしたとき。
- オーディオの電源スイッチを押して電源を切ったとき。
- 再生中のCDを取り出したとき。(インダッシュCDチェンジャーの場合はすべてのCDを取り出したとき)

ナビゲーションシステム非装備車



ナビゲーションシステム装備車



知識

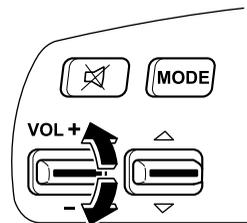
TEL/VOICEスイッチはナビゲーションの音声操作とハンズフリーに使用するものです。

詳しくは、別冊の「ナビゲーションシステム取扱書」をお読みください。

音量を調節するとき

音量調節スイッチ(+、-)を操作して、音量を調節します。

- 大きくするとき
音量調節スイッチを引き上げます。
- 小さくするとき
音量調節スイッチを引き下げます。



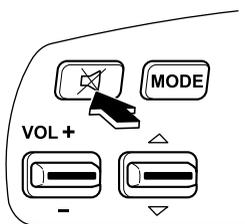
4.快適カーライフのために オーディオ

消音にするとき☆

ミュートスイッチ (M) を押すと、消音できます。もう一度スイッチを押すともとにもどります。

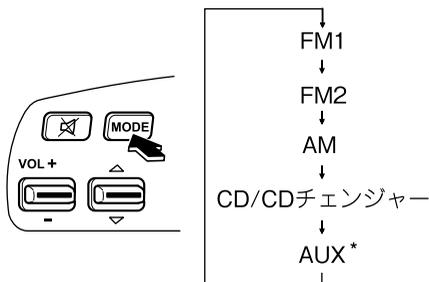
知識

消音にしたあとエンジンスイッチを LOCK の位置にすると、消音は解除されます。その後エンジンをかけると、消音にする前の状態にもどります。音を消したいときは、再度ミュートスイッチ (M) を押してください。



モードを選択するとき

モードスイッチ (MODE) を押して、オーディオのモードを切り替えます。スイッチを押すごとに次のようにモードが切り替わります。



* 外部入力端子接続時のみ

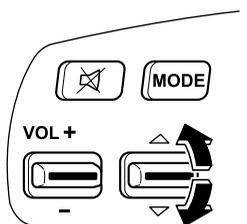
知識

- 次のモードは、オーディオに設定がある場合のみ選択できます。
 - CD
 - CDチェンジャー
 - AUX
- CDが挿入されていないとき、AUX端子に市販のポータブルオーディオ機器が接続されていないときは、モードを選択できません。

選局するとき

ラジオを聞いているときに選局スイッチ(▲、▼)を軽く操作すると、プリセットメモリーボタンを使ってあらかじめ記憶させておいた放送局を呼び出すことができます。スイッチを操作することによって順次記憶された放送局に切り替わります。

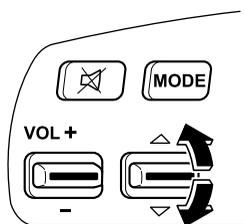
また、ピーと音がするまで操作すると、自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。



曲の頭出しをするとき

CDを聞いているときに頭出しスイッチ(▲、▼)を操作すると、曲の頭出しをすることができます。

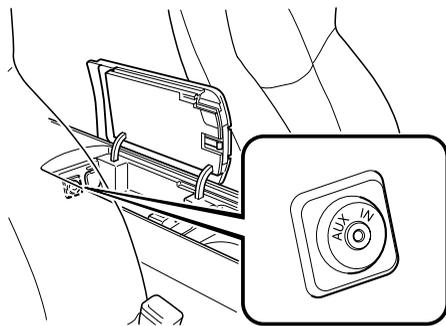
次の曲の頭に進めたいときは早送りスイッチ(▲)を引き上げ、今聞いている曲の頭にもどりたいときは早もどしスイッチ(▼)を引き下げます。



4.快適カーライフのために オーディオ

ポータブルオーディオ機器を使用していただくために★

AUXモード(外部入力)では、市販のポータブルオーディオをAUX端子に接続することで、車両のスピーカーで音声を聞くことができます。



警告

- 操作は、車が止まっているときに行なってください。走行中は、運転操作がさまたげられ思わぬ事故につながるおそれがあります。
- AUX端子に接続したコードがパーキングブレーキレバーやチェンジレバーに絡まないようにしてください。運転操作がさまたげられ思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- 使用しないときは、必ずフタを閉めておいてください。AUX端子に異物が入ったり、飲料水などがかかると、故障につながるおそれがあります。
- プラグを接続した状態でAUX端子の上やコンソールのフタの上に物を乗せたり、大きな力を加えたりしないでください。
- 車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時、ノイズが発生することがあります。(ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください。)

知識

- ご使用前に、市販のポータブルオーディオの取扱書をよくお読みください。
- ポータブルオーディオをAUX端子に接続するための接続コードは、市販の抵抗なしのステレオミニプラグ(3.5φ)を使用してください。ご使用前に接続コードの取扱書をよくお読みください。
- エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- 接続する機器の電源は、ポータブルオーディオ機器のバッテリーなどを使用してください。
- プラグはAUX端子に確実に差し込んでください。
- プラグの抜き差しはAUX端子の穴に対して垂直に行なってください。

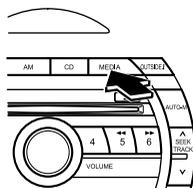
知識

- プラグの抜き差しはプラグの先端を持って行ってください。
- (オーディオおよびナビゲーションシステム非装備車)
AUX端子は、シヨップオプションのナビゲーションシステムを装着することで機能します。

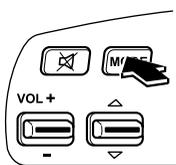
ポータブルオーディオ機器を聞くには

- 1 エンジンスイッチをACCまたはONの位置にします。
- 2 コード先端のプラグをAUX端子に接続します。
- 3 オーディオユニットの電源スイッチをONにします。
- 4 オーディオユニットのソース切り替えボタン (MEDIA) またはオーディオリモートコントロールスイッチのモードスイッチ (MODE) を押してAUXモードに切り替わります。

オーディオ



オーディオリモート
コントロールスイッチ

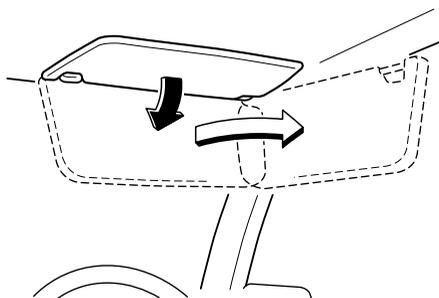


知識

- 接続する機器の音が歪まない範囲で最大にし、オーディオユニットの音量調節ダイヤルまたはオーディオリモートコントロールスイッチの音量調節スイッチ (+、-) を操作して音量を調節してください。
- 音量調節以外の操作はポータブルオーディオ本体で行なってください。
- AUXモード中にAUX端子からコードを抜いたり、接続している機器側のプラグを抜くとノイズが発生することがあります。

サンバイザー

前からの光をさえぎるときは、下げます。
横からの光をさえぎるときは、下げた後フックからはずして横にします。



バニティミラー (化粧鏡)

バニティミラーは、サンバイザーの裏側にあります。
フタを開けるとランプが点灯します。

室内照明

知識

エンジンを停止しているとき、ランプを長時間点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

イルミネーテッドエントリーシステム

ルームランプスイッチがDOORの位置のとき、次のような操作をすると、ルームランプ、ドアカーテシランプ、グラウンドイルミネーションランプが点灯します。

- 運転席ドアを解錠すると約30秒間点灯します。
- ドアを開けて閉めた後、約15秒間点灯します。
アドバンストキーを携帯し、車外からドアを閉めた後、約5秒間点灯します。
- エンジンスイッチから補助キーを抜くと約15秒間点灯します。

知識

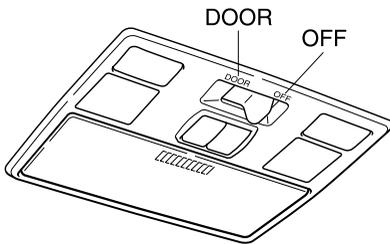
- 次のようなときルームランプ、ドアカーテシランプ、グラウンドイルミネーションランプはすぐに消灯します。
 - ・ エンジンスイッチをONの位置にしたとき。
 - ・ 運転席ドアを施錠したとき。
- ルームランプスイッチがDOORの位置で、約30分間ドアが確実に閉まっている状態が続くと、自動的にルームランプ、ドアカーテシランプ、グラウンドイルミネーションランプが消灯して、バッテリーあがりを防止します。

ルームランプ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。
スイッチを操作するとルームランプが点灯/消灯します。

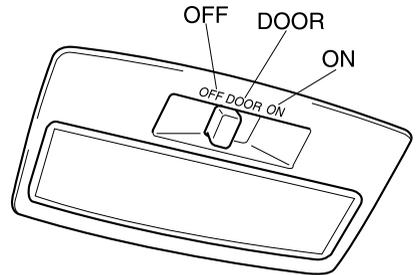
フロント

スイッチ位置	ルームランプ
DOOR	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。 ● イルミネーテッドエントリーシステムの作動により点灯/消灯します。
OFF	常時消灯



リヤ

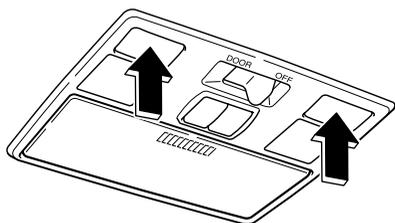
スイッチ位置	ルームランプ
DOOR	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。 ● イルミネーテッドエントリーシステムの作動により点灯/消灯します。
OFF	常時消灯
ON	常時点灯



4.快適カーライフのために 室内装備

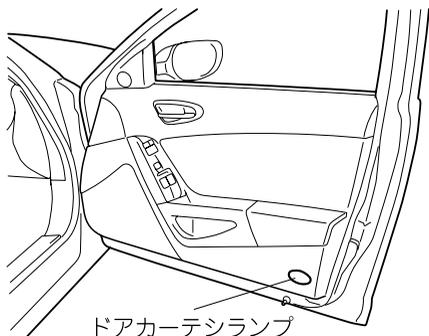
マップランプ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。
スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。



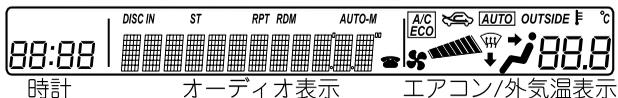
ドアカーテシランプ

ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。また、イルミネーテッドエントリーシステムの作動により点灯/消灯します。



インフォメーションセンターディスプレイ

オーディオまたはナビゲーションシステム装備車



時計

オーディオ表示

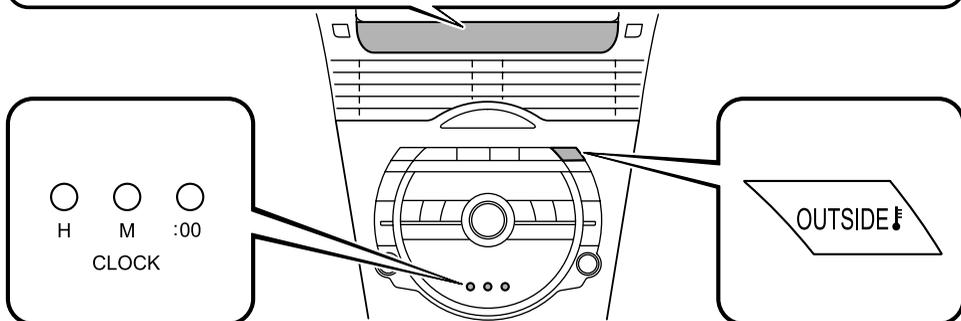
エアコン/外気温表示

オーディオおよびナビゲーションシステム非装備車



外気温表示

エアコン表示



インフォメーションセンターディスプレイの機能について

インフォメーションセンターディスプレイには次の機能があります。

- 時計☆
- 外気温表示
- エアコン表示
- オーディオ表示☆

時計☆

エンジンスイッチがACCまたはONのとき表示します。

10:00

4.快適カーライフのために 室内装備

ナビゲーションシステム非装備車

時刻のあわせかた

- 1 エンジンスイッチをACCまたはONの位置にします。
- 2 時間調節ボタン (H、M) を操作して時刻をあわせませます。
時計調節ボタン (H) を押している間“時”表示が早送りされます。
時計調節ボタン (M) を押している間“分”表示が早送りされます。

時報にあわせるとき

- 1 エンジンスイッチをACCまたはONの位置にします。
- 2 :00ボタンを約1.5秒以上押します。時刻が点滅表示されます。
- 3 ボタンから手をはなすと、時刻が次のように修正されます。
(例)
12:01～12:29→12:00
12:30～12:59→1:00



知識

:00ボタンをはなした時点で、“秒”は“00”からスタートします。

ナビゲーションシステム装備車



知識

ナビゲーションシステムに連動して自動的に調整されますので、時刻をあわせる必要はありません。

外気温表示



知識

次のようなとき、外気温度表示の数値は周囲や車両の状況により、実際の外気温と異なることがあります。

- 著しく寒いとき、暑いとき
- 外気温が急激に変化したとき
- 停車時
- 低速走行時

オーディオおよびナビゲーションシステム非装備車

エンジンスイッチがONの位置のとき、外気温を表示します。

オーディオまたはナビゲーションシステム装備車

エンジンスイッチがONの位置のとき、**OUTSIDE** ボタンを押すと外気温を表示します。

OUTSIDE ボタンを押すごとに、外気温表示と空調の設定温度表示 (エアコンスイッチがONのとき) が切り替わります。温度設定については、167ページの「フルオートエアコン」をご覧ください。

OUTSIDE  °C

25

エアコン表示

エアコンの作動状態を表示します。
エアコンの操作については、164ページの「空調」をご覧ください。

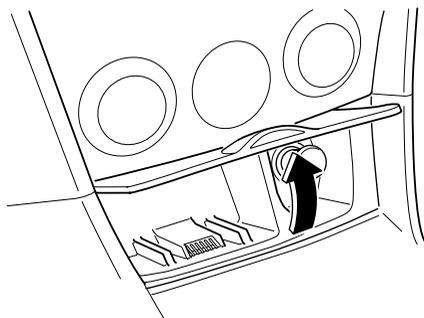
オーディオ表示☆

オーディオの作動状態を表示します。
オーディオの操作については、170ページの「オーディオ」をご覧ください。

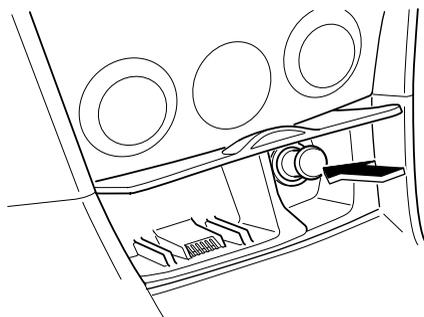
シガーライター

エンジンスイッチがACCまたはONの位置のとき使用できます。

- 1 フタを開きます。



- 2 シガーライターを押し込んで手を離し、もとの位置にもどるまで待ちます。ヒーター部が熱くなると自動的にもどり、使用できます。



4.快適カーライフのために 室内装備

⚠ 注意

- シガーライターの金属部分に触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- シガーライターの故障、焼損を防ぐために、次の点を守ってください。
 - ・ シガーライターの差し込み口を純正部品以外の電気製品の電源に使用しないでください。
 - ・ 他車のシガーライターを差し込まないでください。もどらなくなることがあります。
 - ・ シガーライターは押さえたままにしないでください。

📖 知識

30秒以上たってももどらないときは、故障のおそれがあります。手で引き抜き、マツダ販売店で点検を受けてください。

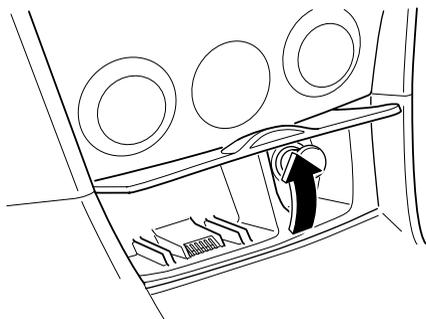
灰皿

⚠ 注意

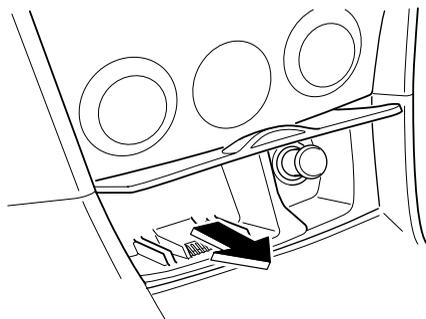
出火を防ぐために、次の点を守ってください。

- タバコ、マッチなどは完全に火を消してから灰皿に入れ、使用後は確実に閉めてください。
- 紙くずなどの燃えやすいものを入れないでください。
- 灰皿本体を引き抜いた状態では灰皿として使用しないでください。

使用するときには、フタを開きます。



清掃するときには、フタを開いてから灰皿本体を引き抜きます。



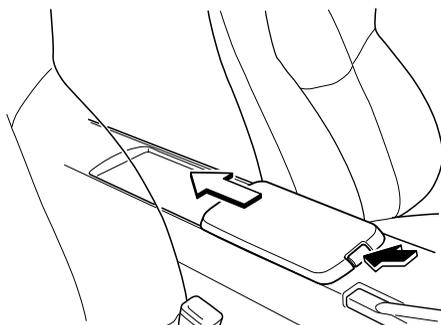
カップホルダー

⚠ 注意

走行中は熱い飲み物を置かないでください。熱い飲み物がかかると、やけどをするおそれがあります。

また、使用しないときはフタを閉めてください。急停車したときなどに急にフタがしまり、手をはさむなど思わぬけがにつながるおそれがあります。

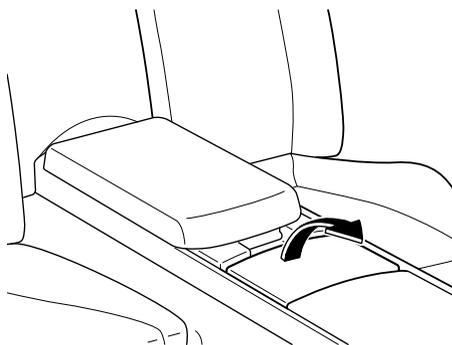
フロント



⚠ 注意

フタがロックされていることを確認してから使用してください。確実にロックされていないと、急ブレーキ時や衝突時に、フタが前方にスライドして飲み物がこぼれるおそれがあります。

リヤ



4.快適カーライフのために 室内装備

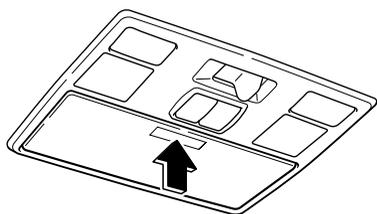
収納

⚠ 注意

- 走行中は、収納ボックスのフタを必ず閉めてください。急ブレーキ時や衝突時に収納ボックスのフタや内部の物だけがをするおそれがあります。
- 炎天下に駐車するときは、収納ボックス内にメガネやライターを放置しないでください。収納ボックス内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

オーバーヘッドコンソール

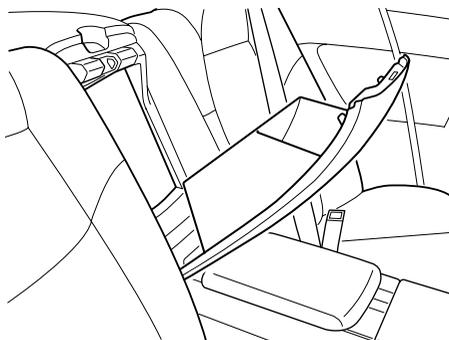
メガネやサングラスなどを入れることができます。



小物入れ

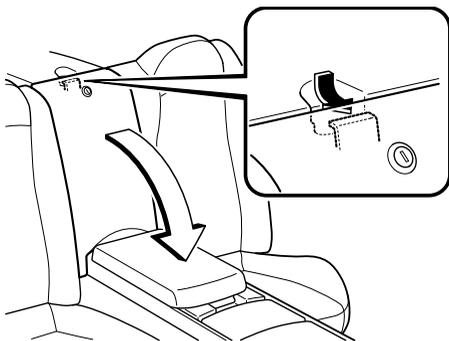
使用するとき

小物などを収納できます。



使用するときには、ノブを引いて小物入れを開きます。

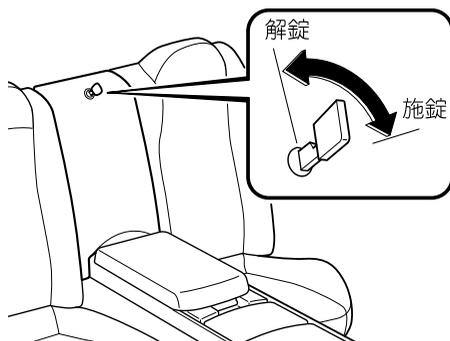
閉めるときは、カチッと音がするまで小物入れを閉めてください。



📖 知識

重い荷物を小物入れから出し入れするときは、小物入れを取りはずしてから行なってください。

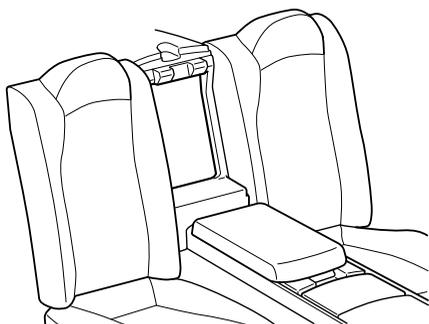
補助キーを差し込み右側にまわすと施錠し、左側にまわすと解錠します。



センタースルー

小物入れを取りはずすと、トランクルームと室内がつながります。スキー板などの長いものを運ぶときに便利です。

使用するときには、小物入れを取りはずします。



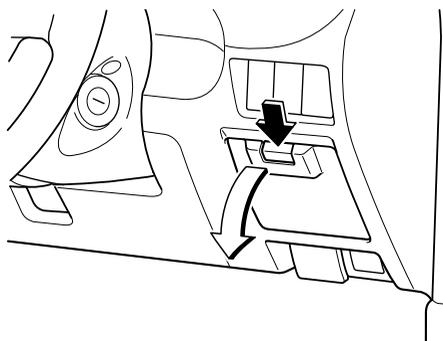
警告

センタースルーを使用するときは、次のようなことに注意してください。運転操作のさまたげになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- セレクトレバー/チェンジレバーの操作のさまたげになるような荷物は積まないでください。
- トランク内の荷物が飛散しないよう、急ブレーキなどの急な運転操作は避けてください。

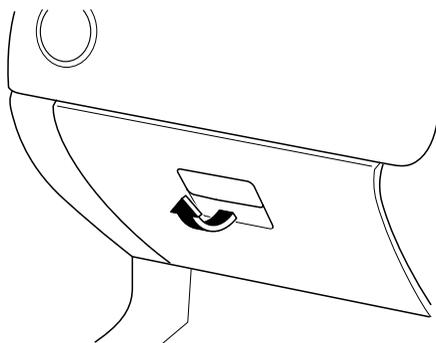
コインボックス

使用するときには、ノブを押してフタを開きます。



4.快適カーライフのために 室内装備

グローブボックス

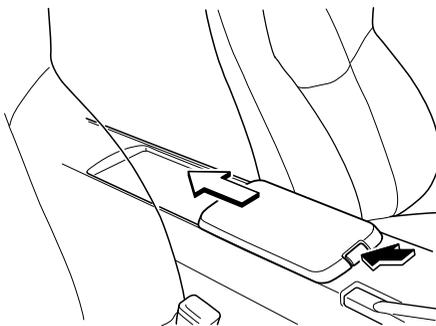


閉めるときは、カチッと音がするまでフタを確実に押さえます。

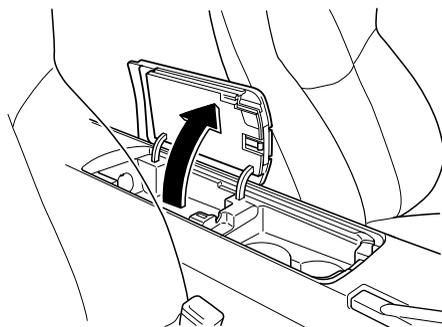
コンソールボックス

フロント

- 1 ボタンを押したまま、フタをカチッと音がするまで後ろへスライドさせます。

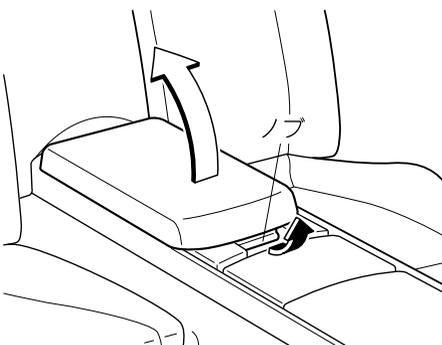


- 2 フタを開きます。



リヤ

ノブを引いて開きます。



注意

コンソールボックス内に芳香剤など液体の入った容器を置かないでください。液体がこぼれた場合、電気系統の故障につながるおそれがあります。

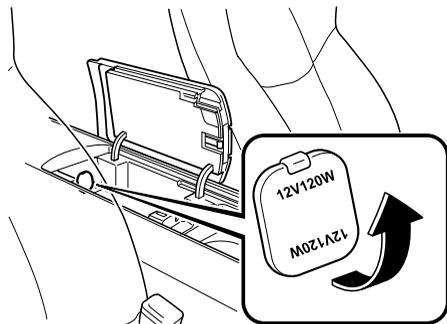
電源ソケット

電源ポジションがACCまたはONのとき、電気製品の電源として使用します。

最大消費電力120W (DC12V—10A) 以下の電気製品を使用してください。

電源ソケットは、コンソールボックスの中にあります。

フタを開けて使用します。



⚠ 注意

- 使用しないときは、必ずフタを閉めておいてください。ソケットに異物が入ったり、飲料水などがかかると、故障につながるおそれがあります。
- 電気製品のプラグはソケットに確実に差し込んでください。プラグが確実に差し込まれていないと、異常に発熱することがあり、ヒューズが切れるおそれがあります。
- 消費電力が120W (DC12V—10A) を超える電気製品は使用しないでください。故障につながるおそれがあります。
- 電源ソケットに接続される機器によってはオーディオにノイズが発生することがあります。
- 電源ソケットに接続される製品によっては、警告灯が点灯するなど車両のシステムに影響をおよぼすおそれがあります。接続されている機器を外し、問題が改善されるか確認してください。改善された場合、機器をソケットから外したあと、電源ポジションをOFFにしてください。問題が継続する場合、マツダ販売店にご相談ください。

📖 知識

エンジンを停止しているときやアイドル状態でも長時間使用すると、バッテリーがあがることがあります。

MEMO

5 万-のときは

故障したとき 206

- 路上で故障したとき 206
- 踏切内で動けなくなったとき 207

緊急用具の取り扱い 208

- 発炎筒 208
- 工具、ジャッキ 209
- ジャッキの取り扱い 211
- スペアタイヤ 214
- タイヤ交換 215

パンクしたとき 218

- タイヤパンク応急修理キット 218

オーバーヒートしたとき 224

- オーバーヒートについて 224

バッテリーがあがったとき 226

- バッテリーあがりについて 226

ヒューズ切れ、電球切れのとき 229

- ランプ類、電気装置が作動しないとき 229
- ヒューズの受け持つ装置 240

けん引について 245

- けん引してもらうとき 245
- 故障車をけん引するとき 247

万-事故が起きたとき 248

5.万一のときは 故障したとき

路上で故障したとき

一般の道路で動けなくなったときに付近に人がいる場合は救援を求めてください。チェンジレバー/セレクトレバーをNにいれ、安全な場所まで押し出します。



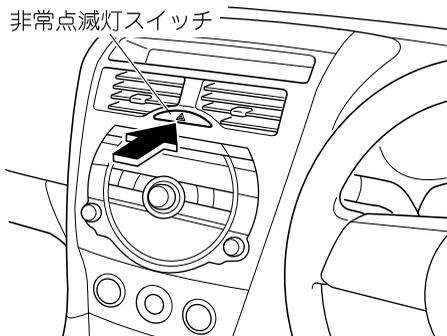
警告

■ 万一、事故や故障などで車から燃料がもれている場合は、すぐにエンジンを止めてください。

爆発、火災につながるおそれがあり危険です。また、発炎筒は車から離れたところで使用してください。

- 1 車を路肩に止め、非常点滅灯を点滅させます。

非常点滅灯スイッチ

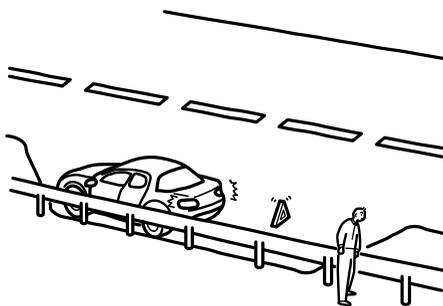


- 2 必要に応じて停止表示板(停止表示灯)、発炎筒を使用し、後続車に故障車であることを知らせます。

→208ページ「発炎筒」

- 高速道路や自動車専用道路などでは車の後方に停止表示板または停止表示灯を置くことが法律で義務づけられています。
- 停止表示板を置くときには、発炎筒を使って合図をするなど、後続車に十分注意してください。

- 3 全員が車から降り、ガードレールの外などの安全な場所に、すみやかに避難してください。



- 4 安全を確保した後、救援を求めます。故障の修理などお困りの際はマツダ販売店へ連絡してください。別冊の「サービス網お客様相談窓口」をご覧ください。



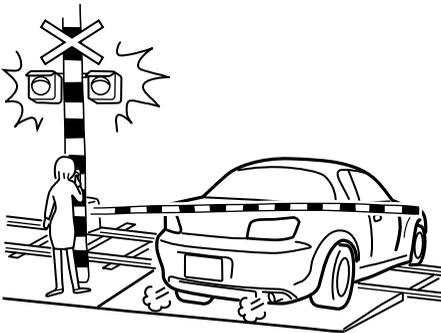
知識

停止表示板(停止表示灯)はお客様のお車に標準で搭載されておりません。万一に備えてあらかじめ用意しておいてください。マツダ販売店でお求めいただけます。

踏切内で動けなくなったとき

脱輪などで動けなくなったとき

- 1 踏切の非常ボタンを押します。
緊急を要するときは、発炎筒で列車に合図します。
→208ページ「発炎筒」



- 2 付近の人に救援を求めます。

エンストで動けなくなったとき

- 1 エンジンをかけ直します。
- 2 エンジンがかからないときは、踏切の非常ボタンを押します。
緊急を要するときは、発炎筒で列車に合図します。
→208ページ「発炎筒」
- 3 付近の人に救援を求めます。
チェンジレバー/セレクトレバーをNにいれ、安全な場所まで押し出します。

知識

マニュアル車は、ギヤがはいっている状態でスターターをまわしたときに車が動き出すのを防ぐため、クラッチスタートシステムが装備されています。

→148ページ「クラッチスタートシステム」

そのため、ギヤを入れたままエンジンスイッチをSTARTの位置にし続けて車を緊急避難させることができません。

発炎筒

警告

■油、ガソリンなど可燃物の近くでは使用しないでください。
火災につながるおそれがあります。

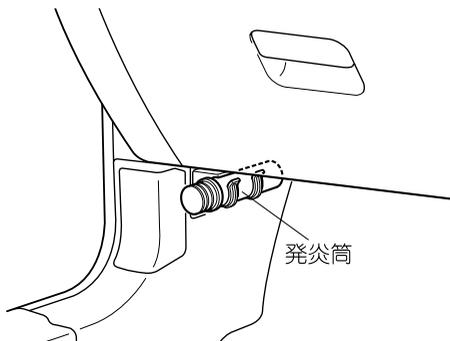
■使用するときは筒先を顔や身体に向けたり近づけたりしないでください。
やけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

■お子さまにはさわらせないでください。
誤って使用すると、やけどや思わぬ事故につながるおそれがあります。

■トンネル内では発炎筒を使用しないでください。
トンネル内で発炎筒を使用すると、煙で視界が悪くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。必要なときは非常点滅灯を使用してください。

発炎筒について

事故や故障で停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

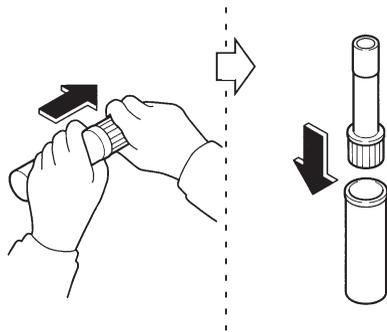


知識

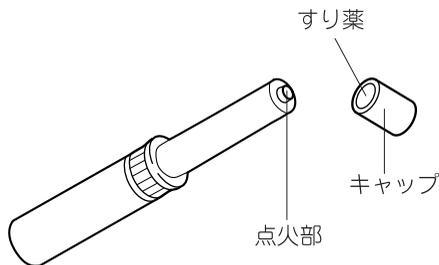
- 発炎筒は点火すると、約5分間燃え続けます。
- 発炎筒には有効期限があります。発炎筒に書いてありますので確認して、有効期限がきれる前にマツダ販売店でお求めください。

発炎筒の使いかた

- 1 本体をひねりながら取り出し、逆にして差し込みます。



- 2 点火部をキャップの頭部のすり薬でこすると着火します。



工具、ジャッキ



警告

■ 車に搭載されているジャッキはお客様のお車専用のものです。他の車には使用しないでください。また、他の車のジャッキや車に搭載されているジャッキ以外のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車体が損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。やむをえず、車に搭載されているジャッキ以外を使用するときは、マツダ販売店にご相談ください。



注意

- ジャッキはタイヤ交換、タイヤチェーンの取り付け、取りはずし以外に使用しないでください。
- 工具、ジャッキを使用したあとは走行中に動かないよう、所定の位置にしっかりと固定してください。

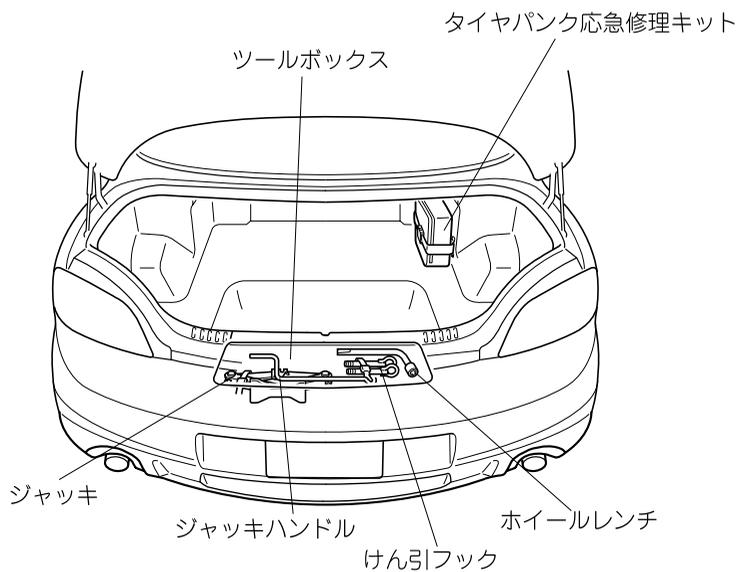


知識

スペアタイヤはお客様のお車に標準で搭載されておりません。必要に応じてマツダ販売店でお求めください。スペアタイヤの取り扱いについては、スペアタイヤに付属の取扱説明書をご覧ください。

5.万一のときは 緊急用具の取り扱い

工具、ジャッキは図の位置に格納されています。



ジャッキの取り扱い

ジャッキアップする前に

- 1 交通のさまたげにならず、安全に作業できる地面の平らで固い場所に車を移動します。
- 2 マニュアル車はチェンジレバーを1またはRに、オートマチック車はセレクトレバーをPにいます。
- 3 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけ、エンジンを止めます。
- 4 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板(停止表示灯)を使用します。
- 5 人や荷物を降ろし、工具、ジャッキを取り出します。
→209ページ「工具、ジャッキ」
- 6 輪止めを用意します。

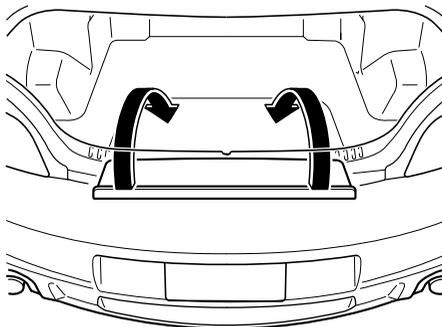
知識

輪止めや停止表示板(停止表示灯)はお客様のお車に標準で搭載されておられません。

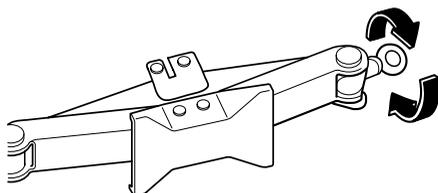
必要に応じてマツダ販売店でお求めください。なお、輪止めには、タイヤを固定できる大きさの石や木材が代用できます。

取り出すとき

- 1 ツールボックスのフタを開きます。



- 2 ジャッキの図の部分(矢印)をゆるめてはずし、ジャッキを取り出します。



格納するとき

取り出すときと逆の手順で格納場所に固定します。

5.万有的时候は 緊急用具の取り扱い

ジャッキアップするとき

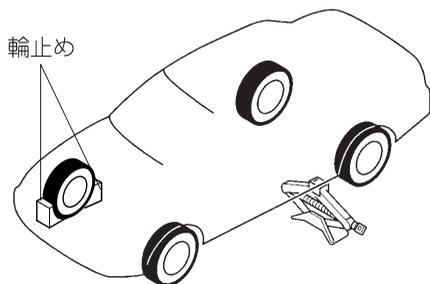
警告

■ ジャッキアップするときはマニュアル車はチェンジレバーを1またはRに、オートマチック車はセレクトレバーをPにいれ、パーキングブレーキをかけ、ジャッキをかける位置と対角の位置に輪止めをしてください。

チェンジレバーが1またはR、セレクトレバーがPにはいっていても、車が動きジャッキがはずれて思わぬ事故につながるおそれがあります。

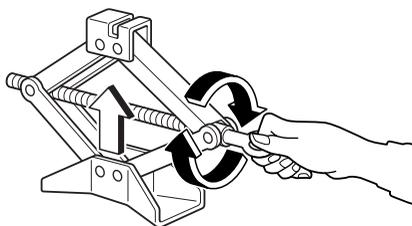
1 パーキングブレーキをしっかりとかけ、ジャッキをかける位置と対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。

- 前輪をジャッキアップするときは、後輪の前後
- 後輪をジャッキアップするときは、前輪の前後

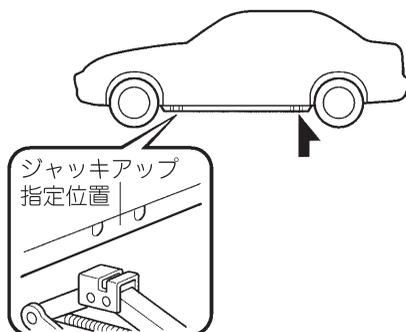


2 ジャッキを地面に置きます。

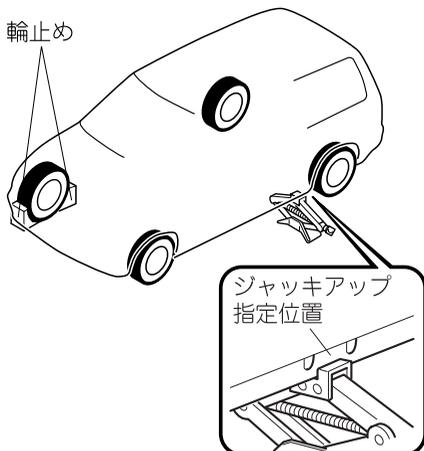
3 ジャッキの図の部分を手でまわしてジャッキをジャッキアップ指定位置の近くにくるように調節します。



4 ジャッキをジャッキアップ指定位置に直角にセットします。



- 5 ジャッキを徐々に上げて、ジャッキアップ指定位置にジャッキがはまっていることを確認します。



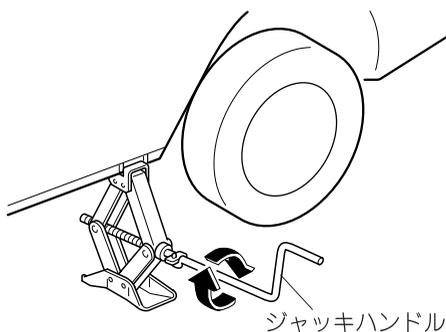
警告

- ジャッキアップ指定位置以外にジャッキをかけたり、ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。

車体の変形したり、ジャッキがはずれたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 6 ジャッキにジャッキハンドルを組み付けます。

- 7 タイヤが地面から少し離れるまで車をジャッキアップします。



警告

- 必要以上にジャッキアップしないでください。

車体が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ジャッキアップした状態で車のエンジンをかけないでください。

ジャッキがはずれた場合、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ジャッキアップした車の下には絶対にはいらないでください。

万一ジャッキがはずれた場合、重大な傷害につながるおそれがあります。

注意

人を乗せたままジャッキアップしないでください。

スペアタイヤ

スペアタイヤはお客様のお車に標準で搭載されておりません。必要に応じてマツダ販売店で求めください。スペアタイヤの取り扱いについては、スペアタイヤに付属の取扱説明書をご覧ください。



警告

■他のタイヤやホイールと組み合わせて使用したり、他の車に使用しないでください。

購入されたスペアタイヤとホイールは、お客様のお車専用のもので、思わぬ事故につながるおそれがあります。

応急用スペアタイヤについて

応急用スペアタイヤはパンクしたとき一時的に使用するものです。



注意

- 応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、車体が少し傾き、車高が低くなります。地面の突起物などを乗り越えるときは、車体が地面に接触しないように慎重に運転してください。
- LSD装備車は応急用スペアタイヤを後輪に使用する場合、標準タイヤとのサイズ差によりLSDに負荷がかかり故障につながるおそれがあります。できるだけ早めに標準タイヤに交換してください。



注意

- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンを装着しないでください。タイヤチェーンが車体側に当たったり、走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。積雪路、凍結路で後輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを前輪に使用し、はずした前輪を後輪につけてからタイヤチェーンを装着してください。



知識

- 応急用スペアタイヤの空気圧を定期的に点検してください。
適正空気圧は420kPa (4.2kgf/cm²) です。
- 摩耗限界表示 (ウェアインジケーター) が表れたら、タイヤを交換してください。
→257ページ「タイヤの点検」
- 応急用スペアタイヤに標準タイヤのホイールキャップは取り付けできません。

タイヤ交換



警告

- **タイヤを交換するときは前後輪とも必ず指定された同一サイズ、同一種類のものを使用してください。**

指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



知識

タイヤサイズは、運転席側のリヤドアに貼付されているラベルで確認してください。
くわしくはマツダ販売店にご相談ください。

タイヤ交換をする前に

- 1 交通のさまたげにならず、安全に作業できる地面が平らで固い場所に車を移動します。
- 2 マニュアル車はチェンジレバーを1またはRに、オートマチック車はセレクトレバーをPにいれます。
- 3 ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけエンジンを止めます。
- 4 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板(停止表示灯)を使用します。
- 5 人や荷物を降ろし、工具、ジャッキを取り出します。
→209ページ「工具、ジャッキ」
- 6 輪止めを用意します。



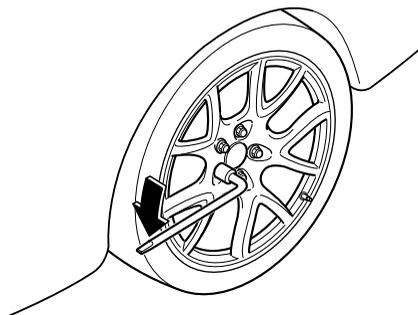
知識

輪止めや停止表示板(停止表示灯)はお客様のお車に標準で搭載されておりません。

必要に応じてマツダ販売店でお求めください。なお、輪止めには、タイヤを固定できる大きさの石や木材が代用できます。

タイヤの取りはずし

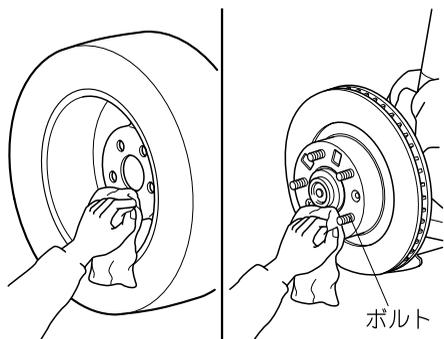
- 1 ホイールレンチでナットを左に約1回転まわしてゆるめます。



- 2 タイヤが地面から少し離れるまで車をジャッキアップします。
→212ページ「ジャッキアップするとき」
- 3 ナットをはずし、タイヤを取りはずします。

5.万一のときは 緊急用具の取り扱い

- ④ ボルトとホイール裏側の接触面に付着している汚れを布などでふき取ります。

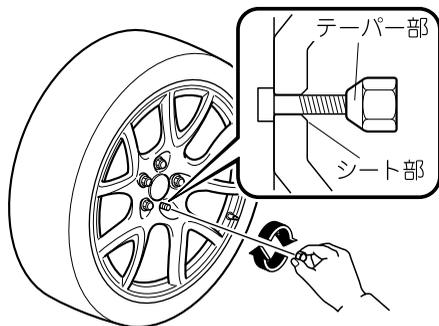


警告

ボルトやホイール裏側の接触面がホコリなどで汚れていると、走行中にナットがゆるみタイヤがはずれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

タイヤの取り付け

- ① タイヤを取り付けてから、ナットのテーパ部分がホイールのシート部に軽くあたる程度まで、ナットを右にまわして仮締めします。



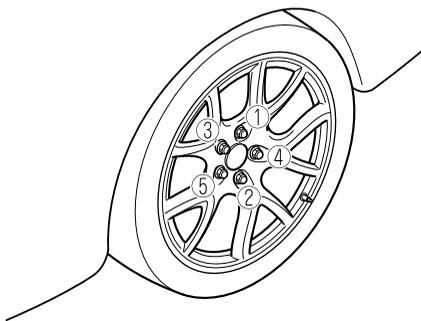
警告

ナットやボルトにオイルやグリースをぬらないでください。ナットがゆるんでタイヤがはずれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、必要以上に締め付けられて、ナットやボルトが破損するおそれがあります。

- ② ジャッキハンドルを左にまわし、車をおろします。
- ③ ホイールレンチで図の番号順にナットを2~3回に分けて締め付けます。

ナットの締め付けトルク:

N・m (kgf・m)	88~118 (9~12)
-------------	------------------



注意

ホイールレンチを足で踏んでナットを必要以上に締め付けしないでください。ボルトが破損するおそれがあります。



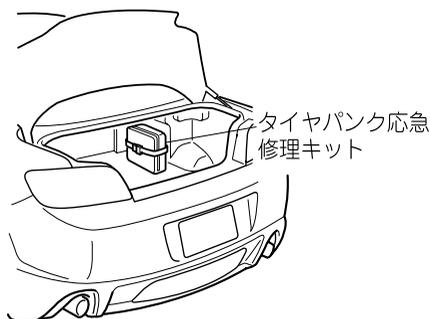
知識

- タイヤを交換してから約1,000km走行した後、ナットにゆるみが無いことを確認してください。
- タイヤを交換した後はホイールバランスが狂うことがあります。走行中に車体の振動などの異常を感じたら、マツダ販売店で点検を受けてください。

5.万一のときは パンクしたとき

タイヤパンク応急修理 キット

本キットはタイヤの接地面に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを一時的に修理するものです。
タイヤパンク応急修理キットは図の位置に格納されています。



知識

- お客様のお車にはスペアタイヤが標準で搭載されておりません。タイヤがパンクしたときは、タイヤパンク応急修理キットを使用し、パンクタイヤを一時的に修理してください。修理するときは、タイヤパンク応急修理キット内に付属している取扱説明書もあわせてご覧ください。
- タイヤパンク応急修理キットで応急修理をしたタイヤは、新しいタイヤに交換することをおすすめします。修理・再使用については、マツダ販売店にご相談ください。

タイヤパンク応急修理キット について

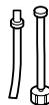
タイヤパンク応急修理キット内には、次のものが格納されています。



修理剤



エアコンプレッサー



延長ホース/注入ホース



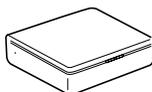
予備バルブ
コア



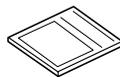
コア回し



パンク修理剤
注入済みシール



ケース



取扱説明書



速度制限
シール



警告

- 万一飲用したときは、すぐに多量の水を飲み、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。修理剤を飲用すると健康に害があります。
- 修理剤が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗淨してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。
- お子さまには修理剤をさわらせないでください。誤って使用すると、やけどや思わぬ事故につながるおそれがあります。

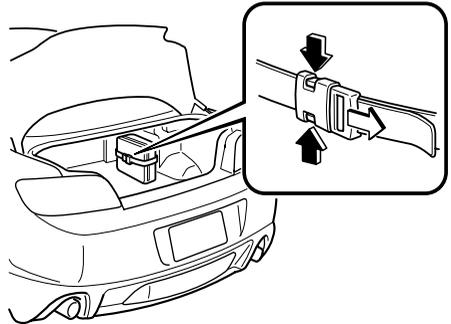


知識

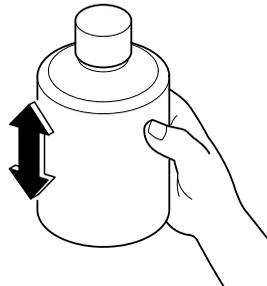
- 一度使用した修理剤は再使用できません。新しい修理剤をマツダ販売店で求めください。
- 次のようなときには、修理剤を使用することができません。マツダ販売店またはJAFなどに連絡してください。
 - ・ 修理剤の有効期限がきれているとき（有効期限はボトルのラベルに記載されています）
 - ・ 約4mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
 - ・ 接地部以外が損傷を受けたとき
 - ・ ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
 - ・ タイヤがホイールからはずれているとき
 - ・ ホイールが破損しているとき
 - ・ タイヤが2本以上パンクしているとき

タイヤパンク応急修理キットの使いかた

- 1 交通のさまたげにならず、安全に作業できる地面の平らで固い場所に車を移動します。
- 2 マニュアル車はチェンジレバーを1またはRに、オートマチック車はセレクトレバーをPにいます。
- 3 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけ、エンジンを止めます。
- 4 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板（停止表示灯）を使用します。
- 5 人や荷物を降ろし、タイヤパンク応急修理キットを取り出します。



- 6 修理剤のボトルをよく振ります。



5.万一のときは パンクしたとき

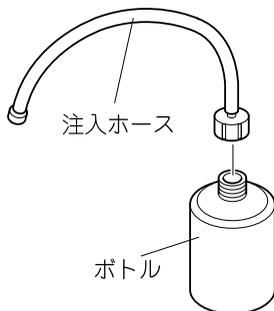
⚠ 注意

注入ホースをねじ込んだ後にボトルを振ると、修理剤が注入ホースから飛び散るおそれがあります。修理剤が衣服などに付着すると取れないおそれがありますので、注入ホースをねじ込む前にボトルを振ってください。

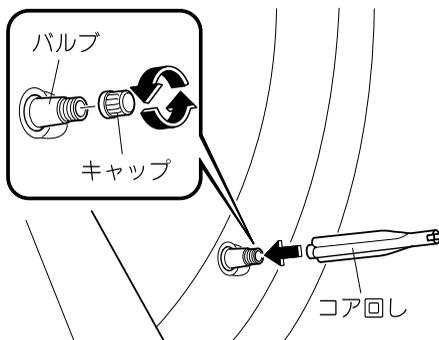
📖 知識

0°C以下の寒冷時では修理剤が固まりやすくなり、注入作業がしにくくなります。車内などで暖めると注入作業がしやすくなります。

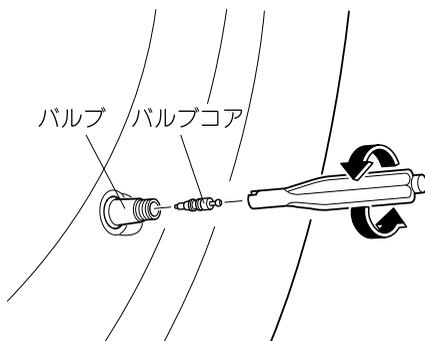
- 7 ボトルのキャップをはずします。内ぶたをつけたままの状態では注入ホースをボトルにねじ込むと、ボトルの内ぶたが破れます。



- 8 パンクしたタイヤのバルブからキャップを取りはずし、コアまわしの後ろでバルブ内のバルブコアを押してタイヤの空気を完全に抜きます。



- 9 コアまわしでバルブコアを左にまわし、バルブコアを取りはずします。



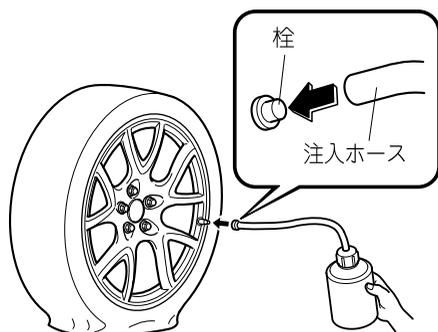
⚠ 注意

バルブコアをはずすとき、タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出すおそれがあります。バルブコアは慎重に取りはずしてください。

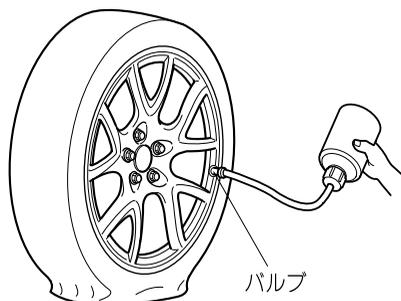
📖 知識

バルブコアは汚れないように保管してください。

- 10 注入ホースの栓をはずし、注入ホースをバルブに差し込みます。



- 11 ボトルを逆さまにして持ち、手でボトルを圧迫し、修理剤を全てタイヤの中に注入します。

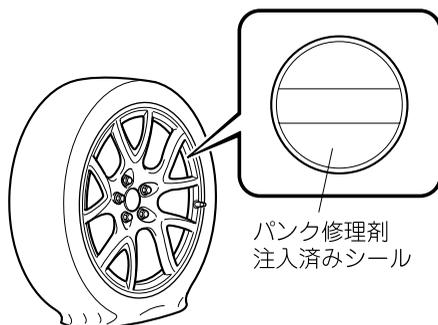


知識

一度使用した修理剤は再使用できません。新しい修理剤をマツダ販売店でお求めください。

- 12 注入ホースをバルブから引き抜き、コアまわしでバルブコアを右にまわし、バルブにバルブコアを取り付けます。

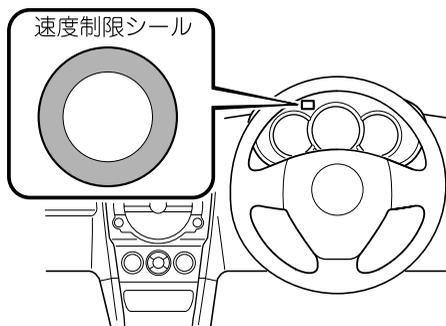
- 13 パンク修理剤注入済みシールをホイールの平らなところに貼ります。



知識

注入が完了した空ボトルは、タイヤ交換または恒久修理の際に修理剤の回収に使用しますので、ボトルは捨てずにマツダ販売店までお持ちください。

- 14 運転者のよく見えるところに速度制限シールを貼ります。



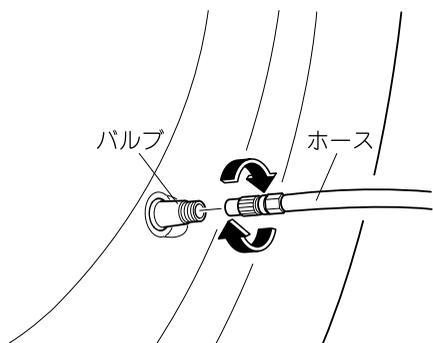
5.万有的时候は パンクしたとき

警告

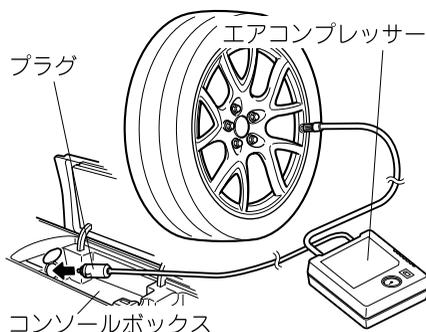
■ ハンドルのパッド部に制限速度シールを貼らないでください。

万の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置には貼らないでください。

- 15 エアコンプレッサーのホースをバルブに取り付けます。



- 16 エアコンプレッサーのプラグを車内の電源ソケットに差し込み、エンジンスイッチをACCの位置にします。
→203ページ「電源ソケット」



注意

- 電源ソケットにエアコンプレッサーのプラグを抜き差しするときは、エアコンプレッサーのスイッチがOFFになっていることを確認してください。
- エアコンプレッサーのON、OFFはエアコンプレッサー本体のスイッチで行なってください。

- 17 エアコンプレッサーのスイッチをONにして、タイヤを適正空気圧まで昇圧します。

知識

- タイヤの適正空気圧は運転席側のリヤドアに貼付されているラベルで確認してください。
- エアコンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。
- タイヤ空気圧が昇圧できない場合は修理できません。もし、10分以内に適正空気圧にならない場合は、タイヤがひどい損傷を受けている可能性があります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。マツダ販売店またはJAFなどに連絡してください。
- 空気を入れすぎたときはエアコンプレッサーのホースの口金を緩めて空気を抜いてください。

- 18 適正空気圧まで昇圧できたら、エアコンプレッサーのスイッチをOFFにしエアコンプレッサーのホースをバルブから抜きます。

- 19 バルブキャップを取り付けます。

- 20 修理剤をタイヤ内にゆきわたらせるため、直ちに走行を始めます。

注意

80km/h以下の速度で慎重に運転してください。80km/h以上の速度で走行した場合、車体が振動することがあります。

- 21 10分間もしくは5km程度走行後に手順15の方法でタイヤにエアコンプレッサーを接続し、エアコンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックします。適正空気圧より低下していたら、手順16の作業から再度行ないます。

警告

■ 空気圧が130kPa (1.3kgf/cm²) 以下に低下していたら、本修理キットによる応急修理はできません。

運転を中止してマツダ販売店またはJAFなどに連絡してください。

■ 手順15～21の作業を繰り返しても、空気圧の低下が認められる場合は、運転を中止してください。

マツダ販売店またはJAFなどに連絡してください。

知識

タイヤ空気圧を空気圧計で確認するときは、エアコンプレッサーのスイッチをOFFにしてから確認してください。

- 22 空気圧が低下していなければ、応急修理完了です。

すみやかにマツダ販売店まで慎重に運転し、タイヤの交換を行なってください。

知識

- タイヤパンク応急修理キットで応急修理をしたタイヤは、新しいタイヤに交換することをおすすめします。修理・再使用については、マツダ販売店にご相談ください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できます。ただし、バルブは新しいものと取り替えてください。

タイヤパンク応急修理キットの点検

タイヤパンク応急修理キットの点検は定期的に行なってください。

- 修理剤の有効期限の確認
- コンプレッサーの作動の確認

知識

修理剤には有効期限があります。有効期限がきたものは使用できませんので、ボトルのラベルに記載されている有効期限を確認し、有効期限がきる前にマツダ販売店で新しい修理剤をお求めください。

オーバーヒートについて

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温計の針がH付近を示し、エンジンの出力が急に低下したとき。
- エンジンルームから蒸気が出ているとき。

警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。

エンジンルーム内が熱いとき、ボンネットを開けると、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。また、蒸気が出ていない場合でも高温になっている部分があります。ボンネットを開けるときは十分に注意してください。



-  エンジンが十分に冷えるまではリザーバータンクのキャップを開けないでください。

エンジンが熱いときにキャップをはずすと、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



-  エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れないようにしてください。

特に、エンジンルームが高温のときは、エンジンが止まってもファンが回転することがあるため、手や指などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

冷却水の温度が高いときは、エンジン保護のため、エンジンを止めても電動ファンが約10分間作動することがあります。

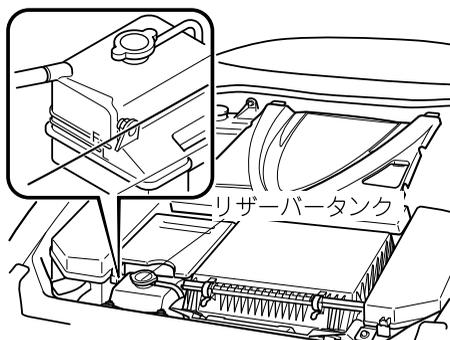
処置方法

- 1 安全な場所に車を止めます。
- 2 エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。
エンジンルームから蒸気が出ていないときは
エンジンをかけたままボンネットを開け、エンジンを冷やします。
エンジンルームから蒸気が出ているときは
エンジンを止めてください。蒸気が出なくなるまで待ち、風通しをよくするためにボンネットを開け、エンジンを始動してください。
- 3 電動ファンが作動していることを確認し、水温計の針が下がってきたらエンジンを止めます。

注意

電動ファンが作動していないときは、エンジン温度がさらに上昇します。ただちにエンジンを止め、マツダ販売店にご連絡ください。

- 4 エンジンが十分に冷えてから、冷却水の量を点検します。量が不足しているときはリザーバータンクに冷却水を補充してください。



 **警告**

 **■ エンジンが十分に冷えるまではリザーバータンクのキャップを開けないでください。**
エンジンが熱いときにキャップをはずすと、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

 **知識**

- 冷却水がない場合は、一時的に水を補充してください。
一時的に水だけを補充したときは、冷却水の濃度をもとにもどしてください。
- 冷却水を補充しても少なくなるときは、冷却水のもれが考えられます。早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

バッテリーあがりについて

次のような状態はバッテリーあがりです。

- スターターがまわらない。またはまわっても回転が弱く、なかなかエンジンがかからない。
- ホーンの音が小さい、または鳴らない。
- ランプ類がいつもより極端に暗い。



警告

正しく安全にバッテリーを取り扱うために、バッテリー使用前または点検前には必ず次の注意事項をお読みください。

■ バッテリーを取り扱うときは必ず保護メガネを着用してください。

バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目に入ると失明など重大な傷害につながるおそれがあります。また、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

■ バッテリーを取り扱うときはバッテリー液をこぼさないでください。

バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。

■ バッテリーの近くでお子さまを遊ばせないでください。

バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。

■ バッテリーを取り扱うときは、絶対に火気を近づけないでください。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。火気の発生を防ぐため、+ 端子や- 端子に工具などの金属部分が触れないようにしてください。また、ブースターケーブルの接続、取りはずしのときは、+ 端子がボディーや- 端子に触れないように十分注意してください。

■ 換気の悪い場所では、バッテリーの充電を行なわないでください。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。

■ ブースターケーブルを使用してエンジンを始動する前に必ずバッテリー液の量を点検してください。

バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 (爆発) につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。

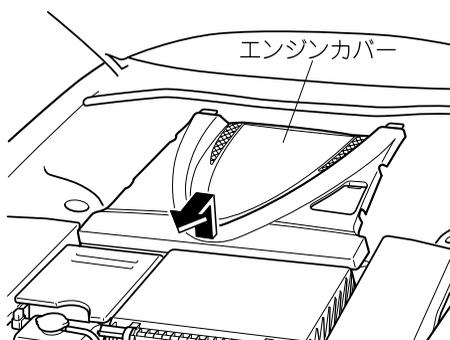
処置方法

押しがけによる始動はできません。
別売のブースターケーブルを使用して、救援車(他の車)のバッテリーと自車のバッテリーを接続してエンジンをかけます。
自車と同じ12Vバッテリーを搭載した救援車を依頼してください。

⚠ 注意

ブースターケーブルを接続するときは慎重に行なってください。ブースターケーブルがベルトなどの回転部に巻き込まれるおそれがあります。

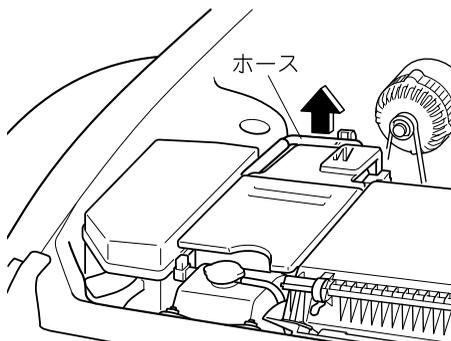
- 1 自車のバッテリーと救援車のバッテリーが一番近い位置になるように、車を移動させます。
- 2 ヘッドランプやエアコンなどの電源が切っていることを確認します。
- 3 エンジンカバーを取りはずします。



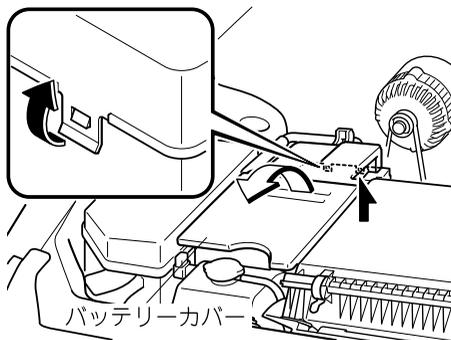
⚠ 注意

エンジンカバーを取り付けたあとは、エンジンカバーが確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと走行中他の装置と接触し故障につながるおそれがあります。

- 4 ホースをバッテリーカバーから取りはずします。



- 5 バッテリーカバーを後側から持ち上げて、取りはずします。



⚠ 注意

バッテリーカバーを取り付けたあとは、カバーが確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと走行中他の装置と接触し故障につながるおそれがあります。

5.万一のときは

バッテリーがあがったとき

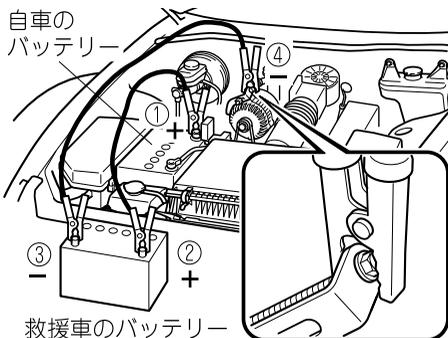
- 6 救援車のエンジンを止めて、ブースターケーブルを次の順で接続します。ブースターケーブルを接続する前に各バッテリーの端子(+、-)の位置を確認してください。

1本目

- ① 自車のバッテリーの+ 端子
- ② 救援車のバッテリーの+ 端子

2本目

- ③ 救援車のバッテリーの- 端子
- ④ 図で表示の箇所(アースを取る)



警告

■ バッテリーを取り扱うときは、絶対に火気を近づけないでください。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。また、火花の発生を防ぐため次の点を必ず守ってください。

- ④の接続は自車バッテリーの- 端子につながないでください。
- ブースターケーブルの接続、取りはずしのときは、+ 端子がボディーや- 端子に触れないように十分注意してください。

- 7 救援車のエンジンをかけ、エンジン回転数を高めにします。

- 8 自車のエンジンをかけます。約3分間エンジンを回転させて、応急的に自車のバッテリーを充電します。



警告

■ 充電中はバッテリーに近づかないでください。

バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。

- 9 ブースターケーブルを接続したときと逆の順で取りはずします。
- 10 早めにマツタ販売店で点検を受けてください。



知識

バッテリーがあがりやすいときは、マツタ販売店で点検を受けてください。

ランプ類、電気装置が作動しないとき

ランプ類が点灯しないときや電気装置が作動しないときは、ヒューズ切れや電球切れが考えられます。

まずヒューズを点検し、必要に応じて交換してください。

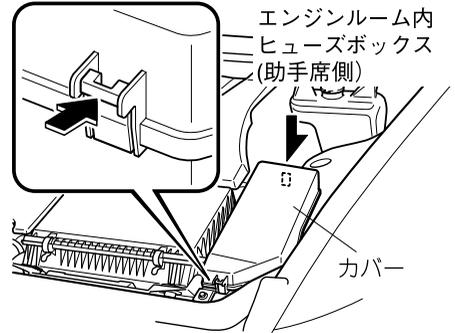
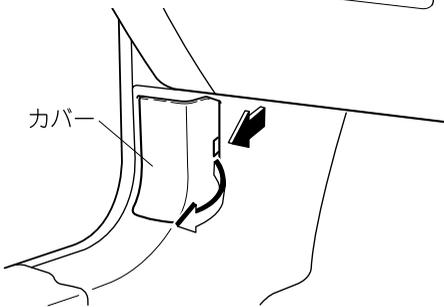
知識

ヒューズは電気装置を過負荷から保護する働きをしています。

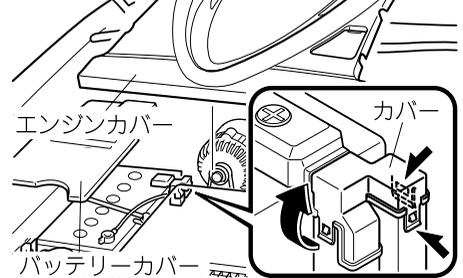
ヒューズの交換

- 1 エンジンスイッチをLOCKの位置にします。
- 2 ヒューズボックスのカバーを開きます。ヒューズボックスは助手席左下と、エンジンルーム内にあります。

室内ヒューズボックス



エンジンルーム内ヒューズボックス(バッテリー付近)



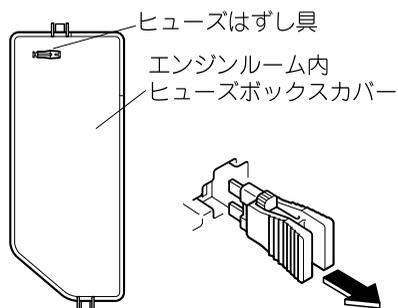
知識

- 各ヒューズはグレードや仕様により無い場合があります。
- ヒューズボックスのカバー裏側に各ヒューズの規定容量が表示されています。
- エンジンカバーを取り付けるときは、エンジンカバーが確実に固定されていることを確認してください。

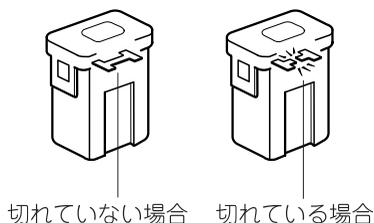
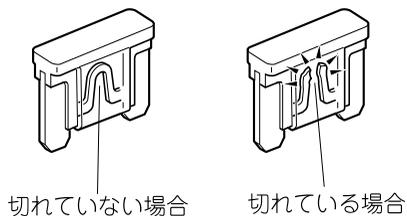
- 3 ヒューズの位置を確認し、故障の状況から、点検すべきヒューズを確認してください。
→240ページ「ヒューズの受け持つ装置」

5.万一のときは ヒューズ切れ、電球切れのとき

- 4 ヒューズを抜き取ります。



- 5 ヒューズを点検し、切れている場合は、規定容量のヒューズと交換します。



警告

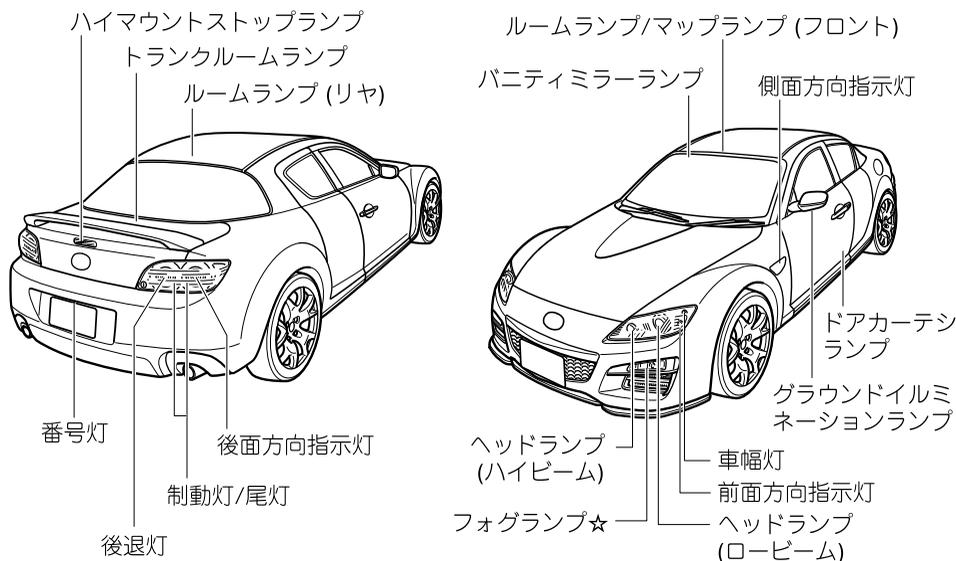
- 規定容量を超えるヒューズを使用したり、ヒューズの代わりに針金や銀紙などを使用しないでください。
配線などが過熱し、焼損して火災になるおそれがあります。

知識

- ヒューズが切れていないとき、またはヒューズを交換してもランプ類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。
- ヒューズが切れていないとき、またはヒューズを交換しても電気装置が作動しないときは、マツダ販売店で点検を受けてください。
- ヒューズを交換してもすぐ切れる場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

電球 (バルブ) の交換

ヒューズが切れていないのにランプ類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。記載されていない電球の交換については、マツダ販売店にご相談ください。



☆印はグレードや仕様変更などにより装備の有無が異なります。

警告

ヘッドランプのロービームにはディスチャージヘッドランプが装備されています。ディスチャージヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。ディスチャージヘッドランプの交換・修理をするときは、必ずマツダ販売店へご相談ください。

5.万有的时候は ヒューズ切れ、電球切れのとき

⚠ 注意

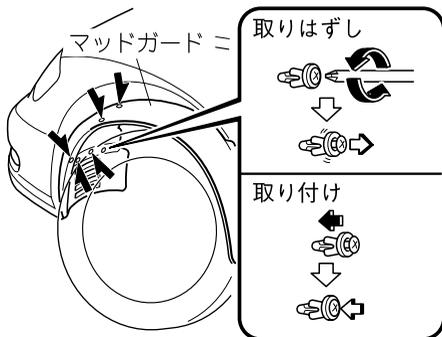
- 電球を交換するときは、各ランプを消灯させ、電球が冷えてから交換してください。やけどをするおそれがあります。
- 電球および電球固定具の取り付けは確実にこなしてください。確実に取り付けされていないと、水入りなどによる故障およびレンズ内面の曇りにつながるおそれがあります。
- ハロゲン球はガラス内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスが飛散するおそれがあります。取り扱いには十分注意してください。また、素手で触れずにきれいな手袋を着用してください。

📖 知識

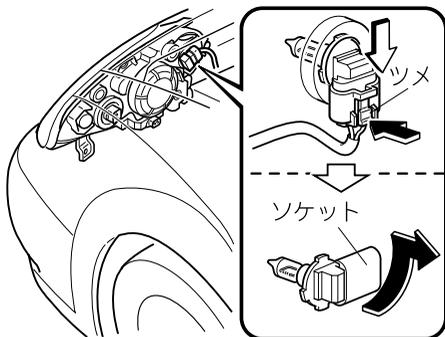
- ハロゲン球を素手で触れてはいけませんが、万一、誤ってハロゲン球に触れてしまったときは、水で薄めた中性洗剤(約5%)をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ってください。
- 必ず同じW数の電球を使用してください。
- ヘッドランプ、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇ると同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、マツダ販売店にご相談ください。

ヘッドランプ(ハイビーム)

- 1 交換する側と同じ方向にハンドルをいっばいにきります。
- 2 クリップを取りはずしてマッドガードをめくります。



- 3 ツメを押し、コネクターを取りはずします。
- 4 ソケットを反時計回りにまわして取りはずします。



- 5 電球を取り換えます。

- ⑥ はずした手順と逆の手順で取りつけます。

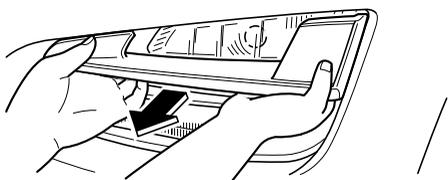
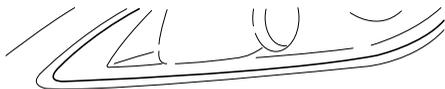


知識

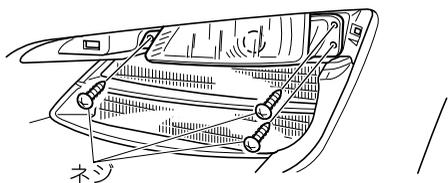
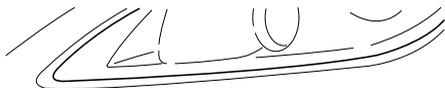
マッドガードを固定するときは、取りはずしと逆の手順で固定してください。

フォグランプ☆

- ① フォグランプカバーを手前に引っ張り取りはずします。



- ② ネジをはずします。



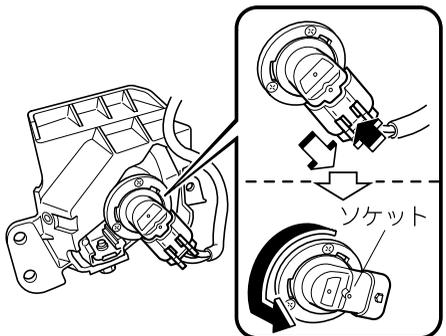
- ③ フォグランプユニットを手前に引きながら下に抜きます。



知識

フォグランプユニットを取りはずすときは、バルブソケットがオイルクーラーにあたらないように抜き取ります。

- ④ ツメを押し、コネクターを取りはずします。
- ⑤ ソケットを反時計回りにまわして取りはずします。

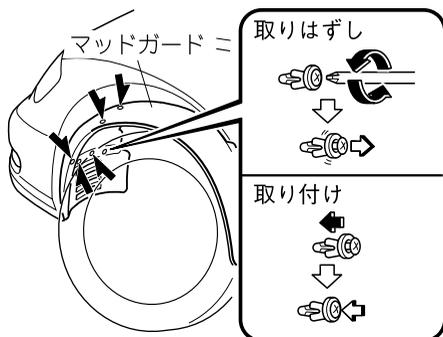


- ⑥ 電球を取り換えます。
- ⑦ はずした手順と逆の手順で取りつけます。

5.万有的时候は ヒューズ切れ、電球切れのとき

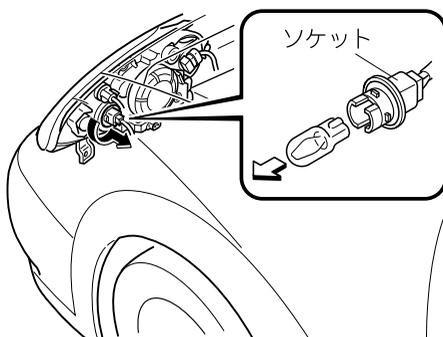
前面方向指示灯、車幅灯

- 1 交換する側と同じ方向にハンドルをいっぱいにぎります。
- 2 クリップを取りはずしてマッドガードをめくります。

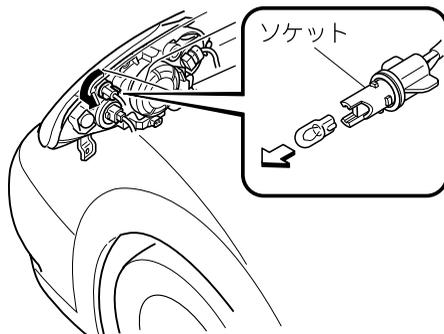


- 3 ソケットをまわして取りはずし、電球を抜き取ります。

前面方向指示灯



車幅灯



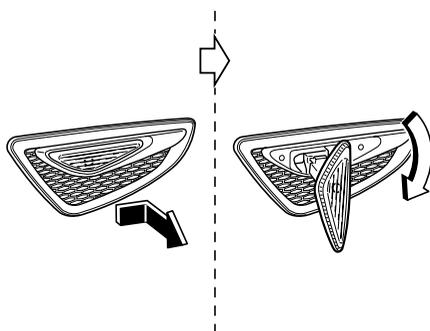
- 4 電球を取り換えます。
- 5 はずした手順と逆の手順で取り付けます。

知識

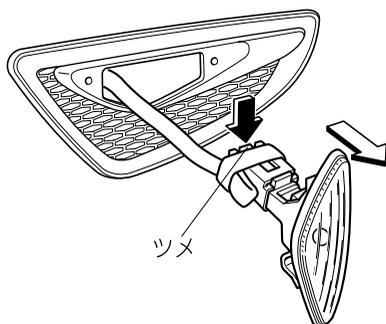
マッドガードを固定するときは、取りはずしと逆の手順で固定してください。

側面方向指示灯

- 1 ユニットを車両後方にスライドさせます。
- 2 ユニットを回転させ取りはずします。



- 3 ツメを押し、ユニットからコネクターをはずします。



- 4 新しいユニットに取り換え、はずした手順と逆の手順で取り付けます。



知識

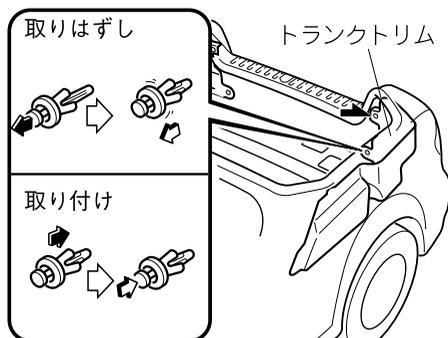
側面方向指示灯は電球 (バルブ) の交換はできません。ランプユニット本体の交換となりますので、側面方向指示灯を交換するときはマツダ販売店へご相談ください。

制動灯/尾灯

LEDタイプの電球のため交換はできません。交換については、マツダ販売店へご相談ください。

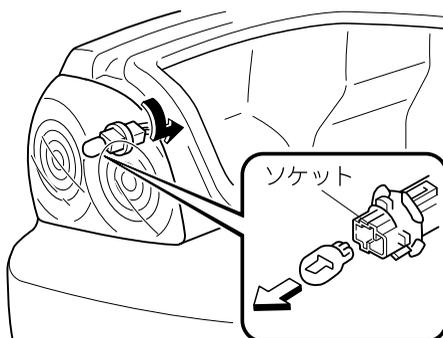
後面方向指示灯、後退灯

- 1 クリップを取りはずしてトランクトリムを取りはずします。



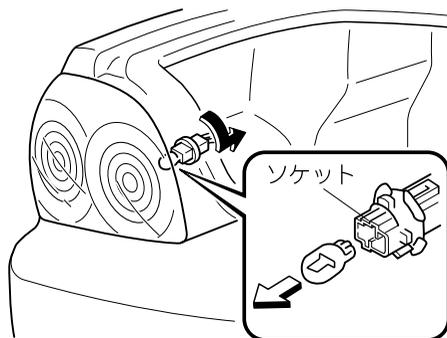
- 2 ソケットをまわして取りはずし、電球を抜き取ります。

後面方向指示灯



5.万有的时候は ヒューズ切れ、電球切れのとき

後退灯



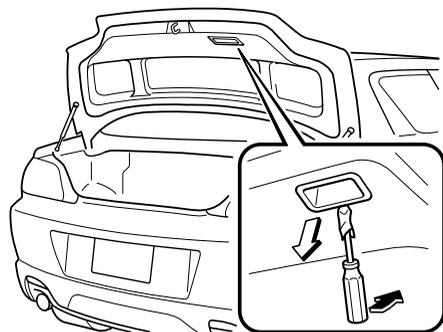
- 3 電球を取り換えます。
- 4 はずした手順と逆の手順で取りつけます。

知識

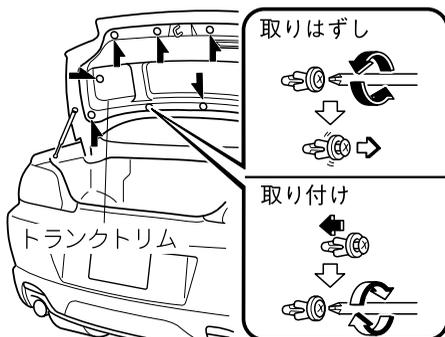
トランクトリムを固定するときは、クリップ中央部のピンを引き上げたままトランクトリムに差し込み、固定します。

ハイマウントストップランプ

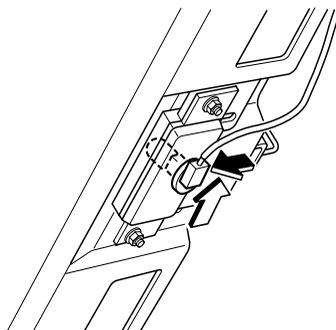
- 1 マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、ハンドルを取りはずします。



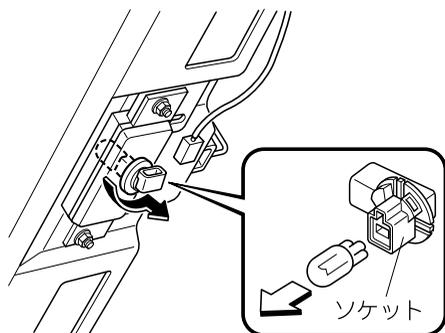
- 2 クリップを取りはずしてトランクトリムを取りはずします。



- 3 ツメを押し、コネクターをはずします。



- 4 ソケットをまわして取りはずし、電球を抜き取ります。



- 5 電球を取り換えます。

- 6 はずした手順と逆の手順で取りつけます。

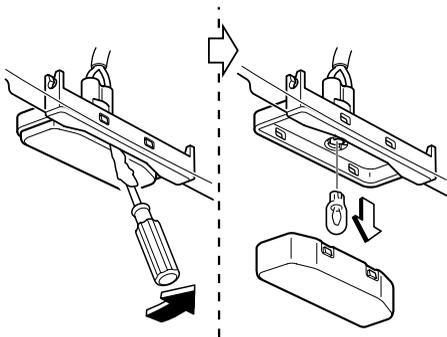


知識

トランクトリムを固定するときは、クリップ中央部のピンを引き上げたままトランクトリムに差し込み、固定します。

番号灯

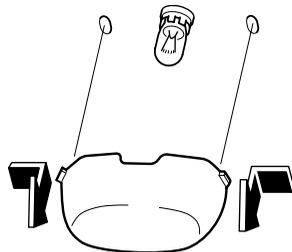
- 1 マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、レンズを取りはずします。
- 2 電球を取りはずします。



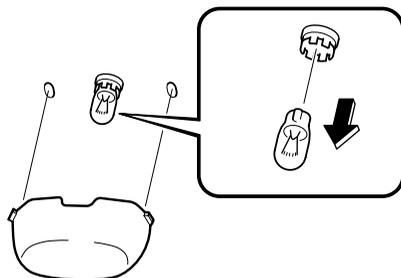
- 3 電球を取り換えます。
- 4 はずした手順と逆の手順で取りつけます。

トランクルームランプ

- 1 レンズの両側を押さえ、レンズを取りはずします。



- 2 電球を抜き取ります。

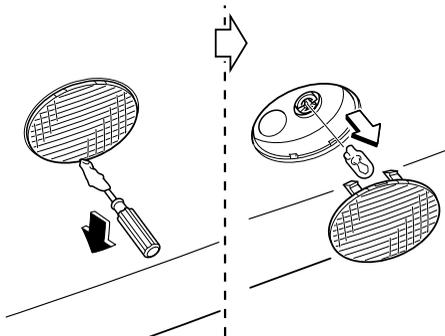


ドアカーテシランプ、バニティミラーランプ、ルームランプ(リヤ)

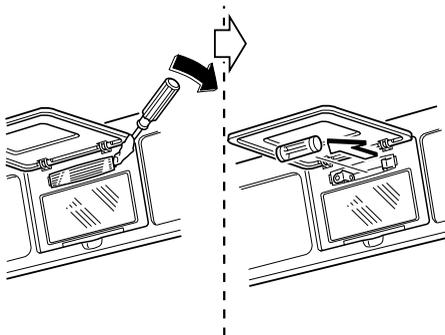
- 1 マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、レンズを取りはずします。
- 2 電球を抜き取ります。

5.万ーのときは ヒューズ切れ、電球切れのとき

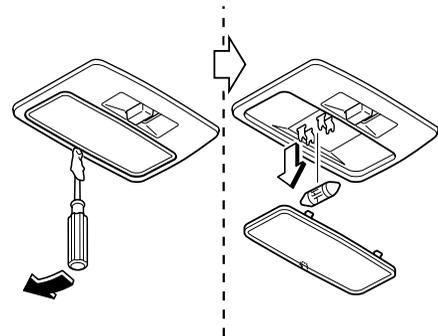
ドアカーテシランプ



バニティミラーランプ

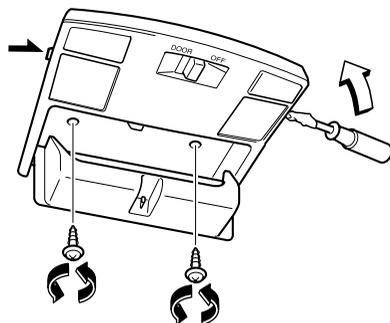


ルームランプ (リヤ)

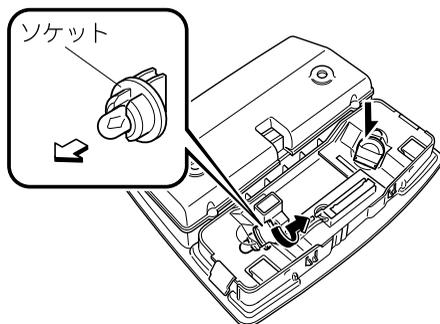


ルームランプ/マップランプ (フロント)

- 1 マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、ランプ本体を取りはずします。



- 2 ソケットをまわして取りはずし、電球を抜き取ります。





5.万一のときは
ヒューズ切れ、電球切れのとき

ヒューズの受け持つ装置

室内ヒューズボックス

[1]	[7]
[2]	[7]
[3]	
[4]	
[5]	[8]
[6]	[8]

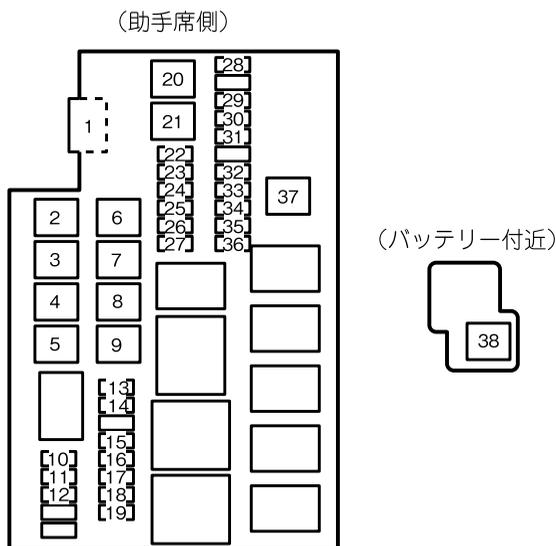
[9]	[15]
[10]	[15]
[11]	
[12]	
[13]	[16]
[14]	[16]

位置	表示	容量	保護装置
1	CIGAR	15A	シガーライター
2	ACC	7.5A	オーディオ、電動ミラー
3	OUTLET	15A	電源ソケット
4	A/C	7.5A	エアコン
5	METER	10A	メーター
6	—	—	—
7	SPARE	—	—
8	SPARE	—	—

位置	表示	容量	保護装置
9	M.DEF	—	—
10	DSC	7.5A	ステアリングアングルセンサー☆
11	AUDIO	25A	オーディオ (Bose®サラウンドシステム装備車)☆
12	D.LOCK	30A	パワードアロック
13	OUTLET	—	—
14	ROOM	15A	ルームランプ
15	SPARE	—	—
16	SPARE	—	—

5.万一のときは
ヒューズ切れ、電球切れのとき

エンジンルーム内 ヒューズボックス



位置	表示	容量	保護装置
1	MAIN	120A	各種電源
2	HEATER	40A	ヒーター
3	AIR PUMP	60A	エアポンプ
4	BTN	30A	パワードアロック、イルミネーション
5	DEFOG	50A	リヤウインドーデフォグガー (曇り取り)
6	FAN 1	30A	電動ファン 1
7	ABS/DSC	40A	ABS/DSC☆
8	ACC	30A	シガーライター、電動ミラー、電源ソケット、オーディオ
9	FAN 2	30A	電動ファン 2

位置	表示	容量	保護装置
10	HEAD	15A	ヘッドランプ (ハイビーム)
11	HEAD LOW R	15A	ヘッドランプ右 (ロービーム)
12	HEAD LOW L	15A	ヘッドランプ左 (ロービーム)
13	DRL	—	—
14	DSC	30A	DSC☆
15	SEAT WARM	20A	シートウォーマー☆
16	H/CLEAN	—	—
17	R.FOG	—	—
18	FOG	15A	フォグランプ☆
19	A/C	10A	エアコン
20	IG	40A	各種電源
21	P.WIND 1	30A	パワーウィンドー
22	IG KEY	15A	各種電源
23	STOP	10A	制動灯、ホーン
24	FUEL PUMP	20A	フューエルポンプ
25	HORN	15A	ホーン
26	HAZARD	15A	非常点滅灯
27	ETV	15A	エレクトリックスロットルバルブ
28	ST	10A	スターター
29	WIPER	20A	ワイパー/ウォッシャー
30	TCM	15A	TCM☆

ヒューズ切れ、電球切れのとき

位置	表示	容量	保護装置
31	ENGINE	15A	エンジンコントロールシステム、エアバッグ、ABS、電動パワーステアリング
32	TAIL	10A	尾灯、番号灯、車幅灯
33	ILLUMI	7.5A	イルミネーション
34	EGI COMP1	15A	エンジンコントロールシステム
35	EGI COMP2	10A	エンジンコントロールシステム
36	EGI INJ	15A	インジェクター
37	P.WIND 2	20A	パワーウィンドー
38	EPS	60A	電動パワーステアリング

けん引してもらおうとき

けん引はできるだけマツダ販売店またはJAFなどに依頼してください。特に、エンジンがかかっているのに車が動かないときや異常な音がするときは駆動装置の故障が考えられます。必ずマツダ販売店またはJAFなどに連絡してください。

警告

長い下り坂を降りるときは、レッカー車でけん引してください。ロープでけん引をすると、車間距離を保つためにフットブレーキを多用し、ブレーキが過熱して効かなくなります。このような状態でけん引を続けると、前の車に衝突するおそれがあります。

注意

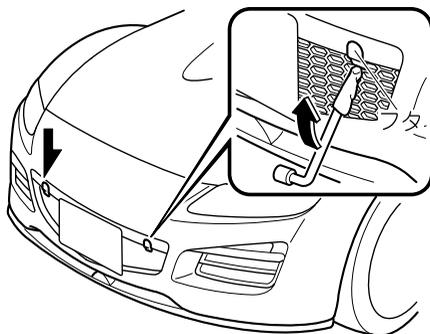
- オートマチック車をロープでけん引してもらおうときは、速度30km/h以下、走行距離は30km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、駆動装置に悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。できるだけマツダ販売店やJAFなどに依頼し、レッカー車またはトレーラーを使用してください。
- けん引してもらおうときは次の点に注意してください。けん引フックや車体および駆動装置を損傷するおそれがあります。
 - ・ 急発進など、けん引フックやロープに大きな衝撃が加わる運転をしないでください。
 - ・ けん引フック以外にロープをかけないでください。

知識

金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

やむをえずロープでけん引してもらおうときは、車両の前側にあるけん引フックを使用し、次の手順で行なってください。

- 1 けん引フック、ホイールレンチをツールボックスから取り出します。
→209ページ「工具、ジャッキ」
- 2 ホイールレンチの先端に布を巻いてカバーを取りはずします。



注意

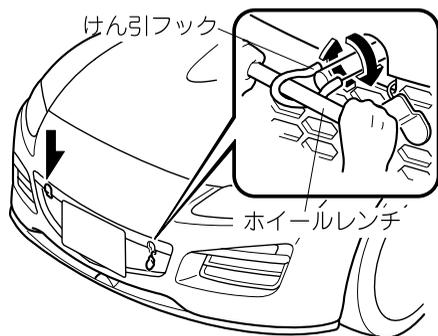
カバーはバンパーから完全に取りはずすことができません。無理に取りはずそうとすると破損するおそれがあります。

知識

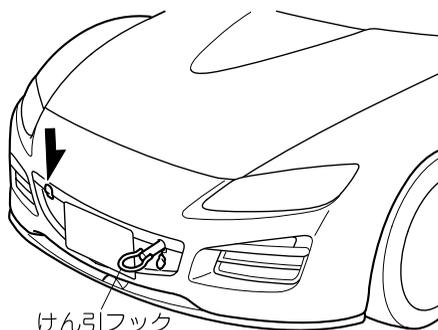
ホイールレンチを使用するときは、先端に布などを巻いてください。ホイールレンチが直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

5.万一のときは けん引について

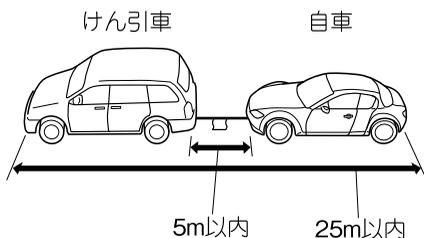
- 3] ホイールレンチを使ってけん引フックを確実に取り付けます。



- 4] けん引ロープをフックにかけます。



- 5] ロープは5m以内にして、中央に0.3m平方(0.3m×0.3m)以上の白い布を必ずつけてください。



- 6] けん引してもらう車はエンジンをかけ、チェンジレバー/セレクトレバーをNにいたします。エンジンがかからないときは、エンジンスイッチをACCの位置にします。

警告

やむをえずエンジンがかかっていない状態でけん引される場合は、慎重に運転してください。エンジンがかかっていないときは、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなるなど運転操作が困難になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

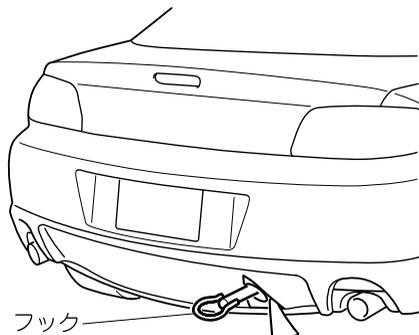
注意

エンジンスイッチをLOCKの位置にしないでください。LOCKの位置にするとハンドルがロックされ、操作できなくなります。

- 7] パーキングブレーキを解除します。
- 8] けん引する車の制動灯に注意し、ロープをたるませないように走行してください。

故障車をけん引するとき

一般路上でやむをえず故障した車をロープでけん引するときは、後ろ側のけん引フックにロープをかけてけん引してください。



⚠ 注意

けん引するときは次の点に注意してください。けん引フックや車体および駆動装置を損傷するおそれがあります。

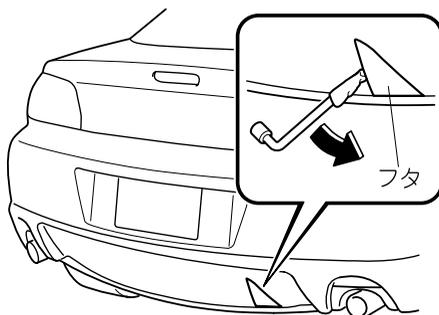
- 自車の重量より重い車はけん引しないでください。
- 急発進など、けん引フックやロープに大きな衝撃が加わる運転をしないでください。
- けん引フック以外にロープをかけないでください。

📖 知識

金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

- 1 けん引フック、ホイールレンチをツールボックスから取り出します。
→209ページ「工具、ジャッキ」

- 2 ホイールレンチの先端に布を巻いてフタを取りはずします。



⚠ 注意

フタはバンパーから完全に取りはずすことができません。無理に取りはずそうとすると破損するおそれがあります。

📖 知識

ホイールレンチを使用するときは、先端に布などを巻いてください。ホイールレンチが直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

- 3 ホイールレンチを使ってけん引フックを確実に取り付けます。



事故が起きたときは、あわてず次の処置をしてください。

1.事故の続発防止

他の交通のさまたげにならない安全な場所(路肩、空き地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。

2.負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行ないます。この場合、とくに頭部に傷を受けているようなときは、むやみに動かさないようにします。ただし、後続事故のおそれがある場合は、安全な場所に移動させます。

3.警察への連絡

事故の発生場所、状況、負傷の程度などを報告し、指示を受けます。

4.相手の氏名、住所などの確認

5.マツダ販売店、保険会社への連絡



知識

軽いけがでも、必ず警察に届けましょう。また、外傷がなくても頭部などに強い衝撃を受けたときは、医師の診断を受けましょう。後遺症がでることがあります。

6 車との上手なつきあいかた

点検、整備 250

点検整備について	250
定期点検	251
日常点検	251

車の手入れ 260

外装の手入れ	260
内装の手入れ	264
その他の手入れ	266

積雪、寒冷時の取り扱い 268

冬にそなえて	268
運転する前に	269
走行するときは	270
駐車するときは	271
タイヤチェーンの取り付け	271
寒冷地用ワイパーブレードについて	272

こんなときは 273

夏期の取り扱い	273
雨の日の運転	273

環境保護のために 274

経済的な運転	274
廃棄物を処理するときは	277

6.車との上手なつきあいかた 点検、整備

点検整備について

安全で快適な運転をするために、日常点検整備および定期点検整備を実施することが法律で義務づけられています。

安心してお車に乗っていただくために、また、大きなトラブルを防ぐ意味からも、定期的に点検整備を実施してください。

使用済バッテリーやタイヤ、エンジンオイルなどの廃液を処分するときは、マツダ販売店にご相談ください。



警告

■ 点検は平らな場所で、車に輪止めをしてから行なってください。

車が不意に動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れないようにしてください。

特に、エンジンルームが高温のときは、エンジンスイッチがACCまたはLOCKのときでも電動ファンが回転することがあるため、手や指などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



注意

エンジンルーム内を点検するときは、エンジンの高温部に触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。



知識

- 冷却水の温度が高いときは、エンジン保護のため、エンジンを止めても電動ファンが約10分間作動することがあります。
- 新車登録後1か月（または走行距離1,000km）、6か月（または走行距離5,000km）は無料で点検が受けられます。

定期点検

12か月、24か月の定期点検整備はマツダ販売店で受けてください。

知識

- 点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「定期点検整備記録簿および定期点検整備の記録」に記入してください。
- 一般的な使用よりも厳しい使われ方をした車はシビアコンディションとして早めに点検整備をする必要があります。くわしくは、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

日常点検

お客様のお車の使用状況に応じて、お客様自身の判断で適切な時期に実施していただく点検です。

日常点検はお客様自身で実施可能な項目となっておりますので、長距離走行前や洗車時、給油時などを目安に実施してください。

「日常点検整備のしかた」については別冊のメンテナンスノートに記載していません。

知識

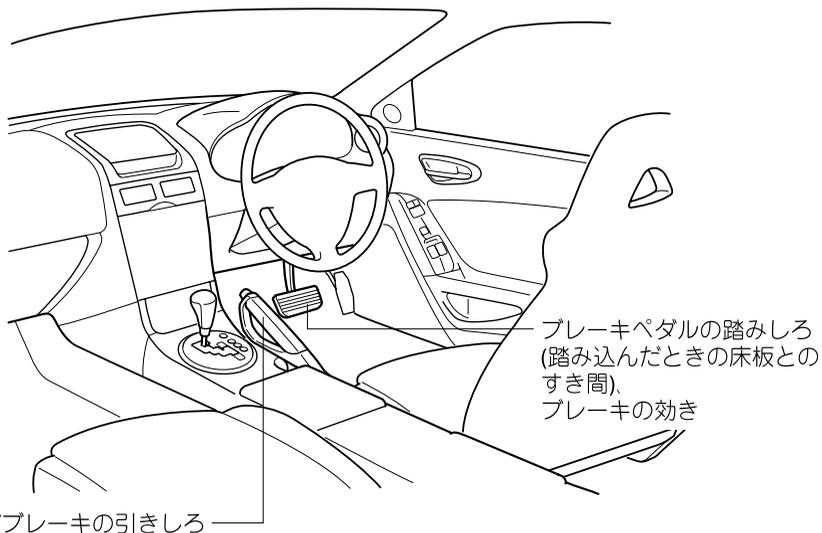
点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「メンテナンスレコード」に記入してください。

点検項目と点検箇所

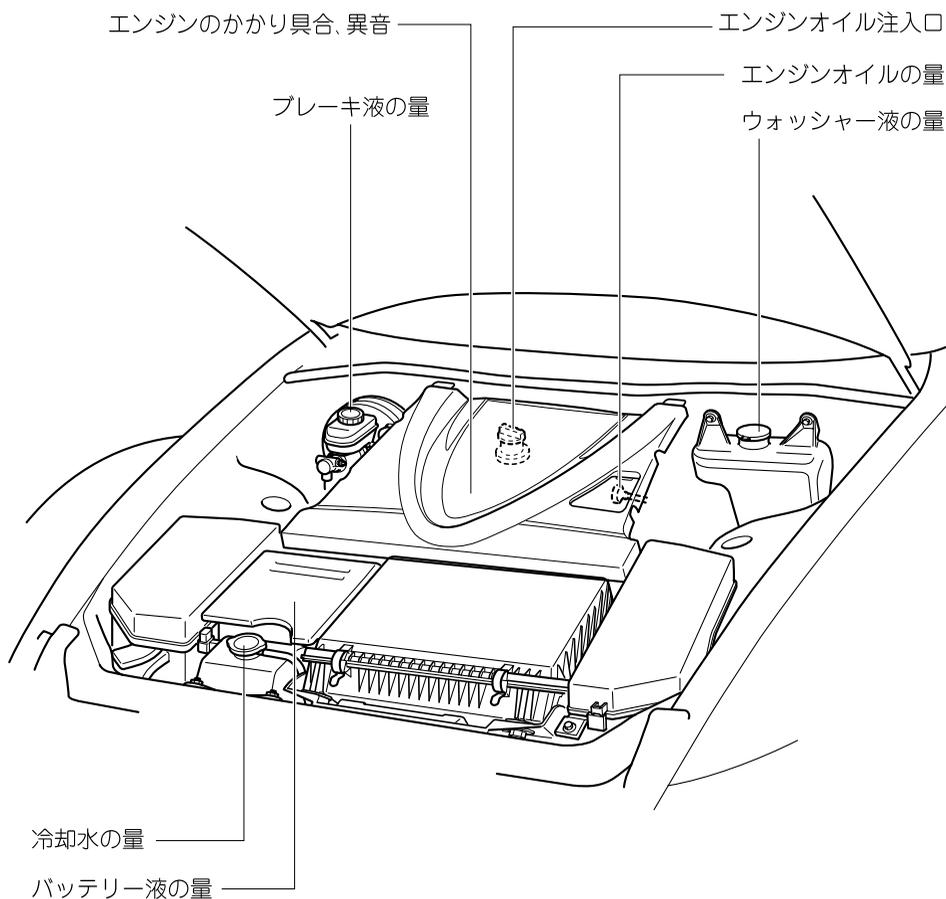
運行において異常が見られた箇所

前回の運転中に異常を認めた箇所について運転に支障がないかを点検します。
点検要領については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

運転席にすわって



エンジンルームをのぞいて



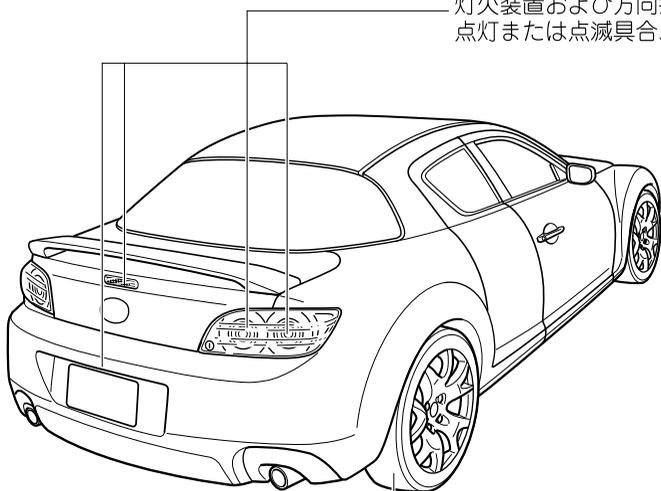
⚠ 注意

エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

6.車との上手なつきあいかた 点検、整備

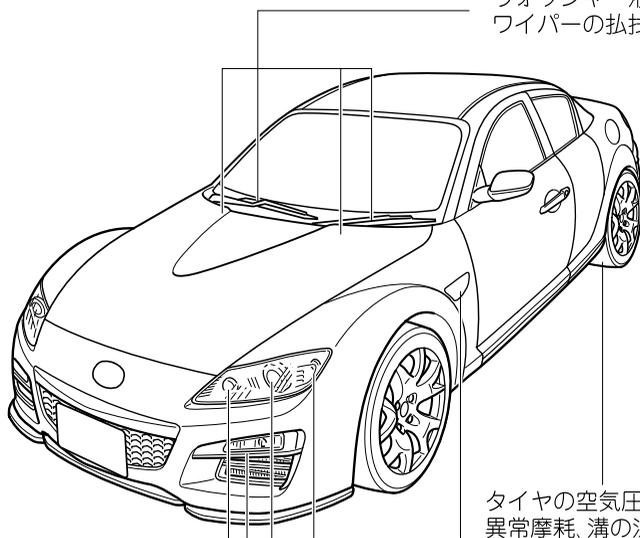
全体を見まわして

灯火装置および方向指示灯の
点灯または点滅具合、汚れ、損傷



タイヤの空気圧、き裂、損傷、
異常摩耗、溝の深さなど

ウォッシャー液の噴射状態、
ワイパーの払拭状態

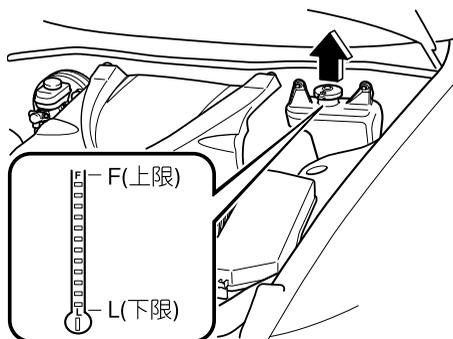


タイヤの空気圧、き裂、損傷、
異常摩耗、溝の深さなど

灯火装置および方向指示灯の
点灯または点滅具合、汚れ、損傷

ウォッシャー液の補充

ウォッシャー液が不足しているときは、純正ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考に濃度を調節し、補充してください。



⚠ 注意

エンジンがかかっているときやエンジンが熱いときはウォッシャー液を補充しないでください。ウォッシャー液がエンジンなどにかかると、出火するおそれがあります。

📖 知識

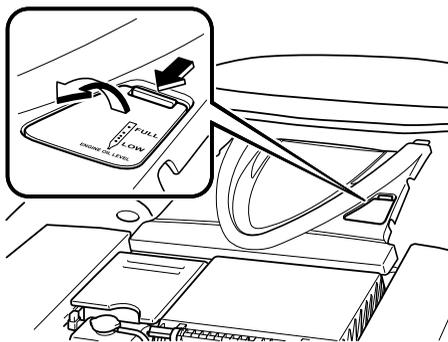
- ウォッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。塗装のシミになるおそれがあります。
- 寒冷地では、ウォッシャー液をタンクいっぱいまで補充しないでください。

エンジンオイルの点検、補充

エンジンオイルの点検

日常点検としてエンジンオイルの量を定期的な点検してください。

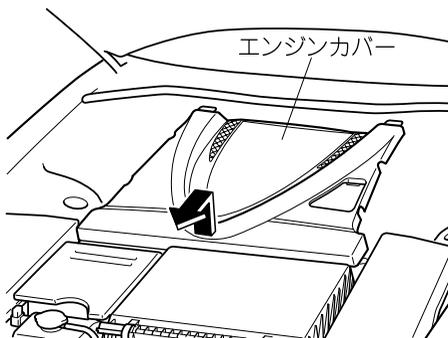
点検するときはエンジンカバーのフタをはずしてください。



点検の要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

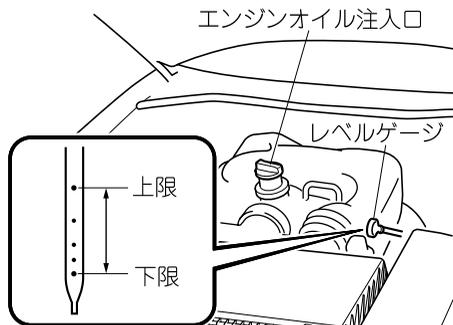
エンジンオイルの補充

- 1 エンジンカバーを取りはずします。



6.車との上手なつきあいかた 点検、整備

- ② レベルゲージで確かめながらエンジンオイル注入口からエンジンオイルを上限まで補充します。

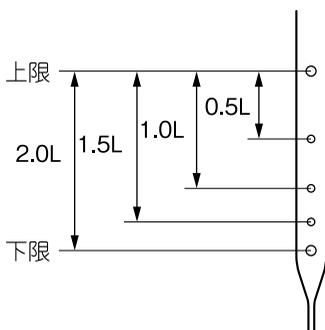


注意

- 純正モーターオイル シンセ レネシス以外の合成油や部分合成油のエンジンオイルを使用した場合には、エンジンの始動性が悪くなる場合があります。
- エンジンオイルを上限以上に補充しないでください。エンジン不具合の原因になります。
- 補充するときは、注入口からゴミや水が入らないように注意してください。

知識

- レベルゲージには上限から約0.5L毎に3箇所印がついています。エンジンオイル補給時の目安としてください。



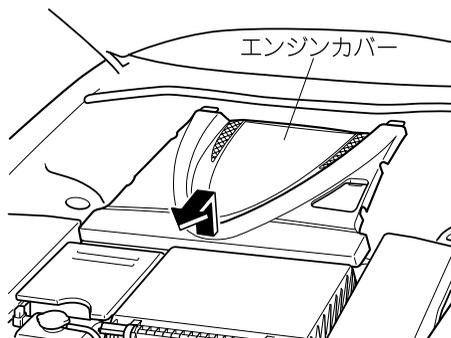
- エンジンカバーを取り付けるときは、エンジンカバーが確実に固定されていることを確認してください。

バッテリー液の点検

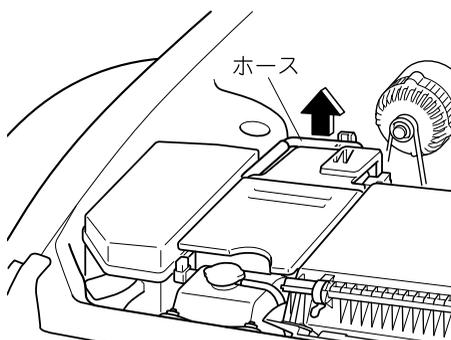
警告

- バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 (爆発) につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。
- バッテリーを取り扱うときは、絶対に火気を近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。

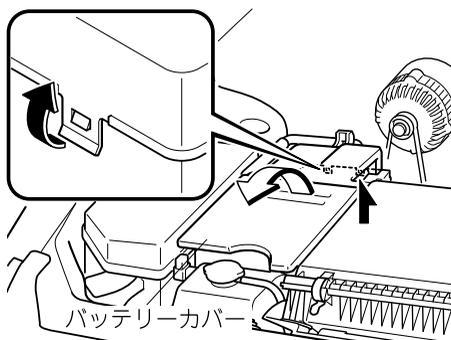
- 1 エンジンカバーを取りはずします。



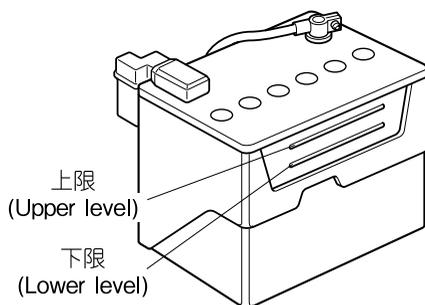
- 2 ホースをバッテリーカバーから取りはずします。



- 3 バッテリーカバーを後側から持ち上げて、取りはずします。



- 4 バッテリーの液面が各槽とも上限 (UPPER LEVEL) と下限 (LOWER LEVEL) の間にあるかを目視により点検します。



知識

エンジンカバーを取り付けるときは、エンジンカバーが確実に固定されていることを確認してください。

タイヤの点検

日常点検としてタイヤは定期的に点検してください。

点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

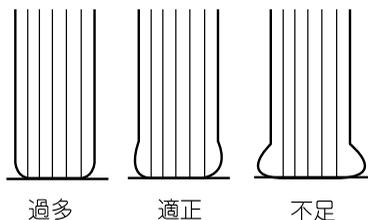
空気圧の点検

警告

■ タイヤの空気圧が不足したままで走行しないでください。

タイヤの空気圧が不足していると車両の安定性を損なうばかりでなく、タイヤが偏摩耗したりします。また、タイヤの空気圧が不足したままで高速走行すると、タイヤがバースト (破裂) するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

6.車との上手なつきあいかた 点検、整備



- タイヤの空気圧は走行に伴い約1割程度上がる場合があります。日常はタイヤが冷えている時にタイヤの接地部のたわみ状態を見て空気圧が適当であるかを点検します。
- ラジアルタイヤはたわみの状態での点検では空気圧が分かりにくいので、空気圧計で点検します。
- タイヤの空気圧は徐々に（自然に）低下しますので、目安として月に一度空気圧計を使用して空気圧が適当であるかを点検します。
- 適正空気圧は、運転席側のリヤドアに貼付されているラベルで確認してください。
- スペアタイヤも時々点検します。年1回は空気圧計を使用して空気圧が適正であるかを点検します。
→214ページ「スペアタイヤ」

き裂、損傷の点検

タイヤの接地部全周や両側に著しいき裂や損傷およびクギ等の異物が刺さっていないかを目視で点検します。

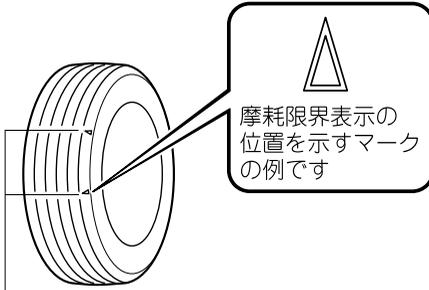


警告

- 異常があるタイヤを装着しないでください。
- 異常があるタイヤを装着すると、走行中にハンドルがとられたり、異常な振動を感じる場合があります。
また、パンクやバースト（破裂）などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。
走行中、異常な振動を感じた場合はマツダ販売店で点検を受け、正常なタイヤと交換してください。
- 異常のあるタイヤを装着していると、車の性能（燃費・走行安定性・制動距離など）が十分に発揮できないばかりでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、部品に悪影響をあたえるなど、故障の原因になるおそれがあります。
- 道路の路肩などにタイヤの側面を接触させたり、凹凸やわだちの乗り越しは避けてください。
タイヤの損傷、き裂などをまねくおそれがあります。

溝の深さ、異常摩耗の点検

タイヤの溝の深さが十分であるか、摩耗限界表示(ウェアインジケーター)が現れていないか、また、タイヤに片減りや局部摩耗、段付き摩耗がないかを目視で点検します。



摩耗限界表示

警告

■ **タイヤの溝の深さが少ないタイヤや摩耗限界表示(ウェアインジケーター)が現れているタイヤを使用しないでください。**

そのまま使用すると、制動距離が長くなったり、雨の日にハイドロプレーニング現象※により、ハンドル操作ができなくなったり、タイヤがバースト(破裂)するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。摩耗限界表示が現れたらすみやかに正常なタイヤと交換してください。

※ぬれた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になり、ハンドルやブレーキが効かなくなる現象。

知識

ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。

6.車との上手なつきあい 車の手入れ

外装の手入れ

車を美しく保つためには日ごろの手入れが大切です。



- 保管、駐車は風通しのよい屋根のある場所をおすすめします。
- 走行後は、車体についたほこりをやわらかい布か毛ばたきで払い落としましょう。
- とび石などによる塗装の傷は腐食の原因となります。見つけたら早めに補修してください。
- 洗車やワックスがけ、装備品の手入れは定期的に行ないましょう。
- ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は塗装を損傷するので付着させないでください。万一付着した場合はただちにふき取るか、洗車してください。

- 次のようなときは、早めに洗車などの手入れを行なってください。そのまま放置しておくと、塗装の変色や車体の腐食の原因となります。
 - 海岸地帯を走行したとき。
 - 凍結防止剤を散布した雪道を走行したとき。
 - ばい煙や粉じん、鉄粉、化学物質などの降下の多い場所を走行したとき。
 - 鳥のふん、虫の死がい、樹液、果実などが付いたとき。
 - コールタール、塗料、砂じん、コンクリートの粉などが付いたとき。
 - 泥、ほこりが著しく付いたとき。
 - 雨の中を走行したときや、雨にぬれたとき。



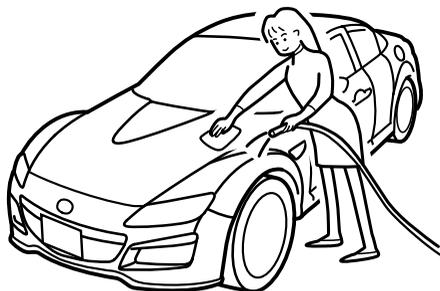
知識

工場から排出される化学物質や車の排気ガスなどが雨に溶けて降り注いだものを酸性雨といいます。

酸性雨をボディーに付着させたままにしておくと、塗装を傷つけるおそれがあります。早めに水で洗い流してください。

洗車するとき

水洗いするとき



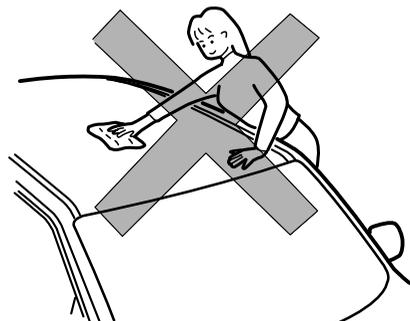
- 1 車の足まわりに付いている泥を洗い落とします。
- 2 車体上部から水をかけながら、やさらか
いスポンジやセーム皮などで洗います。
汚れがひどいときは洗車用洗剤を使用
し、水で十分洗い流してください。
- 3 はん点が残らないように水をふき取っ
てください。

注意

- 車の下まわりや足まわりを洗うときは
けがをしないよう注意してください。
- 運転席/助手席側ワイパーアームを起こ
すときは、運転席側のワイパーアームか
ら起こしてください。また、降ろすとき
は助手席側のワイパーアームから降ろ
してください。ワイパーアームとブ
レードが接触し損傷するおそれがあり
ます。
- エンジンルーム内の電気部品に水をか
けないでください。エンジンの始動不
良や電気部品の故障につながるおそれ
があります。

注意

- 洗車後は、ブレーキパッドがぬれている
ため、ブレーキの効きが悪くなっている
おそれがあります。低速で走りながら、
アクセルペダルを放してブレーキペダ
ルを軽く数回踏んで、効きが回復するま
でブレーキを乾かしてください。
- 洗車やワックスかけを行なうときは、車
体のルーフ部の一点に強い力をかけな
いようにしてください。強い力をかけ
ると、万一の場合、車体がへこむことが
あります。



知識

洗車するときは、硬いブラシやたわしなど
を使用しないでください。
塗装を傷つけるおそれがあります。

自動洗車機を使用するとき

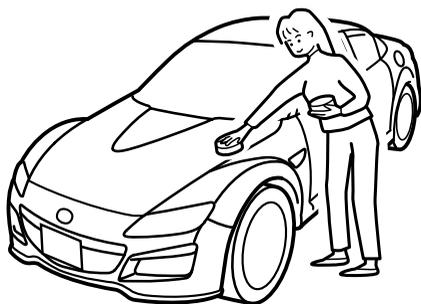
- ドアミラーを格納してください。
- 自動洗車機を使用すると、ブラシにより傷
がつき塗装の光沢が失われたり、劣化を早
めることがあります。
- スポイラー装備車は、洗車機によってはス
ポイラーがひっかかり洗車できない場合
や損傷するおそれがあります。

6.車との上手なつきあい 車の手入れ

高圧洗車機を使用するとき

洗車機は機種によっては高温、高圧のものがあります。洗車ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、室内に水が入るおそれがありますので、洗車ノズルと車体との距離は十分に離してください(30cm以上)。また、同じ場所を連続して洗淨しないでください。ドアのすき間や窓ガラスまわりは、特に注意して行ってください。

ワックスをかけるときは



- ワックスがけは月に一回程度、または水のはじきが悪くなったときに洗車してから行なってください。
- 直射日光を避け、ボディーが冷えているとき(体温以下が目安)に行なってください。

知識

- コンパウンド(みがき粉)入りのワックスを使用すると、塗装の光沢が失われることがあります。
- ワックス容器に記載してある使用説明をよく読んでから使用してください。

ガラス、ミラーの手入れ

ガラスやミラーについての油膜を取るときは、純正ガラスクリーナーを使用してください。

知識

フロントガラスに油膜があると、ワイパーがふき取りにくくなったり、雨の夜に対向車のライトなどが乱反射して見えにくくなる場合があります。

ガラスの内側をふくときは、水やぬるま湯でぬらしたやわらかい布で、軽くふいてください。

注意

熱線やアンテナ線を損傷するおそれがあるため、熱線やアンテナ線にそってふいてください。ガラスクリーナーなどを使用すると、熱線やアンテナ線をいためるおそれがあります。



撥水加工ガラス/ミラー

運転席/助手席窓ガラス

撥水加工が施されているため、運転席/助手席窓ガラスについて水滴が小さな水玉状になります。

また、撥水加工により、泥、油膜などが付きにくく、霜、雪なども落としやすくなります。

ドアミラー

撥水加工が施されているため、ドアミラーについて水滴が小さな水玉状になります。

また、撥水加工により、泥、油膜などが付きにくく、霜、雪なども落としやすくなります。

手入れについて

水滴をはじく持続期間には限りがあります。長持ちさせるために次の点を守ってください。

- ガラスやミラーが汚れているときは、早めにやわらかい湿った布などで清掃してください。
- 運転席/助手席窓ガラスの汚れがひどいときは、汚れを取り除いてから、ガラスの開閉を行なってください。
- ガラスやミラーを清掃するときは、コンパウンド(みがき粉)のはいったガラスクリーナーやワックスは使用しないでください。また、ガラスクリーナーを使用しても曇る場合は、湿った布などでふき取ってください。
- 自動洗車機(コイン洗車機)を使用するときは、ガラスやミラー表面の泥などの汚れを落としてから洗車してください。
- ワックス洗車を使用したときは、ガラスやミラー表面についたワックスにより、水滴がはじきに小さくなる場合があります。このようなときは、ワックスをふき取ってください。

アルミホイールの手入れ

アルミホイールに海水や凍結防止剤を付着させたままにしておくと、腐食するおそれがあります。

できるだけ早く水洗いしてください。

汚れのひどいときは中性洗剤をしみこませたやわらかい布などでふき取ってください。



注意

中性洗剤以外は使用しないでください。
ご使用の際には成分をご確認ください。
変色・シミの原因となります。



知識

- アルミホイールは傷がつきやすいので、砂入り石けんや硬いブラシは使用しないでください。
- 自動洗車機を使用すると、ブラシにより傷がつくことがあります。

6.車との上手なつきあいかた 車の手入れ

外装樹脂部品の手入れ

- バンパーなど樹脂部品の塗装面にガソリン、オイル、冷却水、バッテリー液などが付着すると変色、シミ、塗膜はがれなどの原因となります。すみやかに軟らかい布でふき取ってください。
- 高圧洗車機は機種によって洗浄水が高温、高圧になるものがあります。必要以上に洗車ノズルを近づけたり長時間水圧をかけると樹脂部品の変形や塗膜の損傷などの原因になることがありますのでご注意ください。
- コンパウンド(みがき粉)入りのワックスを使用すると、塗膜を損傷するおそれがありますので使用しないでください。
- 電動またはエア工具を使用してコンパウンド(みがき粉)がけやワックスがけを行なうと摩擦熱が発生して、樹脂部品の変形や塗膜の損傷などの原因になることがありますので使用しないでください。
- プラスチックレンズを使用しているランプ類は、ガソリン、灯油、高濃度アルコール類、塗料、シンナー、強酸性洗剤、強アルカリ性洗剤などの化学液により表面が変色したりダメージを受けて、機能を著しく損なうおそれがあります。お手入れの際には使用しないでください。万一付着したときは、すみやかに水で洗い流してください。

内装の手入れ

知識

室内に水をかけないでください。
オーディオなどの電気部品に水がかかると故障の原因になります。

布張り部分の手入れ☆

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めにご手入れを行なってください。

- 1 水で薄めた中性洗剤(約5%)をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
- 2 きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

知識

- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。

革張り部分の手入れ☆

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めにご手入れを行なってください。

- 1 掃除機などでホコリや砂を取り除きます。
- 2 純正専用クリーナーまたは水で薄めた中性洗剤(約5%)をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。
- 3 きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

- 4 乾いたやわらかい布で水分を取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。
雨などでぬれたときも早めに水分をふき取り、乾燥させてください。

知識

- 天然素材のため、シボ（本革表面の凹凸）の不均一や牛革本来の傷が分かる場合があります。
- 品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。
- シート表面についた砂やホコリなどは、本革表面の保護膜を傷つけ早期摩耗の原因になります。
- 本革部分に油污れなどが付くとカビやシミなどの原因になります。
- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。
- シートがぬれたときはすぐに乾いた布で水分をふき取ってください。表面に水分が残っていると硬化、収縮など変質の原因になります。
- 直射日光に長時間さらすと、変質、縮みなどの原因になります。長時間駐車するときは、サンシェード（日除け）を使用するなどして直射日光をさえぎってください。
- ビニール製品を長時間シートの上に置かないでください。変質、変色の原因になります。室内が高温になっているとビニールが変質して本革部分に付着するおそれがあります。

樹脂部品の手入れ

樹脂部品に油脂類が付着すると、変色、シミ、ひび割れ、塗膜はがれの原因になります。早めにやわらかい布などでふき取ってください。



注意

つや出し剤を使用しないでください。
含まれる成分によっては変色、シミ、ひび割れ、塗膜はがれの原因になります。

ピアノブラックパネルの手入れ

次の箇所には特殊な塗装処理が施されたパネルが取り付けられています。

- センターパネル
- ドアスイッチパネル
- ハンドルの一部

パネルが汚れたときは、やわらかい布などでふき取ってください。



知識

硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。

シートベルトの手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、ベルトの巻き取りが悪くなる場合があります。早めに手入れを行なってください。

- 1 水で薄めた中性洗剤（約5%）をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
- 2 きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

6.車との上手なつきあいかた 車の手入れ

- 3] 手入れのため引き出したシートベルトを巻き取らせるときは、十分に乾燥させ、水分が残っていないことを確認してください。



警告

■ シートベルトにほつれ、すりぎずなどの異常があるときは、マツダ販売店で交換してください。

そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



知識

- 硬いプラスチックや布で強くこすると、傷がつくことがあります。
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。

その他の手入れ

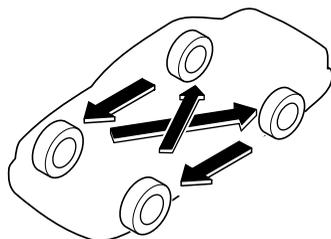
タイヤの位置交換 (タイヤローテーション)

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命をのばすために、約5,000km走行ごとにタイヤの位置を交換してください。



知識

お客様のお車にはスペアタイヤが標準で搭載されていないため、搭載されているジャッキではタイヤの位置交換を行なうことができません。タイヤの位置交換を行なうときはマツダ販売店にご相談ください。



警告

■ タイヤを交換するときは指定されたタイヤを装着してください。指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

タイヤには、回転方向が指定されているものがあります。タイヤを交換するときは、タイヤ側面の回転方向を示す矢印に従って取り付けてください。



知識

タイヤの位置交換を行うまえにタイヤの空気圧、摩耗を点検してください。

→257ページ「タイヤの点検」

6.車との上手なつきあいかた 積雪、寒冷時の取り扱い

冬にそなえて

エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルに交換してください。

→279ページ「エンジンオイル」

冷却水の濃度の調節

冷却水には、凍結を防止するために不凍液が入っています。

冬場になっても凍結しないよう冷却水の濃度を調節してください。

不凍液の割合	使用温度範囲 (外気温)
30%	-16°C以上
50%	-37°C以上

純正ロングライフクーラント (ゴールデン)

[FL22] を使用する場

純正ロングライフクーラント (ゴールデン)

[FL22] は濃度調整済みの冷却水です。

薄めずそのままご使用ください。

冷却水量の点検や補充については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

冷却水を交換する場合はマツダ販売店にご相談ください。

ウォッシャー液の濃度の調節

ウォッシャー液が凍結するのを防ぐため、ウォッシャー液容器に表示してある凍結温度を参考にして、外気温に応じた濃度に調節してください。

→255ページ「ウォッシャー液の補充」

バッテリー液の点検

気温が下がるとバッテリー性能が低下するためエンジン始動が困難になる場合があります。

バッテリー液の量、比重を点検し、必要に応じて液の補充をしてください。

点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

冬用タイヤに交換するときは、前後輪とも指定された同一サイズ、同一種類のものを使用してください。

警告

■ **タイヤを交換するときは前後輪とも必ず指定された同一サイズ、同一種類のものを使用してください。**

指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

19インチタイヤ装着車にはタイヤチェーンを装着することができません。タイヤチェーンを使用するときは、18インチタイヤに前後輪とも交換して、純正のタイヤチェーンを使用してください。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を準備し、使用する前に一度装着してみてもサイズを確認しておきましょう。

→271ページ「タイヤチェーンの取り付け」

運転する前に

ルーフに雪が積もっているときは

走行中、ガラスに雪が落ちると視界のさまたげとなり危険です。
走行前に取り除いてください。

ガラスに雪や霜がついているときは

視界を確保するため取り除いてください。
プラスチックの板などを使用して取り除くことができます。プラスチックの板などを使用する時はガラスに傷をつけないように注意して取り除いてください。

足まわりなどに雪や氷が付着しているときは

部品に傷をつけないように注意して取り除いてください。

ドアなどが凍結しているときは



- ドアが凍結しているときは、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。無理に開けようとする、ドアまわりのゴムがはがれたり、周辺部を損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部にはお湯をかけないでください。凍結してキーが差しこめなくなるおそれがあります。
- お湯をかけたあとは、すぐに水分をふき取ってください。
- ワイパー、パワーウィンドー、電動ドアミラーなどが凍結して動かない場合もお湯をかけて氷を溶かしてから操作してください。無理に動かそうとすると故障の原因になります。

車に乗るときは

靴についた雪をよく落とししてから乗車してください。

ペダル類を操作するときにすべったり、室内の湿気が多くなるため窓ガラスが曇ったりすることがあります。

6.車との上手なつきあいかた 積雪、寒冷時の取り扱い

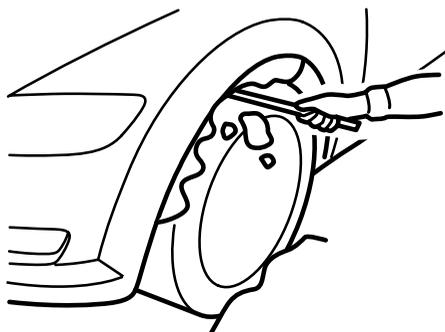
走行するときは

すべりやすい路面を走行するときは



- 早めに冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着してください。
→271ページ「タイヤチェーンの取り付け」
- 急発進、急ハンドルや急ブレーキを避け、ひかえめな速度で運転してください。
- 日陰や橋の上、水たまりなど、凍結しやすい場所にさしかかる前では速度を落とし、注意して走行してください。

ハンドルの切れ具合に注意



走行中、フェンダーの裏側に雪が付着して氷になり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。
ときどき車を止めて点検し、氷塊が大きくなる前に取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

ブレーキ装置に雪や氷が付着すると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。
効きが悪いときは、低速で走りながらアクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んで、効きが回復するまでブレーキを乾かしてください。

駐車するときは

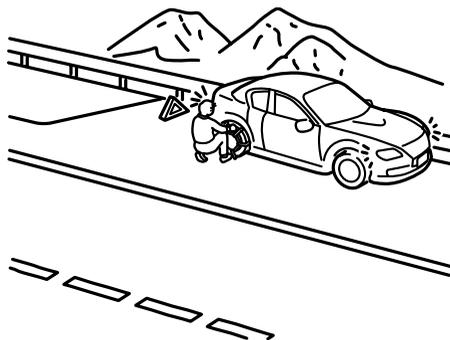


- 寒冷時はパーキングブレーキをかけると凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキは使わず、マニュアル車はチェンジレバーを1またはRに、オートマチック車はセレクトレバーをPに置いてタイヤに輪止めをしてください。
- ボンネット側を風下に向けて駐車してください。風上に向けてエンジンが冷えすぎて始動しにくくなる場合があります。
- ワイパーアームは立てて駐車してください。寒冷時はワイパーゴムがガラスに凍りつくことがあります。

⚠ 注意

運転席/助手席側ワイパーアームを起こすときは、運転席側のワイパーアームから起こしてください。また、降ろすときは助手席側のワイパーアームから降ろしてください。ワイパーアームとブレードが接触し損傷するおそれがあります。

タイヤチェーンの取り付け



タイヤチェーンは後輪に取り付けます。タイヤチェーンはタイヤサイズにあった純正品を使用してください。タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。タイヤチェーンの取り付けは、交通のさまたげにならず、安全に作業ができる平らな場所で行なってください。路上で行なう場合は、非常点滅灯、停止表示板(停止表示灯)を使用してください。

6.車との上手なつきあいかた 積雪、寒冷時の取り扱い

注意

- 後輪がパンクしたときは、タイヤパンク
応急修理キットでパンクタイヤを修理
し、タイヤチェーンを装着してくださ
い。
→218ページ「タイヤパンク応急修理
キット」
- 純正品以外のタイヤチェーンを使用す
るとボディなどに干渉し、傷をつける
おそれがあります。くわしくは、マツダ
販売店にご相談ください。
- 積雪路、凍結路以外ではタイヤチェーン
を装着して走行しないでください。
チェーンの摩耗を早める原因になりま
す。
- タイヤチェーンを装着したときは、
30km/h以下で走行してください。
30km/h以上で走行すると、タイヤ
チェーンにかかる負担が大きくなるた
め、チェーンが切れやすくなります。

知識

- お客様のお車にタイヤチェーンは標準
で搭載されていません。必要に応じて
マツダ販売店でお求めください。
- タイヤチェーンを取り付けると、ホ
イールに傷がつくおそれがあります。

寒冷地用ワイパーブレード について

降雪期にフロントガラスに雪が付着するの
を防ぐために、寒冷地用ワイパーブレードを
お使いください。

寒冷地用ワイパーブレードは通常のワイ
パーブレードの金属部分をゴムでおおって
あります。

必要に応じてマツダ販売店でお求めくだ
さい。

知識

高速走行時は、通常のワイパーブレードよ
りふき取りにくくなりますので、ワイパー
使用時は速度を落として走行してくださ
い。

夏の取り扱い

エアコンのチェック

エアコンの冷媒（エアコンガス）が不足していると、冷房性能が低下します。

夏になる前にマツダ販売店で点検を受けておきましょう。

知識

エアコンガスはHFC134a (R134a) を使用しています。補充、交換の際には必ずHFC134aを入れてください。エアコンガスは地球温暖化に悪影響をおよぼすため大気放出はしないでください。点検、補充、交換、廃棄についてはマツダ販売店にご相談ください。

炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足していないかこまめに点検してください。

点検要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

雨の日の運転

ガラスが曇るときは

湿度の高い日はガラスが曇りやすくなります。このようなとき、エアコンを使用して曇りを取ることができます。エアコンを作動させると吹き出し風が除湿されるため、より効果的に曇りを取ることができます。

→164ページ「空調」

リヤガラスの曇りを取るときは、リヤウインドーデフォッガースイッチを押してください。

→145ページ「リヤウインドーデフォッガー（曇り取り）スイッチ」

フロントガラスの油膜をとるときは

雨の夜は、フロントガラスに油膜があると、対向車のライトなどが乱反射して、見えにくくなることがあります。

ガラスクリーナーを使ってフロントガラスの表面をきれいにしてください。

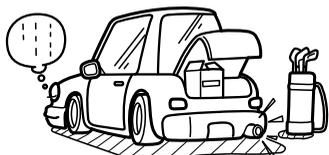
経済的な運転

地球環境にやさしい、経済的な運転を心がけてください。

以下に示す数値は、対象車種2.0リットル乗用車(AT)の燃費=11.7km/l(10・15モード)が計算ベースです。(社団法人 日本自動車工業会調べ)

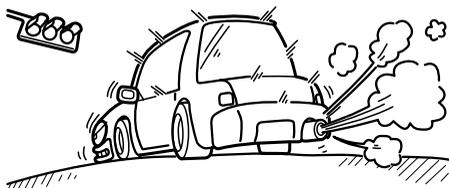
アイドリングストップ

コンビニでの買い物、人待ちや荷降ろしなど、ちょっとした駐車の際にもエンジンを止めましょう。5分間アイドリングをやめると、約65mlの燃料を節約できます。



空ぶかしをしない

空ぶかしは環境にも車にもよくありません。空ぶかしを10回やめると、約60mlの燃料を節約できます。



不要な荷物は積まない

荷物が多いほど、燃料を多く消費します。不要な荷物は降ろして走行しましょう。10kgの荷物を降ろして50km走ると、約15mlの燃料を節約できます。



エアコンの使用は控えめに

エアコンの使用を控えると、燃料の節約になります。エアコンを5分間停止すると、約55mlの燃料を節約できます。



タイヤの空気圧を適正に

こまめに点検し、適正な空気圧に調整しましょう。適正値で50km走ると、50kPa減のときに比べて、約150mlの燃料を節約できます。



ゆとりある走行を

急発進、急加速、急ブレーキは避けましょう。急発進を10回やめると約170ml、急加速を10回やめると約110mlの燃料を節約できます。



経済的速度

一般道路で40km/h、高速道路で80km/h程度の等速走行が経済的です。



アクセルペダルの上手な踏みかた

加速終了時(オートマチック車)

アクセルペダルを少し大きめにもどしてみましょう。適切に無駄なく自動変速されるため、燃費がよくなります。

下り坂に入るとき、減速を始めるとき

早めにアクセルペダルをもどし、エンジンブレーキを使いましょう。アクセルペダルをもどすと燃料噴射が停止されるので、燃費がよくなります。

等速走行時

アクセルペダルの踏み加減を一定に保ちましょう。アクセルペダルの踏み込み、踏みもどしは少ないほど燃料噴射が少なくなるため、燃費がよくなります。

10・15モード燃費について

「10・15モード」とは

車両カタログに記載されている「10・15モード」燃費は、一定の条件に従って測定された燃費です。

このモードは都市内走行状態を再現したもので、図1のようにシャシーダイナモメーター上で実際の道路上の走行状態を再現し、エンジン暖機後、図2のようなパターンを走行するものです。

図1.シャシーダイナモメーター

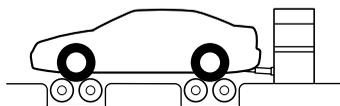
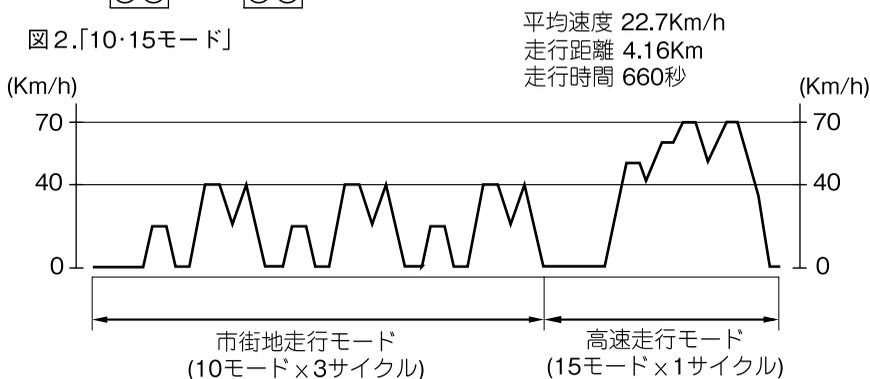


図2.「10・15モード」



「10・15モード」は、都市内走行状態を再現したのですが、あくまでも代表的な走行パターンです。そのため、実際の走行とは異なる場合が多く、例えば

- 走行速度の平均が「10・15モード」より低い
- 停車比率（運転中に車が止まっている割合）が高い
- 急な加速を行った

など条件の違いにより燃費が悪くなります。

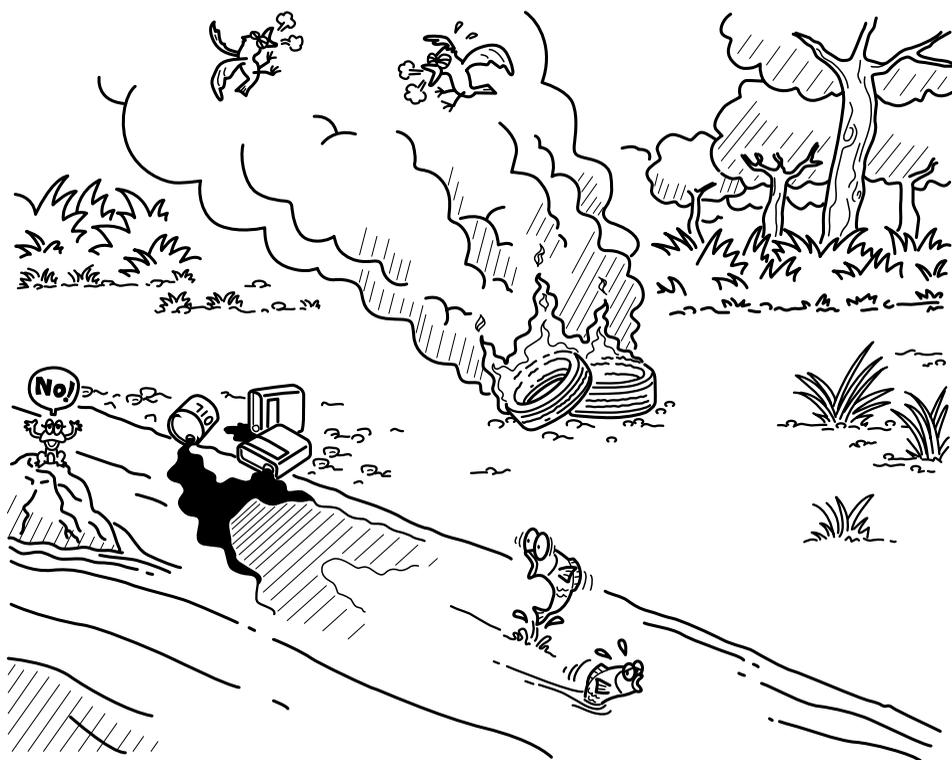
参考資料

- (社) 日本自動車工業会:「あしたへECO-MOTION」
- (社) 日本自動車連盟:「ECO MANUAL 車に関する環境エコ基礎知識集」

廃棄物を処理するときは

廃棄物については、法律上適切な処理が求められています。

- タイヤを燃やすと有毒なガスが発生するので、自己処理はしないでください。使用済みタイヤは新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- バッテリーは鉛や硫酸が使われています。使用済みバッテリーは新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルやクーラントが地下や川などに流れ出すと、環境を悪化させます。交換済みのエンジンオイルは新品エンジンオイルを購入した販売店に処分を依頼してください。また、クーラントを交換する場合はマツダ販売店にご相談ください。
- エアコンにはオゾン層を破壊しない代替フロンガスHFC134a (R134a) を使用しています。それでも代替フロンガスには地球を温暖化するはたらきがあります。ガスの大気放出を防止するため、エアコンの点検、修理はマツダ販売店か専門の修理業者に依頼してください。



サービスデータ

燃料、オイル、液類

■燃料

項目	サービスデータ
使用燃料	無鉛プレミアム (無鉛ハイオク) ガソリン
タンク容量 (参考値)	65L

■フューエルフィルター

項目	サービスデータ
交換時期	160,000km走行ごと

■エンジンオイル

オイル量の確認は、必ずレベルゲージで行なってください。

交換時期は走行kmまたは年月のどちらか早い方で交換してください。

寒冷地では、エンジンオイルが劣化しやすいので、早めにオイルを交換してください。

項目		サービスデータ	
交換時期		標準	10,000kmまたは1年ごと
		シビアコンディション*1	5,000kmまたは6か月ごと
推奨オイル	純正モーターオイル シンセ レネシス*2	SAE 0W-30	
	純正モーターオイル ゴールドENECO*3	API SM/ILSAC GF-4, SAE 0W-20	
	純正モーターオイル ゴールドENSM	API SM/ILSAC GF-4, SAE 5W-30	
		API SM/ILSAC GF-4, SAE 10W-30	
	純正モーターオイル ゴールドENSL	API SL/ILSAC GF-3, SAE 5W-30	
交換量 (参考値)	オイルのみ	4.2L	
	オイルとオイルフィルター	4.4L	

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

*2 純正モーターオイル シンセ レネシスは合成油です。それ以外の純正モーターオイルは鉱物油です。

*3 純正モーターオイル ゴールドENECOは純正モーターオイルの中で最も省燃費性に優れたオイルです。

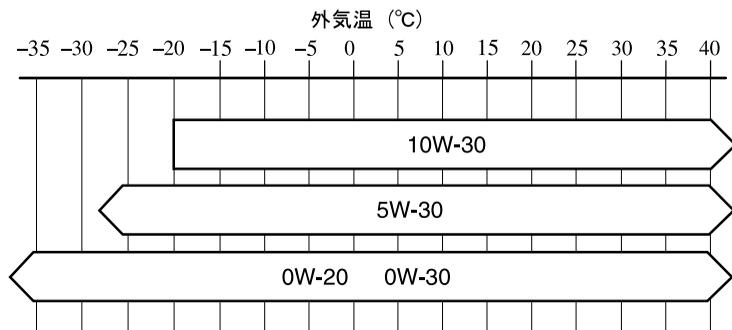
注意

純正モーターオイル シンセ レネシスは、レネシス専用開発された合成油です。純正モーターオイル シンセ レネシス以外の合成油や部分合成油のエンジンオイルを使用した場合には、エンジンの始動性が悪くなる場合があります。

サービスデータ

使用温度範囲

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを次の表にもとづき使用してください。



■エンジンオイルフィルター

交換時期は走行kmまたは年月のどちらか早い方で交換してください。

項目	サービスデータ	
交換時期	標準	20,000kmまたは1年ごと
	シビアコンディション*	10,000kmまたは6か月ごと

*シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

■マニュアルトランスミッションオイル

項目	サービスデータ
推奨オイル	純正ロングライフ SAE 75W-90 (GL-4)
容量 (参考値)	1.95L

■オートマチックトランスミッションフルード

項目	サービスデータ
推奨フルード	ATF JWS3317
容量 (参考値)	8.0L

■ディファレンシャルオイル

項目	サービスデータ	
交換時期	標準	無交換
	シビアコンディション*	60,000km走行ごと
推奨オイル	純正ロングライフハイポイド* SAE 90 (GL-5)	
容量 (参考値)	1.3L	

*シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

■ブレーキ液

液量の確認は、リザーバータンク表面のゲージで行なってください。

項目	サービスデータ
交換時期	2年ごと (初回は3年)
推奨液	純正ブレーキフルード*BF-3 (DOT-3)

■冷却水

液量の確認は、リザーバータンク表面のゲージで行なってください。

項目		サービスデータ
交換時期	純正ロングライフクーラント	2年ごと (初回は3年)
	純正ロングライフクーラント (ゴールデン)*	100,000km走行または4年ごと (初回は180,000km走行または9年)
推奨液		純正ロングライフクーラント、純正ロングライフクーラント (ゴールデン)*
容量 (参考値)		9.8L

*ラジエーターキャップまたはその付近に「FL22」のマークがある場合は、純正ロングライフクーラント (ゴールデン) を使用してください。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

サービスデータ

■ウォッシャー液

液量の確認は、レベルゲージで行なってください。

項目	サービスデータ
タンク容量 (参考値)	2.3L

各部の点検値、交換時期

■ブレーキペダル

項目	サービスデータ
遊び	1～4mm
床板とのすき間 (踏力147N {15kgf})	118mm以上
フロアマットとのすき間 (踏力147N {15kgf})	95.6mm以上

■パーキングブレーキ

項目	サービスデータ
引きしろ (操作力98N {10kgf})	1～3ノッチ

■クラッチペダル

項目	サービスデータ
遊び	5～14mm
床板とのすき間 (クラッチが切れたとき)	73.5mm以上
フロアマットとのすき間 (クラッチが切れたとき)	50.8mm以上

■オルタネーターベルト

項目	サービスデータ	
	たわみ量 (98N {10kgf}の荷重)	新品時
張り直し時		4.5～5.0mm
張り直し限度		6.0mm以下

サービスデータ

■エアクリナーエレメント

項目	サービスデータ	
交換時期	標準	60,000km走行ごと
	シビアコンディション*	30,000km走行ごと

*シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

電気部品/電球 (バルブ)

■スパークプラグ

項目		サービスデータ
交換時期		60,000km走行ごと
型式	T側	N3Y1 18 110A、N3H1 18 110D*
	L側	N3Y8 18 110A、N3Y9 18 110A、N3H5 18 110A*
電極のすき間		1.15~1.25mm

* 工場装着

 注意

イリジウムプラグを使用していますので、ワイヤーブラシなどによる清掃は行なわないでください。イリジウム合金チップおよび白金チップの微粒子膜が損傷または脱落するおそれがあります。

■バッテリー

項目	サービスデータ
型式、容量	80D26L, 55AH (5時間率)

サービスデータ

■電球 (バルブ) の容量

電球 (バルブ)		W数 (12V用)
ヘッドランプ	Hi	65W
	Lo	35W
フォグランプ ☆		51W
車幅灯		5W
前面方向指示灯/非常点滅灯		21W
側面方向指示灯/非常点滅灯		5W
後面方向指示灯/非常点滅灯		21W
制動灯/尾灯		LED*1
後退灯		16W
番号灯		5W
ハイマウントストップランプ		21W
ルームランプ/マップランプ (フロント)		5W
ルームランプ (リヤ)		10W
トランクルームランプ		5W
ドアカーテシランプ		5W
パニティミラーランプ		2W
グラウンドイルミネーションランプ		5W

*1 LEDはLight Emitting Diodeの略で発光するダイオードです。

■ヒューズ

→240ページ「ヒューズの受け持つ装置」

タイヤ/ホイール

■タイヤ/ホイールサイズ

タイヤサイズは、運転席側のリヤドアに貼付されているラベルで確認してください。

タイヤサイズ	ホイール		
	サイズ	インセット (オフセット)	ピッチサークル直径
225/50R17 94W	17×7-1/2J	50mm	114.3mm
225/45R18 91W	18×8J		
225/40R19 89W	19×8J	47mm	

お客様のお車にはスペアタイヤが搭載されていません。パンクしたときは、タイヤパンク修理キットを使用してください。

→218ページ「タイヤパンク応急修理キット」

■タイヤ空気圧

適正空気圧は、運転席側のリヤドアに貼付されているラベルで確認してください。

→14ページ「日常点検としてタイヤを定期的に点検する」

タイヤサイズ	タイヤ空気圧	
	前輪	後輪
225/50R17 94W	220 kPa (2.2 kgf/cm ²)	220 kPa (2.2 kgf/cm ²)
225/45R18 91W	220 kPa (2.2 kgf/cm ²)	220 kPa (2.2 kgf/cm ²)
225/40R19 89W	220 kPa (2.2 kgf/cm ²)	220 kPa (2.2 kgf/cm ²)

■ブレーキディスクの摩耗限度情報

ブレーキディスクの使用限度値とその測定方法に関する情報が必要な場合は、マツダ販売店にご相談ください。

さくいん

ア

アドバンストキー	80
アドバンストキー一時停止機能	93
アドバンストキー車外持ち出し 警報	94
アドバンストキー車内閉じ込み 警報	95
アドバンストキー電池切れ警報	94
アドバンストキートランク内閉 じ込み警報	95
エンジン始動不許可警報	95
エンジンのかけかた	87
キーナンバープレート	83
こんなときは	97
作動範囲	85
システム故障警報	93
スタートノブもどし忘れ警報	93
設定変更 (カスタマイズ機能)	96
電池交換	83
ドアの施錠/解錠	86
トランクの開けかた	87
補助キー機能	92
リクエストスイッチ不動作警報	94
リモートコントロール機能	91
アルミホイール 手入れ	263
アンチロックブレーキシステム (ABS)	73
警告灯	73
アンテナ	170

イ

EDR (イベントデータレコーダー)	72
イモビライザーシステム	113
イルミネーテッドエントリー システム	192
グラウンドイルミネーションラ ンプ	118
インテリアライト (室内照明)	192
インナーミラー (ルームミラー)	118
インフォメーションセンターディス プレイ	195
外気温表示	196
時計	195

ウ

ウインカー (方向指示器) レバー	141
W (ワット) 数	286
ウインドー 曇ったとき	169
手入れ	262
パワーウインドー	104
リヤウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ	145
ウォッシュャー液 ウォッシュャースイッチ	142
タンク容量	282
冬にそなえて (濃度の調節)	268
補充	255

エ

エアコン (空調)	164
上手に使用するために	164
フルオートエアコン	167
エアバッグシステム	62
警告灯	71

工

ABS (アンチロックブレーキシステム)	73
警告灯	73
エンジン	
かけかた	148
エンジンオイル	
交換時期、推奨オイル、交換量	279
点検、補充	255
冬にそなえて	268
エンジン回転計 (タコメーター)	121
エンジンフード (ボンネット)	111
エンスト (故障したとき)	207

オ

応急用スペアタイヤ	214
オーディオ	173
オーディオリモートコントロールスイッチ	187
上手に使用するために	170
オートマチック車	
運転するとき	159
オートマチックトランスミッション	153
AASモード	154
シフトロック装置	153
ダイレクトモード	158
マニュアルモード	154
オートマチックトランスミッションフルード	
交換時期、推奨フルード、容量	280
オーバーヒートしたとき	224
オーバーヘッドコンソール	200
オドメーター	121
オルタネーターベルト	
点検基準値	283

カ

夏期の取り扱い	273
ガソリン (燃料)	
使用燃料、容量	278
燃料補給口	108
カップホルダー	199
ガラス	
曇ったとき	169
手入れ	262
リヤウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ	145
環境保護のために	274
寒冷時の取り扱い	268

キ

キックダウン	27
緊急用具の取り扱い	208

ク

空気圧 (タイヤ)	14
空調 (エアコン)	164
曇り取り (デフォッガー) スイッチ	145
クラクション (ホーン)	145
クリープ現象	27
グローブボックス	202

ケ

警告灯

エアバッグ警告灯	130
ABS警告灯	129
エンジン警告灯	129
オートマチックトランス	
ミッション警告灯	131
KEY警告灯 (赤)/KEY表示灯 (緑)	
(アドバンストキー装備車)	132
シートベルト警告灯	131
充電警告灯	128
電動パワーステアリング	132
燃料残量警告灯	130
半ドア警告灯	131
プリテンショナー警告灯	130
ブレーキ警告灯	127
ヘッドランプオートレベリング	
警告灯	133

警報音

アドバンストキーレス警報	137
エンジン過回転警告ブザー	137
キー抜き忘れ防止チャイム	137
シートベルト着用忘れチャイム	137
ブレーキパッド摩耗警報	137
油量警告ブザー	137
ランプ消し忘れ防止チャイム	137
リバースポジションチャイム	137

化粧鏡 (バニティミラー)	192
けん引	245

コ

コインボックス	201
工具	209
後退灯 (バックランプ)	
W (ワット) 数	286
故障したとき	206
小物入れ	200

コ

コンソールボックス	202
-----------------	-----

サ

サイドブレーキ	151
サイドミラー (ドアミラー)	116
サンバイザー	192

シ

シート

シートメモリー機能	46
正しい運転姿勢	42
フロントシート	44
リヤシート	50
シートヒーター	47
シートベルト	

ELR (緊急時固定機構) 付

シートベルト	59
位置	57
警告灯	58
3点式シートベルト	58
正しい着用のしかた	53
着用忘れチャイム	58
手入れ	265
プリテンショナー付	
シートベルト	59
ロードリミッター付	
シートベルト	61
シガーライター	197
事故が起きたときは	248
室内照明	192
室内灯 (ルームランプ)	
スイッチ	193
W (ワット) 数	286
シフトロック装置	153
ジャッキ	209

シ

車幅灯 (スモールランプ)	
スイッチ	138
W (ワット) 数	286
収納	200
オーバーヘッドコンソール	200
グローブボックス	202
コインボックス	201
小物入れ	200
コンソールボックス	202

ス

水温計	122
ステアリング (ハンドル)	116
ストップランプ (制動灯)	
W (ワット) 数	286
スノータイヤ	268
スピードメーター	121
スペアタイヤ	214
スモールランプ (車幅灯)	
スイッチ	138
W (ワット) 数	286

セ

制動灯 (ストップランプ)	
W (ワット) 数	286
積雪、寒冷時の取り扱い	268
セレクトレバー	153
洗車	261
前照灯 (ヘッドランプ)	
スイッチ	138
W (ワット) 数	286

ソ

速度計 (スピードメーター)	121
----------------------	-----

タ

ターンシグナル (方向指示器)	
レバー	141
W (ワット) 数	286
ダイナミックスタビリティコント	
ロール (DSC)	76
DSC OFFスイッチ	78
DSC OFF表示灯	77
TCS/DSC作動表示灯	76
タイヤ	
応急用スペアタイヤ	214
空気圧	14
交換	215
サイズ	287
チェーン	271
点検	257
パンク応急修理キット	218
冬にそなえて	268
ローテーション (位置交換)	266
タコメーター	121

チ

チェーン (タイヤチェーン)	271
チャイルドシート	
固定ロアアンカレッジ	50
選択の目安	56
駐車するとき	
オートマチック車	161
坂道駐車	30
積雪、寒冷時	271
駐車ブレーキ (パーキングブレーキ)	
警告灯	151
操作方法	151
点検基準値	283
チルトステアリング	116

テ

DSC (ダイナミックスタビリティコントロール)	76
DSC OFFスイッチ	78
DSC OFF表示灯	77
TCS/DSC作動表示灯	76
TCS (トラクションコントロールシステム)	75
TCS/DSC作動表示灯	75
定期点検	251
ディスチャージヘッドランプ	139
ディファレンシャルオイル	
交換時期、推奨オイル、容量	281
手入れ	
アルミホイール	263
外装	260
ガラス	262
革張り部分	264
シートベルト	265
樹脂部品	265
内装	264
布張り部分	264
撥水加工ガラス/ミラー	263
ピアノブラックパネル	265
ミラー	262
テールランプ (尾灯)	
スイッチ	138
W (ワット) 数	286
電球	
W (ワット) 数	286
点検整備について	250
電源ソケット	203
電動格納ミラー (ドアミラー)	117
電動ミラー (ドアミラー)	116

ト

ドア	98
パワードアロック	101
ドアカーテシランプ	194
ドアミラー	116
グラウンドイルミネーションランプ	118
盗難防止システム	113
イモビライザーシステム	113
時計	195
トラクションコントロールシステム (TCS)	75
TCS/DSC作動表示灯	75
トランク	102
トランクルームランプ	104
W (ワット) 数	286
トリップメーター	121

ナ

ナンバープレートランプ (番号灯)	
スイッチ	138
W (ワット) 数	286

ニ

日常点検	251
------------	-----

ネ

燃料	
使用燃料、容量	278
燃料計	123
燃料残量警告灯	130
燃料補給口	108

ハ

パーキングブレーキ	
警告灯	151
操作方法	151
点検基準値	283
灰皿	198
ハイビーム (ヘッドランプ上向き)	
W (ワット) 数	286
ハイマウントストップランプ	
W (ワット) 数	286
ハザードランプ (非常点滅灯)	
スイッチ	146
W (ワット) 数	286
発炎筒	208
バックミラー (ルームミラー)	118
パッシング合図	140
撥水加工ガラス/ミラー	263
バッテリー	
あがったとき	226
型式、容量	285
点検	256
冬にそなえて	268
パニティミラー (化粧鏡)	192
パネルライトコントロール	
スイッチ	123
バルブ (電球)	
W (ワット) 数	286
パワーウィンドー	104
パワードアロック	101
パンクしたとき	218
番号灯 (ナンバープレートランプ)	
スイッチ	138
W (ワット) 数	286
半ドア警告灯	131
ハンドル	116

ヒ

ピアノブラックパネルの手入れ	265
非常点滅灯	
スイッチ	146
W (ワット) 数	286
尾灯 (テールランプ)	
スイッチ	138
W (ワット) 数	286
ヒューズ	229
表示灯	
車幅灯表示灯	136
セキュリティ表示灯	135
セレクトレバー位置表示灯	134
DSC OFF表示灯	135
TCS/DSC作動表示灯	135
ハイビーム	
(ヘッドランプ上向き) 表示灯	133
フォグラмп表示灯	136
方向指示/非常点滅表示灯	134

フ

ブースターケーブルのつなぎ方	226
フォグラмп	
スイッチ	141
W (ワット) 数	286
吹き出し口 (空調)	165
フック (けん引)	245
踏切内で動けなくなったとき	207
フューエルキャップ	110
フューエルリッド (燃料補給口)	110
冬にそなえて	268
冬用タイヤ (スノータイヤ)	268
ブレーキ	151
警告灯	151
ブレーキ液 (フルード)	
交換時期、推奨液	281

フ

ブレーキペダル 点検基準値	283
ブレーキランプ W(ワット)数	286
フロントシート	44

ヘ

ヘッドランプ(前照灯) スイッチ	138
W(ワット)数	286

ホ

ホイール サイズ	287
手入れ	263
方向指示器 レバー	141
W(ワット)数	286
ホーン	145
ボンネット	111

マ

マップランプ スイッチ	194
W(ワット)数	286
マニュアルトランスミッション オイル	280

ミ

ミラー 手入れ	262
ドアミラー	116
パニティミラー	192
ルームミラー	118

メ

メーター	120
------------	-----

ヤ

ラ

ライセンスプレートランプ(番号灯) W(ワット)数	286
ライター	197
ランプ 消し忘れ防止チャイム	140
スイッチ	138
点灯しないとき	229
W(ワット)数	286

リ

リバースポジションチャイム	137
リヤウインドーデフォッガー (曇り取り)スイッチ	145
リヤサイドウインドー	108
リヤシート	50

ル

ルームミラー	118
ルームランプ	193

レ

冷却水 交換時期、推奨液、容量	281
水量警告灯	131
冬にそなえて(濃度の調節)	268

ワ

ワイパー 寒冷地用ワイパーブレード	272
スイッチ	142

ワ

ワックスがけ 262

お問い合わせ、ご相談はお近くのマツダ販売店または、
下記へお願いいたします。

マツダ(株)コールセンター
全国共通フリーダイヤル

 0120-386-919

受付時間

平日 9:00～17:00

土・日・祝日 9:00～12:00 13:00～17:00

携帯電話からもご利用になれます。

弊社における個人情報の取扱いは、
弊社ウェブサイトに掲載しています。

(<http://www.mazda.co.jp>)

発行元 **マツダ株式会社**

〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3-1

発行 2009年 5月

印刷 2010年10月

295頁 4版